

MultiCoder 500M3 シリーズ

ラベルプリンタ ユーザーズマニュアル

MultiCoder 500M3M

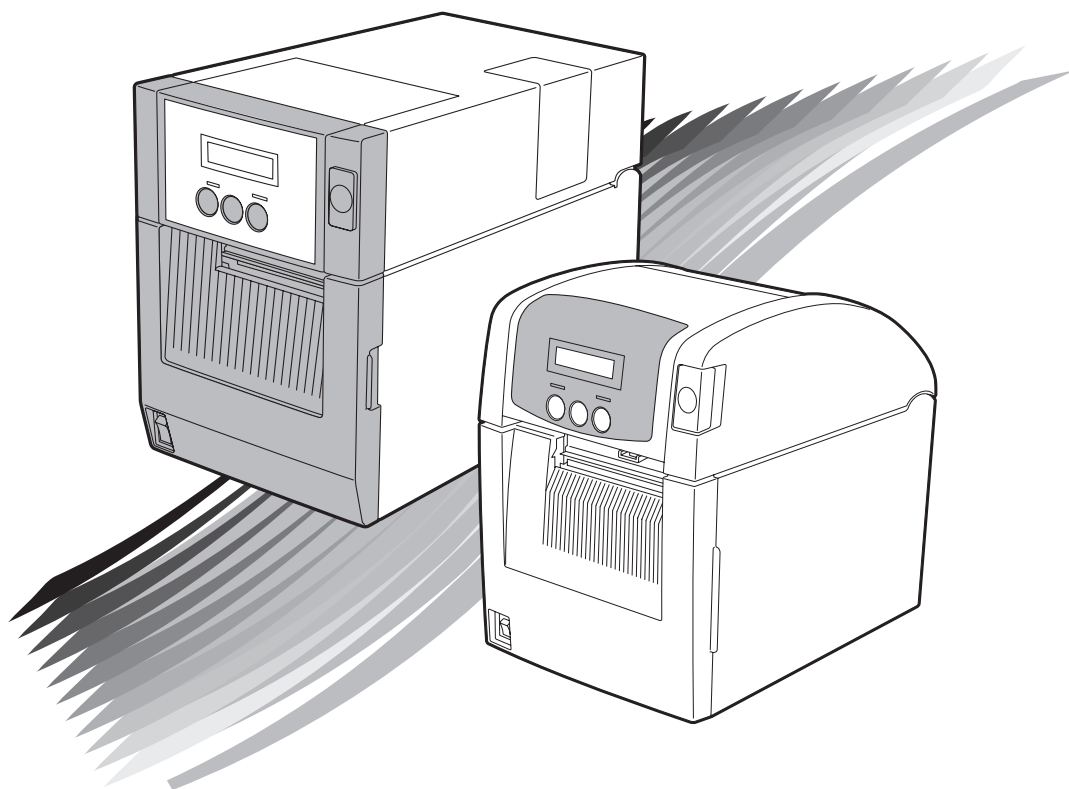
MultiCoder 500M3MC

MultiCoder 500M3MS

MultiCoder 500M3P

MultiCoder 500M3PC

MultiCoder 500M3PS



このユーザズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。



安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザズマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。







また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負うおそれがある</u> ことを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれ</u> があることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>毒性の物質による被害のおそれ</u> があることを示します。		<u>けがをするおそれ</u> があることを示します。
	<u>発煙または発火のおそれ</u> があることを示します。		<u>指などがはさまれるおそれ</u> があることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		<u>体内に入れると有害な物質</u> であることを示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を圖案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電や火傷などの傷害</u> が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電や発火</u> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		直射日光を避けてください。 <u>発火</u> のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <u>けが</u> をするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。 <u>発火</u> のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <u>火災</u> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	プリンターを一人で持ち上げないでください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を圖案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 <u>火災や漏電</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>火災や感電</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>火災や感電</u> のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容	記号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。	 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECパーソナルプロダクツ株式会社の商標です。

LabelStar、BarStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ユポは株式会社ユポコーポレーションの登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

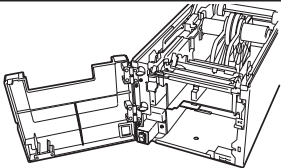
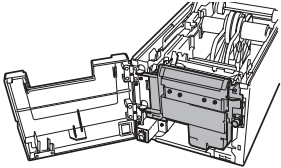
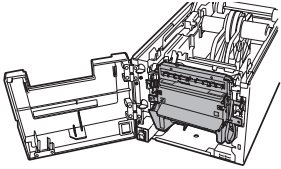
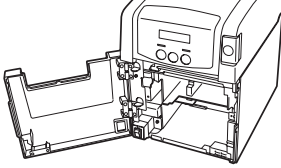
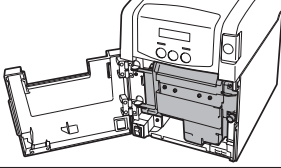
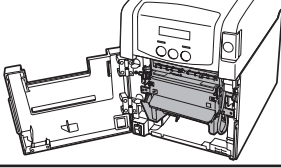
このたびはNECのラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECラベルプリンタ「MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS/500M3P/500M3PC/500M3PS」を正しくお使いいただくための手引きです（以降はこれら6種類をまとめて「MultiCoder 500M3」と呼びます）。本マニュアルにはMultiCoder 500M3の設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、MultiCoder 500M3にはユーザーズマニュアルのほかに同梱のCD-ROMに収録された「オンラインマニュアル」があります。併せてご活用ください。

本書で説明する製品について

このユーザーズマニュアルは次のMultiCoder 500M3の製品について説明しています。

タイプ	モデル	説明	イラスト
金属タイプ 金属で覆われた金属タイプは、工場の生産ラインや物流などのご使用に適した耐久性を重視してデザインされた3つのモデルが用意されています。	MultiCoder 500M3M	標準モデル 金属タイプの標準モデルです。	
	MultiCoder 500M3MC	カッターモデル 用紙を自動でカットするカッターモジュールを標準で装備しています。	
	MultiCoder 500M3MS	ハクリモデル 用紙を自動で剥離（はくり）するハクリモジュールを標準で装備しています。	
樹脂タイプ コンパクトで滑らかなフォルムを持つ樹脂タイプは、オフィスでのご使用を考慮してデザインされた3つのモデルが用意されています。	MultiCoder 500M3P	標準モデル 樹脂タイプの標準モデルです。	
	MultiCoder 500M3PC	カッターモデル 用紙を自動でカットするカッターモジュールを標準で装備しています。	
	MultiCoder 500M3PS	ハクリモデル 用紙を自動で剥離（はくり）するハクリモジュールを標準で装備しています。	

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めてMultiCoder 500M3をお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、MultiCoder 500M3を正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは随時このマニュアルを活用してください。

第1章 初めてお使いになるとき

本プリンターの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、プリンターを箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。

第2章 プリンターソフトウェアのインストール

本プリンターに添付の「ソフトウェアCD-ROM」を使用してお使いになるコンピューターに本プリンターのプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明しています。

第3章 用紙の取り扱いと印刷

本プリンターで使用できる用紙と印刷範囲の説明、用紙の取り扱いに関する注意事項、および用紙長の自動補正手順や印刷の手順について説明しています。

第4章 操作パネルとプリンターの設定

操作パネル上のスイッチやランプの機能、ディスプレイの表示内容やプリンターが持っている様々な便利な機能を説明しています。

第5章 オプション

本プリンター用のオプションの紹介と取り付け手順について説明しています。

第6章 日常の保守

リボンなどの消耗品の交換やプリンターの清掃手順を説明しています。

第7章 故障かな?と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、プリンターを運搬するときの準備についても記載しています。

付録

プリンターの仕様を記載しています。

本書では金属タイプの標準モデルである「MultiCoder 500M3M」を中心に説明しています。モデルによって異なる場合は、それぞれのモデルごとの説明をしています（モデルに関する説明は前ページをご覧ください）。

MultiCoder 500M3の特長

MultiCoder 500M3の特長を簡単に説明します。

省スペース設計

使いやすい前面パネルでの操作でMultiCoder 500M3の状態の確認や設定の変更が行えます。また、側面に機器などを設置可能な省スペースなデザインを採用し、カバーを開けたときでも奥行をとらない形状となっています。本体にはリボン、用紙、カッターモジュール*1またはハクリモジュール*2がすべて収まり、人や荷動きの多い現場でのホコリ、チリの侵入を防止します。

手軽な操作

扱いやすいフロントオープン構造によりリボン交換はカバーを開けるだけで、用紙交換はカバーを開けガイドを外すだけで簡単にできます。また、用紙の残量が分かる便利な窓付きです。

地球にやさしい素材

MultiCoder 500M3は、廃棄後の環境負荷を減らすために、鉛フリーはんだとクロムフリー銅板の採用を含む『「RoHS指令」対応設計』に準拠しています。さらに、ハロゲンフリーのプラスチックおよびプリント回路基板を採用しています。

各種用紙に印刷可能

MultiCoder 500M3は、一般感熱紙やコート紙、PETなどのラベルおよびタグといった様々な用紙に印刷することができます（用紙については「用紙規格と印刷範囲」（84ページ）を参照してください）。

リモートパネル

プリンターの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。リモートパネルの詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

LabelStar Lite

各業務で使用するラベルフォームをWindowsの画面上で容易に作成し、そのラベルフォームに変データ埋め込み（オーバーレイ）印刷することができるラベル作成・印刷ソフトウェアです。本プリンターには機能限定の「Lite」を添付しています。

2方式の印刷をサポート

印刷方式は熱転写（リボン転写）と感熱（直接発色）の2つ方式を採用しています。

各種インターフェースに対応

パラレルインターフェースに加え、USB 1.1/2.0とLANインターフェースをサポートしています。

リボンシワ低減

巻き取りと送り出しを専用モーターで制御する独自のダブルモーターを採用し、均一トルクでリボンのシワや蛇行を防ぐリボンシワ低減を実現しました。

自動印刷位置補正機能

印刷位置の調整を自動で行うことができる機能です。

バーコード印刷*3

添付のソフトウェアCD-ROM内のBarStar Proをインストールすることにより、さまざまなバーコードや2次元コードをWindows環境で印刷することができます。

自動用紙カット機能/自動剥離機能

「カッターモジュール*1」によって印刷済みの用紙を自動でカットします。また「ハクリモジュール*2」は印刷済みのラベル紙を台紙から自動で剥離させます。

*1 MultiCoder 500M3MC/500M3PCは標準でカッターモジュールを装備しています。その他のモデルではオプションです。

*2 MultiCoder 500M3MS/500M3PSは標準でハクリモジュールを装備しています。その他のモデルではオプションです。

*3 バーコードフォントを含むプリンターフォントを内蔵していないため、アプリケーション上で使用できるフォントおよび「LabelStar Lite」または「BarStar Pro」に搭載されているバーコードを使用してください。バーコード／2次元コードの読み取りについてはあらかじめ使用されるバーコードスキャナーでの評価が必要です。

目次

安全にかかわる表示	ii
はじめに	v
本書で説明する製品について	v
マニュアルの構成	vi
MultiCoder 500M3の特長	vii

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2

1章 初めてお使いになる とき 9

1 設置場所を用意する	10
本体の設置について	10
正しく使用するために	11
2 箱の中身を確認する	12
別売品	13
オプション	13
消耗品	13
3 各部の名前と機能をおぼえる	15
MultiCoder 500M3M/500M3MC/ 500M3MS	15
外 観	15
印刷機構部	17
MultiCoder 500M3P/500M3PC/ 500M3PS	19
外 観	19
印刷機構部	21
4 保護用部品を取り除く	23
5 転倒防止ストッパーを取り付ける	24
6 リボンを取り付ける	25
7 用紙をセットする	28
用紙幅・紙管の内径が小さい場合の 取り付け方	32
ファンフォールド紙の取り付け方	34
用紙をセットしたまま置く場合の 取り扱いの注意	36
8 用紙検出センサーの位置を調整する	37
反射／透過センサーの位置関係と検出方法	37
反射センサーの位置を調整する	38
透過センサーの位置を調整する	39
9 電源コードを接続する	40

10 電源をONにする（OFFにする）	42
電源をONにする	42
電源をOFFにする	43
11 センサーの調整をする	44
12 テスト印刷をする	46
13 コンピューターに接続する	48
プリンターケーブルで接続する	48
LANケーブルで接続する	49
USBケーブルで接続する	49
14 ネットワークの設定をする	51
LAN有効／無効設定	51
ネットワークアドレスの設定	52
項目の選択	52
IPアドレス・ゲートウェイアドレス・ サブネットマスクの設定	53
ソケットポート番号の設定	54
DHCPの設定	55

2章 プリンターソフトウェアの インストール 57

インストール／アンインストール前の注意事項	58
プリンタードライバのインストール	59
インストーラーを使う	60
プラグ・アンド・プレイによるインストール	65
プリンターの設定変更（パラレルインター フェースを利用する場合のみ）	65
Windows Vista 日本語版	66
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版	68
Windows 2000 日本語版	70
プリンタードライバの削除 （アンインストール）	72
リモートパネル	74
リモートパネルのインストール	75
リモートパネルの削除（アンインストール）	76
BarStar Pro	77
BarStar Pro のインストール	77
BarStar Pro の削除（アンインストール）	79
LabelStar Lite	80
LabelStar Lite のインストール	80
LabelStar Lite の削除（アンインストール）	81

3章 用紙の取り扱いと印刷 ...83

使用できる用紙	83
用紙規格と印刷範囲	84
連続印刷	84
カット印刷	86
ハクリ印刷	88
タグ・ラベルの有効印刷部	89
プレ印刷用紙に関する注意	90
推奨設定（印刷濃度）	91
用紙長の自動補正（プレ印刷用紙）	92
用紙・リボンの保管上の注意	94
印刷の指示とクリア（リセット）	95
印刷の種類と方法	95
印刷方式の選択	96
印刷速度の設定	96
印刷手順	97
印刷データのクリア（リセット）	98
ユーザー定義用紙サイズの登録	99

4章 操作パネルと プリンターの設定 101

スイッチ	102
スイッチの基本機能	102
スイッチの応用機能	102
ランプ	103
ディスプレイ	103
メニューモード	104
起動と終了方法	104
メニューツリー	105
初期値一覧	107
設定内容の変更	109
操作例	109
設定内容の詳細	111
システムモード	117
起動と終了方法	117
メニューツリー	117
初期値一覧	120
設定内容のリセット	122

5章 オプション 123

オプションの紹介	123
カッターモジュール	125
付属品	125
取り付け手順	126

プリンターの設定	129
用紙のセット	130
取り付け後の確認	131
取り外し手順	132
ハクリモジュール	134
付属品	134
取り付け手順	135
ハクリユニット（M）の取り付け	135
付属のカッターの取り付け	139
ガイドローラーの取り付け	139
用紙のセット	140
ハクリモジュールを使用する場合	140
付属のカッターを使った連続印刷を する場合	142
取り付け後の確認	143
用紙が台紙からうまく剥離できない場合の 設定	144
準備をする	144
ハクリ処理設定を変更しトルクを 設定し直す	144
プレハクリ距離の設定を変更する	146
取り外し手順	148
用紙ホルダー	150
ペーパーテーブル	151
リワインダ	152

6章 日常の保守 153

清掃	154
カバーを清掃する	154
サーマルヘッド／リボンシャフト（L）・（U）／ プラテンを清掃する	155
用紙検出センサー／用紙ガイドを清掃する	156
用紙収納部を清掃する	157
カッターモジュールを清掃する	158
ハクリモジュールを清掃する	159
消耗品の交換	160
用紙を交換する	160
リボンを交換する（熱転写印刷時のみ）	163
サーマルヘッドを交換する	165
プラテンブロックを交換する	168

7章 故障かな?と思った ときは 171

エラー表示が出ているときは	172
エラー表示が出ていないのにおかしいときは	174
用紙がつまったとき	176
リボンが途中で切れたとき	177
リボンの巻きが乱れたとき	178
保証および修理の依頼について	179
お客様登録の方法	179
保証について	179
修理に出される前に	180
保守サービスについて	180
プリンターの寿命について	181
補修用部品について	181
マニュアルの再購入について	181
情報サービスについて	181
プリンターを運搬するときは	182
プリンターの廃棄とリボンの処理について	183
プリンターの廃棄について	183
リボンの廃棄について	183

付録 185

仕 様	185
-----------	-----

索 引	187
-----------	-----

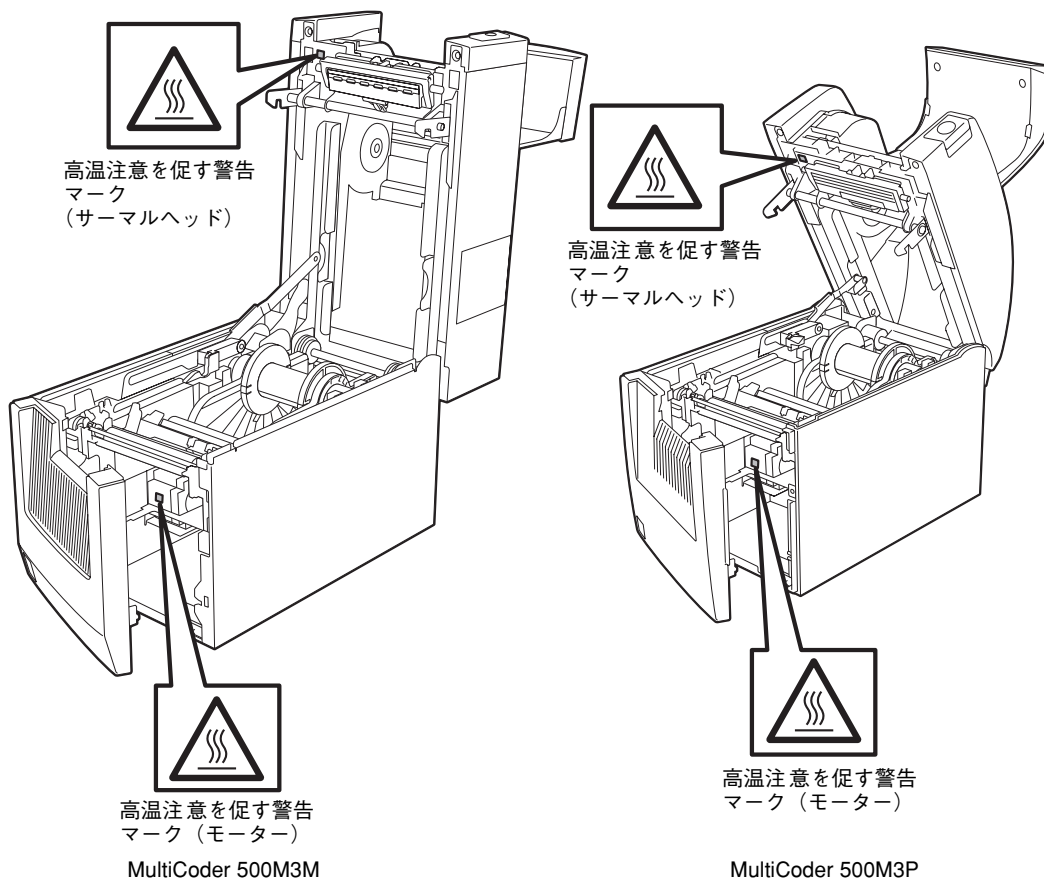


安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。なお、下図は金属タイプおよび樹脂タイプの標準モデルを示しますが、カッターモジュールを搭載したモデル (MultiCoder 500M3MC/500M3PC) およびハクリモジュールを搭載したモデル (MultiCoder 500M3MS/500M3PS) にも同様の位置にラベルが貼り付けられています。

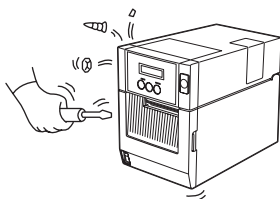


安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

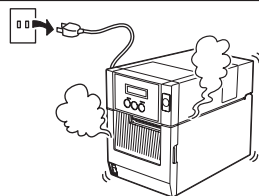
警告

分解・修理・
改造はしない



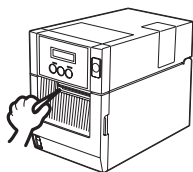
ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら
電源をOFFにする



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



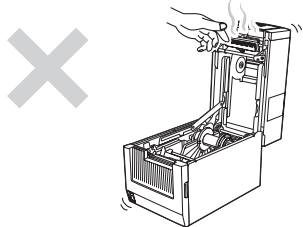
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

高温注意



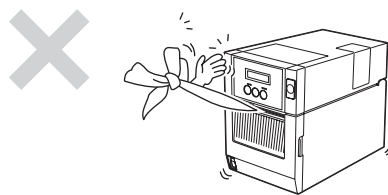
プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。



巻き込み注意



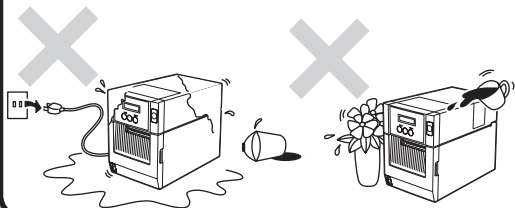
プリンターの動作中、用紙やリボンなどの消耗品を交換するときはプリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



プリンター内に 異物を入れない



プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



損傷した電源コード は使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電源コードに薬品類 をかけない



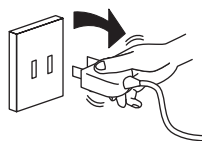
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときは コードを引っ張らない



電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源プラグを中途半端に差し込まない



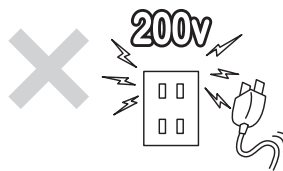
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまと接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



100V以外のコンセントに差し込まない



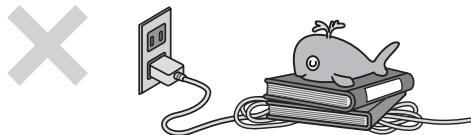
電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



電源コードは曲げたりねじったりしない



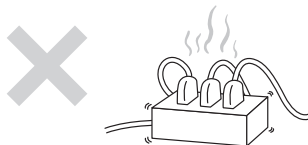
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源コードをたこ足配線にしない



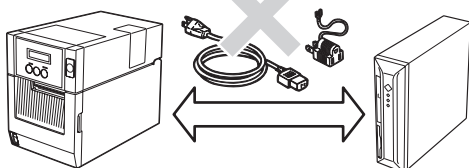
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。



添付の電源コード・変換プラグを転用しない



添付の電源コードと変換プラグは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。

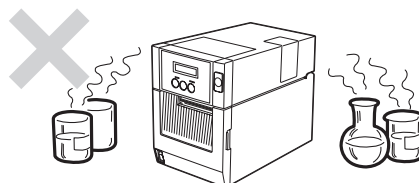


腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空气中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない



腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

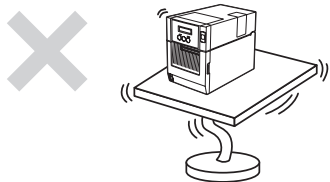
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



不安定な場所に
置かない



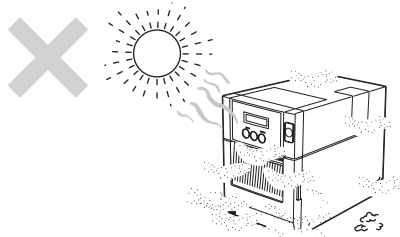
プリンターを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



直射日光が当たる
ところには置かない



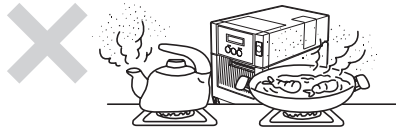
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンターが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。



調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない



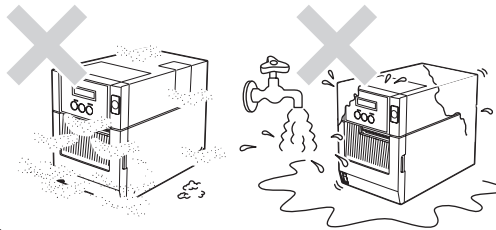
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



ほこり・湿気の多い
場所で使用しない



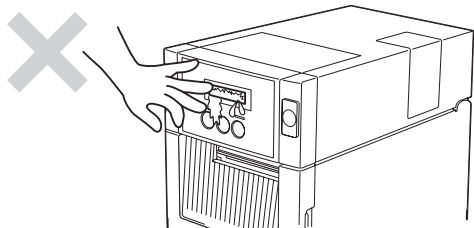
プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



壊れた液晶ディスプレイ
には触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

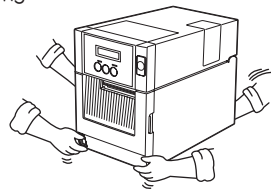


プリンターを一人で
持ち上げない



プリンター単体の梱包箱の質量は次のとおりです。持ち運ぶときはプリンターを落としてけがをしないよう二人以上でしっかりと持ってください。

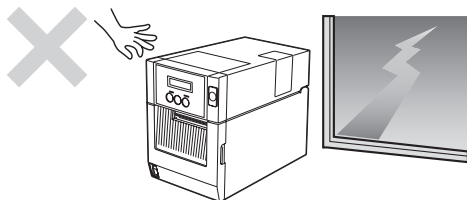
- ・ MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS : 約21kg
- ・ MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS : 約19kg



雷が鳴りだしたら
プリンターに触らない



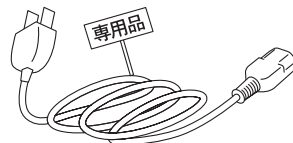
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターには触らないでください。



電源コードは本体付属品を
使用する



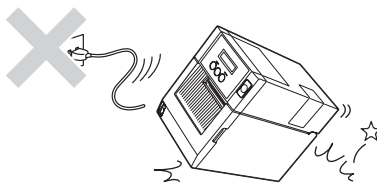
付属品以外の電源コードを使用すると、火災のおそれがあります。



プリンターを落としたり、
強い衝撃を与えたりしない



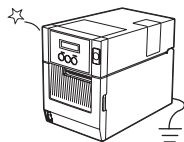
カバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。



必ずアース（接地）する



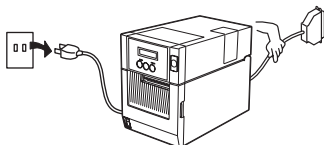
万一漏電した場合、火災・感電のおそれがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないでください。



移動するときは、電源コード
や他の接続コードを抜く



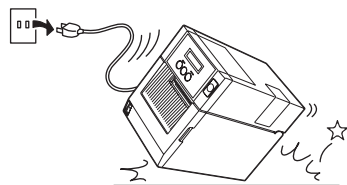
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



万一、本体を落としたり、
カバーなどを破損した場合は、
電源プラグをコンセントから抜き、
お買い上げの販売店に連絡する



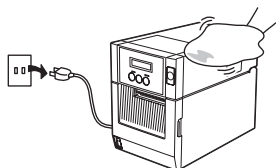
そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。



お手入れの際は、電源プラグ
をコンセントから抜く



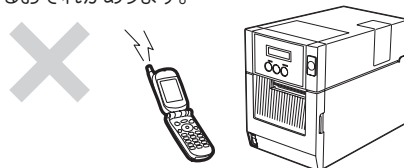
感電の原因となるおそれがあります。



プリンターの近くで携帯電話
等を使用しない



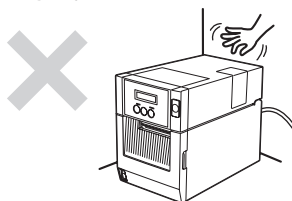
携帯電話、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンターの近くで使用しないでください。プリンターが異常動作するおそれがあります。



電源プラグに手が届きやすい
場所に置く



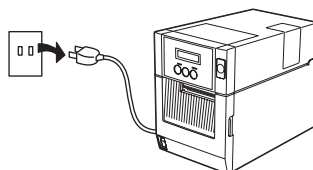
プリンターの電源スイッチをOFFにしても、電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります。万一の事故に備えてコンセントに接続した電源プラグにすぐ手が届くようにしてください。



長期間使用しないときは
電源プラグを抜く



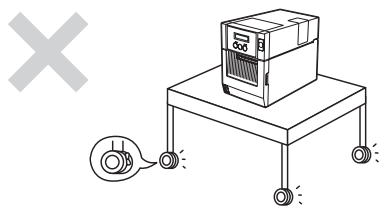
連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体の電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります（電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります）。



キャスター付きの台に
設置したときは、必ず
キャスター止めをする



動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



リボンをなめたり
しない



リボンはお子様の手が届かない所に保管してください。インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。

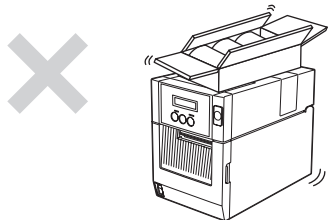
万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。



プリンターの上に重い物を
置かない



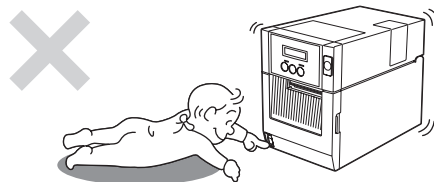
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



本プリンターを子供に使わ
せたり、幼児の手の届く
ところに置たりしない



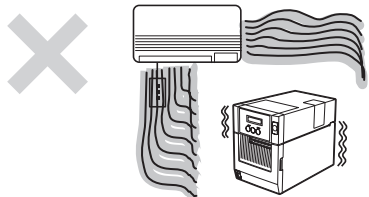
感電・けがの原因となるおそれがあります。



冷気が直接当たる場所に
プリンターを置かない



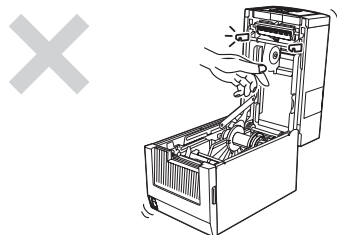
露がつき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



左右のトップカバー固定
フックに手などをぶつけない



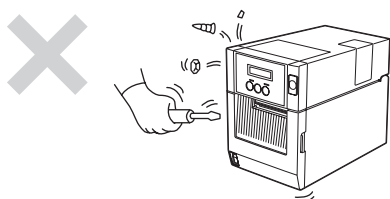
けがの原因となるおそれがあります。



本書で指定する箇所以外の
カバーの開閉、点検、清掃、
消耗品の交換などはしない



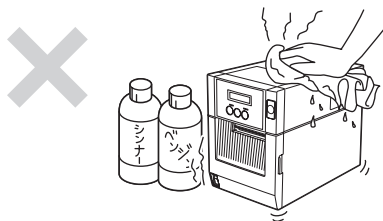
感電・けがの原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの
薬品類で本プリンターを
拭かない



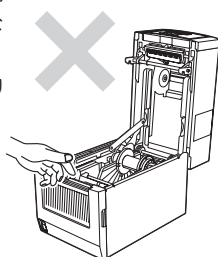
火災の原因となるおそれがあります。



カッター部には手を
触れない



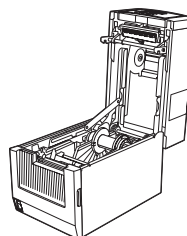
カッターモジュールのカッター
またはハクリモジュールに付属
のカッターのエッジ部に触れな
いでください。
けがの原因となるおそれがあり
ます。



トップカバーやリボン
カバーは後側へ倒すように
全開にする



中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの
原因となるおそれがあります。



1章

初めてお使いになるとき

この章では、プリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピューターに接続するまでを以下の手順で説明します。

1	設置場所を用意する	→10ページ
2	箱の中身を確認する	→12ページ
3	各部の名前と機能をおぼえる	→15ページ
4	保護用部品を取り除く	→23ページ
5	転倒防止ストッパーを取り付ける	→24ページ
6	リボンを取り付ける	→25ページ
7	用紙をセットする	→28ページ
8	用紙検出センサーの位置を調整する	→37ページ
9	電源コードを接続する	→40ページ
10	電源をONにする（OFFにする）	→42ページ
11	センサーの調整をする	→44ページ
12	テスト印刷をする	→46ページ
13	コンピューターに接続する	→48ページ
14	ネットワークの設定をする	→51ページ

✓ チェック

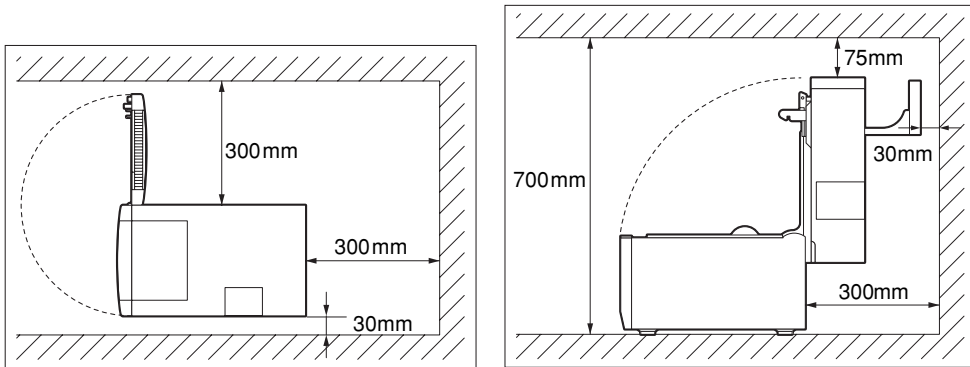
- オプションの「カッターモジュール」や「ハクリモジュール」を併せて購入した場合も、いったんここに示す手順に従って標準装備の状態でセットアップを完了してからオプションの取り付けを行ってください。
- MultiCoder 500M3MC/500M3PGには標準でカッターモジュールが装着されています。
MultiCoder 500M3MS/500M3PSには標準でハクリモジュールが装着されています。

1 設置場所を用意する

設置にふさわしい場所を用意してください。また、ここでは設置準備および日常の運用の際に本プリンターを正しく安全に動作させるための注意事項も記載しています。

本体の設置について

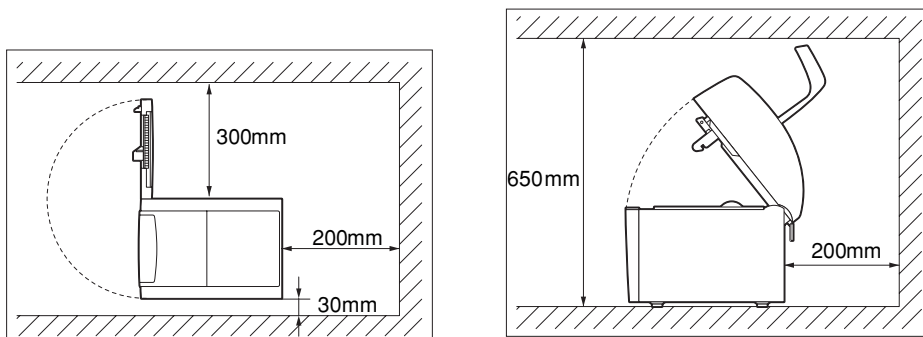
本プリンターを操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平らで水平な場所に本プリンターを設置してください。また、本プリンターの周辺には、下図のような空間を確保してください。



プリンター上面

プリンター右側面

MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS



プリンター上面

プリンター右側面

MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS

⚠ 注意

次のような場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因となるおそれがあります。

- 直射日光が当たる場所
- 高温、多湿な場所
- 急激な温度変化がある場所
- 振動のある場所
- ほこりが多い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 火気や水気に近い場所
- 不安定な台の上

🔑 重要

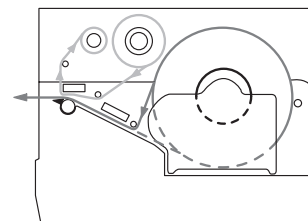
油や溶剤が付着するような場所に本プリンターを設置しないでください。カバーなどのプラスチック部品が割れたり、劣化したりする原因となります。

正しく使用するために

本プリンターを正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

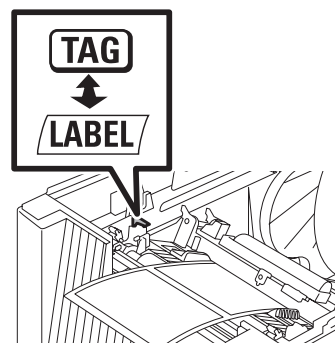
- 印刷した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。印刷内容の判読不能の原因となります。印刷面の定着性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合があるため、消耗品はNEC指定品を使用することを推奨します。
- リボンや用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色したリボンや用紙を使用すると、印刷品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類はNECの純正品（指定品）を使用してください。NECの純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。
- 使用済みリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。使用済みリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。法律上は「プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として分別処分してください。
- リボンの使用済み側には印刷の跡が残ります。リボンを廃棄される際は、個人情報としての取り扱いにご注意ください。
- リボン／用紙経路ステッカーについて
本体内部にはリボンと用紙の経路を図解したステッカーが貼り付けられています（「3 各部の名前と機能をおぼえる」の17ページまたは21ページを参照）。リボンや用紙のセットの際に参照してください。

リボン・用紙の装着方法



— リボン経路
— 用紙経路

- サーマルヘッド位置切り替えステッカーについて
本体内部には使用する用紙の種類や厚さによってサーマルヘッドの押し圧を切り替えるレバーの機能を示すラベルが貼り付けられています。詳しくは「3 各部の名前と機能をおぼえる」の18ページまたは22ページを参照してください。

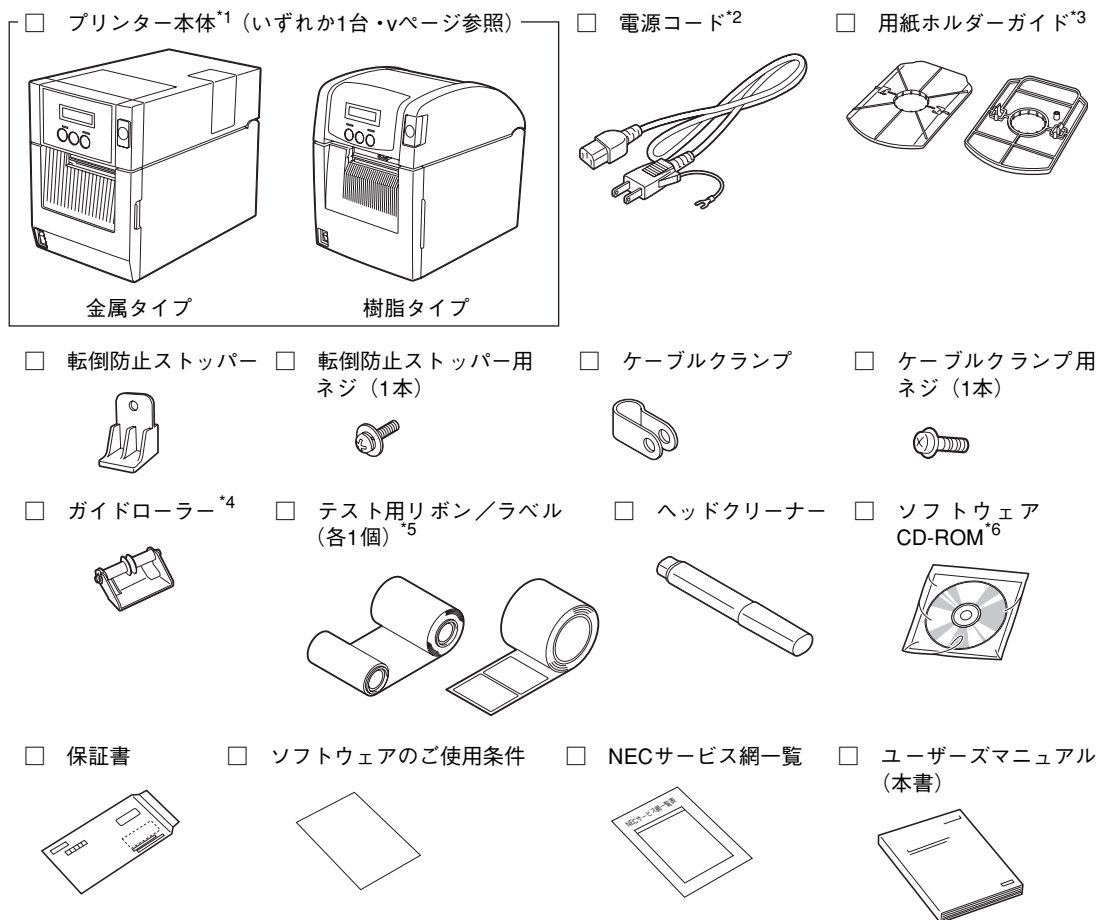


2 箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

✓ チェック

- プリンターとコンピューターを接続するプリンターケーブルは本プリンターには付属していません。プリンターケーブルは別途お買い求めください。プリンターケーブルについては5章の「オプションの紹介」(123ページ)をご覧ください。
- 梱包材(箱や緩衝材など)はプリンターを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。



*1 本体内に用紙ホルダーが装着済みです。用紙ホルダーはオプションとして別途購入することもできます。

*2 本プリンター以外の用途には絶対にご使用にならないでください。

*3 樹脂タイプのみ添付されています。

*4 MultiCoder 500M3MS/500M3PSのみに標準で添付されています。

*5 テスト用のリボンとラベルは、開梱時の動作確認用としてご使用ください。

*6 CD-ROMには、プリンタードライバーおよびリモートパネル、「LabelStar Lite」、「BarStar Pro」のソフトウェアとオンラインマニュアルが収められています。

別売品

ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

オプションの詳しい説明については、5章「オプション」(123 ページ)をご覧ください。



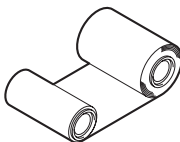
- コンピューター本体とプリンターの接続は、NEC指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファ、プリンター切替器、プリンター共有器などを使用すると、プリンターの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合は別売のネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピューターについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。
インターネットのWebページ： NEC 8番街 (<http://nec8.com/>)

消耗品

リボン

熱転写をする際に使用する黒色のリボンです。

詳しくは「リボン一覧」(14 ページ)を参照してください。

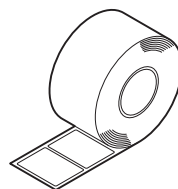


用紙

本プリンターで使用できる用紙です。

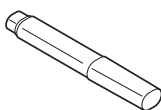
用途に応じたさまざまな用紙を用意しています。

詳しくは「用紙一覧」(14 ページ)をご覧ください。



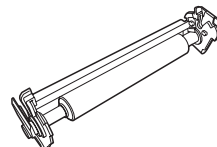
ヘッドクリーナー (型番 PR-T500M3-TC01)

本プリンターのサーマルヘッドを清掃するためのペンです。プリンターに1本標準で添付されています。



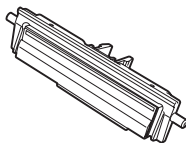
ブラテンブロック (型番 PR-T500M3-PB01)

用紙の押さえと用紙送りをする機構部品です。



サーマルヘッドブロック (型番 PR-T500M3-TH01)

印刷するための機構部品です。



- 本プリンターはNECが指定する消耗品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つためにリボンは使用期限内にお使いください。

リボン一覧

お客様の仕様に合わせた対応もできます。お買い求めの販売店にご相談ください。

品名	型番	仕様	備考
ワックスリボン40	PR-T500-111S	幅：40mm×長さ：300m	各2個入り。 耐性は低いですが、高感度でコストが安いリボン。
ワックスリボン60	PR-T500-112S	幅：60mm×長さ：300m	
ワックスリボン90	PR-T500-113S	幅：90mm×長さ：300m	
ワックスリボン110	PR-T500-114S	幅：110mm×長さ：300m	
ワックスレジンリボン40	PR-T500-411S	幅：40mm×長さ：300m	各2個入り。 ワックスより耐性が高く、印刷品位の高いリボン。
ワックスレジンリボン60	PR-T500-412S	幅：60mm×長さ：300m	
ワックスレジンリボン90	PR-T500-413S	幅：90mm×長さ：300m	
ワックスレジンリボン110	PR-T500-414S	幅：110mm×長さ：300m	
レジンリボン40	PR-T500-711S	幅：40mm×長さ：300m	各2個入り。 耐性、印刷品位に優れたリボン。
レジンリボン60	PR-T500-712S	幅：60mm×長さ：300m	
レジンリボン90	PR-T500-713S	幅：90mm×長さ：300m	
レジンリボン110	PR-T500-714S	幅：110mm×長さ：300m	

用紙一覧

各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://nec8.com/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

印刷方式	品名	備考
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意していません。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	ユボ感熱	合成紙のラベルです。
熱転写	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	ユボ	合成紙のラベルです。
	白PET	PETフィルムのラベルです。
	銀PET	

ラベル／タグとリボンの適合表

下表は一般的な目安であり、ラベルの表面加工や使用条件によって異なるため、あらかじめ印刷品質を評価する必要があります。

紙 リボン	紙		
	コート・タグ	ユボ	白PET・銀PET
ワックスリボン	◎	×	×
ワックスレジンリボン	◎	◎	○
レジンリボン	×	○	◎

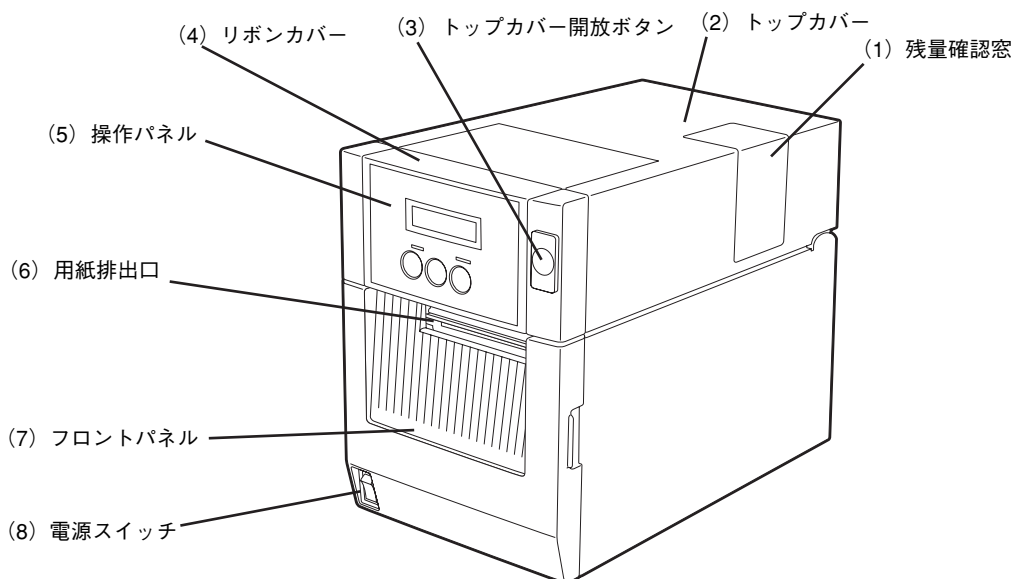
- ◎ 非常に適している
- 適している
- × 適していない

3 各部の名前と機能をおぼえる

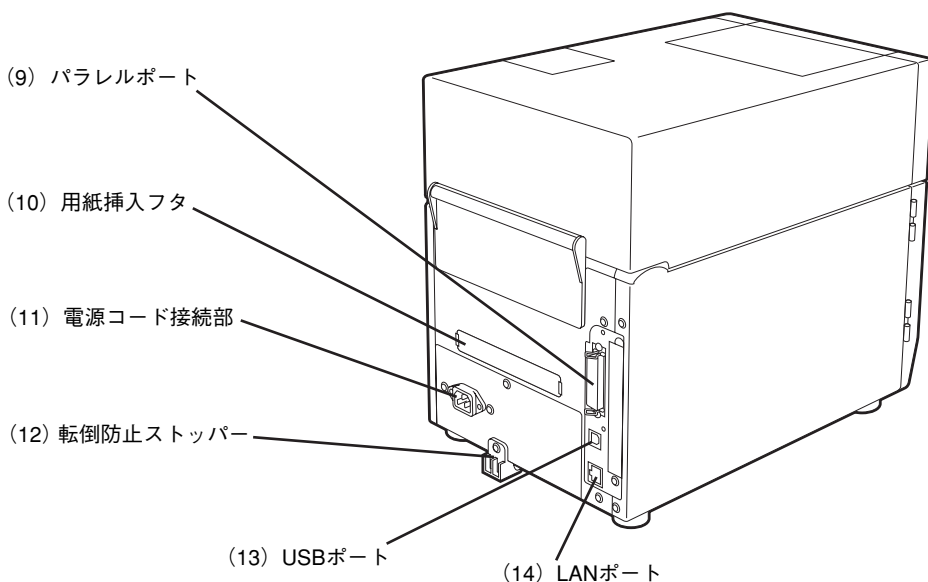
MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS

金属タイプについて説明します。樹脂タイプについては「MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS」(19ページ)を参照してください。

外 観



プリンター前面



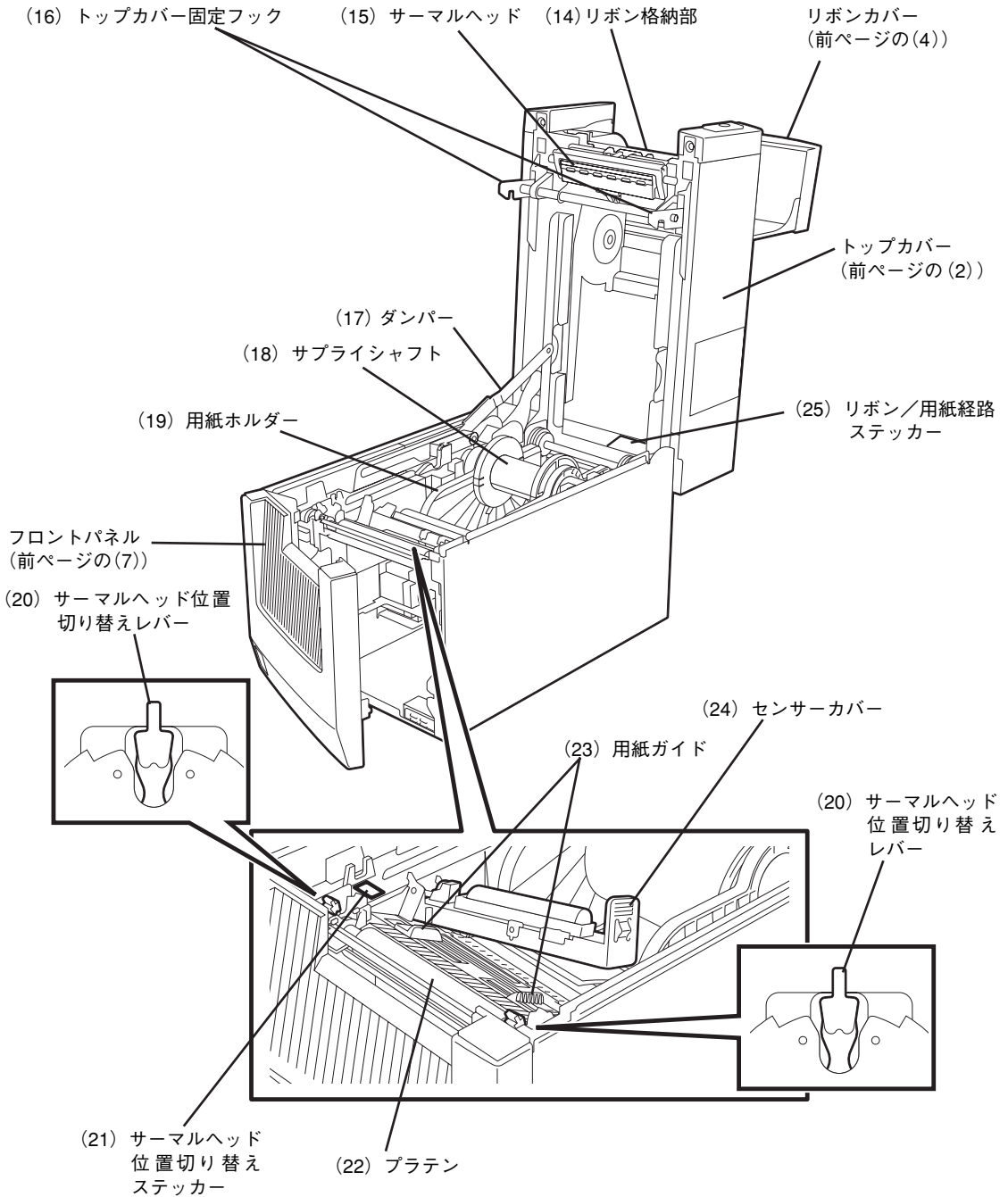
プリンター背面

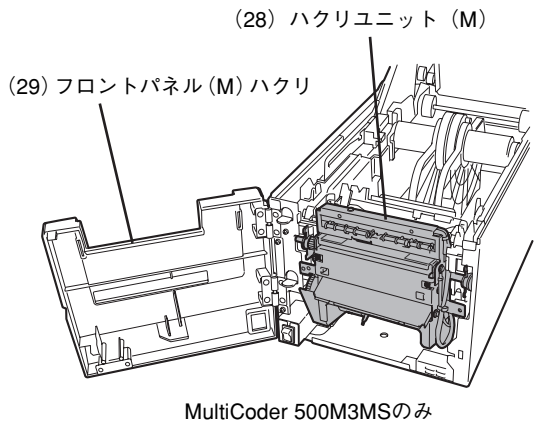
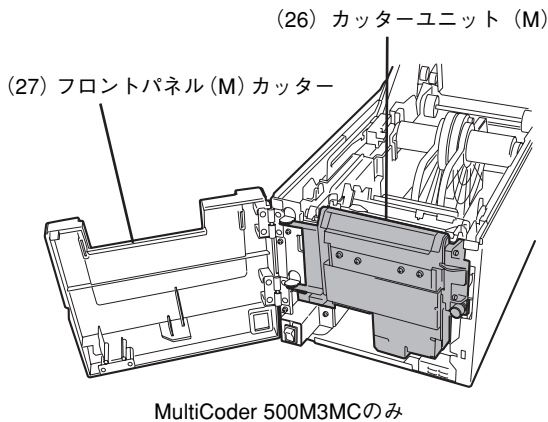
1
初めてお使いになるとき

部品名	機能
(1) 残量確認窓	用紙の残量を確認する窓です。
(2) トップカバー	用紙およびリボンを取り外すときや交換、紙づまりの処理をするときに開閉します。
(3) トップカバー開放ボタン	トップカバーを開けるときに押します。
(4) リボンカバー	リボンの取り外しや交換をするときに開閉します。
(5) 操作パネル	液晶ディスプレイと本プリンターの状態をあらわす2つのランプ、および本プリンターを操作する3つのスイッチがあります。
(6) 用紙排出口	印刷された用紙が出てくる場所です。
(7) フロントパネル	カッターモジュールやハクリモジュール取り付け・取り外しの際に開閉します（18ページを参照）。
(8) 電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 — : ON ○ : OFF
(9) パラレルポート	セントロニクス準拠のプリンターケーブルを接続するコネクタです。（36ピンアンフェノールコネクタ）
(10) 用紙挿入フタ	プリンター背面に設置したファンフォールド紙を内部へ給紙するための給紙口を塞いでいるフタです。
(11) 電源コード接続部	付属の電源コードを接続します。
(12) 転倒防止ストッパー	プリンターが転倒するのを防止する付属の部品です。
(13) USBポート	USBケーブルを接続するコネクタです。
(14) LANポート	LANケーブルを接続するコネクタです。

印刷機構部

1
初めてお使いになるとき





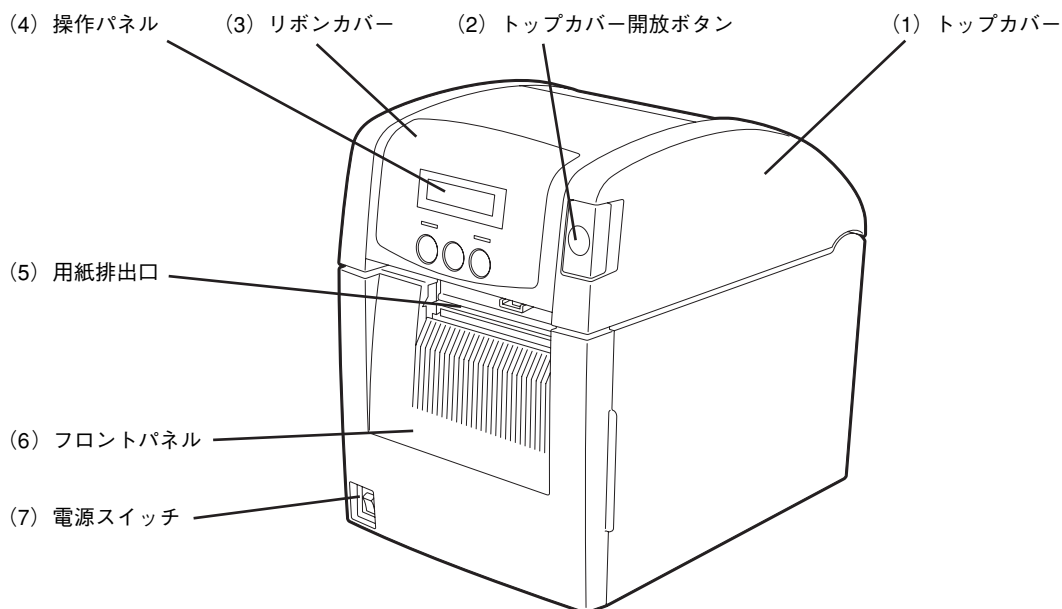
部品名	機能						
(14) リボン格納部	リボンをセットするところです。						
(15) サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。						
(16) トップカバー固定フック	トップカバーを固定するフックです。						
(17) ダンパー	トップカバーを固定します。						
(18) サプライシャフト	用紙を保持するための軸です。						
(19) 用紙ホルダー	用紙をサプライシャフトに保持するためのホルダーです。						
(20) サーマルヘッド位置切り替えレバー	セットした用紙の厚さに応じてサーマルヘッドの押し圧を切り替えるレバーです。						
(21) サーマルヘッド位置切り替えステッカー	サーマルヘッドの押し圧を切り替えるレバーの機能を図解したステッカーです。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レバーの位置</th> <th>用紙の種類または厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙</td> </tr> </tbody> </table>	レバーの位置	用紙の種類または厚さ		タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙		ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙
レバーの位置	用紙の種類または厚さ						
	タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙						
	ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙						
(22) プラテン	用紙を送ります。						
(23) 用紙ガイド	用紙を案内するガイドです。						
(24) センサーカバー	反射・透過センサーを保護するカバーです。						
(25) リボン/用紙経路ステッカー	リボンと用紙の経路を図解したステッカーです。						
(26) カッターユニット (M) * ¹	印刷した用紙をカットするユニットです。						
(27) フロントパネル (M) カッター* ¹	カッターユニット (M) の清掃や紙づまりの際に開きます。						
(28) ハクリユニット (M) * ¹	印刷した用紙を台紙から剥離する機能を持つユニットです。						
(29) フロントパネル (M) ハクリ* ¹	ハクリユニット (M) の清掃や紙づまりの際に開きます。						

*¹ 標準モデル (MultiCoder 500M3M) を購入した場合はオプション品となります。

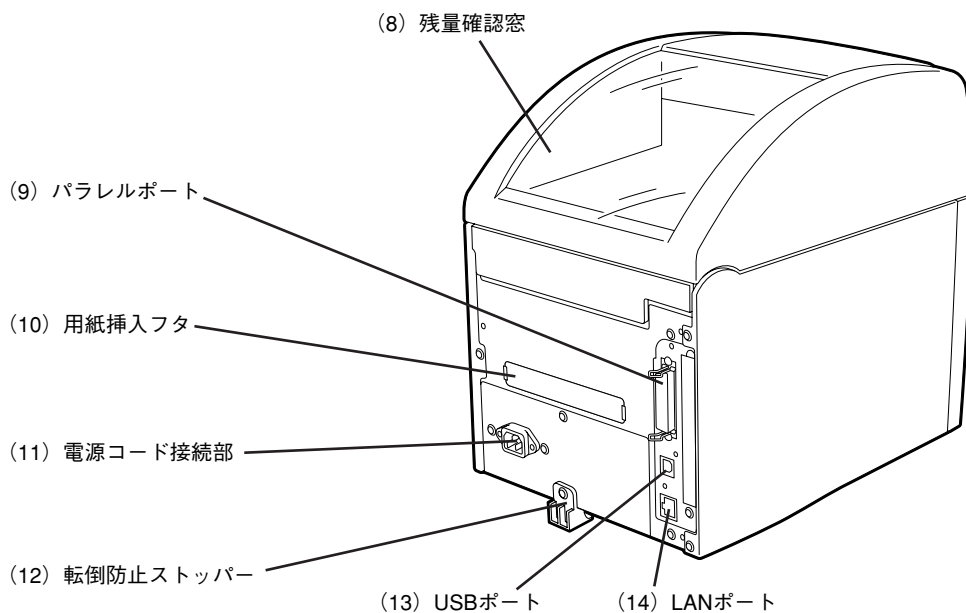
MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS

樹脂タイプについて説明します。金属タイプについては「MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS」(15ページ)を参照してください。

外 観



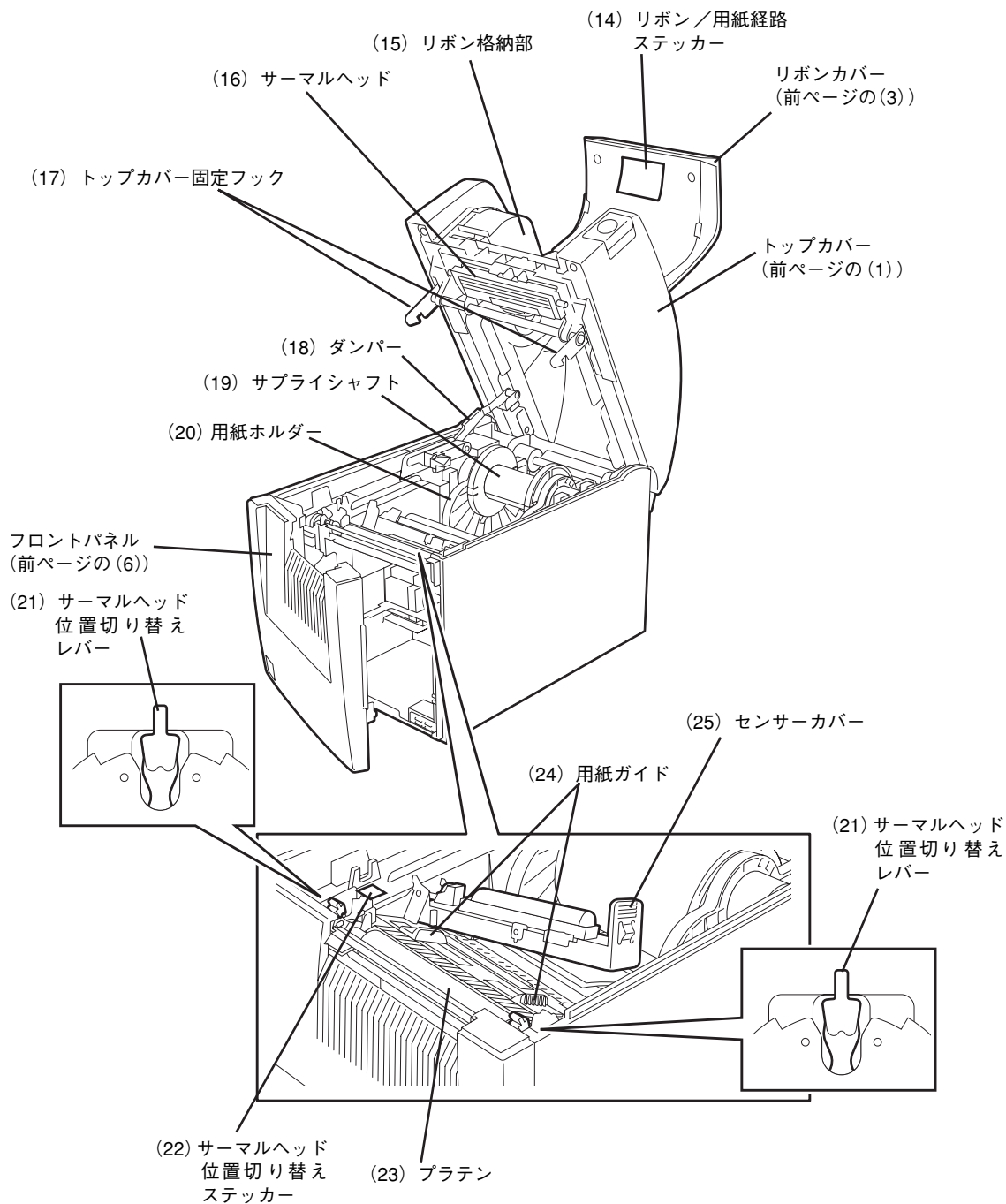
プリンター前面



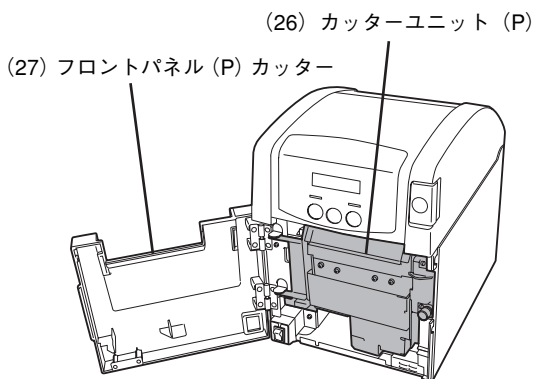
プリンター背面

部品名	機能
(1) トップカバー	用紙およびリボンを取り外すときや交換、紙づまりの処理をするときに開閉します。
(2) トップカバー開放ボタン	トップカバーを開けるときに押します。
(3) リボンカバー	リボンの取り外しや交換をするときに開閉します。
(4) 操作パネル	液晶ディスプレイと本プリンターの状態をあらわす2つのランプ、および本プリンターを操作する3つのスイッチがあります。
(5) 用紙排出口	印刷された用紙が出てくるところです。
(6) フロントパネル	カッターモジュールやハクリモジュール取り付け・取り外しの際に開閉します（22ページを参照）。
(7) 電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 — : ON ○ : OFF
(8) 残量確認窓	用紙の残量を確認する窓です。
(9) パラレルポート	セントロニクス準拠のプリンターケーブルを接続するコネクタです。（36ピンアンフェノールコネクタ）
(10) 用紙挿入フタ	プリンター背面に設置したファンフォールド紙を内部へ給紙するための給紙口を塞いでいるフタです。
(11) 電源コード接続部	付属の電源コードを接続します。
(12) 転倒防止ストッパー	プリンターが転倒するのを防止する付属の部品です。
(13) USBポート	USBケーブルを接続するコネクタです。
(14) LANポート	LANケーブルを接続するコネクタです。

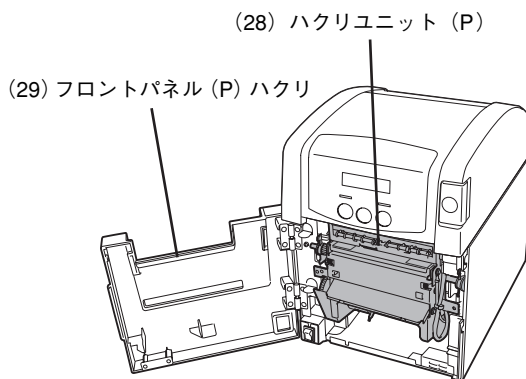
印刷機構部



1
初めてお使いになるとき



MultiCoder 500M3PCのみ



MultiCoder 500M3PSのみ

部品名	機能						
(14) リボン／用紙経路ステッカー	リボンと用紙の経路を図解したステッカーです。						
(15) リボン格納部	リボンをセットするところです。						
(16) サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。						
(17) トップカバー固定フック	トップカバーを固定するフックです。						
(18) ダンパー	トップカバーを固定します。						
(19) サプライシャフト	用紙を保持するための軸です。						
(20) 用紙ホルダー	用紙をサプライシャフトに保持するためのホルダーです。 用紙幅が100mm以下で、紙管の内径が38、40、または42mmの用紙をセットする場合は付属の用紙ホルダーガイドを取り付けます。						
(21) サーマルヘッド位置切り替えレバー	セットした用紙の厚さに応じてサーマルヘッドの押し圧を切り替えるレバーです。						
(22) サーマルヘッド位置切り替えステッカー	サーマルヘッドの押し圧を切り替えるレバーの機能を図解したステッカーです。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レバーの位置</th> <th>用紙の種類または厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TAG</td> <td>タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙</td> </tr> <tr> <td>LABEL</td> <td>ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙</td> </tr> </tbody> </table>	レバーの位置	用紙の種類または厚さ	TAG	タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙	LABEL	ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙
レバーの位置	用紙の種類または厚さ						
TAG	タグ紙または0.15mm以上の厚い用紙						
LABEL	ラベル紙または0.15mm未満の薄い用紙						
(23) プラテン	用紙を送ります。						
(24) 用紙ガイド	用紙を案内するガイドです。						
(25) センサーカバー	反射・透過センサーを保護するカバーです。						
(26) カッターユニット (P) *1	印刷した用紙をカットするユニットです。						
(27) フロントパネル (P) カッター *1	カッターユニット (P) の清掃や紙づまりの際に開きます。						
(28) ハクリユニット (P) *1	印刷した用紙を台紙から剥離する機能を持つユニットです。						
(29) フロントパネル (P) ハクリ *1	ハクリユニット (P) の清掃や紙づまりの際に開きます。						

*1 標準モデル (MultiCoder 500M3P) を購入した場合はオプション品となります。

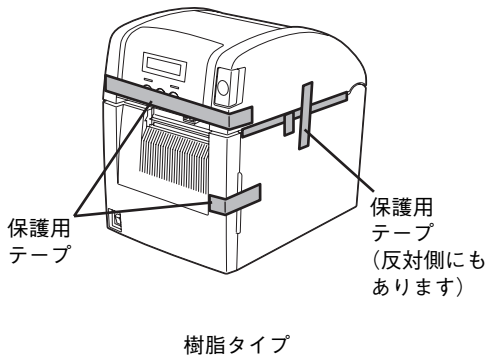
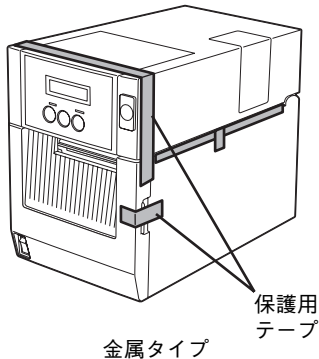
4 保護用部品を取り除く

プリンター本体には運搬時の衝撃からプリンターを守るためにテープが貼り付けられています。また印刷機構部には保護紙が差し込まれています。これらはプリンターを使用するときは必要ありません。

- ① プリンターを箱から取り出した後、保護用テープを取り除く。

金属タイプ：2か所

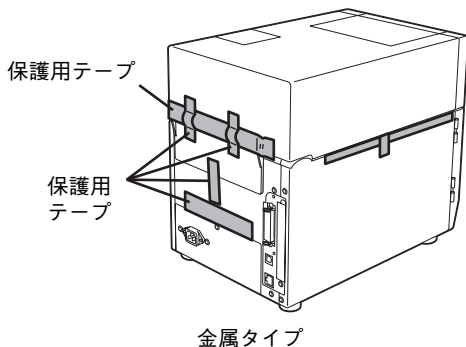
樹脂タイプ：4か所



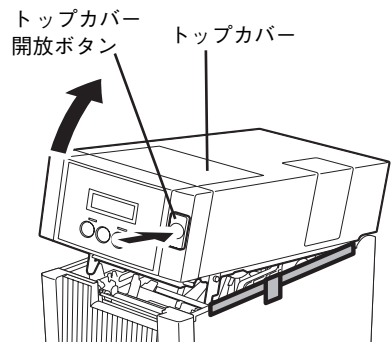
- ② プリンター背面にある保護用テープを取り除く。

金属タイプ：5か所

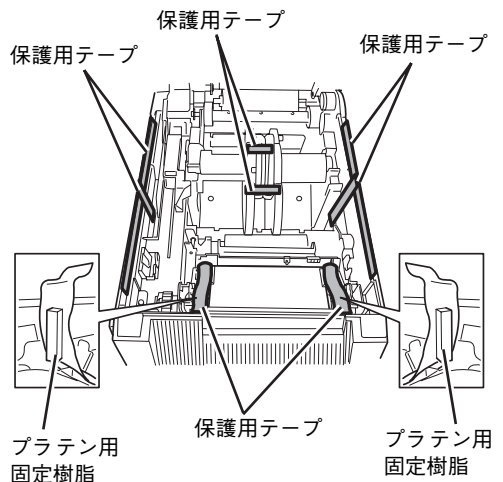
樹脂タイプ：1か所



- ③ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

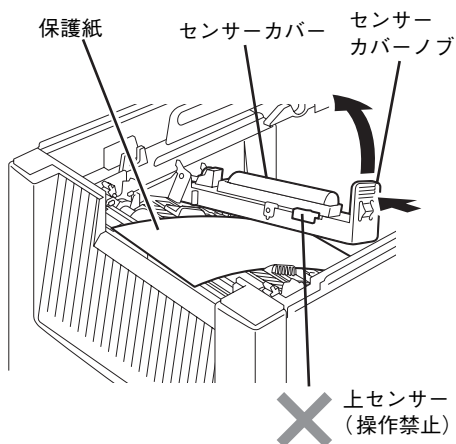


- ④ 図に示す保護用テープ（8か所）と2つのプラテン用固定樹脂を取り除く。



1 初めてお使いになるとき

- ⑤ センサーカバーノブをつまみ、左に押しなが
ら引き上げてセンサーカバーを左側に全開に
する。

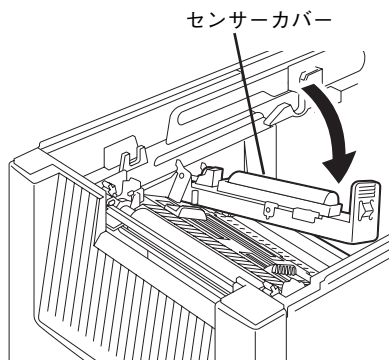


重要

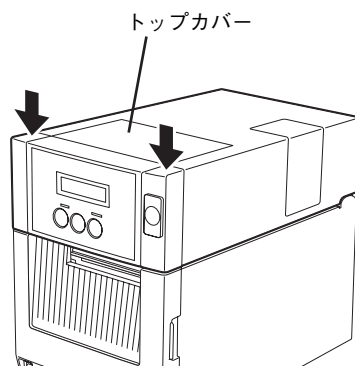
センサーカバーを開いている間は上図に示
す上センサーを動かさないでください。セ
ンサーを動かすことでセンサーケーブルが
ゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み
故障の原因となります。

- ⑥ 保護紙を取り除く。

- ⑦ センサーカバーを静かに下ろし、「カチッ」
と音がするまで押しして確実に閉める。

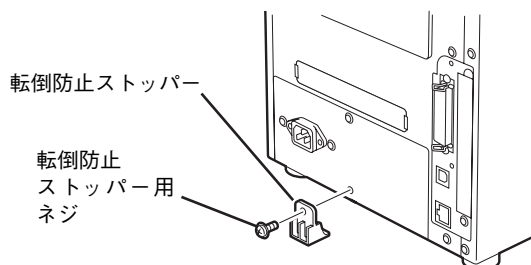


- ⑧ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー
前部を同時に両手で「カチッ」と音がするま
で押しして確実に閉める。



5 転倒防止ストッパーを取り付ける

プリンターの転倒を防止するための部品を取り付け
ます。
プリンター背面に図のように転倒防止ストッパーを
つけて、添付の転倒防止ストッパー用ネジ（1本）で
固定してください。



注意

金属タイプでは必ず転倒防止ストッパーを取り付けてください。取り付けがないと、トップカ
バーを勢いよく後方に開いたときなどにプリンターが転倒するおそれがあります。

6 リボンを取り付ける

本プリンターは熱転写と感熱という2種類の印刷方式に対応しています。

熱転写方式とは、サーマルヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印刷方式です。感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙にサーマルヘッドで熱を加え、発色させる印刷方式です。

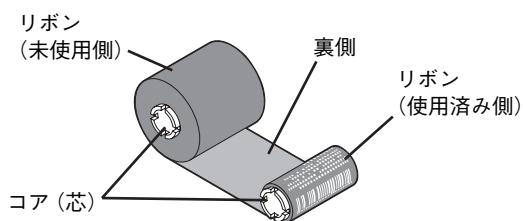
本プリンターに取り付けることのできるリボンについては「リボン一覧」(14ページ)を参照してください。また使用する用紙とリボンの適合については「ラベル/タグとリボンの適合表」(14ページ)を参照してください。ここでは、初めて本プリンターにリボンを取り付ける手順について説明します。

⚠ 注意

- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

🔑 重要

- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、リボンはNEC指定品を使用することを推奨します。
- 感熱方式で印刷するときは、リボンを取り付けしないでください。リボンを取り付けて印刷した場合、サーマルヘッドが破損したり、サーマルヘッドに溶けたリボンが付着し、サーマルヘッドの交換(有償)が必要になります。
- リボンには裏と表(インク面)がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換(有償)が必要になります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側/使用済み側の見分け方は、下図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- リボン幅と用紙幅の差が大きい場合、シワが発生するおそれがあります。下表を参考に用紙幅に合ったリボンを使用してください。

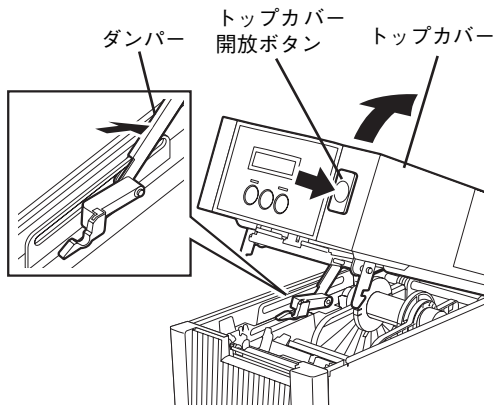


リボン幅	対応可能な用紙幅
40mm	25~35mm
60mm	25~55mm
90mm	55~85mm
110mm	85~105mm

✓ チェック

- NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- リボンから用紙に転写される面積が大きい場合、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの「ネガイメージ」を選択して印刷する際はご注意ください。
- 使用後のインクリボンに残る印刷内容について弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。お客様のご判断で廃棄願います。

- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ約45°ほど開き、ダンパーの中央部を押してレールの凹部にダンパーの根元を押し込み、トップカバーをロックする。



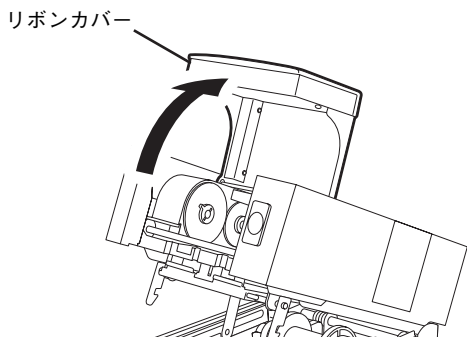
✓ チェック

- 用紙およびリボンの経路図ラベルが本体内に貼り付けられています（「3 各部の名前と機能をおぼえる」の18ページまたは22ページを参照）。参考にしてください。



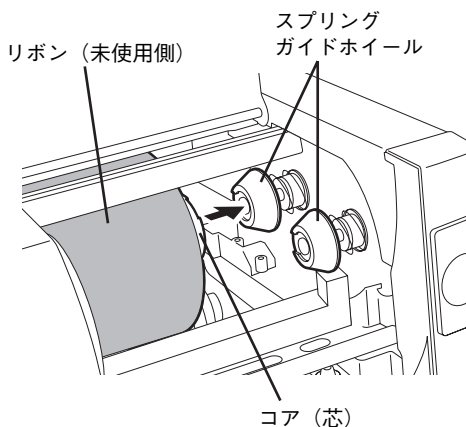
- 改良のため予告なく部品形状の一部を変更することがあります。

- ② リボンカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

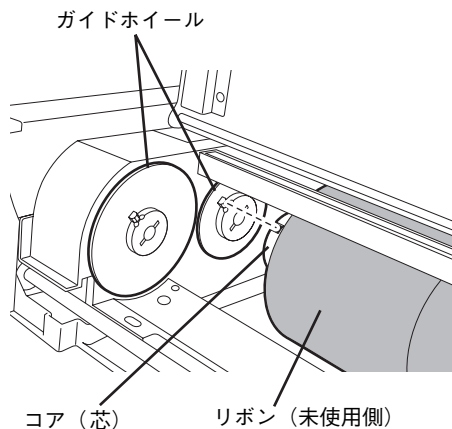


- ③ 未使用側（径の太い方）のリボンを、後方（下部）のガイドホイールとスプリングガイドホイールの間に取り付ける。

- ① トップカバーの下からリボンを持って下図のように未使用側リボンの右側のコア（芯）をスプリングガイドホイールに押し当てます。



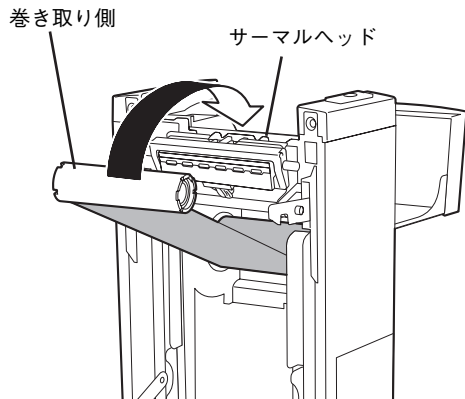
- ② 左側のコア（芯）をガイドホイールにセットし、ガイドホイールの凸部とコアの凹部をしっかりと合わせます。



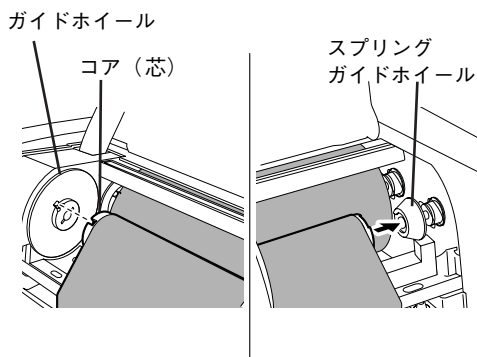
🔑 重要

- リボンは巻きが乱れやすく広がりやすいため、取り付けるときは手でしっかり持ってください。
- リボンのインクが手に付着したときは、せっけんで手を洗ってください。インクには有害物質を含んでいないため、人体には無害です。

- ④ 巻き取り側（径の細い方）はサーマルヘッドの下をくぐらせる。

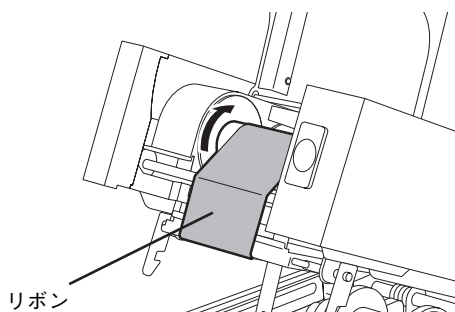


- ⑤ 巻き取り側も同様に手前（上部）のスプリングガイドホイールとガイドホイール間に取り付ける。

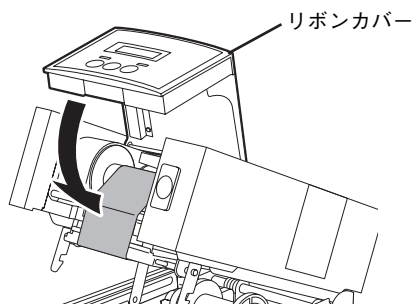


重要
左側のコア（芯）をガイドホイールにセットし、ガイドホイールの凸部とコアの凹部をしっかりとみ合わせてください。

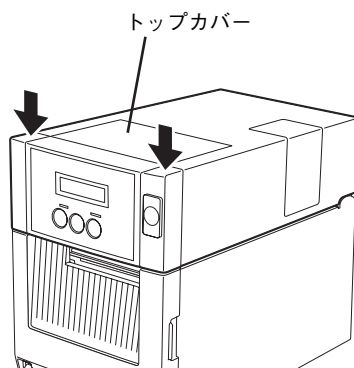
- ⑥ 巻き取り側のガイドホイールを矢印の方向へ回し、リボンのタルミヤシワを取り除く。



- ⑦ リボンカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで確実に閉める。



- ⑧ トップカバーを少し持ち上げてダンパーの押し込みを解除してから静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



以上で完了です。

重要
使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

7 用紙をセットする

ここでは、初めて本プリンターに用紙を取り付ける手順について説明します。

本プリンターではラベルとタグを使用することができます。用紙はNEC指定の純正品を推奨します（3章「用紙の取り扱いと印刷」（83 ページ）を参照）。

用紙の購入および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

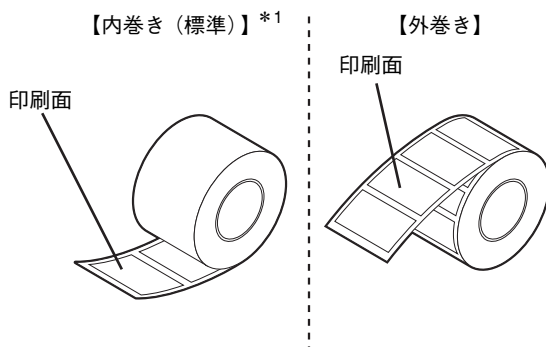
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

🔑 重要

- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品を使用することを推奨します。
- プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、3章「用紙長の自動補正（プレ印刷用紙）」（92 ページ）を参照して補正設定を行ってください。

✓ チェック

- 用紙には内巻きと外巻きがあり、その違いは下図のとおりです。本プリンターに使用する用紙は内巻きを推奨します。
- 用紙には熱転写用と感熱用のラベルおよびタグがあります（3章を参照）。
- 内径が38、40、42、および76.2mm(標準)の用紙が使用可能です。

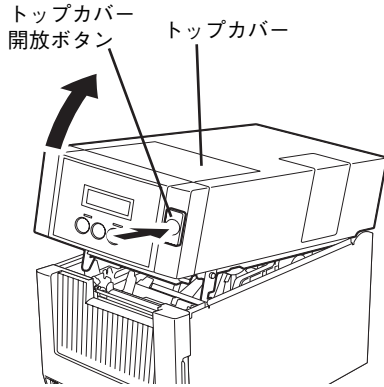


*1 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のはらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。

セットする用紙にあった手順を参照してください。

- 一般の用紙 次ページ
- 用紙幅・紙管の内径が小さい場合 32ページ
- ファンフォールド紙の場合 34ページ

- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



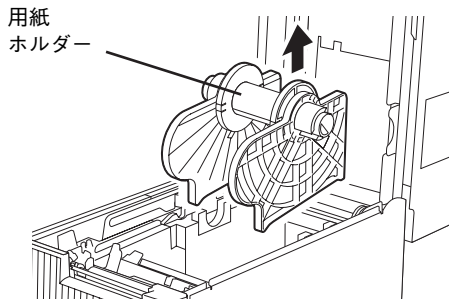
✓チェック

- 用紙およびリボンの経路図ラベルが本体内に貼り付けられています（「3 各部の名前と機能をおぼえる」の18ページまたは22ページを参照）。参考してください。



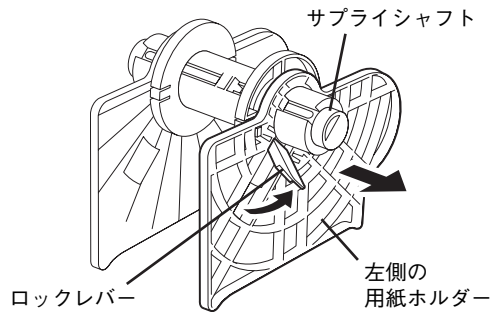
- 改良のため予告なく部品形状の一部を変更することがあります。

- ② 用紙ホルダーを取り出す。



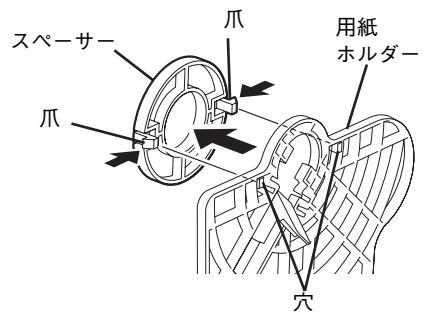
- ③ 左側の用紙ホルダー（緑色）が手前になるように持つ。

- ④ 左側の用紙ホルダーのロックレバーを解除し、サブライシャフトから左側の用紙ホルダーを取り外す。



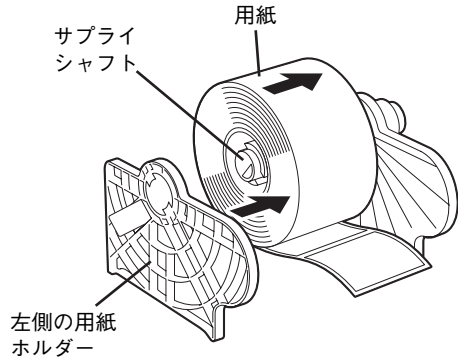
✓チェック

- 右側の用紙ホルダーは、サブライシャフトから取り外すことができません。
- 紙管の内径が38、40、または42mmの用紙を使用するときは、左右の用紙ホルダーからスペーサーを取り外してください。スペーサーは用紙ホルダー側の爪を内側に押しと外れます。取り外したスペーサーは、大切に保管してください。
- 取り付けるときは爪の近くの凸部を穴に合わせてください。



- 紙管の内径が76.2mm(標準)の用紙を使用するときは、スペーサーを取り外す必要がありません。

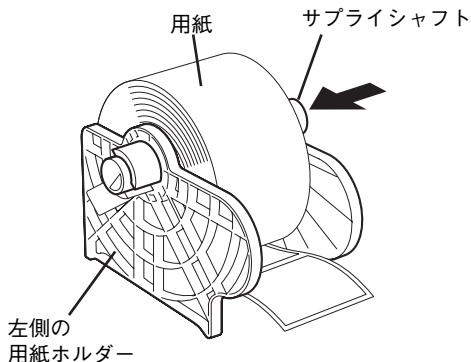
- ⑤ 用紙をサブライシャフトに通し、左側の用紙ホルダーをサブライシャフトにセットする。



重要

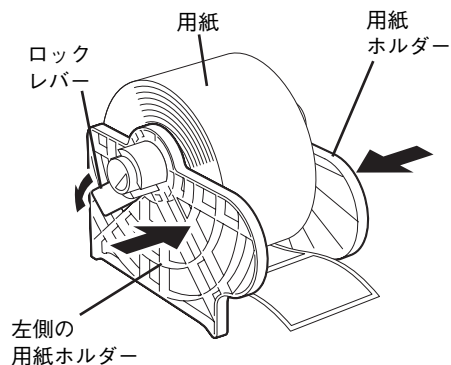
- 用紙の巻き方向に注意してセットしてください。逆にセットすると印刷されません。
- 用紙の先端は、ハサミでまっすぐに切りそろえてください。ラベルの場合は、ラベルとラベルの台紙部を切りそろえてください。

- ⑥ 左右の用紙ホルダーで用紙をしっかり挟んだ状態で、サブライシャフトを左側の用紙ホルダーの方向に止まるまで押す。



- ⑦ 左右の用紙ホルダーで用紙をしっかり挟んだ状態で、ロックレバーを倒して左側の用紙ホルダーを固定する。

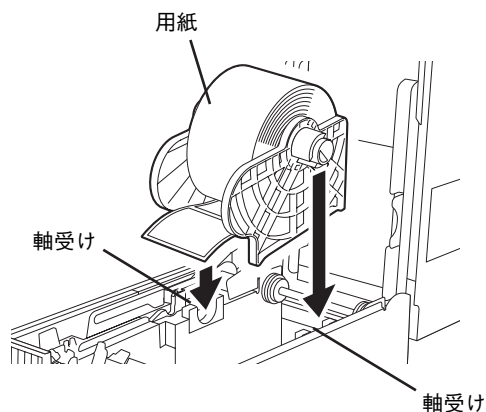
左右の用紙ホルダーで挟み込むと、用紙は自動的にサブライシャフトの中央にセットされます。



重要

用紙ホルダーと紙管にすき間がなく、しっかりはまっていることを確認してください。しっかりはまっていないと、蛇行や印刷不良の原因となります。

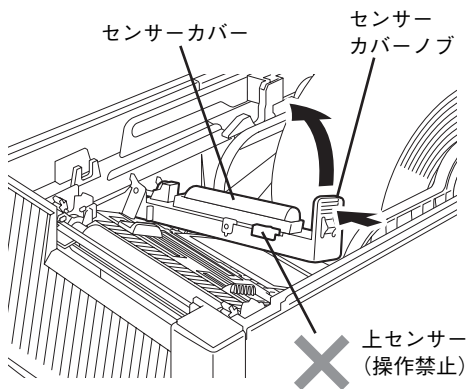
- ⑧ 用紙をセットした用紙ホルダーを用紙収納部の軸受けに載せる。



重要

- 左右を間違えないよう注意してください。
- 幅の広い用紙をセットしたときは、用紙の上部を両手で持って軸受けに乗せてください。軸を持つと、指を挟む原因となります。

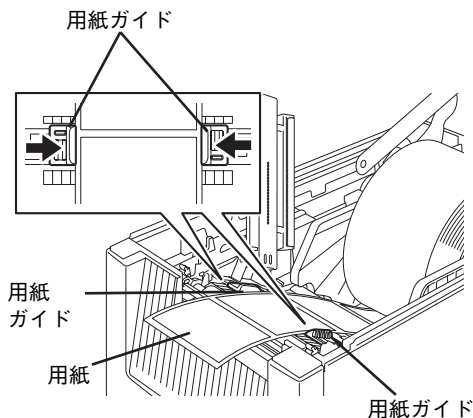
- 9 センサーカバーノブをつまみ、左に押しなが
ら引き上げてセンサーカバーを左側に全開に
する。



重要
センサーカバーを開いている間は上図に示
す上センサーを動かさないでください。セ
ンサーを動かすことでセンサーケーブルが
ゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み
故障の原因となります。

「8 用紙検出センサーの位置を調整する」(37ペー
ジ)で説明する手順をここで行うこともできま
すが、ここでは「用紙をセットする」という意味で次
の手順へ進み説明します。

- 10 用紙の先端が用紙印刷口より少し出る位置ま
で用紙を引き出し、左右の用紙ガイドを用紙
の幅にぴったり合わせる。

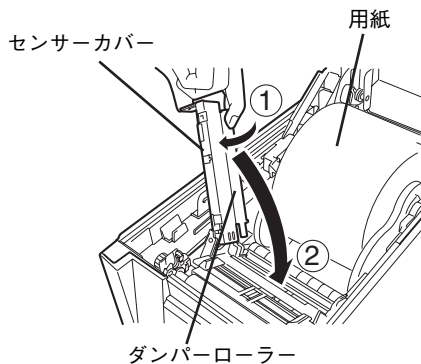


- チェック**
- 今まで使用していた用紙と同じ幅の用紙をセットしたとき、用紙ガイドを動かす必要はありません。
 - 別売のカッターモジュールやハクリモジュールを装着しているときは、5章に記載の説明も併せて参照しながら用紙をセットしてください。

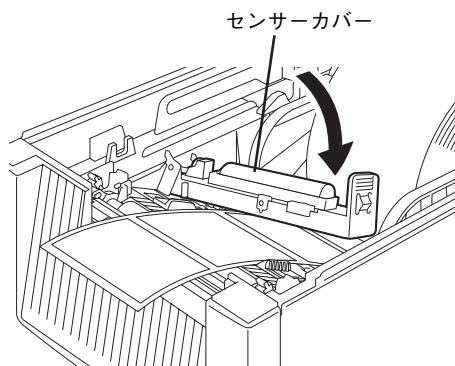
- 11 <径の大きい用紙を取り付けた場合>

ダンパーローラーを指で矢印方向に押さえながらセンサーカバーを閉じる。

径の大きな用紙を取り付けている場合、センサーカバーが用紙にぶつかることがあります。センサーカバーは精密な部品のため、センサーカバーが用紙にぶつかりそうなときは、破損させないためにもダンパーローラーを押しながら閉じてください。



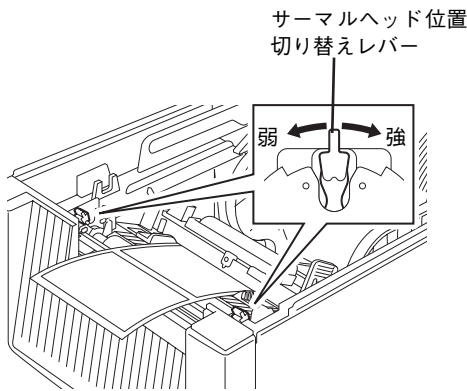
- 12 センサーカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



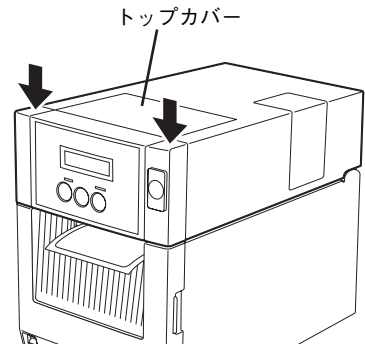


【サーマルヘッド位置切り替えレバーについて】

- セットした用紙の厚さに応じ、左右のヘッド位置切り替えレバーでサーマルヘッドの押し圧を切り替えます。
0.15mm以下の薄い用紙：押し圧弱（前方）
0.15mm以上の厚い用紙：押し圧強（後方）
- 左右のヘッド位置切り替えレバーを、真ん中付近に置かないでください。サーマルヘッドの位置決めシャフトが当たり、トップカバーが閉められなくなります。
- 左右のサーマルヘッド位置切り替えレバーは、必ず同じ方向にセットしてください。



- ⑬ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。

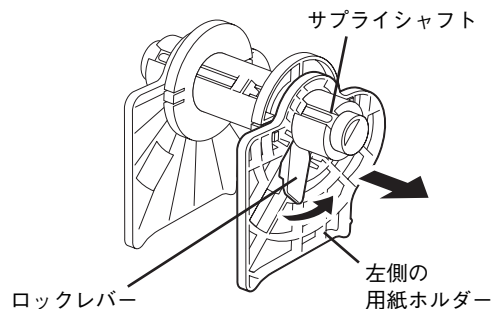


用紙幅・紙管の内径が小さい場合の取り付け方

ここに示す手順は樹脂タイプ（MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS）のみのもので、用紙幅が100mm以下で、紙管の内径が38、40、または42mmの用紙をセットする場合は添付の用紙ホルダーガイド（2個）を左右の用紙ホルダーに取り付けてから用紙をセットしてください。

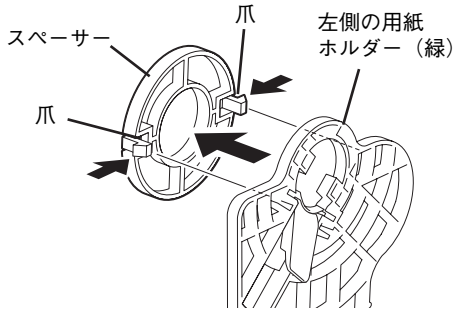
- ① 29ページの①から③を参照して用紙ホルダーをプリンターから取り出す。

- ② 左側の用紙ホルダーのロックレバーを解除し、サブライシャフトから左側の用紙ホルダーを取り外す。



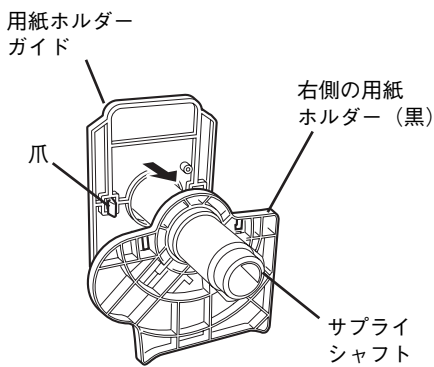
右側の用紙ホルダーは取り外せません。

- ③ 用紙ホルダー側の爪を内側に押し、スペーサーを取り外す。

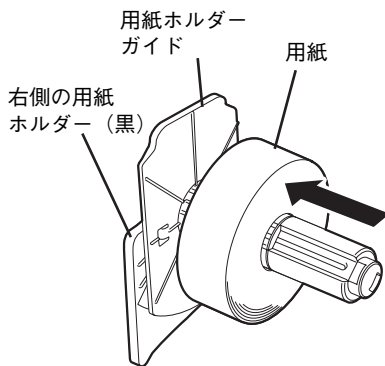


反対側のスペーサーも同様に爪を内側に押し、取り外してください。
取り外したスペーサーは、大切に保管してください。

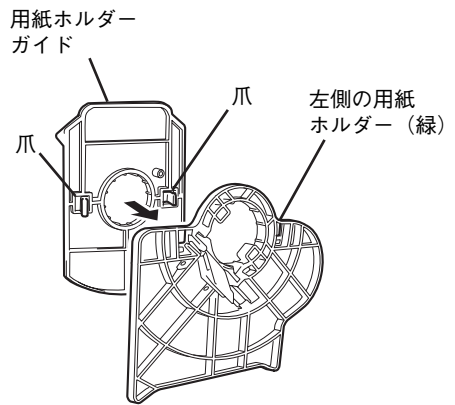
- ④ 右側の用紙ホルダーの爪穴に用紙ホルダーガイドの爪を「カチッ」と音がするまで押し、取り付けます。



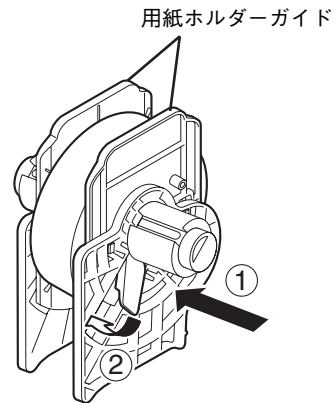
- ⑤ 用紙を入れる。



- ⑥ 左側の用紙ホルダーの爪穴に用紙ホルダーガイドの爪を「カチッ」と音がするまで押し、取り付けます。



- ⑦ 左右の用紙ホルダーガイドで用紙をしっかりと挟み、ロックレバーを倒して左側の用紙ホルダーを固定する。

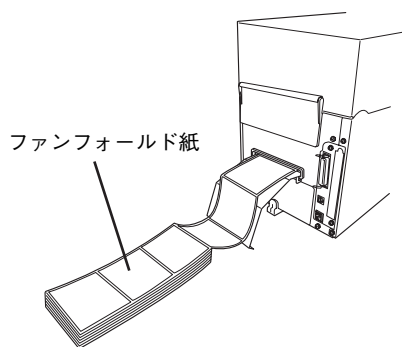


- ⑧ 30ページの⑧以降を参照して用紙ホルダーをプリンターに取り付けて用紙をセットする。

ファンフォールド紙の取り付け方

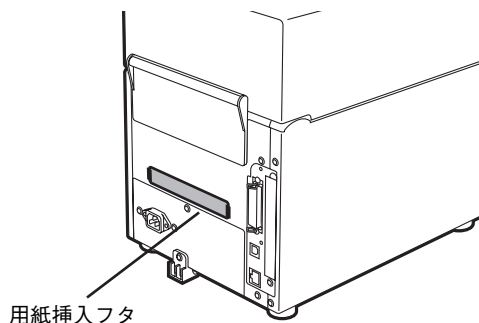
本プリンターにファンフォールド紙（折りたたまれた状態の用紙）を取り付ける手順について説明します。
用紙はプリンターの後方、外に設置して使用します。

本書では「金属タイプ」のイラストを使用して説明していますが、「樹脂タイプ」でも同じ要領で取り付けてください。



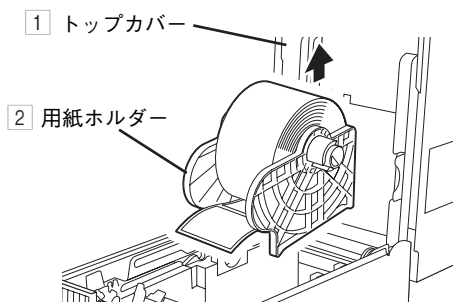
1 プリンター背面の用紙挿入口の状態を確認する。

工場出荷時では用紙挿入口が用紙挿入フタでふさがれた状態になっています。以降の手順に従って用紙挿入フタを取り付け直してください。



2 用紙挿入フタを取り外す。

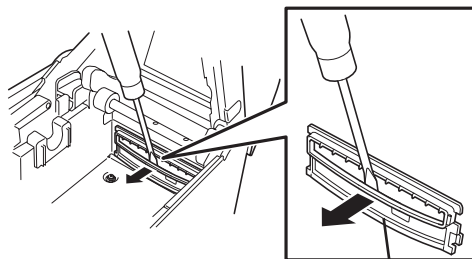
- 1 トップカバーを開け、用紙ホルダーをプリンターから取り出す。
- 2 用紙ホルダーに用紙を取り付けている場合は、用紙を取り外す。



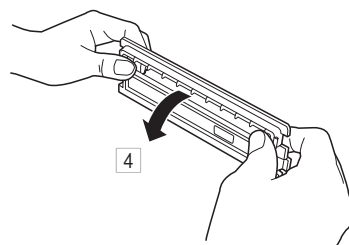
- 3 プリンター内側奥の用紙挿入フタの中央部分にマイナスドライバーなどを差し込み、手前にたわませながらフタを取り外す。

⚠ 注意

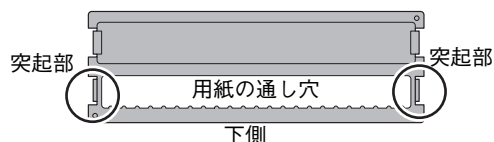
フタとプリンターのフレームに手を挟まないように注意してください。



- 4 取り出した用紙挿入フタの向きを変えて持つ。



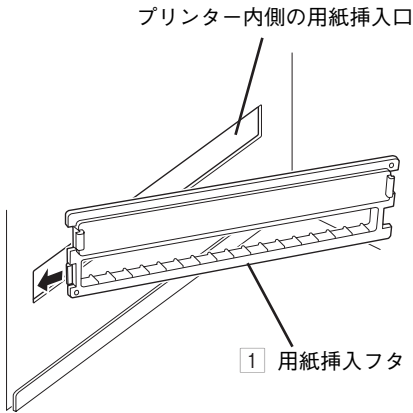
工場出荷時の向き
上側



取り付け直す際の向き

3 用紙挿入フタの口を用紙挿入口に合わせて取り付け直す。

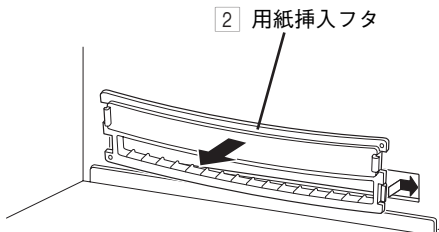
- 1 用紙挿入フタの左側の突起部をプリンターの左側に差し込む。



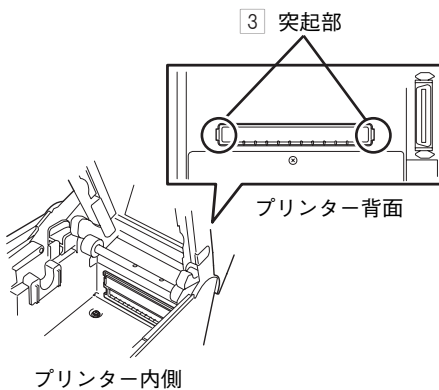
注意

フタとプリンターのフレームに手を挟まないように注意してください。

- 2 用紙挿入フタの中央部を手で手前にたわませて、フタの右側の突起部をプリンターの右側に差し込む。

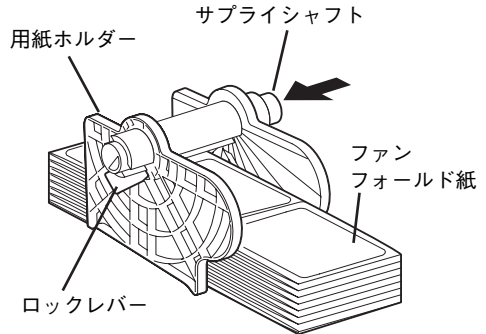


- 3 プリンター背面から用紙挿入フタの突起部がしっかりとプリンターに引っかかっていることを確認する。

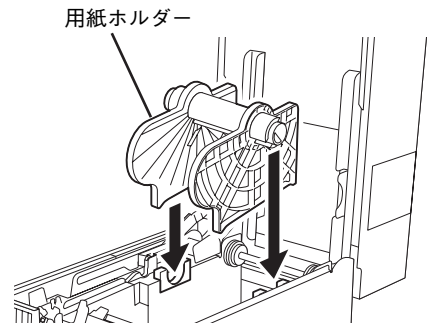


4 用紙ホルダーをファンフォールド紙の幅に調整する。

左右の用紙ホルダーで用紙をしっかりと挟んだ状態にして、サプライシャフトを左側の用紙ホルダーの方向に止まるまで押します。幅を調整したら、ロックレバーで用紙ホルダーを固定してください。

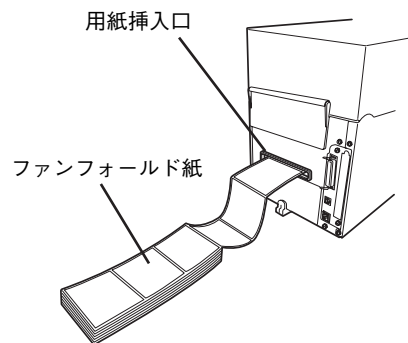


5 用紙ホルダーを用紙収納部の軸受けに載せる。



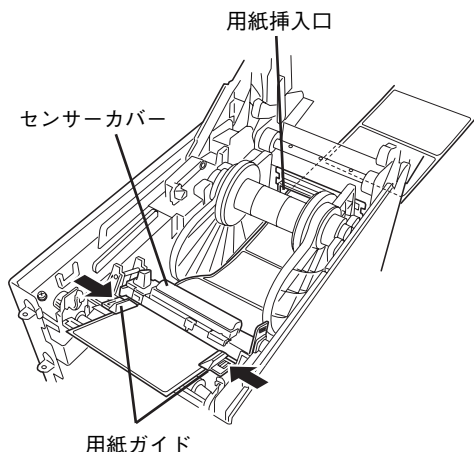
6 ファンフォールド紙をセットする。

プリンター背面の用紙挿入口にファンフォールド紙を通します。



7 ファンフォールド紙をプリンター前面に通す。

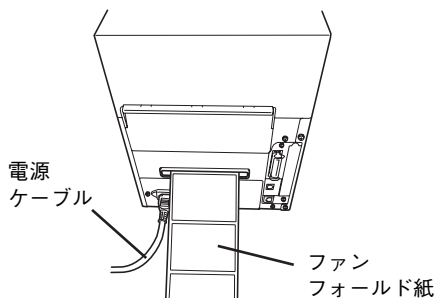
プリンター背面から挿入した用紙を用紙ホルダーの下側に沿わせ、センサーカバーの下を通してから用紙ガイドで用紙を左右から固定します。



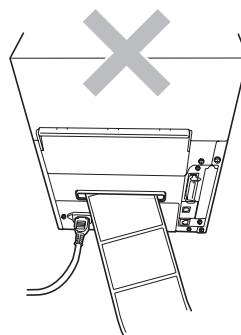
<ファンフォールド紙を置くときの注意>

ファンフォールド紙を置くときは次のことに注意してください。

- 電源ケーブルはファンフォールド紙のじゃまにならないように配置してください。
- 装置内の用紙ガイドに対してまっすぐになるように置いてください。



- プリンターに対して斜めに置かないでください。

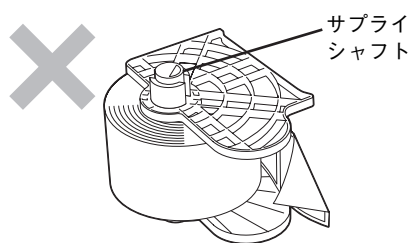
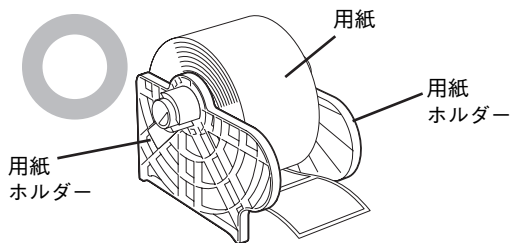


8 別売のペーパーテーブルを取り付ける場合は、5章「ペーパーテーブル」(151 ページ)を参照して取り付ける。

電源ケーブルがじゃまなときはオプションのペーパーテーブルを使用してください。

用紙をセットしたまま置く場合の取り扱いの注意

用紙ホルダーに用紙をセットした状態でプリンターから取り出して置く場合は、左右の用紙ホルダーが立つ方向で置いてください。左右の用紙ホルダーを横に倒して置くと、用紙の重さでサプライシャフトと用紙ホルダーをスライドさせる歯が破損する原因となります。



8 用紙検出センサーの位置を調整する

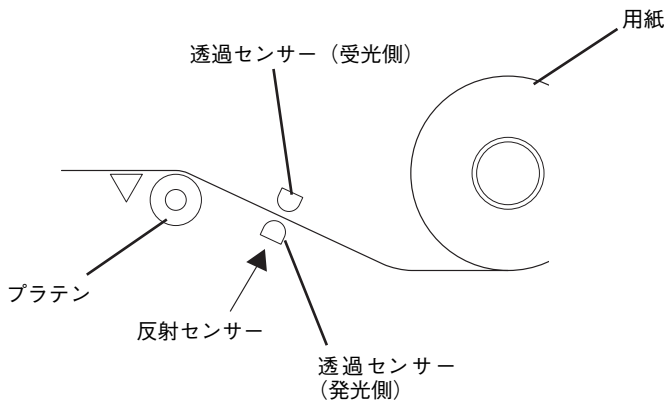
本プリンターには用紙を正しく紙送りするため、2種類の用紙検出センサーが装備されています。用紙検出センサーの位置は、使用する用紙のタイプに合わせて調整してください。用紙検出センサーを正しい位置に調整しないと、本プリンターは用紙を送ることができず、“カミオクリエラー****”をディスプレイに表示してエラーとなります。

⚠ 注意

- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因とおそれことがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

反射／透過センサーの位置関係と検出方法

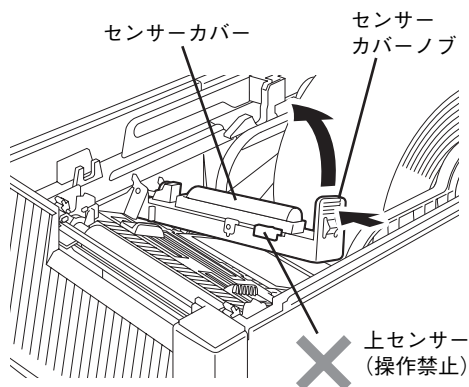
用紙検出センサーには、用紙の裏面に印刷された黒マークを検出する反射センサーと、ラベルとラベルのすき間（ギャップ）を検出する透過センサーがあります。センサーの位置は、右側の調整ノブを左右に動かして調整します。透過センサーの受光側と発光側のセンサーは、常に同じ位置に合わせておきます。



用紙の経路とセンサーの配置（断面図）

反射センサーの位置を調整する

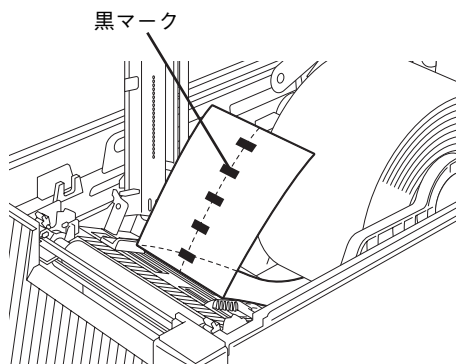
- 1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。
- 2 センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



重要

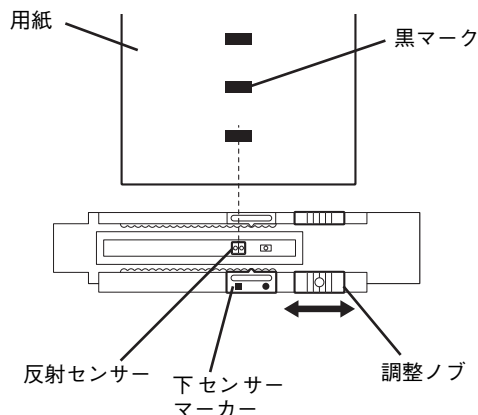
センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- 3 用紙を約15cmほど引き出し、黒マークが上を向くように用紙を折り返す。



- 4 調整ノブの穴にペン先を差し込んで動かし、黒マークの中心線上下にセンサーマーカの黒を合わせる。

調整ノブを動かすと、自動的に下センサーマーカも動きます。



下センサー（反射／透過センサー）は説明のため、上図に記載しています。

- 5 用紙を元に戻してセンサーカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。

重要

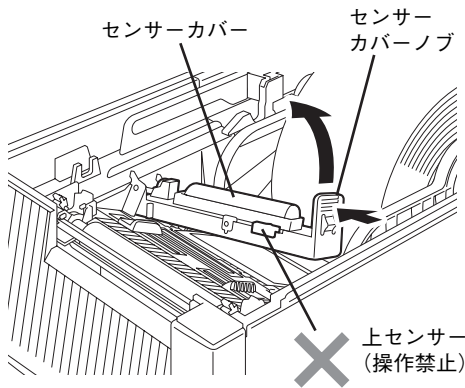
反射センサーの位置を調整した後、上下の透過センサーの位置が合っていることを確認してください。

上下のセンサー位置が合っていないと、用紙の終了が検出できなくなります。

- 6 トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。

透過センサーの位置を調整する

- 1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。
- 2 センサーカバーノブをつまみ、左に押しながらかき上げてセンサーカバーを左側に全開にする。

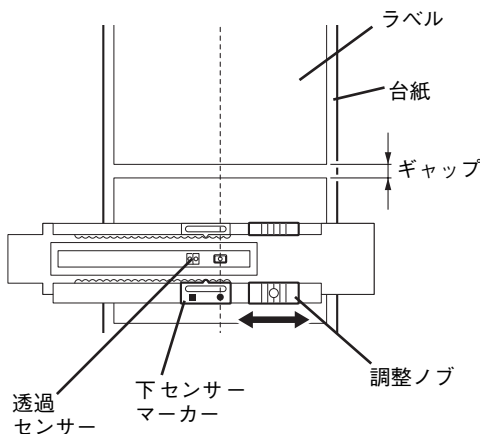


重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- 3 調整ノブの穴にペン先を差し込んで動かし、ギャップを確実に検出できる位置に下センサーマーカーの●を合わせる。

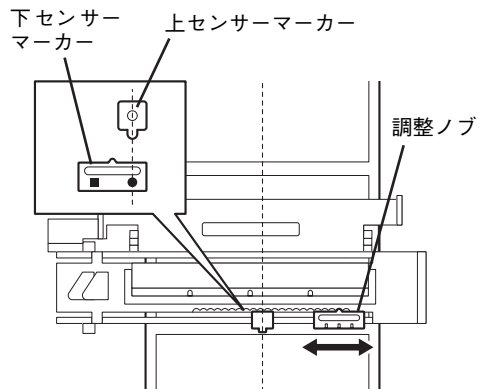
用紙の中心線上に合わせることをお勧めします。



下センサー（反射／透過センサー）は説明のため、上図に記載しています。

- 4 センサーカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。
- 5 調整ノブを動かし、上センサーマーカーの○を下センサーマーカーの●に合わせる。

調整ノブを動かすと、自動的に下センサーマーカーも動きます。

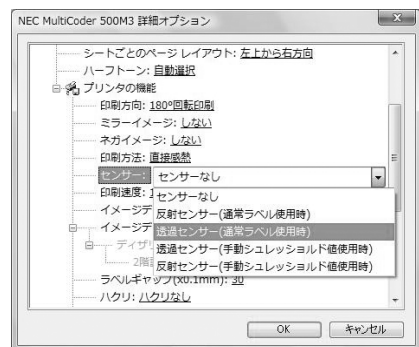


- 6 トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。

重要

上下の透過センサーの位置が合っていることを確認してください。

本プリンターのプリンタードライバーの印刷設定にある[センサー]で[センサーなし]を選択しているときでも同じです。



上下の透過センサーの位置が合っていないと、用紙の終了が検出できなくなり、プリンターが思わぬ動きをすることがあります。

9 電源コードを接続する

注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

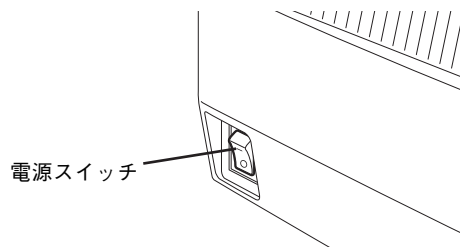
- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- 本体に付属の電源コードを使用してください。
- コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。
- たこ足配線の延長コードを使った配線はおやめください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- アース線はかならずアース端子に接続してください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお近くの販売店または保守サービス会社に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- むれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。

重要

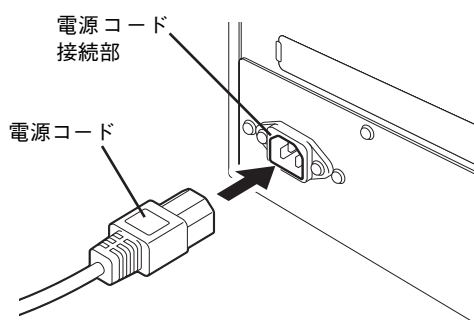
- アース線は切断しないでください。切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。
- アース線は、キャップを外してからアース端子に接続してください。
- アース線をコンセントと一緒に差し込まないでください。
- プラグを差し込む前にプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 付属の電源コードと変換プラグは他の装置には使用しないでください。

- ① 本プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

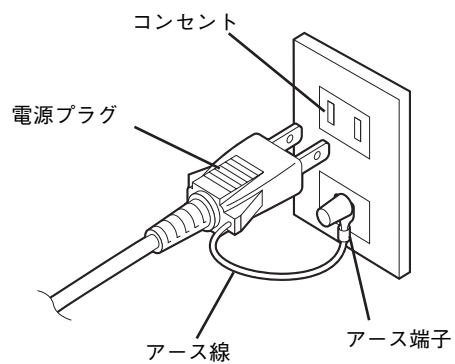
「○」側がOFFです。



- ② 本プリンター背面の電源コード接続部に、付属の電源コードを接続する。



- ③ アース線をアース端子に接続し、電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。



10 電源をONにする (OFFにする)

本プリンターは、電源ON時にサーマルヘッドやメモリーのチェックを行います。また、電源OFF時にはメモリー内のデータを消去します。

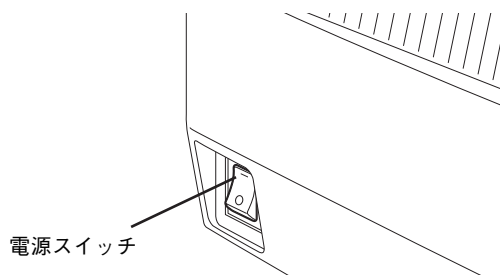
重要

電源のON/OFFは電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差ししてON/OFFすると、故障の原因となります。

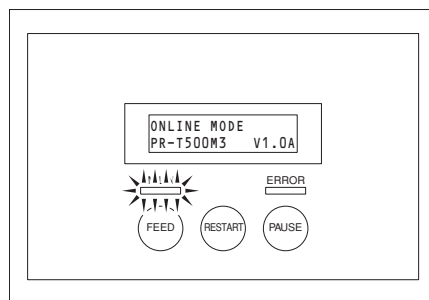
電源をONにする

プリンターの電源スイッチをONにする。

「-」側がONです。



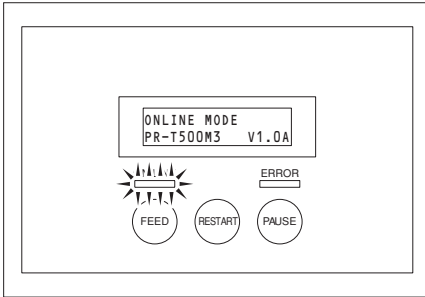
液晶ディスプレイに“ONLINE MODE”が表示され、ONLINEランプ（緑色）が点灯します。



電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、7章「故障かな?と思ったときは」(171 ページ)を参照してください。

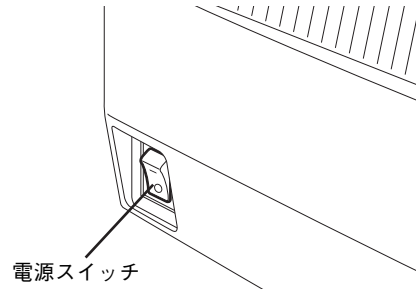
電源をOFFにする

- ① 液晶ディスプレイに“ONLINE MODE”が表示されていて、ONLINEランプ（緑色）が点灯していることを確認する。



- ② 電源スイッチをOFFにする。

「O」側がOFFです。



重要

- 用紙の印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。紙づまりや故障の原因となります。ただし、プリンターから異臭がしたり発煙しているときは、ただちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ONLINEランプが点滅しているときは、電源スイッチをOFFにしないでください。接続しているコンピューターに悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 電源をOFFしてからONにするとときは、5秒以上待ってください。5秒以内にONにした場合、プリンターがロックすることがあります。

11 センサーの調整をする

前述の「8 用紙検出センサーの位置を調整する」(37ページ)で本プリンターに内蔵の用紙検出センサーの位置をお使いになる用紙に合わせた位置に調整しました。ここではこれらのセンサーの用紙検出能力(電圧値)をお使いの用紙に適した設定に調整する手順を示します。この手順はプリンターの電源がONにできる状態ならびに用紙がセットされた状態で行います。



用紙センサーは感度の調整だけでなく、感知する位置も調整することができます。用紙検出センサーの感度を調整しても用紙が正しく送れない場合は、「8 用紙検出センサーの位置を調整する」(37ページ)を参照してください。

- 1 電源をOFFにする。
- 2 [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。



自己診断メニューが表示します。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

- 3 センサー調整メニューが表示されるまで [FEED] を押す。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
```

- 4 [PAUSE] を押す。



センサーを調整する項目が表示されます(最初にサーマルヘッドの温度センサー(H)と外気温センサー(A)による現在の温度が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .  
[ H ] 2 9 ° C      [ A ] 2 9 ° C
```

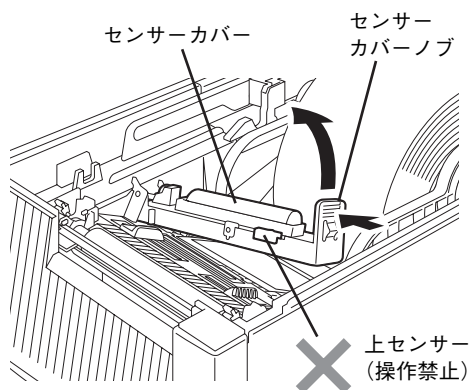
- 5 [PAUSE] を押す。

反射センサーの現在の電圧値が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .  
[ R E F L E C T ]  4 . 2 V
```

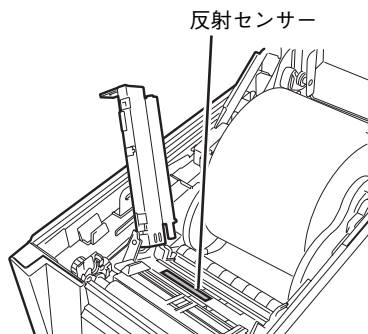
- 6 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

- 7 センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- 8 タグの白い部分が反射センサーの上側を遮るようにセットしてセンサーカバーを閉じる。



- 9 トップカバーを確実に閉じる。

- ⑩ [FEED] か [RESTART] のいずれかを3秒以上押し続ける。

反射センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ R E F L E C T ]   4 . 8 V *
```

“SENSOR ERROR (センサーエラー)”が表示された場合は、[PAUSE] を数回押しして手順⑨の表示に戻してやり直してください。

- ⑪ [PAUSE] を押す。

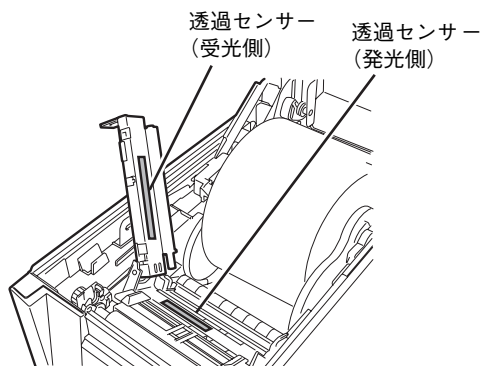
透過センサーの現在の電圧値が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ T R A N S . ]   2 . 4 V
```

- ⑫ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にした後、センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。

手順⑦の図と「重要」を併せて参照してください。

- ⑬ ラベルをはがした台紙が透過センサーを遮る位置にセットしてセンサーカバーを閉じる。



- ⑭ トップカバーを確実に閉じる。

- ⑮ [FEED] か [RESTART] のいずれかを3秒以上押し続ける。

透過センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ T R A N S . ]   4 . 1 V *
```

“SENSOR ERROR (センサーエラー)”が表示された場合は、[PAUSE] を数回押しして手順⑩の表示に戻してやり直してください。

- ⑯ [PAUSE] を押す。

反射センサー (R) と透過センサー (T) の用紙なし (PE) での電圧値が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ P E ] R 0 . 1 V   T 4 . 8 V
```

- ⑰ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にした後、センサー上にセットされている用紙を取り除く。

センサーカバーの取り扱いについては手順⑦の図と「重要」を併せて参照してください。

- ⑱ トップカバーを確実に閉じる。

- ⑲ [FEED] か [RESTART] のいずれかを3秒以上押し続ける。

反射センサーと透過センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ P E ] R 0 . 1 V   T 4 . 8 V *
```

- ⑳ [PAUSE] を押す。

センサー調整メニューの最初のメニューに戻ります。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
```

- ㉑ 電源をOFFにする。

以上で調整は完了です。

12 テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確認するために、テスト印刷を行います。

このテスト印刷は7章「故障かな?と思ったときは」(171 ページ)の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

- 1 本プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

「○」側がOFFです。

- 2 [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。

 +  + 電源ON

自己診断メニューが表示します。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

- 3 テスト印刷メニューが表示されるまで [FEED] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T
```

- 4 [PAUSE] を押す。

テスト印刷モードの選択メニューが表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P R I N T   C O N D I T I O N
```

PRINT CONDITIONの設定内容は、変更しても電源をOFFにすれば、初期値に戻ります。

- 5 [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
I S S U E   C O U N T      1
```

条件の項目は [PAUSE] を押すたびに切り替わります。項目のパラメーターを換えるときは [FEED] または [RESTART] を押してください。

- ISSUE COUNT (枚数設定)
- PRINT SPEED (印刷速度)
- SENSOR (センサー指定)
- PRT TYPE (印刷方式)
- TYPE (印刷タイプ)
- LABEL LEN. (ラベルサイズ)
- PAPER FEED (紙送りモード)

電源ON時の各パラメーターの初期値は次のとおりです。

- 印刷枚数： 1 (枚)
- 印刷速度： 4"/sec (インチ/秒)
- センサー指定： TRANS. (透過センサー)
- 印刷方式： TRANSFER (熱転写方式)
- 印刷タイプ： [S]NO CUT (連続印刷 (カット無し))
- ラベルサイズ： 76mm
- 紙送り： FEED (有り)

- 6 条件を設定したらテスト印刷メニューが表示されるまで [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T
```

- 7 [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P R I N T   C O N D I T I O N
```

- 8 [FEED] を押す。

印刷パターンの選択メニューが表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
S L A N T   L I N E ( 1 D O T )
```

印刷パターンには次の5つがあります。

- 斜線1ドット印刷 (SLANT LINE (1DOT))
- 斜線3ドット印刷 (SLANT LINE (3DOT))
- キャラクター印刷 (CHARACTERS)
- バーコード印刷 (BARCODE)
- 白紙印刷 (NON-PRINTING)

[FEED] を押すたびに印刷パターンが切り替わります。“<4> TEST PRINT”が表示されたら手順6に戻ってください。

重要

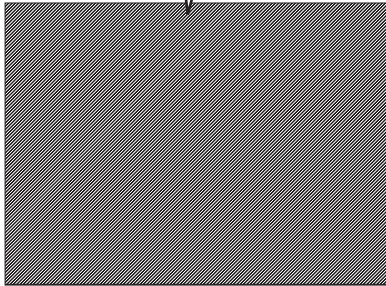
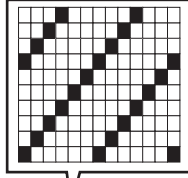
“FACTORY TEST”、“AUTO PRINT (TRAN)”および“AUTO PRINT (REFL)”は選択しないでください。

9 [PAUSE] を押す。

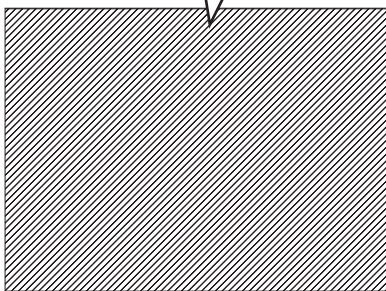
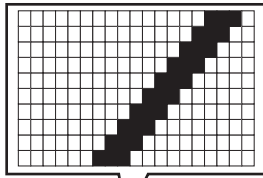
印刷パターンを確定し、テスト印刷を開始します。

< 4 > T E S T P R I N T
C H A R A C T E R S

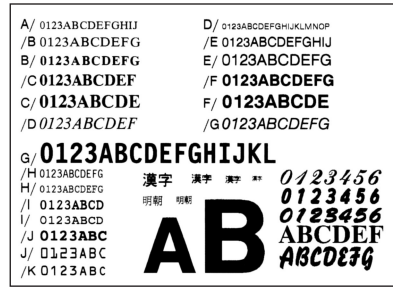
それぞれのテスト印刷結果を以下に示します。



斜線1ドット印刷



斜線3ドット印刷



キャラクター印刷



バーコード印刷



白紙印刷

1 初めてお使いになるとき

13 コンピューターに接続する

プリンターにはプリンターケーブルが付属しておりません。プリンターをコンピューターに接続するには別売のプリンターケーブルをお買い求めいただく必要があります。

プリンターケーブルのタイプは、コンピューターやコンピューターとの通信方法によって異なります。本プリンターを接続するコンピューターに合ったプリンターケーブルを販売店でお求めください。詳細は5章、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

プリンターケーブルで接続する

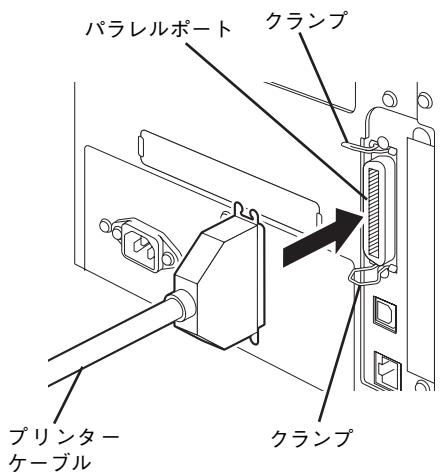


プリンターケーブルはIEEE1284準拠のものをご使用ください。

- ① 本プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

「○」側がOFFです。

- ② プリンターケーブルのプリンター側プラグを背面のパラレルポートに接続し、クランプで固定する。



- ③ プリンターケーブルのコンピューター側プラグをコンピューターのパリンターポートに接続する。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。



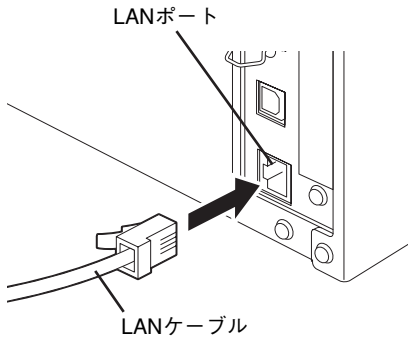
LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

LANケーブルで接続する



100BASE-TX環境でお使いの場合は、100BASE-TX対応のイーサネットハブ（HUB）とネットワークケーブル（カテゴリ 5以上）、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリ 3以上のネットワークケーブルをご用意ください。

- ① 本体背面のLANポートにLANケーブルのコネクターを接続する。



プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする必要はありません。

- ② LANケーブルのもう一方のコネクターをハブなどのネットワーク機器に接続する。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。



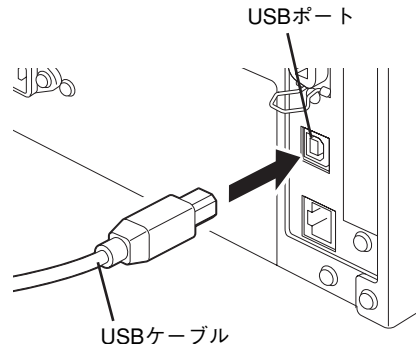
LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

USBケーブルで接続する

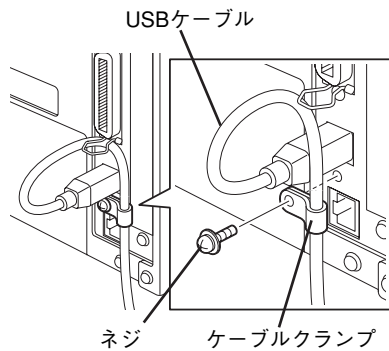
本プリンターのUSBインターフェースは、USB2.0（Full-Speed）に準拠しています。

- ① コンピューター本体の電源をONにし、Windowsを起動しておく。
- ② プリンターの電源スイッチをONにする。
「-」側がONです。

- ③ 背面のUSBポートにUSBケーブルのコネクターを接続する。



- ④ 付属のケーブルクランプとネジでUSBケーブルをプリンターに固定する。



- ⑤ USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターのUSBポートに接続する。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

重要

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピューターの「ハードウェアの安全な取り外し」などに従って取り外してください。

14 ネットワークの設定をする

次の手順でプリンターをネットワークプリンターとして使用するための設定をします。次の場合にはこの手順を行う必要はありません。

- 本プリンターのパラレルポートまたはUSBポートにプリンターケーブルを接続して使用する場合
- プリンターケーブルでコンピューターに接続された本プリンターを「ネットワーク共有プリンター」として使用する場合



ネットワークの設定は添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」からWindowsの画面上で行うこともできます（ただしプリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります）。リモートパネルについては「リモートパネル」（74ページ）またはオンラインマニュアルを参照してください。

LAN有効/無効設定

プリンターをLAN接続する場合はプリンターのLANに関する設定を「有効」にします。LANに接続しないときは、必ず「無効(OFF)」に設定してください。

- ① 待機中であることを確認する。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3   V 1 . 0 A
```

- ② [PAUSE]を押す。



ポーズ状態になります。

```
ホース
PR - T 5 0 0 M 3   V 1 . 0 A
```

- ③ ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続ける。



リセットのメニューが表示されます。

```
< 1 > R E S E T
```

- ④ “<7> LAN”が表示されるまで[RESTART]を押す。

LAN有効/無効設定のメニューが表示されます。

```
< 7 > L A N
```

- ⑤ [PAUSE]を押す。

- ⑥ LANの有効/無効を設定する。

```
< 7 > L A N
O N       S N M P   O N
```

[FEED] または [RESTART] で選択します。設定内容が切り替わります。

- OFF : LAN無効
- ON SNMP ON : LAN有効でSNMPも有効
- ON SNMP OFF : LAN有効でSNMPは無効

- ⑦ [PAUSE]を押す。

設定内容が確定し、LAN有効/無効設定のメニューに戻ります。

```
< 7 > L A N
```

ネットワークアドレスの設定

ネットワークアドレスの設定は次の6つの項目に分かれています。

- PRINTER IP ADDRESS : プリンターのIPアドレスの設定 (53ページ参照)
- GATEWAY IP ADDRESS : ゲートウェイ設定 (53ページ参照)
- SUBNET MASK : サブネットマスク設定 (53ページ参照)
- SOCKET PORT : ソケットポート番号の設定 (54ページ参照)
- DHCP : DHCP設定 (55ページ参照)
- DHCP CLIENT ID : DHCPクライアントIDの設定 (55ページ参照)

なお、ネットワークアドレスの設定は添付のCD-ROMに収録されている「リモートパネル*1」からWindowsの画面上で設定することもできます。

項目の選択

はじめにプリンターのメニューの中から設定したい項目を選びます。

① 電源OFF状態であることを確認する。

② [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。



自己診断メニューが表示されます。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

③ IPアドレス設定メニューが表示されるまで [FEED] を押す。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
```

④ [PAUSE] を押す。



プリンターのIPアドレス設定をする項目が表示されます。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
P R I N T E R   I P   A D R E S
```

[RESTART] を押すたびに項目が切り替わります。設定したい項目を表示させて [PAUSE] を1回押ししてください。

*1 使用するコンピューターにプリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります。2章「プリンターソフトウェアのインストール」(57ページ)を参照してください。
また、設定の際はパラレルインターフェースケーブルかUSBケーブルでコンピューターとプリンターが接続されている必要があります。

IPアドレス・ゲートウェイアドレス・サブネットマスクの設定

1 初めてお使いになるとき

① 「項目の選択」(52ページ)を行う。

② [RESTART] を押して設定したい項目を表示させる。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
P R I N T E R   I P   A D R E S
```

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
G A T E W A Y   I P   A D R E S
```

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
S U B N E T   M A S K
```

以降はプリンター IPアドレスの設定を例に説明します。

③ “PRINTER IP ADRES” が表示されている状態で [PAUSE] を押す。

プリンターに現在設定されているIPアドレスが表示されます。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
1 9 2 . 1 6 8 . 0 1 0 . 0 2 0
```

④ [FEED] を押す。

押すたびに最初の8ビットの値が切り替わります。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
1 9 1 . 1 6 8 . 0 1 0 . 0 2 0
```

設定中

⑤ 設定したら [PAUSE] を押す。

最初の8ビットを確認し、次の8ビット設定を選択します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
1 5 7 . 1 6 8 . 0 1 0 . 0 2 0
```

手順④と同様に [FEED] を押して値を設定し、値が決まったら [PAUSE] を押して次の8ビットへ移動します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
1 5 7 . 1 6 6 . 0 1 0 . 0 2 0
```

1番右側の8ビットの設定をして [PAUSE] を押すとゲートウェイIPアドレス設定モードを表示します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
G A T E W A Y   I P   A D R E S
```

⑥ 手順④と⑤と同様に設定する。

1番右側の8ビットの設定をして [PAUSE] を押すとサブネットマスク設定モードを表示します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
S U B N E T   M A S K
```

⑦ 手順④と⑤と同様に設定する。

1番右側の8ビットの設定をして [PAUSE] を押すとソケット通信ポート設定モードを表示します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S  
S O C K E T   P O R T
```

以上で設定は完了です。プリンターの電源をOFFにしてください。

ソケットポート番号の設定

① 「項目の選択」(52ページ)を行う。

② “SOCKET PORT” を表示するまで [RESTART] を押す。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
S O C K E T   P O R T
```

③ [PAUSE] を押す。

ソケット通信有効／無効を設定するとメニューが表示されます。(無効)

```
< 7 > I P   A D D R E S S
P O R T   O F F   - - - - -
```

④ [RESTART] を押す。

ソケット通信が有効になりポート番号が表示されます。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
P O R T   O N       0 8 0 0 0
```

⑤ [PAUSE] を押す。

はじめに万の位を入力します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
P O R T   O N       0 8 0 0 0
```

□
設定中

⑥ [RESTART] を押して値を切り替える。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
P O R T   O N       1 8 0 0 0
```

⑦ 設定したら、[PAUSE] を押す。

千の位に移動します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
P O R T   O N       1 8 0 0 0
```

□
設定中

以降、同様に設定してください。

[RESTART] : 値を1つ増やす

[FEED] : 値を1つ減らす

[PAUSE] : 1つ右の位へ移動

一の位を設定して [PAUSE] を押すと、DHCP設定のメニューを表示します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P
```

以上で設定は完了です。プリンターの電源をOFFにしてください。

DHCPの設定

① 「項目の選択」(52ページ)を行う。

② “DHCP” を表示するまで [RESTART] を押す。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P
```

③ [PAUSE] を押す。

DHCPが有効の現在の設定を表示します (初期値は無効です)。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P           O F F
```

④ [RESTART] を押す。

DHCPが有効になります。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P           O N
```

⑤ [PAUSE] を押す。

DHCP IDを設定します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P   C L I E N T   I D
```

⑥ [PAUSE] を押す。

DHCP ID入力モードを設定します (ASCII)。

```
M O D E           A S C I I
D H C P   C L I E N T   I D
```

⑦ [RESTART] を押す。

DHCP ID入力モードを設定します (HEX)。

```
M O D E           H E X
D H C P   C L I E N T   I D
```

⑧ [PAUSE] を押す。

DHCP IDを表示します (HEX)。

```
F F F F F F F F F F F F F F F F
F F F F F F F F F F F F F F F F
```

⑨ DHCP IDを入力する (HEX : 1バイト目)。

設定中
□

```
O O F F F F F F F F F F F F F F
F F F F F F F F F F F F F F F F
```

[RESTART] : 値を「1」増やす
[FEED] : 値を「1」増やす
[PAUSE] : 次のバイトへ移動する。

同様にDHCP IDを入力してください。

16バイト目を入力し、[PAUSE] を押すとDHCP HOST NAMEを設定するメニューを表示します。

```
< 7 > I P   A D D R E S S
D H C P   H O S T   N A M E
```

⑩ [PAUSE] を押す。

DHCP HOST NAME入力モードを設定します (ASCII)。

```
M O D E           A S C I I
D H C P   H O S T   N A M E
```

⑪ [PAUSE] を押す。

[FEED] と [RESTART] でDHCP HOST NAMEを設定します。

1つ目の文字の入力を完了したら、[PAUSE] で確定して1つ右のカラムに移動します。

```
M O D E           A S C I I
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
```

□
設定中

12 16バイト目を入力して [PAUSE] を押す。

IPアドレス設定メニューが表示されます。これでIPアドレスの設定は終了です。

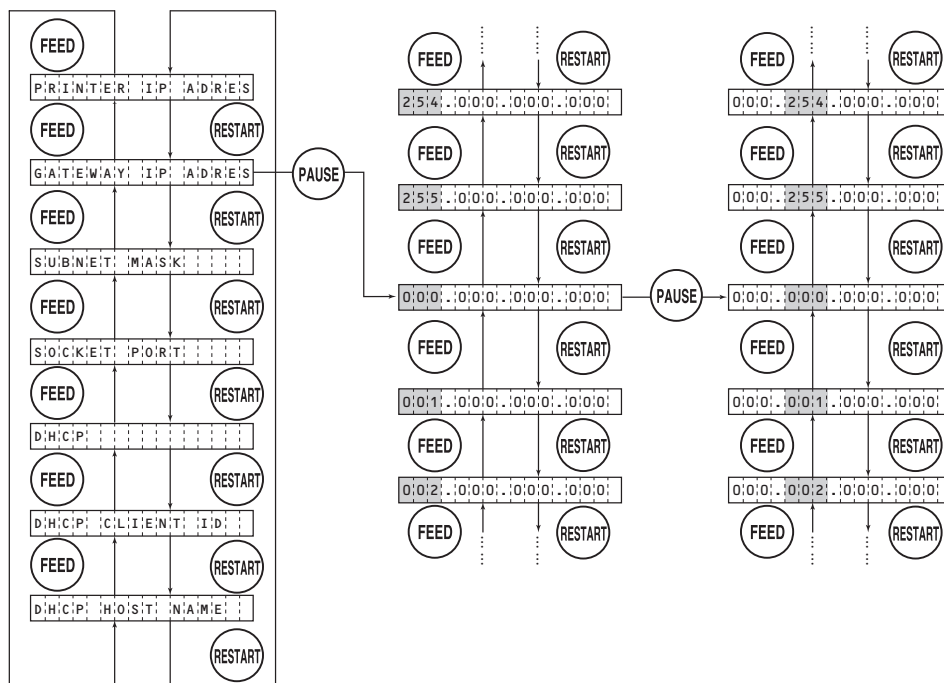
< 7 > I P A D D R E S S



DHCP ID入力でASCIIを選択した場合、およびDHCP HOST NAMEの入力をする場合、各バイトのデータがASCII文字で表示されます。

設定の流れ

スイッチ操作とメニューの遷移を下図で簡単に示します。以下はゲートウェイIPアドレスの設定を選択後、最初の8ビットの変更から2番目の8ビットの変更を示しています。残りのビットについても同じです。



2章 プリンターソフトウェアの インストール

この章では本プリンター用のプリンターソフトウェアのインストール方法と削除（アンインストール）方法などを以下の項目に分けて説明しています。

- **プリンタードライバーのインストール（→59ページ）*1**
お使いのコンピューターでMultiCoderをご使用になるためにはコンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。プリンタードライバーは添付のソフトウェアCD-ROMのメニューやWindowsの「プラグ・アンド・プレイ」を利用してインストールすることができます。またプリンタードライバーの削除（アンインストール）方法も説明しています。
- **リモートパネル（→74ページ）*1**
本プリンターに付属のユーティリティソフトウェア「リモートパネル」について簡単な説明とインストール/アンインストールの手順を説明しています。詳しくは添付のソフトウェアCD-ROMにあるオンラインマニュアルをご覧ください。
- **BarStar Pro（→77ページ）*2**
Windows上で動作するバーコード作成ソフトウェアです。プリンターの解像度に合わせてバーコードを生成するため、精度の高いバーコードを印刷することができます。
- **LabelStar Lite（→80ページ）*2**
Windows上で動作するラベル作成ソフトウェアです。BarStar Proの強力なバーコード生成機能を利用し、各種バーコードを高精度に生成します。

それぞれの項を参照する前に次ページの「インストール/アンインストール前の注意事項」に示す注意事項をよくお読みください。また、この章で説明しているプリンターソフトウェアの使用方法については添付のソフトウェアCD-ROM内にある「オンラインマニュアル」またはREADME.TXTを参照してください。

*1 ソフトウェア CD-ROM 内には Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、および Windows Server 2003 に対応したソフトウェアが収録されています。

Windows 98、Windows Me、および Windows NT 4.0 のプリンタードライバーとリモートパネルは「<http://121ware.com>」からダウンロードしてください（ただし本プリンターがサポートするインターフェースの一部において制限があります）。

*2 LabelStar Lite、BarStar Pro の使用方法はインストール後にそれぞれのヘルプを参照してください。

インストール／アンインストール前の 注意事項

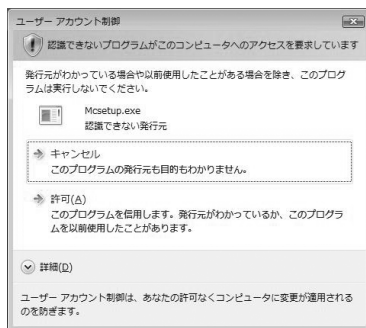
添付のソフトウェアCD-ROMに収録されたプリンターソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明しています。

基本的な操作およびセットアップについては各OSに添付のマニュアルなどをご覧ください。

- Windows Vistaで操作中に [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [許可] (または [続行]) の操作をして先に進んでください。



コンピューターの管理者の場合の
表示例



コンピューターの管理者の場合の
表示例



標準ユーザーの場合の
表示例

- Windows XPで他のユーザーがお使いのコンピューターにログオンしている場合、プリンターソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- Windows XPにプリンターソフトウェアをインストール (またはアンインストール) する場合は、実施者が「コンピューターの管理者」である必要があります。
- Windows 2000またはWindows Server 2003にプリンターソフトウェアをインストール (またはアンインストール) する場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」または「Power User」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストール (またはアンインストール) を行うことはできません。
- プリンタードライバをインストール (またはアンインストール) する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- 添付のソフトウェアCD-ROMは、CD-ROMをドライブにセットするだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリーにあるMCSETUP.EXEを実行してください。
- プリンタードライバは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。

プリンタードライバーのインストール

このプリンターに添付の「ソフトウェアCD-ROM」を使ってお使いになるコンピューターにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

本プリンターのプリンターソフトウェアはこのプリンターとローカル（パラレルまたはUSB）およびネットワークで接続されているPC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）にインストールすることができます（NECのPC-9800シリーズにはインストールできません）。

また、お使いのコンピューターには次のWindows OS*1 がインストールされている必要があります。

- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

ここに記載のないWindows OSでのご利用については「<http://121ware.com>」を参照してください。添付のソフトウェアCD-ROMを使ったインストールには次の3つの方法があります。

• インストーラーを使う（→60ページ）

インストールメニューの「プリンタドライバ」ボタンをクリックすると、「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

このウィザードに従って作業を進めることでプリンタードライバーがインストールされます。

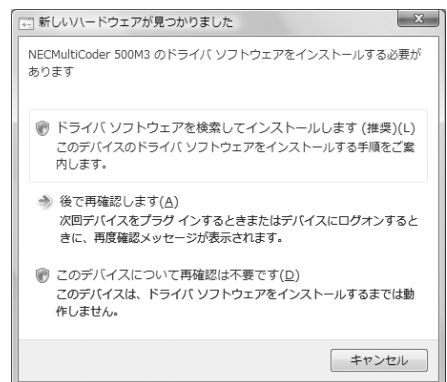
USBインタフェースを使用して本プリンターに接続している場合は「プラグ・アンド・プレイ」を利用します。「プラグ・アンド・プレイによるインストール」（65ページ）で詳しく説明をしています。



• プラグ・アンド・プレイでインストールする（→65ページ）

プリンターとお使いになるコンピューターがローカル（パラレルまたはUSB）接続されている場合、コンピューター、プリンターの順に電源をONにすると自動的に起動するWindowsのインストール機能です。USBインターフェースを使用しているときはこちらを利用してください。

ネットワークに接続されているコンピューターの場合はインストーラーをご利用ください。



• 【プリンタの追加】機能を使う

Windows OSの「[プリンタ]」または「[プリンタとFAX]」フォルダーから操作できる「[プリンタのインストール]」または「[プリンタの追加]」を使ってインストールすることもできます。「インストーラーを使う」（60ページ）以降で説明している「[プリンタの追加]」または「[プリンタの追加ウィザードの開始]」ダイアログボックス以降の手順を参照してください。

*1 詳しくは付録の「仕様」をご覧ください。

インストーラーを使う

添付のソフトウェアCD-ROMを起動すると、コンピューターの画面にダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになる場合も次の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。

Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003のインストールの手順はほぼ同じです。ここでは、Windows Vistaでのインストール方法を例に説明しています。Windows 2000またはWindows Server 2003をお使いの方は、Windows VistaをWindows XP、Windows 2000またはWindows Server 2003に読み替えてお使いください。

① コンピューターの電源をONにし、Windows Vistaを起動する。

プラグ・アンド・プレイが開始された場合は以下を参照してください。

- Windows Vista
→68ページ
- Windows XP/Windows Server 2003
→68ページ
- Windows 2000
→70ページ

② ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットする。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

✓ チェック

<Windows Vistaの場合のみ>
[自動再生] ダイアログボックスが起動した場合は、[MCSETUP.EXEの実行] をクリックしてください。[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

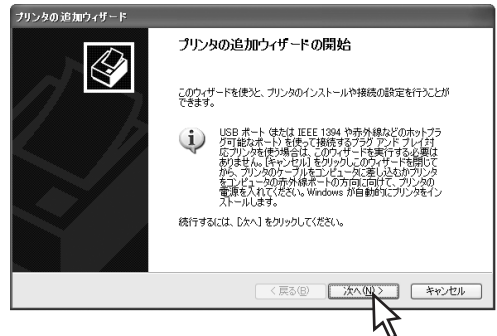


③ [プリンタドライバ] ボタンをクリックする。



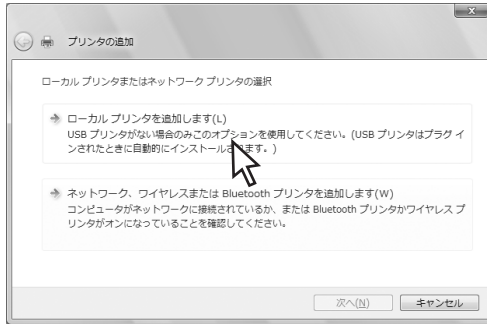
④ <Windows Vista以外の場合> [次へ] をクリックする。

Windows Vistaでは表示されません。次の手順へ進んでください。



5 プリンターの接続先を指定する。

<Windows Vistaの場合>



- MultiCoder とコンピューターが直接つながっている

[ローカルプリンタを追加します] をクリックする。→④へ

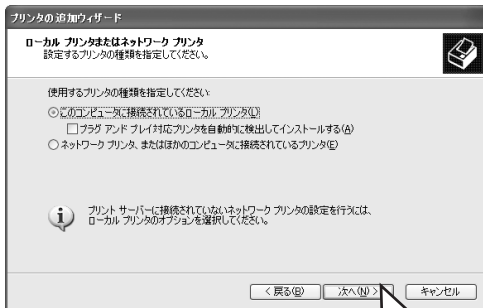
- ネットワーク環境で接続している

[ネットワーク プリンタ、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] をクリックする。→⑥へ

✓チェック

使用しているネットワーク環境により [次へ] をクリックしたときに表示される画面が異なります。手順⑥以外の画面が表示された場合は、OSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定してください。

<Windows Vista以外の場合>



- MultiCoder とコンピューターが直接つながっている

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択して、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外し、[次へ] をクリックする。→④へ

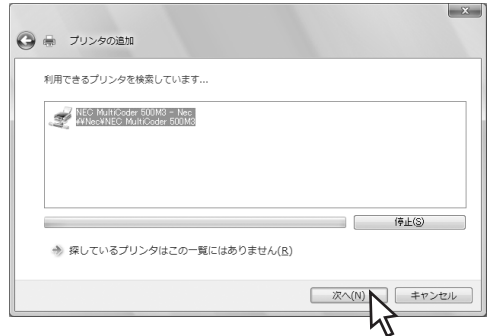
- ネットワーク環境で接続している

[ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックする。→⑦へ

✓チェック

- 使用しているネットワーク環境により [次へ] をクリックしたときに表示される画面が異なります。手順⑦以外の画面が表示された場合は、OSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定してください。
- [プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。

6 検索されたプリンターの一覧から目的のプリンターを選択する。



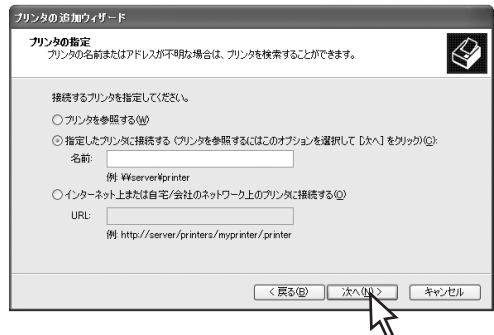
- 目的のプリンターが表示された場合

一覧から目的のプリンターアイコンを選び、[次へ] をクリックする。→⑩へ

- 目的のプリンターが表示されなかった場合

[探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックする。
→以降は OS の取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、⑩へ

7 プリンターを検索する。



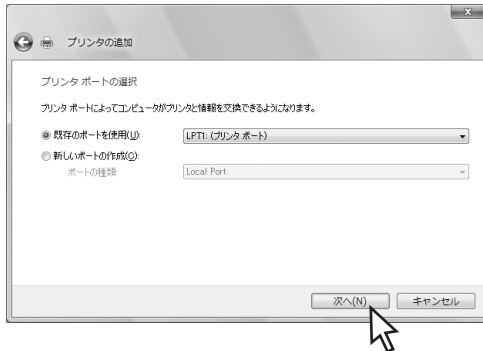
- ネットワーク上のプリンター名をダイアログボックスに直接入力し、[次へ] をクリックした場合 →⑩へ (63ページ)
- ネットワーク上のプリンター名を入力しないで、[次へ] をクリックした場合 →⑩へ

- 8 ネットワーク上のプリンター名を [プリンタ] に直接入力するか、[共有プリンタ] 一覧から指定し、[次へ] をクリックする。



17 (63ページ) へ進んでください。

- 9 使用するプリンターポートを選択し、[次へ] をクリックする。



ネットワークプリンターのインストールで [次のポートを使用] に目的の接続先が見あたらない場合は、次の手順に従ってください。

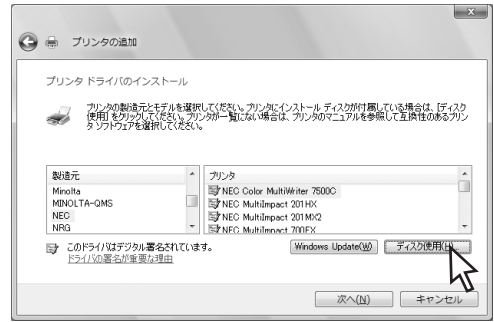
- 1 [新しいポートの作成] を選び、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP] 選択して次へ進む。
- 2 プリンターの電源が ON になっていることを確認する。
- 3 [デバイスの種類] は [自動検出] のままとして、[ホスト名またはIPアドレス] にプリンターに割り当てたIPアドレスを入力して次へ進む。

✓ チェック

USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。

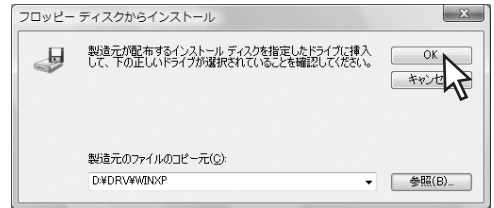
初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は「プラグ・アンド・プレイによるインストール」(65ページ)を参照してください。

- 10 [ディスク使用] をクリックする。

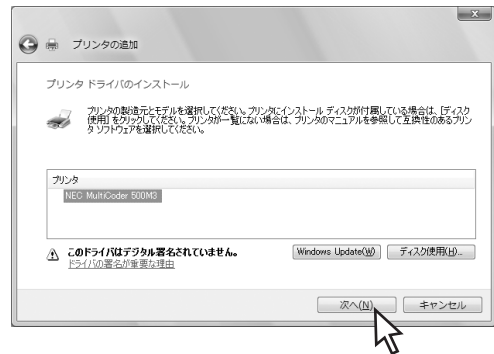


- 11 [製造元のファイルのコピー元] を設定する。

[製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「DRV¥WINXP」と入力し、[OK] をクリックします。



- 12 [プリンタ] に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([NEC MultiCoder 500M3]) を選択し、[次へ] をクリックする。

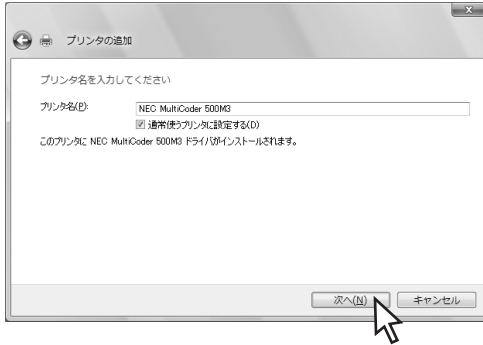


✓ チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。[新しいドライバに置き換える] を選んで次へ進んでください。

- 13 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、[次へ] をクリックする。

お使いの MultiCoder を簡単に識別できる名前を付けてください（例：NEC MultiCoder 500M3）。

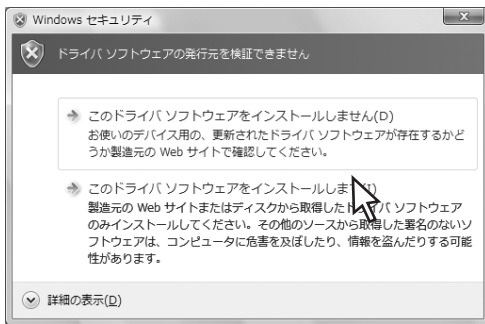


✓ チェック

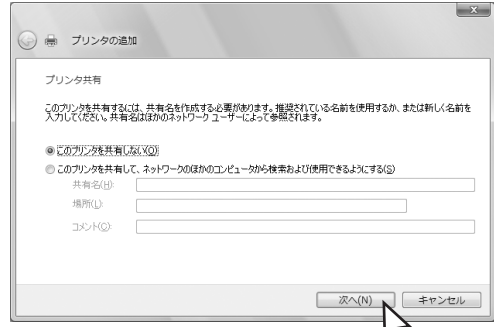
- 同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。
- 以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

- 14 <Windows Vista の場合のみ> [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックする。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。

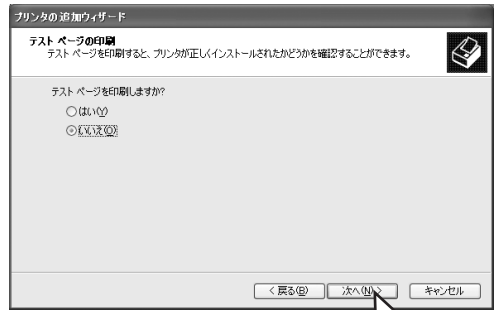


- 15 ネットワーク上で MultiCoder を他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックする。



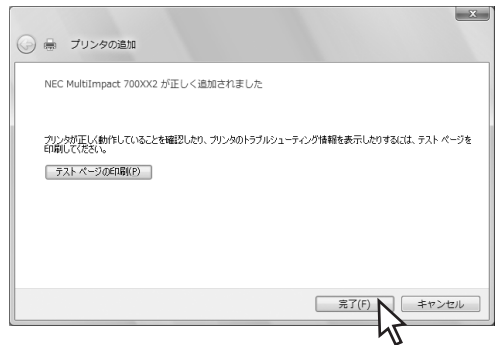
- 16 <Windows Vista 以外の場合のみ> [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックする。

[はい] を選択しないでください。



- 17 [完了] をクリックする。

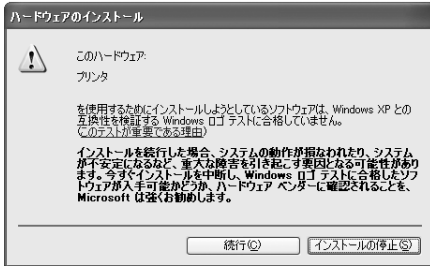
Windows Vista の場合は [テストページの印刷] ボタンがダイアログボックス内に表示されますが、クリックしないでください。



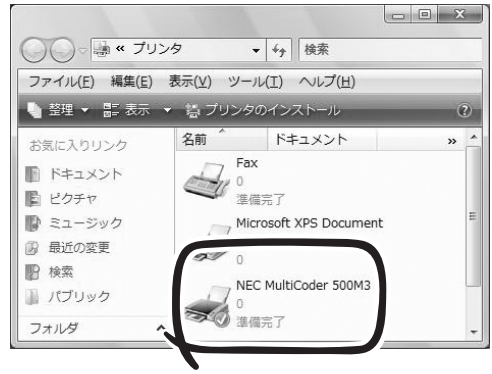
✓チェック

<Windows Vista以外の場合>

次のいずれかのダイアログボックスが表示される場合がありますが、[続行] または [はい] をクリックしてインストールを継続してください。



- 18 [プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダー内にインストールされたプリンターのアイコンが表示されたことを確認する。



これでインストールは完了です。

プラグ・アンド・プレイによるインストール

Windowsの「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用したプリンタードライバーのインストール方法について説明します（はじめに「プリンターの設定変更（パラレルインターフェースを利用する場合のみ）」を読んでください。

プリンターの設定変更（パラレルインターフェースを利用する場合のみ）

出荷時の本プリンターの内部設定では、プラグ・アンド・プレイに対する機能をOFF（無効）にしています。プラグ・アンド・プレイに対応する機器として使用するためにシステムモードを使って設定を変更します（この設定はリモートパネル*1を使用しても変更することができます）。



USBインターフェースを使用する場合はこの設定を変更する必要はありません。

① 電源コードを接続して、プリンターの電源をONにできる状態にする。

② [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。



自己診断メニューが表示されます。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

③ [FEED] を1回押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
```

④ [PAUSE] を押す。

パラメータ設定モードの選択メニューが表示されます。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T  
F O N T   C O D E   P C - 8 5 0
```

⑤ 下段に“PLUG & PLAY OFF”が表示されるまで [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T  
P L U G   &   P L A Y   O F F
```

プラグ・アンド・プレイ機能を有効にするかどうかを選択するメニューです（初期設定は「OFF（無効）」となっています）。

⑥ [FEED] または [RESTART] を押して“ON”に切り替える。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T  
P L U G   &   P L A Y   O N
```

⑦ [PAUSE] を押す。

設定が変更されます。

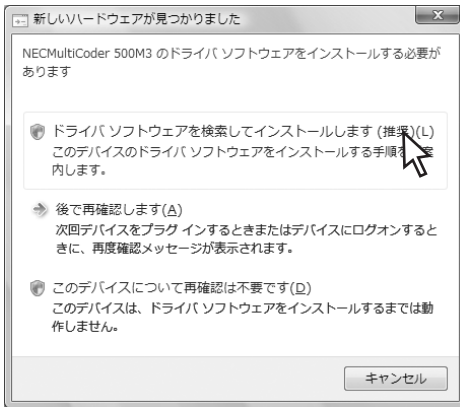
⑧ プリンターの電源をOFFにする。

*1 リモートパネルのインストール方法については「リモートパネル」（74ページ）を、操作方法についてはソフトウェア CD-ROM 内のオンラインマニュアルをご覧ください。

Windows Vista 日本語版

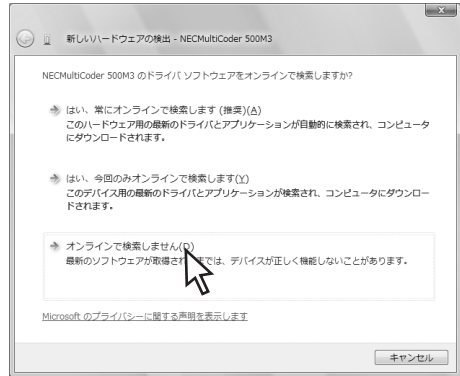
プラグ・アンド・プレイでのインストールの手順は次のとおりです。なお、Windows Vistaの基本的な操作およびセットアップについては、Windows Vistaに添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 1 前ページを参照してプリンターの設定を変更する。
- 2 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認する。
- 3 プリンターの電源スイッチをONにする。
- 4 コンピューターの電源をONにし、Windows Vistaを起動する。
- 5 [新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されたら、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックする。
- 6 [オンラインで検索しません] をクリックする。



✓ チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、「[インストーラーを使う] (60ページ)」を参照してインストールしてください。

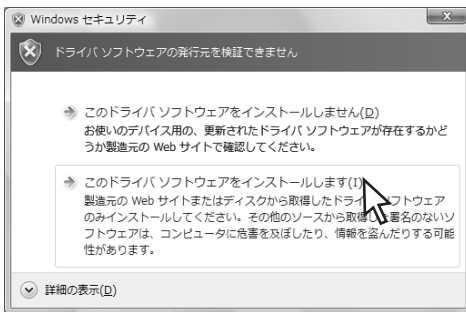


- 7 以下の画面が表示されたら、ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットして [次へ] をクリックする。

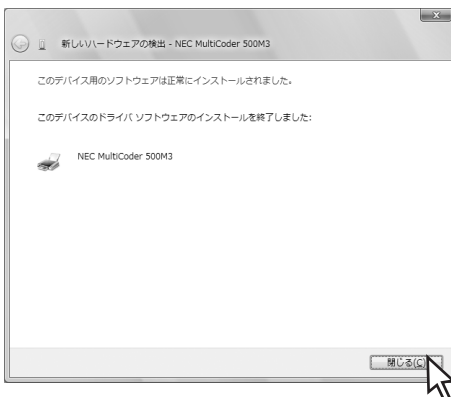


- 8 [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックする。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。



- 9 [閉じる] をクリックする。



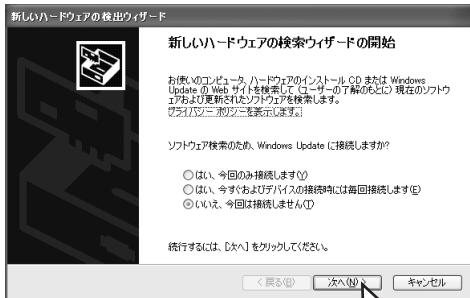
以上で完了です。

Windows XP/Windows Server 2003 日本語版

Windows XPまたはWindows Server 2003のインストールの手順は同じです。ここでは、Windows XPでのインストール方法を例にしています。Windows Server 2003をお使いの方は、Windows XPをWindows Server 2003に読み替えてお使いください。

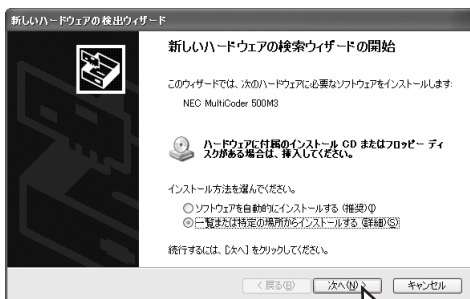
なお、Windows XPまたはWindows Server 2003の基本的な操作およびセットアップについては、Windows XPまたはWindows Server 2003に添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 1 65ページを参照してプリンターの設定を変更する。
- 2 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認する。
- 3 プリンターの電源スイッチをONにする。
- 4 コンピューターの電源をONにし、Windows XPを起動する。
- 5 次の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックする。



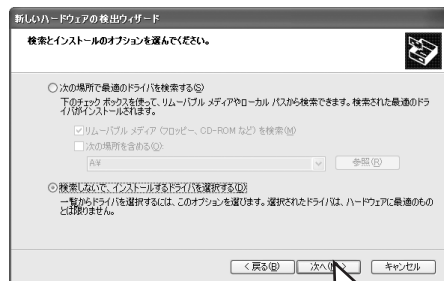
表示されない場合は、次へ進んでください。

- 6 [新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックする。

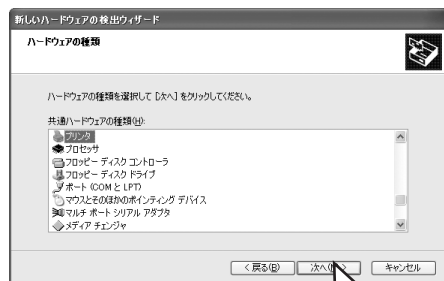


このダイアログボックスが表示されない場合は、(「インストーラーを使う」(60ページ)) を参照してインストールしてください。

- 7 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] をクリックする。



次の画面が表示された場合は、[共通ハードウェアの種類] から [プリンタ] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

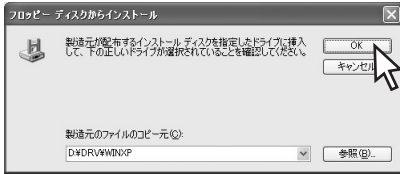


8 [ディスク使用] をクリックする。

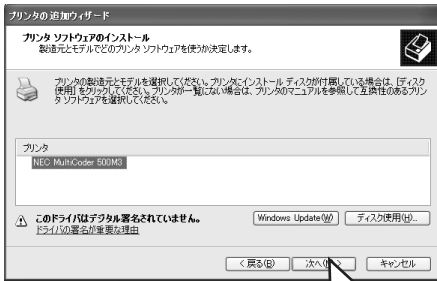


[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

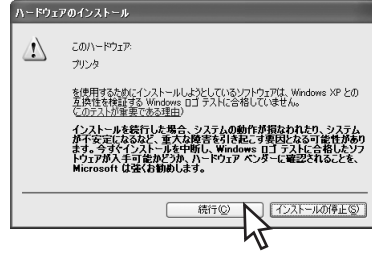
9 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットして、[製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「DRV¥WINXP」と入力し、[OK] をクリックする。



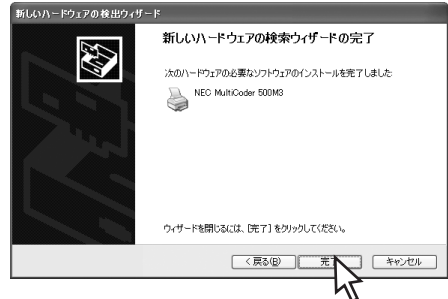
10 [プリンタ] に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([NEC MultiCoder 500M3]) を選択し、[次へ] をクリックする。



[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。



11 [完了] をクリックする。



12 [プリンタとFAX] フォルダ*1 内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認する。



プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

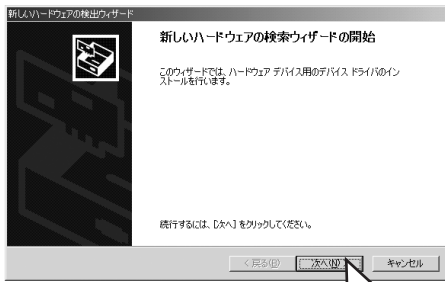
* 1 Windows XP/Server 2003 の場合は [[プリンタと FAX]] フォルダです。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000でのプラグ・アンド・プレイによるインストール手順について説明します。

なお、Windows 2000の基本的な操作およびセットアップについては、Windows 2000に添付のマニュアルなどをご覧ください。

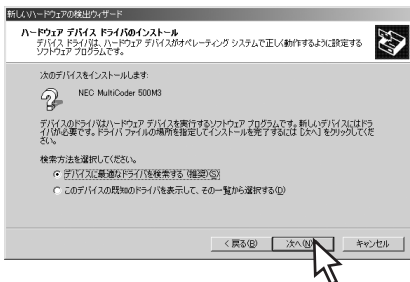
- 1 65ページを参照してプリンターの設定を変更する。
- 2 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認する。
- 3 プリンターの電源スイッチをONにする。
- 4 コンピューターの電源をONにし、Windows 2000を起動する。
- 5 [新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[次へ]をクリックする。



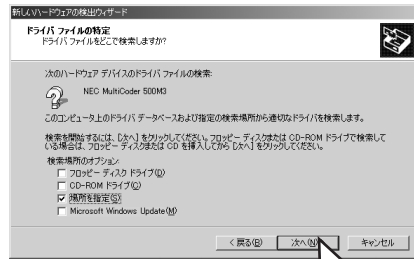
✓ チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、「インストーラーを使う」(60ページ)を参照してインストールしてください。

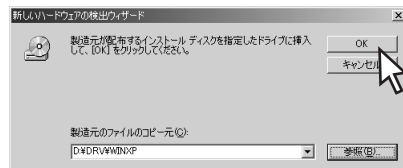
- 6 [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックする。



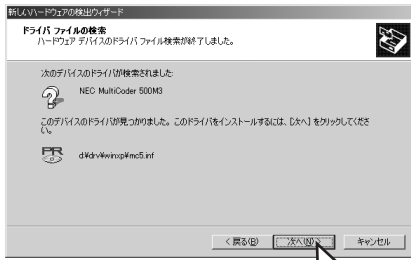
- 7 [検索場所のオプション] の中から [場所を指定] のみを選んで、[次へ] をクリックする。



- 8 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットして、[製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「DRV¥WINXP」を入力し、[OK] をクリックする。



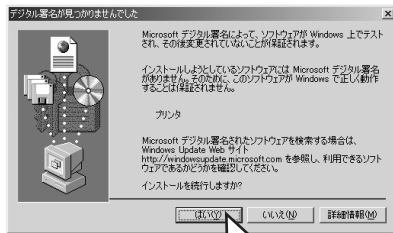
9 [次へ] をクリックする。



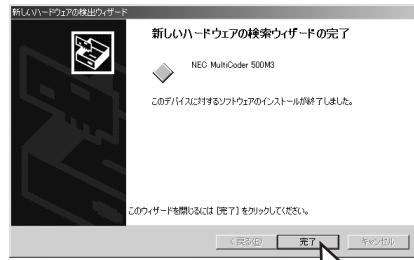
プリンタードライバーのインストールを開始します。



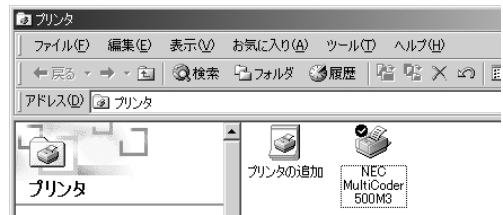
次のダイアログボックスが表示される場合があります。[はい] をクリックしてインストールを続けてください。



10 [完了] をクリックする。



11 [プリンタ] フォルダ内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認する。



プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

プリンタードライバーの削除（アンインストール）

プリンタードライバーの削除（アンインストール）方法を説明します。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタと FAX] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] にある [プリンタ] をクリックすると開きます。

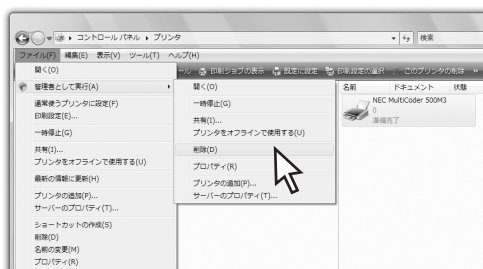
Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

Windows XP Home Editionの場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] - [プリンタ] をクリックすると開きます。

② 削除する本プリンター（[NEC MultiCoder 500M3]）のアイコンをクリックする。

③ [ファイル] メニューの [削除] をクリックする。



✓ チェック

<Windows Vistaの場合のみ>

- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、タスクメニューバーの [整理] - [レイアウト] で [メニューバー] にチェックを入れてください。



- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [許可]（または [続行]）の操作をして先に進んでください。

④ [はい] をクリックする。

プリンタードライバーが削除されます。



プリンタードライバーのファイルを削除したい場合

Windows Vista/Windows XP/2000/Server 2003 日本語版では、プリンタードライバーを削除してもプリンタードライバーのファイルは削除されずに残っています。

Windows Vista/Windows XP/2000/Server 2003 日本語版において、プリンタードライバーのファイルを削除したい場合は、次の手順で削除してください。

- 1 [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタと FAX] フォルダーから [サーバーのプロパティ] を開く。

[サーバーのプロパティ] は、[プリンタとFAX] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダーから [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックすると開きます。



Windows Vistaの場合は、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックしてください。

- 2 [ドライバ] タブをクリックする。
- 3 [インストールされたプリンタドライバ] 一覧から本プリンター (NEC MultiCoder 500M3) をクリックし、[削除] をクリックする。

Windows Vista以外の場合は、5へ進んでください。

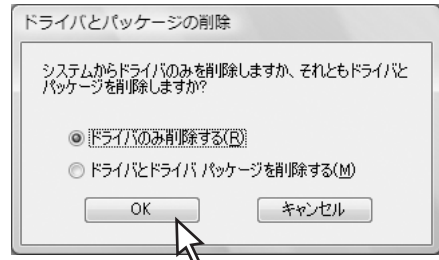


- 4 削除する内容を選択して [OK] をクリックする。

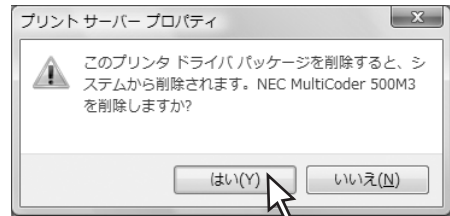
プリンタードライバーのみを削除するか、プリンタードライバーに関連する情報ファイルなど「ドライバパッケージ」を含む一式を削除するかを選択します。

[プリンタドライバのみ削除する] を選んで [OK] をクリックした場合はドライバを削除して完了します。

[ドライバとドライバパッケージを削除する] を選んだ場合は次へ進んでください。



- 5 [はい] をクリックする。



以降は画面に表示されるメッセージに従って削除してください。



削除ができないことを示すメッセージが表示された場合は、インストール済みのプリンターの中からNEC MultiCoder 500M3をすべて削除してからやり直してください。

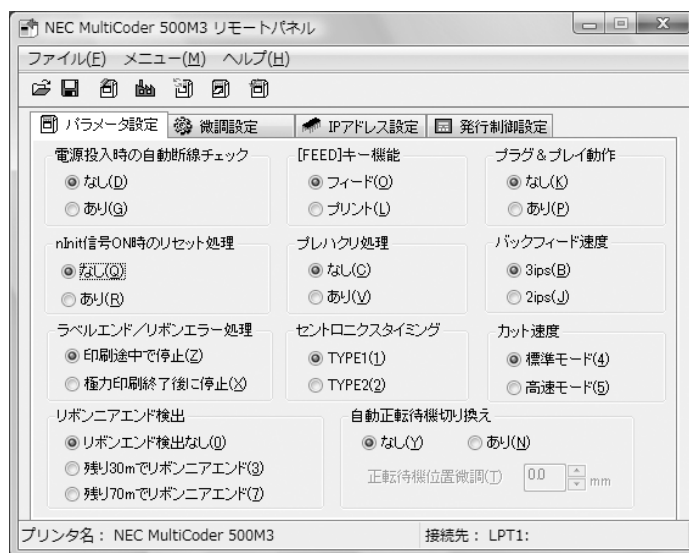
以上で完了です。

リモートパネル

「リモートパネル*1」とは、本プリンターの操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピューターの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。リモートパネルでは次のようなことができます。

- プリンターの設定を変更する（パラメーターの設定や各種微調整の設定、IPアドレスの設定など）
- プリンターの設定を工場出荷時の設定に戻す*2
- テスト印刷をする
- ヘッド断線チェック（診断）

リモートパネルでは下のような画面上で容易にプリンターの設定を変更することができます。



リモートパネルをご使用になる際の注意事項

機種ごとに専用のリモートパネルが用意されています。他のプリンターに対して使用しないでください。リモートパネルを異なるプリンターに対して使用すると、プリンターの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

*1 リモートパネルの操作方法の詳細は、オンラインマニュアルをご覧ください。

*2 リモートパネルで設定できる内容のみを戻します。

リモートパネルのインストール

お使いのコンピュータでリモートパネルをご使用になる場合、コンピュータにリモートパネルをインストールしてください。

✓ チェック

- 添付のソフトウェアCD-ROMに収録されているリモートパネルはWindows Vista 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版で動作します。
- リモートパネルを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。

1 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットする。

[プリンターソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

2 [リモートパネル] ボタンをクリックする。

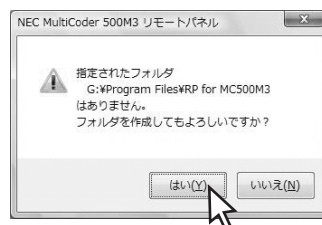


3 インストール先のフォルダを指定し、[OK] をクリックする。



✓ チェック

下の画面が表示された場合は [[はい] をクリックしてください。フォルダが作成されます。



4 [OK] をクリックする。



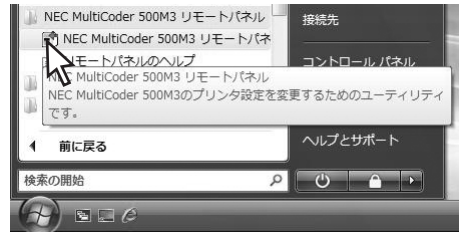
5 [OK] をクリックする。



- 6 リモートパネルのヘルプを表示する場合は [はい] を、表示しない場合は [いいえ] をクリックする。



[スタート] メニューの [すべてのプログラム] または [プログラム] に「NEC MultiCoder 500M3 リモートパネル」の表示が出ていればインストール完了です。



リモートパネルの削除 (アンインストール)

次の手順で削除 (アンインストール) を行ってください。

- 1 [コントロールパネル] フォルダを開く。

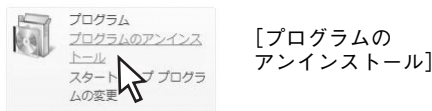
Windows Vista/XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000のOSの場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

- 2 プログラムを削除するメニューを起動する。

Windowsのバージョンによって名前が異なります。

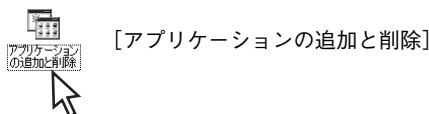
<Windows Vistaの場合>



<Windows XP/Server 2003の場合>



[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。(Windows 2000の場合)



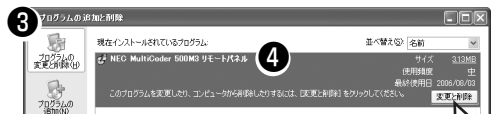
- 3 [プログラムの変更と削除] をクリックする。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

- 4 「NEC MultiCoder 500M3 リモートパネル」を選択し、[アンインストールと変更] (Windows Vistaの場合) [変更と削除] または [変更/削除] (Windows Vista以外の場合) をクリックする。

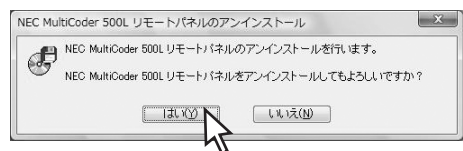


Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

- 5 [はい] をクリックする。



- 6 [OK] をクリックする。



アンインストールの完了です。

BarStar Pro

「バーコード作成ソフトウェア(Ainix BarStar Pro for Windows)」(以下、BarStar Pro)は、Windows上で動作するバーコード作成専用のソフトウェアです。

リニアバーコード、スタック型二次元コード、マトリックス型二次元コード、郵便コード、省スペースシンボルRSSファミリー(現在ではGS1 DataBar と呼ばれています)、および次世代省スペース標準流通シンボルEAN.UCC Compositeなど多彩なバーコードを生成することができます。

BarStar Proのインストール

BarStar Liteのインストール手順について以下に手順を説明します。

- 1 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

- 2 [BarStar Pro] ボタンをクリックします。



- 3 [次へ] をクリックします。



- 4 インストール先のフォルダを確認して [次へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先のフォルダを選択してください。[ディスク領域] をクリックすると、インストール先のハードディスクドライブの空き容量を調べることができます。

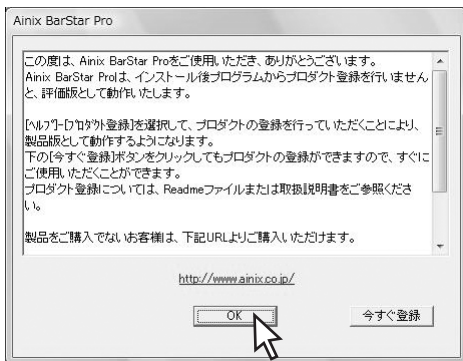


5 [次へ] をクリックします。

[次へ] をクリックするとインストールを開始します。



6 [OK] をクリックします。



プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているBarStar Proは「プロダクト登録」をするまで評価版として動作します。プロダクト登録を行うには、[名前]、[所属]の欄に入力し、プロダクトキーを入力してください。



7 [OK] をクリックします。

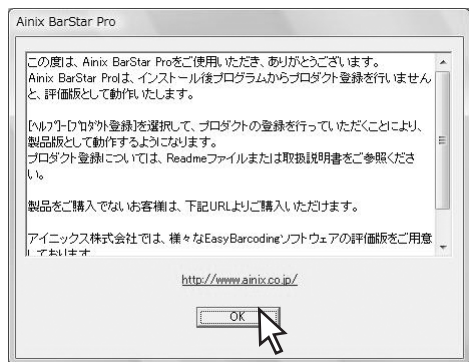


8 [閉じる] をクリックします。

以上でインストールは完了です。



BarStar Proはプロダクト登録を完了するまで、起動時に以下のメッセージを表示します。[OK] をクリックすると評価版として起動します。



BarStar Proの取り扱いを詳しく説明している取扱説明書がソフトウェア CD-ROM の「¥APP¥BARSTAR」内にあります。ご覧ください。

BarStar Proの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

- 1 [コントロールパネル] フォルダを開きます。

Windows Vista/XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。(Windows Vistaの場合)



- [プログラムの追加と削除] をクリックします。(Windows XP/Server 2003の場合)



- [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。(Windows 2000の場合)



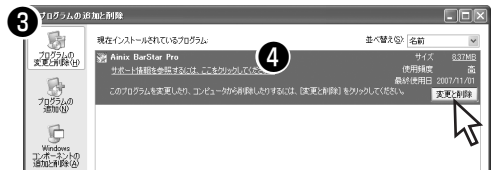
- 3 [プログラムの変更と削除] をクリックします。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

- 4 [Anix BarStar Pro] を選択し、[アンインストール] (Windows Vistaの場合)、[変更と削除] または [変更/削除] (Windows Vista以外の場合) をクリックします。



Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

- 5 [はい] をクリックします。

BarStar Proの削除（アンインストール）が完了します。



LabelStar Lite

「バーコードラベル作成ソフトウェア(LabelStar Lite for Windows)」(以下、「LabelStar Lite」)は、Microsoft Windowsで動作するラベル作成専用のソフトウェアです。

LabelStar Liteでは、ラベルに印刷する文字列、およびバーコード化する文字列をキーボードを使って入力、設定することはもちろん、外部のテキストファイルを入力し、設定することができます。

また、ラベルのデザインに必要なさまざまなデザインツールを備えており、効率的なラベルの作成を可能にします。

LabelStar Liteのインストール

LabelStar Liteのインストール手順について以下に手順を説明します。

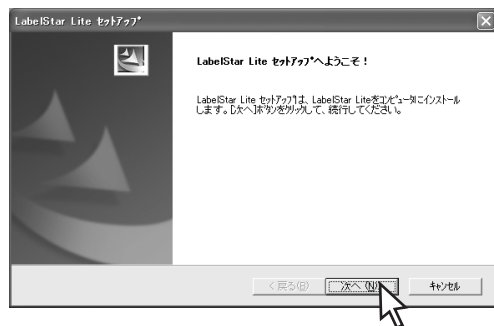
- 1 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

- 2 [LabelStar Lite] ボタンをクリックします。



- 3 [次へ] をクリックします。

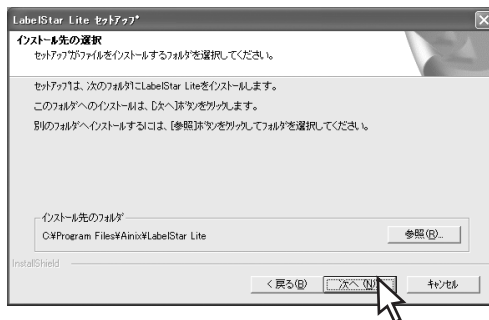


- 4 使用許諾契約の記載内容をよく読んでから [はい] をクリックします。



- 5 インストール先のフォルダを確認して [次へ] をクリックします。

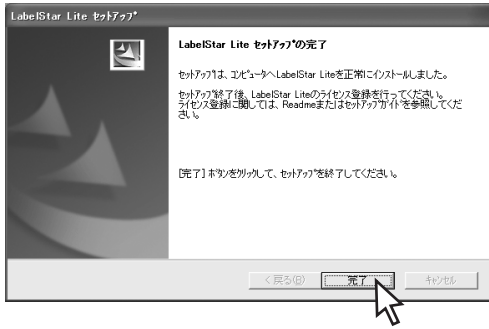
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先のフォルダを選択してください。



[次へ] をクリックするとインストールを開始します。

6 [完了] をクリックします。

以上でインストールは完了です。



[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Ainix LabelStar Lite] の項目が追加されます。また、デスクトップにもショートカットアイコンが追加されます。



✓ チェック

LabelStar Lite を初めて使う場合の解説書 (ファーストステップガイド) や取り扱いを詳しく説明している取扱説明書がソフトウェア CD-ROM の「¥APP¥LABELSTAR¥Docs」内にあります。ご覧ください。

LabelStar Liteの削除 (アンインストール)

次の手順で削除 (アンインストール) を行ってください。

1 [コントロールパネル] フォルダを開きます。

Windows XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

2 [プログラムの追加と削除] をクリックします。(Windows XP/Server 2003の場合)

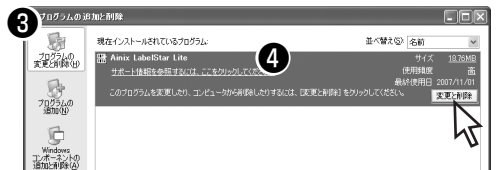


[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。(Windows 2000の場合)



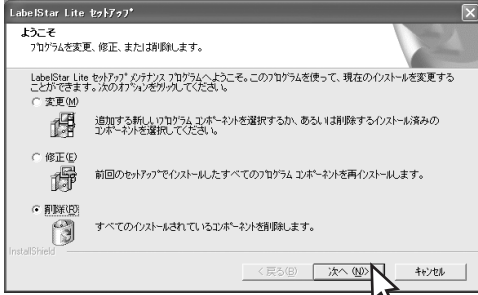
3 [プログラムの変更と削除] をクリックします。

4 [Ainix LabelStar Lite] を選択し、[変更と削除] または [変更/削除] をクリックします。



Windows XP の場合の表示例

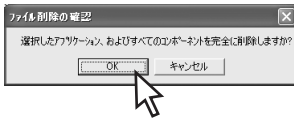
- 5 [削除] を選択し、[次へ] をクリックします。



[変更] を選択した場合は、コンポーネントの追加と削除を行います（プリンタソフトウェアCD-ROMが必要です）。

[修正] を選択した場合は、コンポーネントの再インストールを行います。

- 6 以下のメッセージボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。



- 7 アンインストール中に、共有ファイルの削除に関するメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して [はい] または [いいえ] を選択します。



- 8 [完了] をクリックします。

LabelStar Liteの削除（アンインストール）が完了します。



3章

用紙の取り扱いと印刷

この章では、本プリンターが使用できる用紙と印刷範囲、用紙長の微調整の方法などについて説明します。この章の説明の中にある「金属タイプ」と「樹脂タイプ」とは次のモデルのことを示しています。

タイプ	モデル	説明
金属（筐体） タイプ	MultiCoder 500M3M	標準モデル 金属タイプの標準モデルです。
	MultiCoder 500M3MC	カッターモデル 用紙を自動でカットするカッターモジュールを標準で装備しています。
	MultiCoder 500M3MS	ハクリモデル 用紙を自動で剥離（はくり）するハクリモジュールを標準で装備しています。
樹脂（筐体） タイプ	MultiCoder 500M3P	標準モデル 樹脂タイプの標準モデルです。
	MultiCoder 500M3PC	カッターモデル 用紙を自動でカットするカッターモジュールを標準で装備しています。
	MultiCoder 500M3PS	ハクリモデル 用紙を自動で剥離（はくり）するハクリモジュールを標準で装備しています。

使用できる用紙

本プリンターで使用できる用紙はラベルとタグの2種類です。それぞれの用紙の詳細は1章の「用紙一覧」（14ページ）をご覧ください。

重要

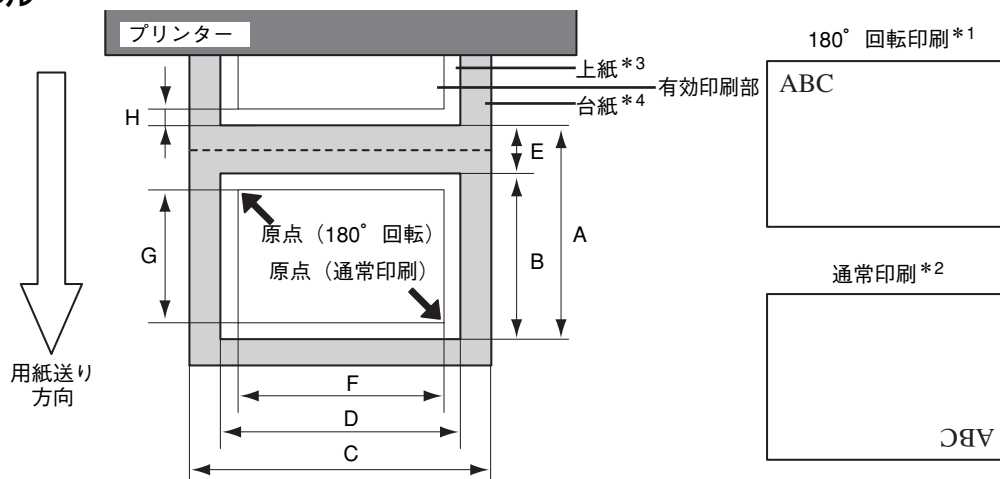
本プリンターはNECが指定する用紙を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の用紙を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品のご使用をお勧めします。

用紙規格と印刷範囲

使用できる用紙と印刷方式別に本プリンターが保証する印刷範囲を以下に示します。

連続印刷

ラベル

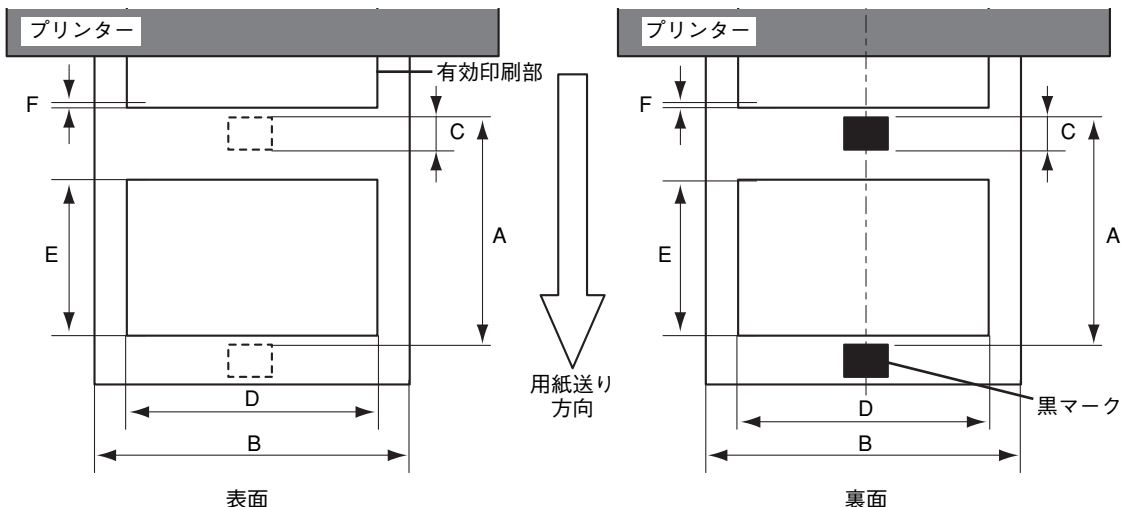


- *1 プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。
印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。
- *2 再ハクリタイプの粘着剤のラベルは使用できません。
- *3 上紙は台紙の左右の端から 1.5mm 以上の余白が必要です。
- *4 アイランドタイプのラベルのことで、台紙は光透過率が22%以上である必要があります。

符号	項目	感熱	熱転写
A	用紙ピッチ	10~457mm	15~457mm
B*1	ラベル長	8~455mm	13~455mm
C*2, *3	ラベル台紙幅	25~118mm	25~114mm
D*2	ラベル上紙幅	22~115mm	22~105mm
E*1	ギャップ長	2~20mm	2~20mm
F*2	有効最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
G	有効印刷長 (ダイカット紙*4)	6~453mm	11~453mm
	有効印刷長 (連続紙)	8~997mm	13~997mm
H*5	スローアップ/スローダウン区間	1mm	1mm
—	用紙厚さ	80~170 μm	100~170 μm
—	ロール仕様	ロール紙最大径	金属タイプ: φ200mm 樹脂タイプ: φ152.4mm
—		巻き方*6	内巻き (標準) / 外巻き
—		紙管	内径38、40、42、76.2 (標準) ±0.3mm
—	ファンフォールド紙仕様	最大折り高さ	100mm

- *1 ラベル長とギャップ長の比率は 3:1 以上必要です。
- *2 横方向は用紙の中央を基準とします。
- *3 台紙の上紙は台紙の左右の端から 1.5mm 以上の余白が必要です。
- *4 アイランドタイプのラベルのことで、
- *5 印刷できない領域です。
- *6 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のばらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。

タグ



符号	項目	感熱	熱転写
A	用紙ピッチ	10~457mm	15~457mm
B	タグ幅	25~118mm	25~105mm
C*1	黒マーク長	2 (標準) ~10mm	2 (標準) ~10mm
D	有効最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
E	有効印刷長 (連続紙)	8~997mm	13~997mm
F*2	スローアップ/スローダウン区間	1mm	1mm
—	用紙厚さ	80~170 μm*3	100~170 μm*3
—	ロール仕様	ロール紙最大径	金属タイプ: φ200mm 樹脂タイプ: φ152.4mm
—		巻き方*4	内巻き (標準) / 外巻き
—		紙管	内径38、40、42、76.2 (標準) ±0.3mm
—	ファンフォールド紙仕様	最大折り高さ	100mm

*1 黒マークの左右方向の位置は用紙中央が標準です。

黒マーク幅の最小値は 12mm です。

黒マーク部の反射率は波長が 950nm で 10% 以下である必要があります。

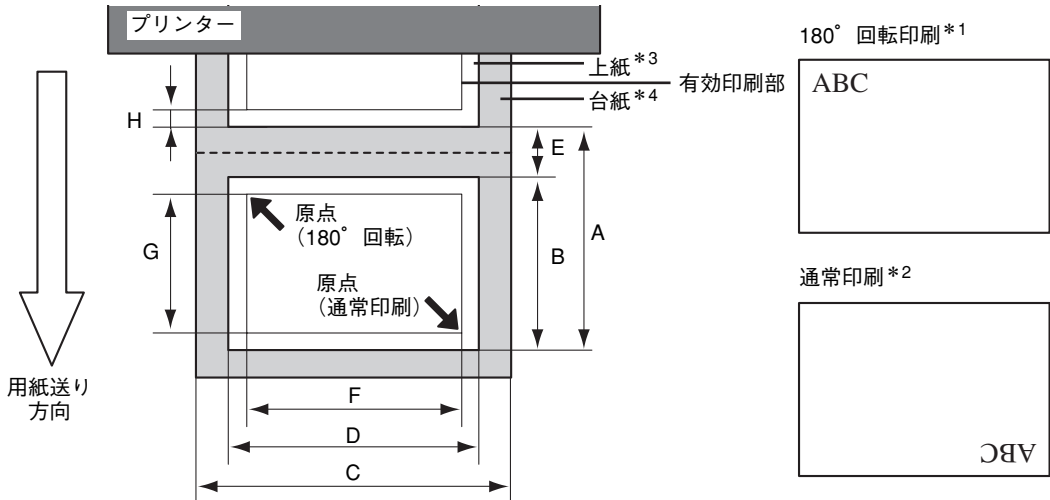
*2 印刷できない領域です。

*3 幅 25 ~ 50mm のタグ紙においては最大 263 μm です。

*4 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のばらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。

カット印刷

ラベル

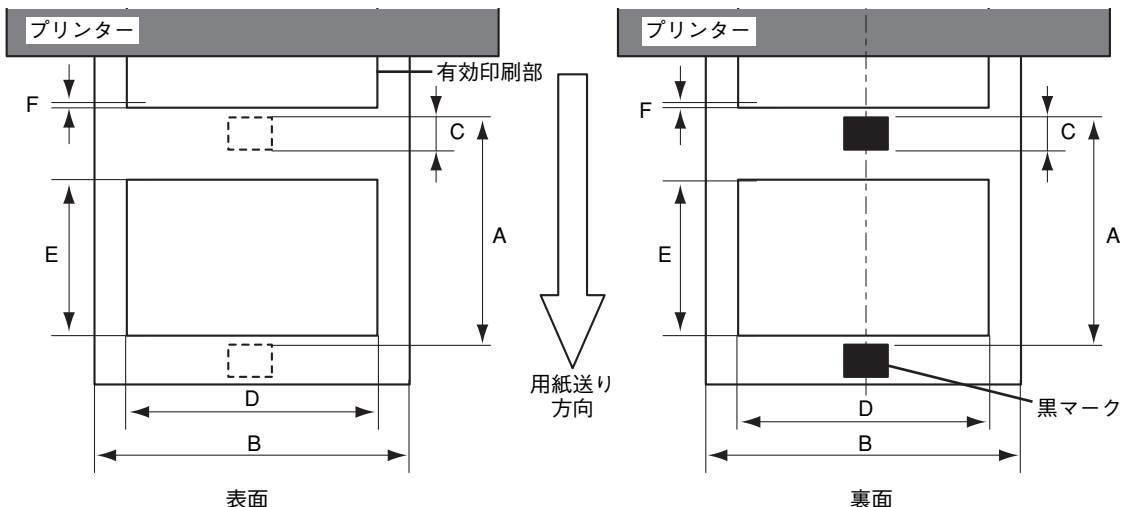


- *1 プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。
- *2 印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。
- *3 再ハクリタイプの粘着剤のラベルは使用できません。
- *4 台紙は光透過率が22%以上である必要があります。

符号	項目	感熱	熱転写
A	用紙ピッチ	19~457mm	19~457mm
B*1	ラベル長*2	16~454mm*3	16~454mm
C*4、*5	ラベル台紙幅	25~118mm	25~114mm
D*4	ラベル上紙幅*2	22~115mm	22~105mm
E*1	ギャップ長	3~20mm	3~20mm
F*4	有効最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
G	有効印刷長 (ダイカット紙*6)	14~452mm	14~452mm
	有効印刷長 (連続紙)	17~997mm	17~997mm
H*7	スローアップ/スローダウン区間	1mm	1mm
—	用紙厚さ	80~170 μm	100~170 μm
—	ロール仕様	ロール紙最大径	金属タイプ：φ200mm 樹脂タイプ：φ152.4mm*8
—		巻き方*9	内巻き (標準) / 外巻き
—		紙管	内径38、40、42、76.2 (標準) ±0.3mm
—	ファンフォールド紙仕様	最大折り高さ	100mm

- *1 ラベル長とギャップ長の比率は 3:1 以上必要です。
- *2 ラベルサイズが小さい場合は、はがれ防止のため、粘着強度の高いラベルをご使用ください。
- *3 お客様のご使用環境 (低温域) によっては耐保存感熱紙を使用時にまれに用紙はがれが発生することがあります。その際はラベル長を 45mm 以上に変更してご使用願います。
- *4 横方向は用紙の中央を基準とします。
- *5 台紙の上紙は台紙の左右の端から 1.5mm 以上の余白が必要です。
- *6 アイランドタイプのラベルのことです。
- *7 印刷できない領域です。
- *8 お客様のご使用環境 (低温域) によってはまれにラベルにしわが発生することがあります。その際はロール径を φ136mm 以下にてご使用願います。
- *9 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のばらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。

タグ



符号	項目	感熱	熱転写
A	用紙ピッチ	19~457mm	19~457mm
B	タグ幅	25~118mm	25~105mm
C*1	黒マーク長	2 (標準) ~10mm	2 (標準) ~10mm
D	有効最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
E	有効印刷長 (連続紙)	17~997mm	17~997mm
F*2	スローアップ/スローダウン区間	1mm	1mm
—	用紙厚さ	80~170 μm *3	100~170 μm *3
—	ロール仕様	ロール紙最大径	金属タイプ: ϕ 200mm 樹脂タイプ: ϕ 152.4mm
—		巻き方*4	内巻き (標準) / 外巻き
—		紙管	内径38、40、42、76.2 (標準) \pm 0.3mm
—	ファンフォールド紙仕様	最大折り高さ	100mm

*1 黒マークの左右方向の位置は用紙中央が標準です。
黒マーク幅の最小値は 12mm です。
黒マーク部の反射率は波長が 950nm で 10% 以下である必要があります。

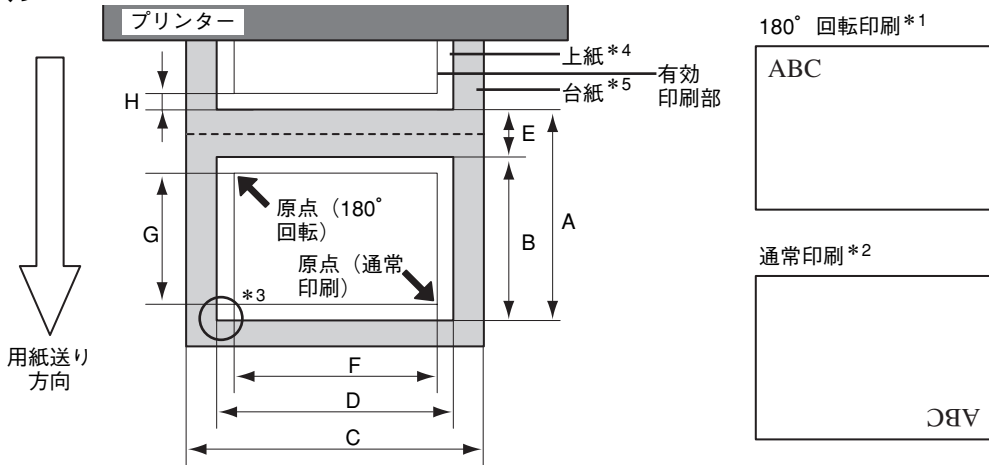
*2 印刷できない領域です。

*3 幅 25 ~ 50mm のタグにおいては最大 263 μm です。

*4 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のばらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。

ハクリ印刷

ラベル



- *1 プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。
- *2 印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。
- *3 ラベルの角には半径2mm以上の丸み（R：アール）が必要です。
- *4 再ハクリタイプの粘着剤のラベルは使用できません。
- *5 台紙は光透過率が22%以上である必要があります。

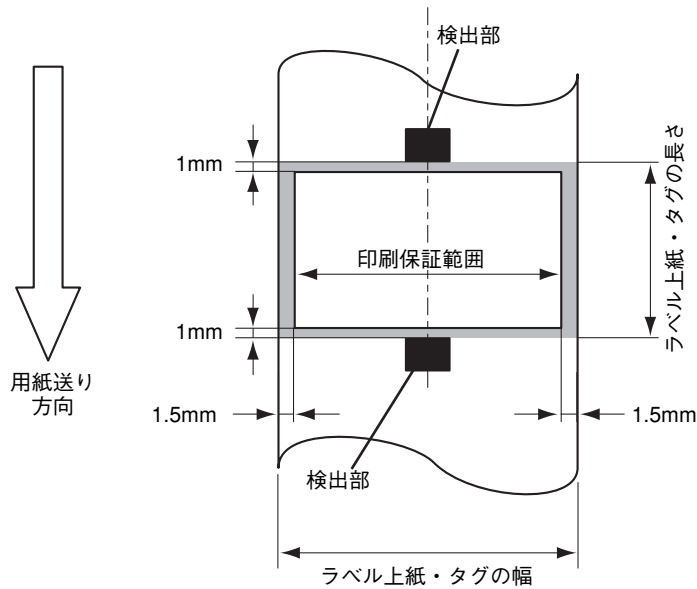
符号	項目	感熱	熱転写
A	用紙ピッチ	19~457mm	19~457mm
B*1	ラベル長*2, *3	17~455mm*4	17~455mm
C*5, *6	ラベル台紙幅	25~118mm	25~114mm
D*5	ラベル上紙幅*2	22~115mm	22~105mm
E*1	ギャップ長	2~5mm	2~5mm
F*5	有効最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
G	有効印刷長（ダイカット紙*7）	15~453mm	15~453mm
	有効印刷長（連続紙）	—	—
H*8	スローアップ/スローダウン区間	1mm	1mm
—	用紙厚さ	130~170 μm	130~170 μm
—	ロール仕様	ロール紙最大径	金属タイプ：φ200mm 樹脂タイプ：φ152.4mm*9
—		巻き方*10	内巻き（標準）/外巻き
—		紙管*11	内径76.2（標準）±0.3mm
—	ファンフォールド紙仕様	最大折り高さ	100mm

- *1 ラベル長とギャップ長の比率は 3:1 以上必要です。
- *2 ラベルサイズが小さい場合は、はがれ防止のため、粘着強度の高いラベルをご使用ください。
- *3 ラベル長が長い場合、剥離したラベルがプリンター本体に貼り付くことがあるため、事前にご確認の上、ご使用ください。
- *4 お客様のご使用環境（低温域）によっては耐保存感熱紙を使用時にまれに用紙はがれが発生することがあります。その際はラベル長を 45mm 以上に変更してご使用願います。
- *5 横方向は用紙の中央を基準とします。
- *6 台紙上の上紙は台紙の左右の端から 1.5mm 以上の余白が必要です。
- *7 アイランドタイプのラベルのことです。
- *8 印刷できない領域です。
- *9 お客様のご使用環境（低温域）によってはまれにラベルにしわが発生することがあります。その際はロール径を φ136mm 以下にてご使用願います。
- *10 用紙は内巻きを推奨します。用紙が外巻きの場合には印刷位置のばらつきやリボンにしわが発生するおそれがあります。
- *11 ハクリ印刷を行う場合、内径 76.2mm の紙管のみをご使用できます。

タグ

タグはハクリ印刷できません。

タグ・ラベルの有効印刷部

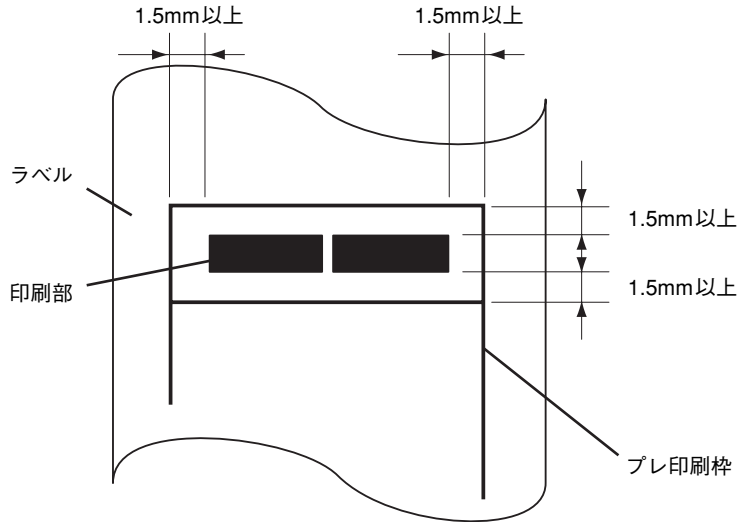


- 上図において、網かけ部 () での印刷品質は保証できません。この部分に印刷をすると、リボンしわが起これ保証印刷領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。
- 印刷を停止し、サーマルヘッドが位置する場所から3mmの用紙送り部分の間の印刷品質も保証できません。

プレ印刷用紙に関する注意

プレ印刷用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- プレ印刷に使用するインクには炭酸カルシウムやカオリンなどの硬度の高い原料が含まれていないインクを使用してください。ヘッド寿命を縮めるおそれがあります。
- プレ印刷は印刷位置のばらつきを考慮して印刷を行う部分より1.5mm以上離れた部分に行ってください。



- プレ印刷の種類によってはラベル位置が正しく補正されず、紙送りが正しく行われなかったことがあります。このような場合は「用紙長の自動補正 (プレ印刷用紙)」(92ページ)を参照してスレッシュホールドの設定を行ってください。
- プレ印刷を行ってインクが塗布されたエリアではプリンターによる印刷が正しく行われず、印刷品質が損なわれることがあります。

推奨設定（印刷濃度）

プリンターのメニューモードまたはシステムモードには印刷濃度の設定ができる機能（「<3> ADJUST SET（微調値設定機能）」の「TONE ADJ.<T>（熱転写印刷濃度微調）」または「TONE ADJ.<D>（感熱印刷濃度微調）」を持っています。

ここでは印刷方式と印刷する際に使用する用紙やリボンの組み合わせから適正となるプリンターの設定値を参考に記載します。

プリンターのメニューモードまたはシステムモードについては4章またはオンラインマニュアルを参照してください。

また、濃度の調整はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスでも設定できます。プリンタードライバーの説明についてはオンラインマニュアルを参照してください。

感熱印刷

用紙	推奨設定値
一般感熱紙	-8 ~ -6
耐保存感熱紙	-4 ~ -2
ユボ感熱	-2 ~ 2

熱転写印刷

用紙 リボン	コート紙	タグ紙	ユボ	白 PET	銀 PET
	ワックスリボン	-8 ~ -7	-4 ~ -3	—	—
ワックスレジンリボン	-5 ~ -4	0 ~ 2	-8 ~ -6	-6 ~ -2	-4 ~ -2
レジンリボン	—	—	2 ~ 4	6 ~ 8	4 ~ 6

- 上記推奨設定は目安であり、用紙の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調を行ってください。

✓ チェック

印刷濃度の工場出荷設定は「0」になっています。添付品のリボンはワックス、ラベルはコート紙ですので、印刷確認の際は上記推奨値への変更をお試しください（工場出荷設定のままでは、印刷品位を満足しない可能性があります）。

用紙長の自動補正（プレ印刷用紙）

ラベルに印刷する場合、印刷位置を一定に保つために本プリンターはラベル間のすき間（ギャップ）を透過センサーで検出し、紙送り方向に対するラベル位置を自動的に補正しています。

しかし、プレ印刷されたラベルを使用する場合、プレ印刷に使用されているインクの種類によってラベル位置が正しく補正されないことがあります。

また、用紙裏面の黒マークを反射センサーで検出して印刷する場合、黒マーク以外の場所で反射率が変動し、用紙位置が正しく補正されないこともあります。

このような場合、使用するプレ印刷用紙ごとおよび使用するセンサーごとにスレッシュホールドを設定し、メモリーに記憶しておく必要があります。

ここでは、スレッシュホールドの設定操作について説明します。

① 待機中になっていることを確認する。

② プレ印刷されたラベルをセットする。

特別な位置にセットする必要はありません。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

③ [PAUSE] を押す。



ポーズ状態になります。

```
ホ° - ス°
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

④ ポーズ状態中に [PAUSE] を3秒以上押し続ける。

スレッシュホールドを設定するセンサーの選択モードとなります。



⑤ [FEED] でセンサーを選択する。

透過センサー選択

```
TRANSMISSIVE
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

反射センサー選択

```
REFLECTIVE
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

⑥ センサーを選択したら、[PAUSE] を押し続ける。

[PAUSE] を放すまで紙送りをします。

```
TRANSMISSIVE
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

⑦ 1.5枚以上の用紙を送った後、[PAUSE] を放す。

紙送りが停止し、選択したセンサーのスレッシュホールド設定は完了です。

```
ホ° - ス°
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

⑧ [RESTART] を押す。

待機中に戻ります。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3      V 1 . 0 A
```

⑨ コンピューターよりコマンドを送信し、印刷する。

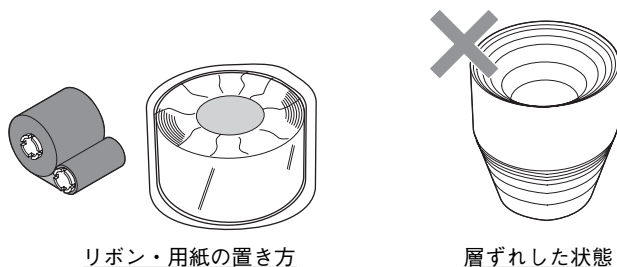
✓チェック

- ポーズ状態で [PAUSE] を押して3秒以内に放した場合、紙送りは行われません。
- スレッシュホールドを設定するときは、1.5～2枚以上のラベルを紙送りしてください。紙送り量が少ないと、正しく設定できない場合があります。
- 紙送り中はペーパーエンド、カッターエラーなどのエラー検出を行いません。
- プリンタードライバーの [センサー] で [透過センサー (手動スレッシュホールド値使用時)]、または [反射センサー (手動スレッシュホールド値使用時)] を選択すると、メモリーに記憶したスレッシュホールドでラベル位置を補正するため、プレ印刷ラベルを使用するときでも、ラベル位置を一定に保つことができます。
- スレッシュホールドを設定しても位置補正が正しく行われなときは、透過センサーを調整してください。システムモードで透過センサーを調整した後、再度スレッシュホールドを設定してください。また、プリンタードライバーの [センサー] で [透過センサー (手動スレッシュホールド値使用時)]、または [反射センサー (手動スレッシュホールド値使用時)] を選択しているか確認してください。



用紙・リボンの保管上の注意

- 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「使用できる用紙」（83ページ）または「用紙規格と印刷範囲」（84ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。
- 用紙を持つときは層ずれを起こさないよう注意してください。
- 残った用紙は包装袋に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように平らな場所に置いてください。
- 使用したリボンをプリンターから取り外して保管する場合は袋や箱に入れ固定し、巻きが乱れないようにしてください。
- 用紙やリボンは高温、多湿を嫌います。涼しい場所に保管してください。また直射日光が当たるような場所は避けて保管してください。
- 用紙やリボンにほこりや紙粉が付着しないように気を付けてください。
- 用紙やリボンは下図の向きにして置いてください。正しい向きにして置いていないと、巻きが乱れて用紙やリボンがずれる場合があります。



- 用紙やリボンには使用期限が設定されたものがあります。使用期限内に使い終わるようにお願いいたします。

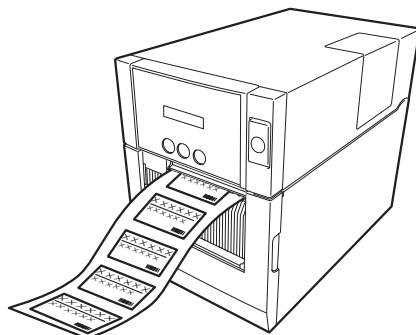
印刷の指示とクリア（リセット）

コンピューターで作成したデータを本プリンターに対して印刷する方法と中止する方法について説明します。

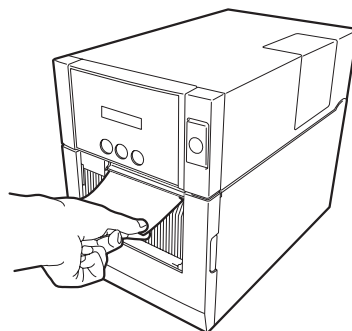
印刷の種類と方法

本プリンターは次の印刷方法をサポートしています。

- **連続印刷**
印刷データを連続して用紙に印刷していきます。
出荷時の状態は連続印刷ができる設定になっています。



- **カット印刷**
印刷された用紙を1枚ごとに切り離します。この機能を使うためにはオプションのカッターモジュールの装着が必要です（MultiCoder 500M3MC/500M3PCには標準でカッターモジュールが装着されています）。

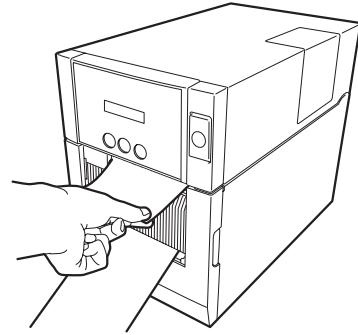


実際の印刷をする際には、カット印刷に対する詳細な設定をプリンタードライバのプロパティダイアログボックスで指定します。カット方法の指定はこの後の説明にある「印刷手順」（97ページ）の説明にある「詳細オプション」ダイアログボックスの中で行います。コンピューターから印刷データを送信する前に忘れずに確認してください。



● ハクリ印刷

印刷された用紙を台紙から剥離します。この機能を使うためにはオプションのハクリモジュールが必要です（MultiCoder 500M3MS/500M3PSには標準でハクリモジュールが装着されています）。



実際の印刷をする際には、ハクリ印刷に対する詳細な設定をプリンタードライバのプロパティダイアログボックスで指定します。剥離方法の指定はこの後の説明にある「印刷手順」（97ページ）の説明にある「詳細オプション」ダイアログボックスの中で行います。コンピューターから印刷データを送信する前に忘れずに確認してください。

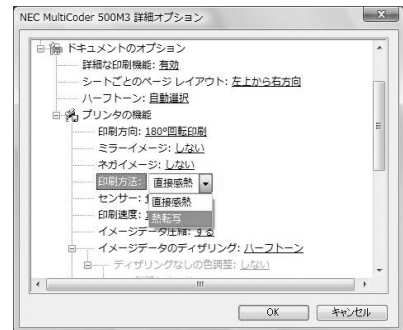


印刷方式の選択

本プリンターは感熱紙に直接印刷する方法とリボンを使用した熱転写の2つの方法で印刷することができます。

印刷方式はコンピューター上のプリンタードライバの設定で選択することができます。この後の説明にある「印刷手順」（97ページ）の説明にある「詳細オプション」ダイアログボックスで行います。コンピューターから印刷データを送信する前に忘れずに確認してください。

- [直接感熱]：感熱方式
- [熱転写]：熱転写方式



印刷速度の設定

本プリンターでは印刷速度を切り替える機能を持っています。機能の切り替えはこの後の説明にある「印刷手順」（97ページ）の説明にある「詳細オプション」ダイアログボックスで行います。

- [50.8mm/秒 (2インチ/秒)]
- [101.6mm/秒 (4インチ/秒)]
- [152.4mm/秒 (6インチ/秒)]



印刷速度を速くすれば、印刷作業もはかどり業務時間を短縮させることができますが、使用する用紙や印刷データの内容によっては印刷位置のずれやかすれなど印刷品質に問題が起きることがあります。万一、印刷品質に問題がある場合は、もう1段階印刷速度を遅くして印刷を試みてください。

印刷手順

印刷はコンピューターのアプリケーションから行います。ここでは本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「LabelStar Lite」がインストールされたWindows XP 日本語版での操作を例に示します。印刷の詳しい手順についてはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

- 1 印刷するデータを開く。
- 2 [ファイル] メニューから [テスト印刷] を選択する。

印刷ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [設定] をクリックする。



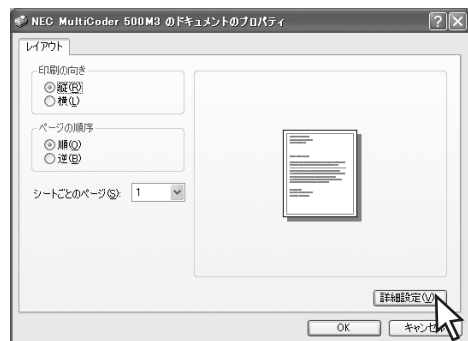
- 4 [プリンタ] に本プリンターが選択されていることを確認し、[プロパティ] をクリックする。

本プリンターのドキュメントのプロパティダイアログボックスが表示されます。



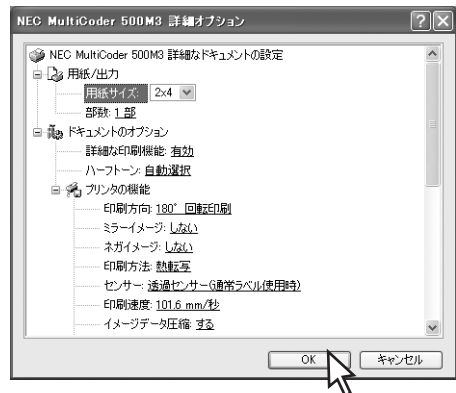
- 5 [詳細設定] をクリックする。

[詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。



- 6 [用紙サイズ] や [部数] などの詳細な設定をして [OK] をクリックする。

設定の詳しい説明についてはオンラインマニュアルを参照してください。



- 7 [詳細オプション] ダイアログボックス、[プリンタの設定] ダイアログボックスで [OK] をクリックする。

- 8 [テスト印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックする。

印刷が始まります。

印刷データのクリア（リセット）

間違えて印刷指示を行った場合など、プリンターに転送したデータをクリアして初期状態にするときに行います。ここでは、リセット操作について説明します。

- ① 待機中または印刷中であることを確認する。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3    V 1 . 0 A
```

- ② [PAUSE] を押す。



印刷中、[PAUSE] が押されると、次のメッセージを表示し、印刷を停止します。

```
ホース° 5 2
PR - T 5 0 0 M 3    V 1 . 0 A
```



チェック

- ポーズ状態で [RESTART] を押して3秒以内に放した場合、リセットのメニューは表示されず、用紙の印刷を再開します。
- エラー状態で [RESTART] を押して3秒以内に放した場合は、エラー状態に戻ります。ただし、コマンドエラーの場合は、電源投入後の初期状態に戻ります。

- ③ ポーズ状態中に [RESTART] を3秒以上押し続ける。



リセットのメニューが表示されます。

```
< 1 > R E S E T
```

- ④ [PAUSE] を押す。

電源投入後の初期状態に戻ります。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3    V 1 . 0 A
```

ユーザー定義用紙サイズの登録

Windowsであらかじめ登録されている用紙サイズ以外の用紙サイズに印刷する場合は、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。

ここではWindows Vista 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックすると開きます。

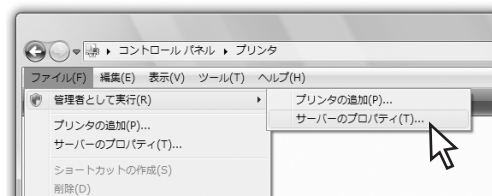
Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

Windows XP Home Editionの場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] - [プリンタ] をクリックすると開きます。

② [サーバーのプロパティ] 画面を表示させる。

Windows Vistaの場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。



Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックすると開きます。

重要

- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンタのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。

③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。

④ [用紙名] に用紙の名前を設定します。

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

- 5 [単位] を指定して [用紙サイズ] と [余白] を設定します。

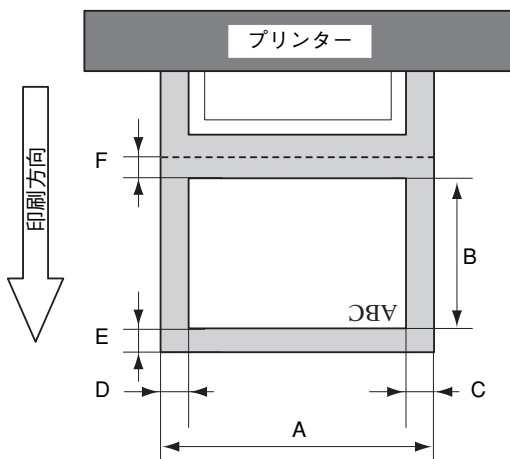


下図と合わせて以下の説明を参考に設定してください。

幅はラベルの台紙を含む大きさに なります (A)。
高さはラベルの台紙を含まない大きさに なります (B)。

左右の余白は台紙とラベルの間にな ります (Cと D)。

上下の余白はラベルとラベルの間 (ラベルギャップ) となります (EとF)。ここでは“0”としてプリンタードライバーの「[詳細オプション] ダイアログボックス」の「ラベルギャップ」で設定してください (オンラインマニュアル参照)。



- 6 [用紙の保存] をクリックします。

- ✓チェック
- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
 - 本プリンタードライバーで設定できる用紙サイズについては「用紙規格と印刷範囲」(84ページ)を参照してください。

- 7 [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

- 8 [閉じる] をクリックします。

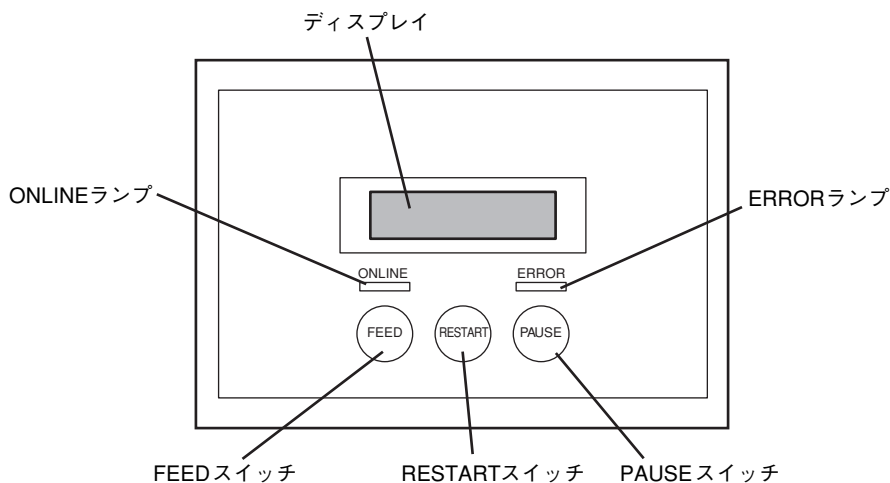


4章

操作パネルと プリンターの設定

この章では、操作パネルを使ってプリンターの操作や設定について説明しています。操作パネル上には、ディスプレイと3個のスイッチ、2個のランプがあります。メニューモードやシステムモードでプリンターのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ディスプレイとランプはプリンターの状態やエラーを知らせます。ディスプレイ、およびスイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。

操作パネルの外観と各部の名称は次のとおりです。なお下図は金属タイプ（MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS）のものです。樹脂タイプ（MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS）では外観が多少異なりますが、配置は同じです。






操作パネル

スイッチ

操作パネルには3個のスイッチがあります。

スイッチの基本機能

ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。

	<ul style="list-style-type: none">用紙を1枚分紙送りするとき、または1枚排出するときに使います。用紙の位置を合わせるときに使います。スレッシュホルドの設定時に使います。
	<ul style="list-style-type: none">印刷の一時停止後の再印刷を行うときに使います。エラーを解除して再印刷するときに使います。ただし、一部のエラーは [RESTART] で解除できません（詳細は172ページ参照）。スレッシュホルドの設定時に使います。リセット操作時およびパラメーター設定時、各メニューを表示させるときに使います。
	<ul style="list-style-type: none">印刷を一時的に停止するときに使います。スレッシュホルドの設定時に使います。リセット操作終了後、本プリンターを電源投入後の初期状態に戻すときに使います。

スイッチの応用機能

スイッチには「用紙を送る」や「ポーズする」などの基本機能以外にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

機能	スイッチ操作	内容
メニューモード	ポーズ状態になっているときに、[RESTART] スイッチを3秒以上を押す。	プリンターの内部設定を変更するモードです。パラメーター設定など比較的頻繁に設定変更を行う項目がありません（詳細は104ページ参照）。
システムモード	[FEED] スイッチと [PAUSE] スイッチを押しながらプリンターの電源スイッチをONにする。	プリンターの内部設定を変更するモードです。運用の前に決めておく設定などあまり設定変更を行わない項目があります（詳細は117ページ参照）。
スレッシュホルド設定	ポーズ状態になっているときに [PAUSE] スイッチを3秒以上押す。	プレ印刷された用紙の用紙長を自動補正します（詳細は92ページ参照）。

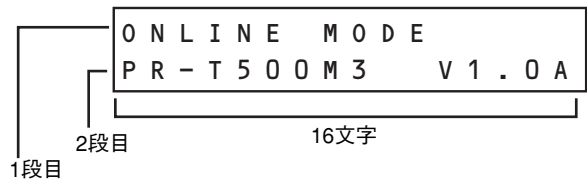
ランプ

操作パネルには2個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンターの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
ONLINEランプ	緑	点灯	コンピューターとの通信が可能な状態です。
		点滅	コンピューターとの通信を行っている状態です。
ERRORランプ	赤	点灯	何らかの不具合が本プリンターに起きている状態です。
		点滅	リボンニアエンド（リボンなしに近い状態）が検出された状態です。リボンニアエンド検出設定が「OFF」以外の場合に有効となります。

ディスプレイ

操作パネルのディスプレイには、右図のようにプリンターの状態やアラーム時の解除方法およびプリンターのメニュー設定時の項目などが表示されます。ここでは、プリンターが通常の状態での表示とその他の状態での表示について記載しています。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」（172ページ）をご覧ください。



表示の種類	表示（上：1段目・下：2段目）	表示の意味
電源スイッチをONまたは初期化動作中の表示	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ (空白)	プリンターを初期状態に戻しています。
ネットワークの初期化中	100BASE LAN	電源スイッチのONの後、およびリセットの後にプリンター内部のネットワークコントローラーを初期化しています。
	INITIALIZING	
	DHCP CLIENT	
印刷できる状態および印刷データを受信中の表示	ONLINE MODE	プリンターが印刷可能な状態になっています。また、ONLINEランプが点滅しているときは、印刷データを受信しています。2段目の“V1.0A”はお買い求めになったプリンターによって数字が異なることがあります。
	PR-T500M3 V1.0A	
ポーズ状態	ホース 9999	プリンターが印刷できない（印刷データを受信できない）状態になっています。1段目の右端の数字は用紙に印刷する残り枚数*1を示します（残り枚数がゼロの場合は空白のままです）。2段目の“V1.0A”はお買い求めになったプリンターによって数字が異なることがあります。
	PR-T500M3 V1.0A	

*1 残り枚数は、指定した枚数からエラー発生時またはポーズにした時点で正常に印刷を終了した枚数を引いた数字です。

メニューモード

「メニューモード」はプリンターが電源ONの状態からプリンターの各種設定や微調整、診断などを行うためのモードです。メニューの一部はこの後に説明する「システムモード」でも設定できます。

ここではメニューモードの起動と終了方法、ならびに初期値の一覧を示します。加えて印刷位置の微調整に関するメニューの機能について説明しています。その他の詳細はソフトウェアCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

重要

このメニューを起動するとプリンターの電源をいったんOFFにするかリセットを実行しないかぎり終了できません。プリンターが印刷中に起動すると、残り枚数を破棄することになります。

起動と終了方法

メニューモードは次の手順で起動します。終了方法についても説明しています。

1 待機中の状態であることを確認する。

```
ONLINE MODE
PR-T500M3 V1.0A
```

2 [PAUSE] を押す。



ポーズ状態になります。

```
ホース
PR-T500M3 V1.0A
```

3 ポーズ状態中に [RESTART] を3秒以上押し続ける。



メニューモードが起動して、はじめにリセットのメニューを表示します。

```
< 1 > RESET
```

メニューモード中のスイッチ機能は次のとおりです。

- | | |
|----------------|---|
| FEED : | メニュー項目の変更 (前進)
設定値の変更 (減少) |
| RESTART : | メニュー項目の変更 (後退)
設定の変更 (増加) |
| PAUSE : | メニューレベルの変更 (深いレベルへ移動)
設定値の確定 |
| RESTART+FEED : | 現在の設定項目の変更のキャンセルとメニューレベルの変更 (現在表示しているメニューの親メニューへ移動) |

メニューモードを終了する場合は、「印刷データのクリア (リセット)」(98ページ) を参照してリセットを実行するか、プリンターの電源をOFFにしてください。

チェック

[FEED] と [RESTART] の同時押しによるキャンセルについて

- [FEED] か [RESTART] のどちらか一方のスイッチを押したまま、もう一方のスイッチを押すと正しく機能します。同時に押しても、押したタイミングによってはパラメーターが切り替わるだけの場合があります。またパラメーターの表示が一瞬変わりますがプリンターは記憶しません。
- 現在表示しているパラメーターの設定値のみをキャンセルして元のメニュー選択画面に戻ります。したがって、それまでに [PAUSE] を押して決定したパラメーターはプリンターに記憶されます。

メニューツリー

以下にメニューモード内のメニューをツリー形式で示します（【 】内のパラメーターが初期値です）。なお“<2> PARAMETER SET”と“<3> ADJUST SET”はシステムモードでの機能と同じです。



“<5> EXPAND MODE”、“<8> RTC” およびグレーで示すメニューはお客様では設定できません。このメニューを選択しないでください。

<印刷可能な状態>

```
ONLINE MODE
PR - T500M3    V1.0
```

↓ [PAUSE] を1回押す

```
ホース
PR - T500M3    V1.0
```

↓ [RESTART] を3秒以上押し続ける

<1> RESET ————— リセットを実行後オンライン状態に戻る

<2> PARAMETER SET

FONT CODE	【PC-850】・PC-852・PC-857・PC-8・PC-851・PC-855・PC-1250・PC-1251・PC-1252・PC-1253・PC-1254・PC-1257・LATIN9・Arabic・PC-866・UTF-8
ZERO FONT	【0（スラッシュなし）】・0（スラッシュあり）
SPEED	2400bps・4800bps・【9600bps】・19200bps・38400bps・115200bps
DATA LENG.	7bit・【8bit】
STOP BIT	【1bit】・2bit
PARITY	【EVEN】・NONE・ODD
XON+READY	XON/XOFF AUTO・READY/BUSY RTS・XON/XOFF・READY/BUSY・【XON+READY AUTO】
LCD	ENGLISH・GERMAN・FRENCH・DUTCH・SPANISH・【JAPANESE】・ITALIAN
FORWARD WAIT	【OFF】・ON*
POSITION	-5.0mm～【+0.0mm】～+5.0mm
CODE	【AUTO】・MANUAL・{ }・ESC LF NUL
CONTROL CODE1	00～【1B】～FF
CONTROL CODE2	00～【0A】～FF
CONTROL CODE3	【00】～FF
PEEL OFF STS	【OFF】・ON
FEED KEY	【FEED】・PRINT
KANJI CODE	【TYPE1】・TYPE2
EURO CODE	20～【B0】～FF
AUTO HD CHK	【OFF】・ON
ACK/BUSY	【TYPE1】・TYPE2
WEB PRINTER	【OFF】・ON
INPUT PRIME	【OFF】・ON
RBN NEAR END	【OFF】・30m・70m
EX.I/O	【TYPE1】・TYPE2

次ページへ

次ページへ

* MultiCoder 500M3MC/500M3PC は【ON】が初期値です。

前ページから

前ページから

	PLUG & PLAY	[OFF] · ON
	LBL/RBN END	[TYP1] · TYP2
	PRE PEEL OFF	[OFF] · ON
	P.P.FEED	-2.5mm ~ [+0.0mm] ~ +9.9mm
	BACK SPEED	[STD] · LOW
	MAXI CODE	[TYPE1] · TYPE2
	KB I/F	[OFF] · KB60 (1) · KB60 (2) · KB80
	PEEL OFF TRQ	[R0] · R1 · R2 · R3
	TONE TABLE	[TYPE1] · TYPE2
	CUT MODE	[TYPE1] · TYPE2
<3> ADJUST SET	FEED ADJ.	-50.0mm ~ [+0.0mm] ~ +50.0mm
	CUT ADJ.	-50.0mm ~ [+0.0mm] ~ +50.0mm
	BACK ADJ.	-9.9mm ~ [+0.0mm] ~ +9.9mm
	X ADJUST	-99.9mm ~ [+0.0mm] ~ +99.9mm
	TONE ADJ.<T>	-10 ~ [0] ~ +10
	TONE ADJ.<D>	-10 ~ [0] ~ +10
	RBN ADJ. <FW>	-15 ~ [0] ~ +2
	RBN ADJ. <BK>	-15 ~ [0] ~ +10
	THRESHOLD<R>	0.0V ~ [1.0V] ~ 4.0V
	THRESHOLD<T>	0.0V ~ [1.4V] ~ 4.0V
<4> DUMP MODE	BUFFER	[RS-232C] · CENTRO. · NETWORK · BASIC1 · BASIC2 · USB
	PRINT	[ON DEMAND] · ALL
<5> EXPAND MODE (保守用の機能です。操作しないでください。)		
<6> AUTO CALIB		[OFF] · ON TRANS. · ON REFLECT
<7> LAN		OFF · [ON SNMP ON] · ON SNMP OFF
<8> RTC (保守用の機能です。操作しないでください。)		
<9> ISSUE CNTRL	CONTROL MODE	[1] · 2
	SENSOR	[COMMAND] · NONE · REFLECT · TRANS · TRA-M · REF-M
	PRT TYPE	[COMMAND] · TRANSFR · DIRECT
	SPEED	[COMMAND] · 2ips · 4ips · 6ips
	CUT	[COMMAND] · OFF · ON
	ROTATION	[COMMAND] · 0 · 1 · 2 · 3

前ページの「<1> RESET」へ

初期値一覧

メニューモードの項目と初期値を以下に示します。



「操作」の欄が“×”となっている項目は初期値のまま変更しないでください。

メニュー名	パラメータの初期値	操作
<1> RESET (プリンター内のデータをクリアして初期状態に戻ります。)		○
<2> PARAMETER SET (パラメータ設定機能)		
FONT CODE (文字コード切り換え)	PC-850	×
ZERO FONT (0の字体切り換え)	0 (スラッシュなし)	×
SPEED (RS-232C通信速度切り換え)	9600bps	×
DATA LENG. (RS-232Cデータ長切り換え)	8bit	×
STOP BIT (RS-232Cストップビット長切り換え)	1bit	×
PARITY (RS-232Cパリティ切り換え)	EVEN	×
XON+READY (RS-232C伝送制御方式切り換え)	XON+READY AUTO	×
LCD (LCD表示メッセージ言語切り換え)	JAPANESE	×
FORWARD WAIT (自動正転待機切り換え)	OFF *1	○
POSITION (正転待機時の停止位置調整値) *2	+0.0mm	○
CODE (制御コード切り換え)	AUTO	×
CONTROL CODE1 (制御コード1) *3	1B	×
CONTROL CODE2 (制御コード2) *3	0A	×
CONTROL CODE3 (制御コード3) *3	00	×
PEEL OFF STS (ハクリ待ちステータス切り換え)	OFF	×
FEED KEY ([FEED]スイッチ機能設定)	FEED	○
KANJI CODE (漢字特殊コードの切り換え)	TYPE1	×
EURO CODE (Euroフォントコードの設定)	B0	×
AUTO HD CHK (自動断線チェック設定)	OFF	○
ACK/BUSY (セントロACK/BUSYタイミング設定)	TYPE1	○
WEB PRINTER (WEBプリンター機能設定)	OFF	×
INPUT PRIME (nInit信号ON時のリセット処理切り換え)	OFF	○
RBN NEAR END (リボンニアエンド検出設定)	OFF	○
EX.I/O (拡張I/O動作モード設定)	TYPE1	×
PLUG & PLAY (プラグ&プレイ動作設定)	OFF	○
LBL/RBN END (ラベルエンド/リボンエラー処理設定)	TYP1	○
PRE PEEL OFF (プレハクリ処理設定)	OFF	○
P.P.FEED (プレハクリ距離設定) *4	+0.0mm	○
BACK SPEED (バックフィード速度設定) *5	STD	○
MAXI CODE (MaxiCode仕様設定)	TYPE1	×
KB I/F (キーボードI/F設定)	OFF	×
PEEL OFF TRQ (ハクリモータートルク設定)	R0	○
TOPE TABLE (印加エネルギーテーブル設定)	TYPE1	×
CUT MODE (カット速度) *5	TYPE1	○

メニュー名	パラメータの初期値	操作
<3> ADJUST SET (微調値設定機能)		
FEED ADJ. (フィード量微調)*6	+0.0mm	○
CUT ADJ. (カット・ハクリ位置微調)*6	+0.0mm	○
BACK ADJ. (バックフィード量微調)*6	+0.0mm	○
X ADJUST (X方向座標微調)	+0.0mm	○
TONE ADJ.<T> (熱転写印刷濃度微調)	0	○
TONE ADJ.<D> (感熱印刷濃度微調)	0	○
RBN ADJ. <FW> (リボンモーター駆動電圧微調 (巻き取り側))	0	○
RBN ADJ. <BK> (リボンモーター駆動電圧微調 (バックテンション側))	0	○
THRESHOLD<R> (反射センサー手動スレッシュホールド微調)	1.0V	○
THRESHOLD<T> (透過センサー手動スレッシュホールド微調)	1.4V	○
<4> DUMP MODE		
BUFFER (受信バッファ選択)	RS-232C	○
PRINT (印刷方式選択)	ON DEMAND	○
<5> EXPAND MODE (保守用の機能です。操作しないでください。)		×
<6> AUTO CALIB		
オートキャリブレーション設定	OFF	○
<7> LAN		
ネットワークの設定	ON SNMP ON	○
<8> RTC (保守用の機能です。操作しないでください。)		×
<9> ISSUE CNTRL (発行制御設定機能)		
CONTROL MODE (停止位置制御モード)	MODE 1	○
SENSOR (センサー指定)	COMMAND	○
PRT TYPE (印刷方式)	COMMAND	○
SPEED (印刷速度指定)	COMMAND	○
CUT (カット指定)	COMMAND	○
ROTATION (タグローテーション指定)	COMMAND	○

* 1 MultiCoder 500M3MC/500M3PCは [ON] が初期値です。

* 2 自動正転待機切り換えが「正転待機有り」の場合のみ表示します。

* 3 制御コード切り換えが「MANUAL」の場合のみ表示します。

* 4 プレハクリ処理設定 ON 時のみ表示します。

* 5 印刷方式とカット速度の設定によってバックフィード速度の機能の有効/無効が切り替わる場合があります。詳しくは、110ページの「チェック」を参照してください。

* 6 カット印刷またはハクリ印刷を利用時は設定可能な微調量が制限されます。

設定内容の変更

システムモードで設定した各種微調値の内容を、メニューモードで変更することができます。ここでは“<3> ADJUST SET”にある各種微調値の設定および変更操作について説明します。その他の詳細な説明についてはオンラインマニュアルを参照してください。

各種パラメーターの設定と各種微調値の設定は添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」からWindowsの画面上で行うこともできます（ただしプリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります）。リモートパネルについては「リモートパネル」（74ページ）またはオンラインマニュアルを参照してください。

操作例

- ① 待機中の状態であることを確認する。

```
ONLINE MODE
PR - T 5 0 0 M 3    V 1 . 0 A
```

- ② [PAUSE] を押す。



ポーズ状態になります。

```
ホース
PR - T 5 0 0 M 3    V 1 . 0 A
```

- ③ ポーズ状態中に [RESTART] を3秒以上押し続ける。



リセットのメニューが表示されます。

```
< 1 > R E S E T
```

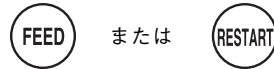
- ④ 微調値設定のメニューが表示されるまで [FEED] を押す。

```
< 3 > A D J U S T   S E T
```

[PAUSE] を押します。

各種微調整値の項目が表示されます。

[FEED] または [RESTART] で表示している項目の値を変更します。



または



次の項目に移るときは [PAUSE] を押します。



各項目の詳細については次ページ以降の説明を参照してください。

```
< 3 > A D J U S T   S E T
F E E D   A D J . + 1 0 . 0 m m
```

- ⑤ 透過センサー手動スレッシュホールド値微調設定を [FEED] または [RESTART] で設定する。

```
< 3 > A D J U S T   S E T
T H R E S H O L D < T > 1 . 4 V
```

- ⑥ [PAUSE] を押す。



微調値設定のメニューに戻ります。

```
< 3 > A D J U S T   S E T
```

- 7 リセットのメニューが表示されるまで [RESTART] を押す。

< 1 > R E S E T

- 8 [PAUSE] を押す。

電源投入後の初期状態に戻ります。

O N L I N E M O D E
P R - T 5 0 0 M 3 V 1 . 0 A



“<2> PARAMETER SET” (パラメータ設定機能) の “BACK SPEED” (バックフィード速度設定) と “CUT MODE” (カット速度) の関係について

“<2> PARAMETER SET” (パラメータ設定機能) の “CUT MODE” (カット速度) を “TYPE 2” に設定し、直接感熱方式で印刷すると、“BACK SPEED” (バックフィード速度設定) の設定に関わらず、4インチ/秒の速度でバックフィードの動作をします。下表を参照してください。

カット速度の設定	印刷方式	
	直接感熱方式	熱転写方式
TYPE 1 (標準モード)	バックフィード速度の設定で動作をします。	バックフィード速度の設定で動作をします。
TYPE 2 (高速モード)	バックフィード速度の設定を無視します (4インチ/秒に固定)。	バックフィード速度の設定で動作をします。

“<3> ADJUST SET” (微調値設定機能) について

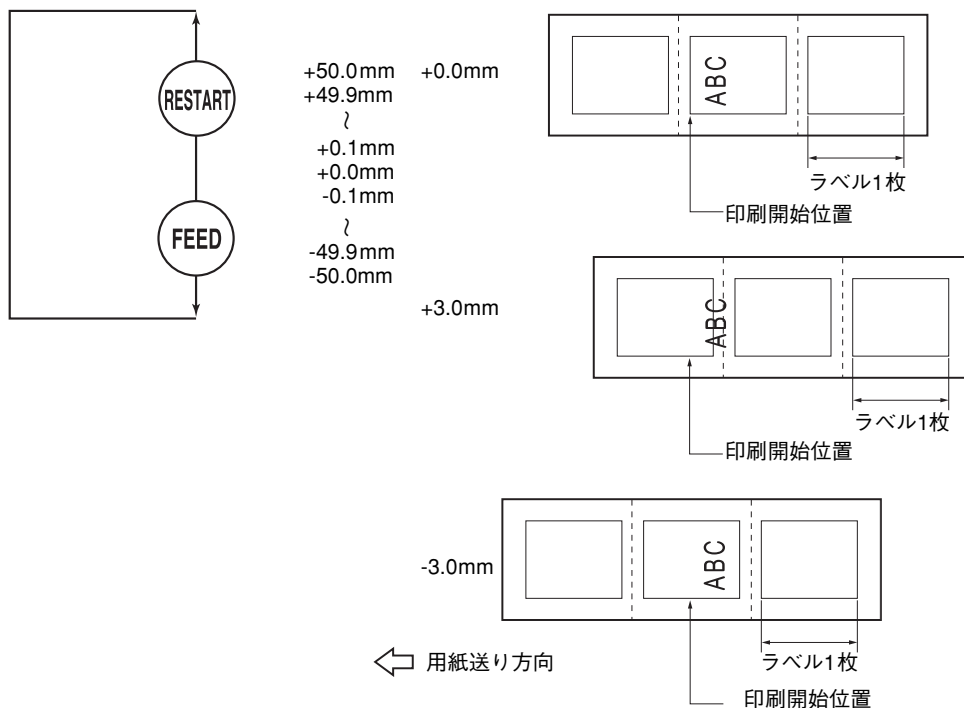
- 微調値を設定するときに [FEED] と [RESTART] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- 微調値を設定するとき、[FEED] または [RESTART] を0.5秒以上押し続けた場合は、そのスイッチを連続して押したものと判断します。
- 微調値の変更は、設定後の [PAUSE] を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。
- スイッチ操作による各微調値は、コンピューターからの各微調値に加算され、本プリンターを制御します。ただし、各微調値の最大値は以下のとおりです。
 - フィード量微調値 ±50.0mm*1
 - カット (またはハクリ) 位置微調値 ±50.0mm*1
 - バックフィード量微調値 ±9.9mm*1
 - X方向座標微調値 ±99.9mm
 - 印刷濃度微調値 (熱転写および感熱モード) ±10 (ステップ)
 - リボンモーター駆動電圧微調値 (巻き取り側) -15~+2 (ステップ)
 - リボンモーター駆動電圧微調値 (バックテンション側) -15~+10 (ステップ)
 - 反射センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0~4.0V
 - 透過センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0~4.0V
- “X ADJUST” (X方向座標微調) とは、描画のX座標を右方向、または左方向へ調整することです。
- 微調整は有効印刷幅の範囲内で行ってください。(マイナス方向に微調を行って座標「0」に到達したフィールドは、それ以上マイナス方向に調整しても0のままとなります)
- 自己診断結果印刷およびテスト印刷のときは、X方向座標の微調値を無視します。
- 印刷濃度の初期微調値は「0」です。

*1 カット印刷またはハクリ印刷を利用時は設定可能な微調量が制限されます。

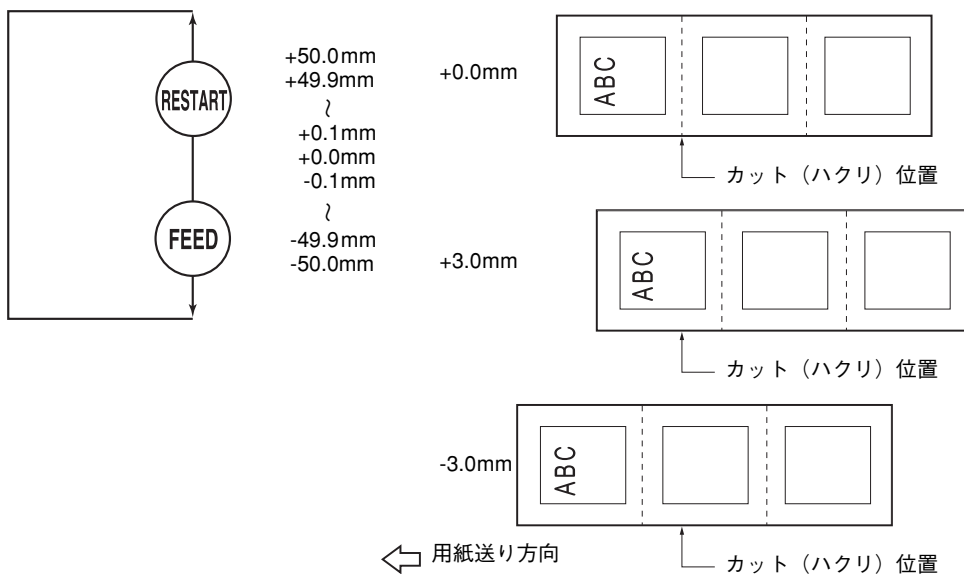
設定内容の詳細

ここでは“<3> ADJUST SET”（微調値設定機能）にある項目の詳細について説明します。その他の項目の機能や詳細な説明についてはソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

(1) フィード量微調 (FEED ADJ.)



(2) カット（またはハクリ）位置微調 (CUT ADJ.)



<カット印刷時の22.0mm以下のラベル対応>

通常使用状態において、カット印刷可能なラベルの最小ラベルピッチは22.0mmです。

22.0mm以下のラベル（仕様外のサイズ）を使用した場合、ラベル間のギャップ部分をカットした後、ホームポジションまでバックフィードする際、ラベルのエッジ部分がサーマルヘッドのエッジに引っ掛かり、正規のホームポジションまでバックフィードできないことがあります。この場合、以下に示す方法を用いることにより、この問題を回避することができます。

カット位置微調値を調整することで回避する方法

（ただし、この方法を用いるとヘッドとカッターの間に印刷済みラベルが1枚以上取り残されることになるため、ラベル印刷またはフィードにより、ヘッドとカッター間に残っているラベルを取り出すようにしなければなりません。）

(a) カット位置微調値算出方法

以下の計算式によりカット位置微調値を算出することができます。

ただし、この微調値を使用しても正規のホームポジションまで逆転フィードできない場合は、任意の微調値にて調整してください。

カット位置微調値

$$= (\text{ヘッドとカッターの間に残っている枚数}) \times (\text{ラベルピッチ})$$

$$= \left\lceil \frac{22.0\text{mm}}{\text{ラベルピッチ}} \right\rceil \times (\text{ラベルピッチ})$$

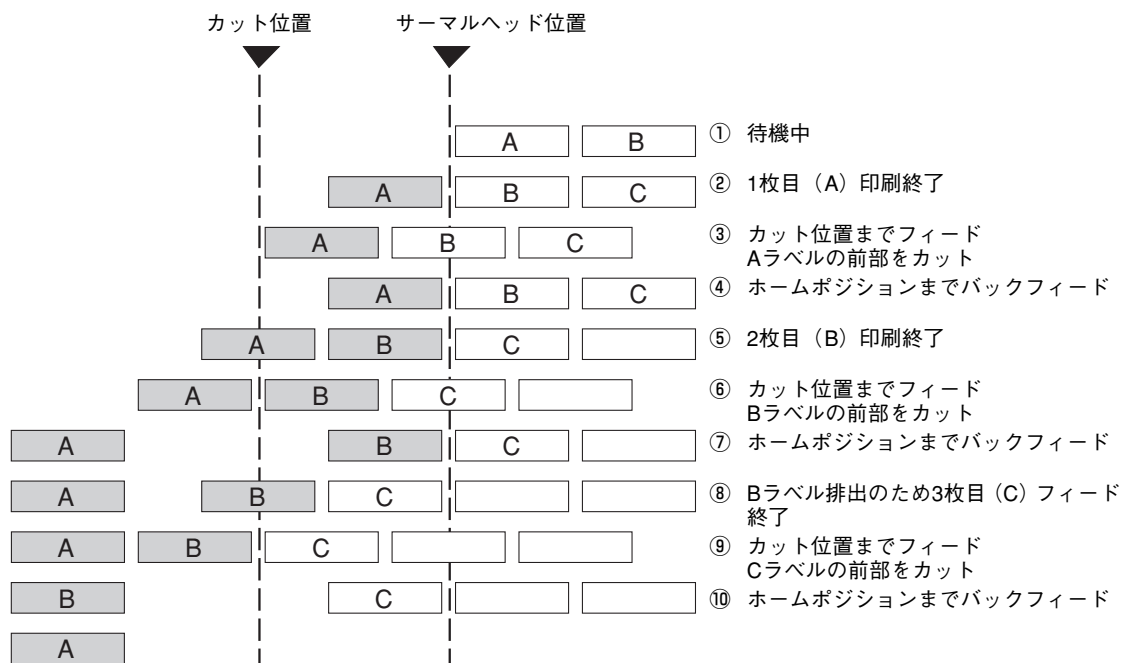
* 除算結果は小数点切り捨て

（例）ラベルピッチ=20.0mmの場合

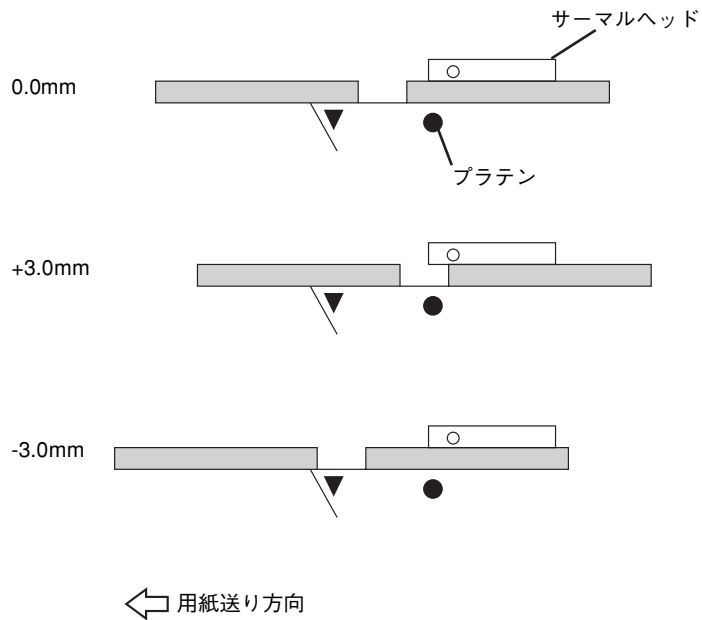
$$\text{カット位置微調値} = \left\lceil \frac{22.0\text{mm}}{\text{ラベルピッチ}} \right\rceil \times (20.0\text{mm}) = 1 \times 20.0\text{mm} = +20.0\text{mm}$$

(b) 動作例

2枚印刷、カットマルチ=1の場合

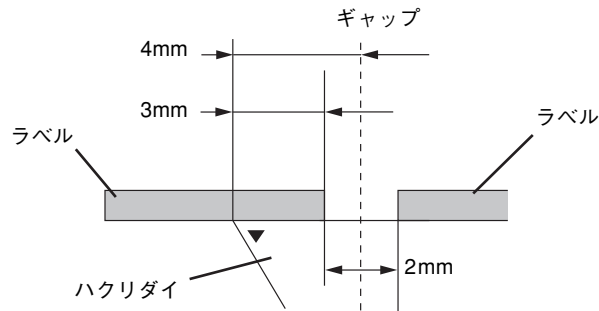


【ハクリ位置微調】

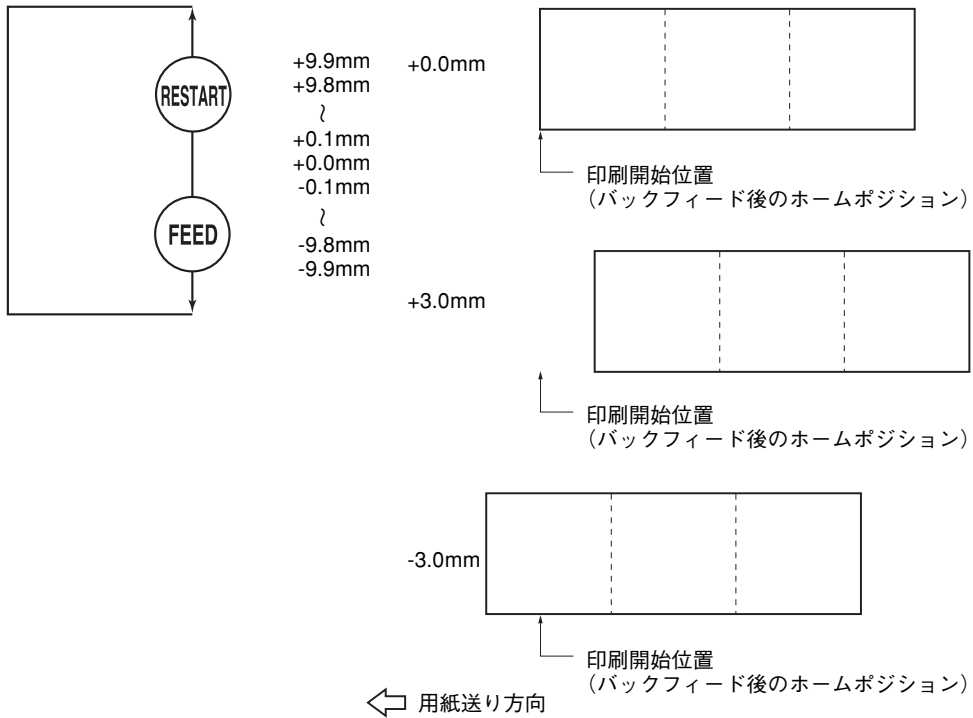


✓ チェック

- ハクリ印刷時の印刷停止位置は、ラベル間ギャップの中心からハクリダイ先端までの距離が、4mmになるように停止します。
これは、ラベル間ギャップ2mmを想定して設計しているためです。
- ラベル間ギャップが大きい場合など、停止位置が適切でないときは、ハクリ位置微調で印刷停止位置を変更してください。



(3) バックフィード量微調 (BACK ADJ.)

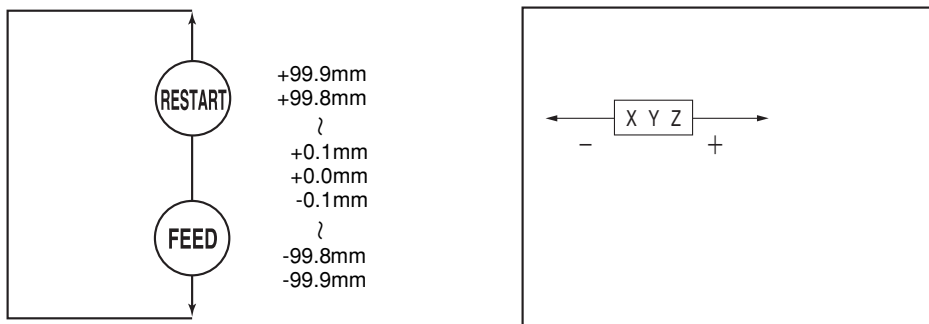


✓ チェック

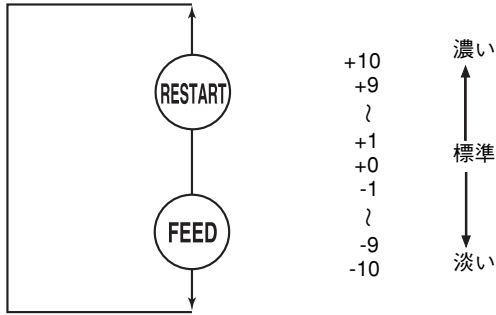
バックフィード動作時は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。

用紙検出センサーを使用して印刷する場合、サーマルヘッドと用紙センサー間の距離 (67.9mm) とほぼ同じサイズのラベルピッチ (またはタグピッチ) の用紙を使用してバックフィードを伴う動作 (カット印刷、ハクリ印刷、自動正転待機) をする場合、バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーが発生することがあります。このようなときは、+方向 (バックフィード量を多くする) のバックフィード量微調を設定し、エラーが発生しないようにしてください。

(4) X方向座標微調 (X ADJUST)



(5) 印刷濃度微調 (熱転写/感熱) (TONE ADJ.)

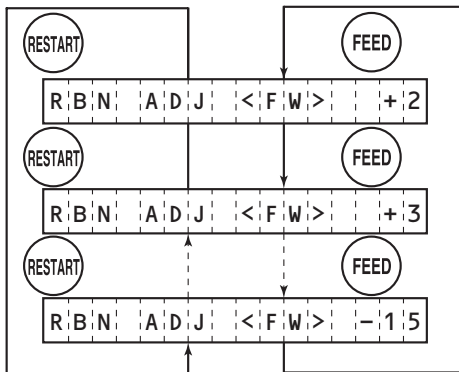


✓**チェック**

+0以上に設定される場合には、サーマルヘッドの寿命が短くなるおそれがあります。

-0以下に設定され、印刷が薄くなっている場合には、リボンしわが発生するおそれがあります。

(6) リボンモーター駆動電圧微調 (巻き取り側) (RBN ADJ <FW>)



+2 (+5%×2 = +10%)

⋮

+0 (標準)

-1 (-5%×1 = -5%)

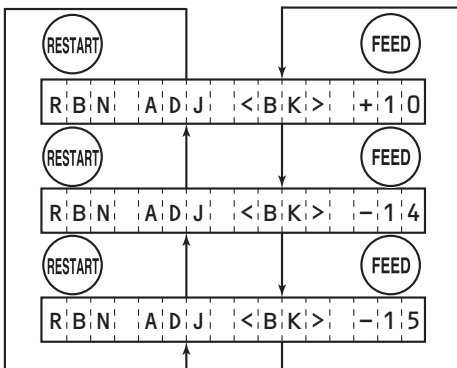
⋮

-15 (-5%×15 = -75%)

1 = 5%

・+ (プラス) 方向の微調は+2まで (-15~+2)

(7) リボンモーター駆動電圧微調 (バックテンション側) (RBN ADJ <BK>)



+10 (+5%×10 = +50%)

⋮

+0 (標準)

-1 (-5%×1 = -5%)

⋮

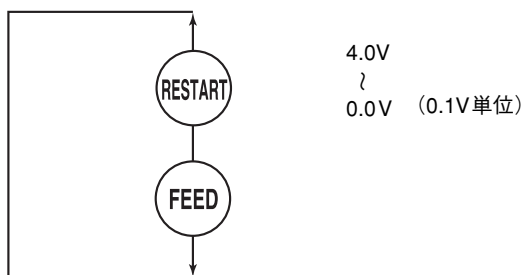
-14 (-5%×14 = -70%)

-15 (-5%×15 = -75%)

1 = 5%

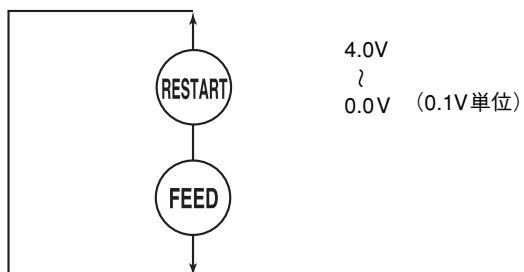
・+ (プラス) 方向の微調は+10まで (-15~+10)

(8) 透過センサー手動スレッシュホールド微調 (THRESHOLD <T>)



微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.0Vに補正されます。

(9) 反射センサー手動スレッシュホールド微調 (THRESHOLD <R>)



微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.4Vに補正されます。

システムモード

「システムモード」はプリンターの基本的な設定や診断などを行うためのモードです。ここでは、システムモードの入り方と終了方法、初期設定の一覧を示しています。その他の詳しい説明については、添付のソフトウェアCD-ROMのオンラインマニュアルをご覧ください。

起動と終了方法

プリンターの電源がOFFの状態で、[FEED] と [PAUSE] を同時に押したまま電源スイッチをONにしてください。ディスプレイにシステムモードの1番目のメニューである自己診断メニューが表示されます。

システムモード中のスイッチ機能は次のとおりです。

FEED :	メニュー項目の変更 (前進) 設定値の変更 (減少)
RESTART :	メニュー項目の変更 (後退) 設定の変更 (増加)
PAUSE :	メニューレベルの変更 (深いレベルへ移動) 設定値の確定
RESTART+FEED :	現在の設定項目の変更のキャンセルとメニューレベルの変更 (現在表示しているメニューの親メニューへ移動)

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

システムモードを終了するには、プリンターの電源スイッチをOFFにしてください。



[FEED] と [RESTART] の同時押しによるキャンセルについて

- [FEED] か [RESTART] のどちらか一方のスイッチを押したまま、もう一方のスイッチを押すと正しく機能します。同時に押しても、押したタイミングによってはパラメーターが切り替わるだけの場合があります。またパラメーターの表示が一瞬変わりますがプリンターは記憶しません。
- 現在表示しているパラメーターの設定値のみをキャンセルして元のメニュー選択画面に戻ります。したがって、それまでに [PAUSE] を押して決定したパラメーターはプリンターに記憶されます。

メニューツリー

次ページ以降にシステムモード内のメニューをツリー形式で示します (【 】内のパラメーターが初期値です)。



グレー色の項目はお客様では設定できません。このメニューを選択しないでください

<電源OFFの状態>

↓ [FEED] と [PAUSE] を押しながら電源をON

<1> DIAG.	PRT TYPE	[TRANSFR]・DIRECT
	TYPE	[[S]NO CUT]・[C]WITH CUT
	MAINTENANCE CONT	[MAINTENANCE CONT]・AUTO DIAGNOSTIC・HEAD CHECK
<2> PARAMETER SET	FONT CODE	[PC-850]・PC-852・PC-857・PC-8・PC-851・PC-855・PC-1250・PC-1251・PC-1252・PC-1253・PC-1254・PC-1257・LATIN9・Arabic・PC-866・UTF-8
	ZERO FONT	[0 (スラッシュなし)]・0 (スラッシュあり)
	SPEED	2400bps・4800bps・[9600bps]・19200bps・38400bps・115200bps
	DATA LENG.	7bit・[8bit]
	STOP BIT	[1bit]・2bit
	PARITY	[EVEN]・NONE・ODD
	XON+READY	XON/XOFF AUTO・READY/BUSY RTS・XON/XOFF・READY/BUSY・[XON+READY AUTO]
	LCD	ENGLISH・GERMAN・FRENCH・DUTCH・SPANISH・[JAPANESE]・ITALIAN
	FORWARD WAIT	[OFF]・ON*
	POSITION	-5.0mm～ [+0.0mm] ～+5.0mm
	CODE	[AUTO]・MANUAL・{ }・ESC LF NUL
	CONTROL CODE1	00～ [1B] ～FF
	CONTROL CODE2	00～ [0A] ～FF
	CONTROL CODE3	[00] ～FF
	PEEL OFF STS	[OFF]・ON
	FEED KEY	[FEED]・PRINT
	KANJI CODE	[TYPE1]・TYPE2
	EURO CODE	20～ [B0] ～FF
	AUTO HD CHK	[OFF]・ON
	ACK/BUSY	[TYPE1]・TYPE2
	WEB PRINTER	[OFF]・ON
	INPUT PRIME	[OFF]・ON
	RBN NEAR END	[OFF]・30m・70m
	EX.I/O	[TYPE1]・TYPE2
	PLUG & PLAY	[OFF]・ON
	LBL/RBN END	[TYP1]・TYP2
	PRE PEEL OFF	[OFF]・ON
	P.P.FEED	-2.5mm～ [+0.0mm] ～+9.9mm
	BACK SPEED	[STD]・LOW
	MAXI CODE	[TYPE1]・TYPE2
	KB I/F	[OFF]・KB60 (1)・KB60 (2)・KB80
	PEEL OFF TRQ	[R0]・R1・R2・R3
	TOPE TABLE	[TYPE1]・TYPE2
	CUT MODE	[TYPE1]・TYPE2

次ページへ

* MultiCoder 500M3MC/500M3PCは [ON] が初期値です。

前ページから

<p><3> ADJUST SET</p>	FEED ADJ.	-50.0mm ~ [+0.0mm] ~ +50.0mm
	CUT ADJ.	-50.0mm ~ [+0.0mm] ~ +50.0mm
	BACK ADJ.	-9.9mm ~ [+0.0mm] ~ +9.9mm
	X ADJUST	-99.9mm ~ [+0.0mm] ~ +99.9mm
	TONE ADJ.<T>	-10 ~ [0] ~ +10
	TONE ADJ.<D>	-10 ~ [0] ~ +10
	RBN ADJ. <FW>	-15 ~ [0] ~ +2
	RBN ADJ. <BK>	-15 ~ [0] ~ +10
	THRESHOLD<R>	0.0V ~ [1.0V] ~ 4.0V
	THRESHOLD<T>	0.0V ~ [1.4V] ~ 4.0V
<p><4> TEST PRINT</p>	PRINT CONDITION	[PRINT CONDITION] ・SLANT LINE・SLANT LINE (3DOT)・CHARACTERS・BARCODE・NON-PRINTING FACTORY TEST・AUTO PRINT (TRAN)・AUTO PRINT (REFL)
	ISSUE COUNT	[1 (枚)] ・3・5・10・50・100・500・1000・5000
	PRINT SPEED	2インチ/秒・ [4インチ/秒] ・6インチ/秒
	SENSOR	NONE・REFLECT.・ [TRANS.]
	PRT TYPE	[TRANSFR] ・DIRECT
	TYPE	[S]NO CUT ・ [C]WITH CUT ・ [H]PEEL OFF
	LABEL LEN.	5mm ~ [76mm] ~ 999mm
	PAPER	[FEED] ・NO FEED
<p><5> SENSOR ADJ.</p>	[H]、[A]	(ヘッド、装置温度表示)
	[REFLECT]	(反射センサー情報表示)
	[TRANS.]	(透過センサー情報表示)
	[PE]	(用紙なし時のセンサー情報表示)
<p><6> RAM CLEAR</p>		[NO RAM CLEAR] ・MANTE.CNT CLEAR・PARAMETER CLEAR
<p><7> IP ADDRESS</p>	PRINTER IP ADDRESS	000.000.000.000 ~ [192.168.010.020] ~ 255.255.255.255
	GATEWAY IP ADDRESS	[000.000.000.000] ~ 255.255.255.255
	SUBNET MASK	000.000.000.000 ~ [255.255.255.000] ~ 255.255.255.255
	SOCKET PORT	ポートの有効/無効 — OFF・ [ON] └─ ソケットポート番号 00000 ~ [08000] ~ 65535
	DHCP	[OFF] ・ON
	DHCP CLIENT ID	00h ~ [FFh]
	DHCP HOST NAME	20h ~ [FFh]
<p><8> BASIC</p>		[OFF] ・ON
	FILE MAINTENANCE	— ダウンロードしたベーシックファイル名を表示
	BASIC TRACE	[OFF] ・ON
	EXPAND MODE	(EXPANDモード設定)
<p><9> FOR FACTORY</p>		OPTION CHECK — チェックを実行し結果を表示
<p><10> RFID</p>		[OFF] ・ON
	MODULE	[NONE] ・U1・H1
	ERR CHK	[OFF] ・ON
	ISSUE RETRY	0 ~ [3] ~ 255
	R CYCLE CNT	0 ~ [5] ~ 255
	R CYCLE TIM	0.0 ~ [4.0 (秒)] ~ 9.9
	W CYCLE CNT	0 ~ [5] ~ 255
	W CYCLE TIM	0.0 ~ [2.0 (秒)] ~ 9.9
	ADJ RETRY	-99 ~ [+00 (mm)] ~ +99

前ページの
「<1> DIAG.」へ

初期値一覧

システムモードの項目と初期値を以下に示します。



「操作」の欄が“×”となっている項目は初期値のまま変更しないでください。

メニュー名	パラメーターの初期値	操作
<1> DIAG. (自己診断機能)		
PRT TYPE (印刷方式選択)	TRANSFR	○
TYPE (印刷タイプ設定)	[S]NO CUT	○
MAINTENANCE CONT (診断種類)	MAINTENANCE CONT	○
<2> PARAMETER SET (パラメータ設定機能)		
FONT CODE (文字コード切り換え)	PC-850	×
ZERO FONT (0の字体切り換え)	0 (スラッシュなし)	×
SPEED (RS-232C通信速度切り換え)	9600bps	×
DATA LENG. (RS-232Cデータ長切り換え)	8bit	×
STOP BIT (RS-232Cストップビット長切り換え)	1bit	×
PARITY (RS-232Cパリティ切り換え)	EVEN	×
XON+READY (RS-232C伝送制御方式切り換え)	XON+READY AUTO	×
LCD (LCD表示メッセージ言語切り換え)	JAPANESE	×
FORWARD WAIT (自動正転待機切り換え)	OFF *1	○
POSITION (正転待機時の停止位置調整値)*2	+0.0mm	○
CODE (制御コード切り換え)	AUTO	×
CONTROL CODE1 (制御コード1)*3	1B	×
CONTROL CODE2 (制御コード2)*3	0A	×
CONTROL CODE3 (制御コード3)*3	00	×
PEEL OFF STS (ハクリ待ちステータス切り換え)	OFF	×
FEED KEY ([FEED]スイッチ機能設定)	FEED	○
KANJI CODE (漢字特殊コードの切り換え)	TYPE1	×
EURO CODE (Euroフォントコードの設定)	B0	×
AUTO HD CHK (自動断線チェック設定)	OFF	○
ACK/BUSY (セントロACK/BUSYタイミング設定)	TYPE1	○
WEB PRINTER (WEBプリンター機能設定)	OFF	×
INPUT PRIME (ninit信号ON時のリセット処理切り換え)	OFF	○
RBN NEAR END (リボンニアエンド検出設定)	OFF	○
EX.I/O (拡張I/O動作モード設定)	TYPE1	×
PLUG & PLAY (プラグ&プレイ動作設定)	OFF	○
LBL/RBN END (ラベルエンド/リボンエラー処理設定)	TYP1	○
PRE PEEL OFF (プレハクリ処理設定)	OFF	○
P.P.FEED (プレハクリ距離設定)*4	+0.0mm	○
BACK SPEED (バックフィード速度設定)*5	STD	○
MAXI CODE (MaxiCode仕様設定)	TYPE1	×
KB I/F (キーボードI/F設定)	OFF	×
PEEL OFF TRQ (ハクリモータートルク設定)	R0	○
TOPE TABLE (印加エネルギーテーブル設定)	TYPE1	×
CUT MODE (カット速度)*5	TYPE1	○

メニュー名	パラメーターの初期値	操作
<3> ADJUST SET (微調値設定機能)		
FEED ADJ. (フィード量微調)*6	+0.0mm	○
CUT ADJ. (カット・ハクリ位置微調)*6	+0.0mm	○
BACK ADJ. (バックフィード量微調)*6	+0.0mm	○
X ADJUST (X方向座標微調)	+0.0mm	○
TONE ADJ.<T> (熱転写印刷濃度微調)	0	○
TONE ADJ.<D> (感熱印刷濃度微調)	0	○
RBN ADJ.<FW> (リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側))	0	○
RBN ADJ.<BK> (リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側))	0	○
THRESHOLD<R> (反射センサー手動スレッシュールド微調)	1.0V	○
THRESHOLD<T> (透過センサー手動スレッシュールド微調)	1.4V	○
<4> TEST PRINT (テスト印刷機能)		
PRINT CONDITION (テスト印刷モード選択)	PRINT CONDITION	○*7
ISSUE COUNT (枚数設定)	1 (枚)	○
PRINT SPEED (印刷速度)	4インチ/秒	○
SENSOR (センサー指定)	TRANS.	○
PRT TYPE (印刷方式)	TRANSFR	○
TYPE (印刷タイプ)	[S]NO CUT	○
LABEL LEN. (ラベルサイズ)	76mm	○
PAPER (紙送りモード)	FEED	○
<5> SENSOR ADJ. (センサー表示/調整機能)		
[H] [A] (サーマルヘッド温度センサー・外気温センサー表示)	—	○
[REFLECT] (反射センサー表示/調整)	—	○
[TRANS.] (透過センサー表示/調整)	—	○
[PE] (用紙なし時の反射センサー/透過センサー表示/調整)	—	○
<6> RAM CLEAR (RAMクリア機能)		
	NO RAM CLEAR	×
<7> IP ADDRESS (IPアドレス設定機能)		
PRINTER IP ADDRESS (IPアドレス設定)	192.168.010.020	○
GATEWAY IP ADDRESS (ゲートウェイアドレス設定)	000.000.000.000	○
SUBNET MASK (サブネットマスク設定)	255.255.255.000	○
SOCKET PORT (ソケットポート設定)	ポートの有効/無効: ON ソケットポート番号: 08000	○
DHCP (DHCP設定)	OFF	○
DHCP CLIENT ID (DHCPクライアントID設定)	FFh*8	○
DHCP HOST NAME (DHCPホスト名設定)	FFh*9	○
<8> BASIC (装置基本設定機能)		
BASIC (ベーシック設定)	OFF	×
FILE MAINTENANCE (ファイルメンテナンス)	ダウンロードしたベーシック ファイル名を表示	×
BASIC TRACE (ベーシクトレース設定)	OFF	×
EXPAND MODE (EXPANDモード設定)	—	×
<9> FOR FACTORY (工場機能)		
OPTION CHECK (オプションチェック)	—	×

メニュー名	パラメーターの初期値	操作
<10> RFID (RFID機能)		
READ TEST (RFID読み取りテスト)	OFF	×
MODULE (RFIDモジュール設定)	NONE	×
ERR CHK (RFIDエラータグ検出設定)	OFF	×
ISSUE RETRY (RFID印刷リトライ回数設定)	3	×
R CYCLE CNT (RFID読み取りリトライ回数設定)	5	×
R CYCLE TIM (RFID読み取りリトライ時間設定)	4.0 (秒)	×
W CYCLE CNT (RFID書き込みリトライ回数設定)	5	×
W CYCLE TIM (RFID書き込みリトライ時間設定)	2.0 (秒)	×
ADJ RETRY (RFID調整リトライ設定)	+00 (mm)	×

- *1 MultiCoder 500M3MC/500M3PCは [ON] が初期値です。
- *2 自動正転待機切り換えが「正転待機有り」の場合のみ表示します。s
- *3 制御コード切り換えが「MANUAL」の場合のみ表示します。
- *4 プレハクリ処理設定 ON 時のみ表示します。
- *5 印刷方式とカット速度の設定によってバックフィード速度の機能の有効/無効が切り替わる場合があります。詳しくは、110ページの「チェック」を参照してください。
- *6 カット印刷またはハクリ印刷を利用時は設定可能な微調量が制限されます。
- *7 本プリンターは8種類のプリントパターンを持っていますが、次のパターンは選択しないでください。
 - － FACTORY TEST
 - － AUTO PRINT (TRAN)
 - － AUTO PRINT (REFL)
- *8 ASCII 入力では00h ~ 1Fh は入力できません。
- *9 ASCII 文字で表記されます。

設定内容のリセット

本プリンターはメニューモードまたはシステムモードで設定した内容を一括で工場設定値にリセットすることができません。工場設定値にリセットしたい場合はお買い求めの販売店またはNECサービス窓口までお問い合わせください。

5章 オプション

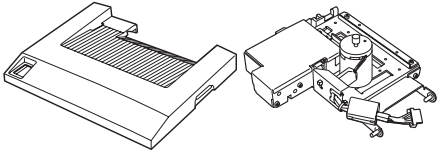
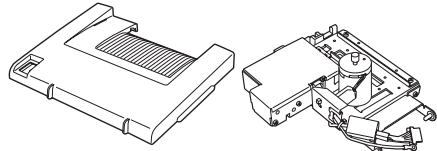
本プリンター用として提供される別売品（オプション）により、本プリンターの機能を拡張させることができます。

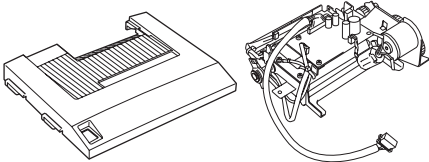
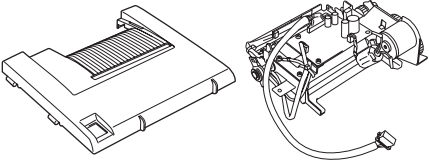
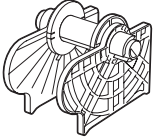
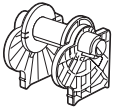
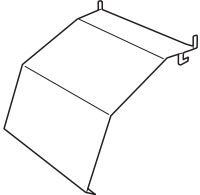
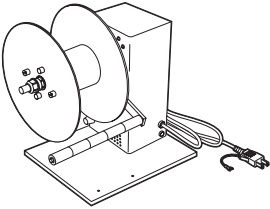
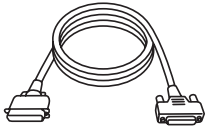
MultiCoder 500M3MC/500M3PCは標準でカッターモジュールを装着しています。

MultiCoder 500M3MS/500M3PSは標準でハクリモジュールを装着しています。

オプションの紹介

オプションの購入についてはお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口にご相談ください。

形状	品名	説明	参照ページ
	PR-T500M3M-01 カッターモジュール	MultiCoder 500M3M用（金属タイプ用） ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。 寿命（目安）：30万カット*1,*2	125ページ
	PR-T500M3P-01 カッターモジュール	MultiCoder 500M3P用（樹脂タイプ用） ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。 寿命（目安）：30万カット*1,*2	125ページ

形状	品名	説明	参照ページ
	PR-T500M3M-02 ハクリモジュール	MultiCoder 500M3M用(金属 タイプ用) ラベルを自動的に台紙から剥離 させます。 寿命(目安): 15km* ¹	134ページ
	PR-T500M3P-02 ハクリモジュール	MultiCoder 500M3P用(樹脂 タイプ用) ラベルを自動的に台紙から剥離 させます。 寿命(目安): 15km* ¹	134ページ
	PR-T500M3M-03 用紙ホルダー	MultiCoder 500M3M用(金属 タイプ用) 用紙を本体内で保持するための ホルダーです。	150ページ
	PR-T500M3P-03 用紙ホルダー	MultiCoder 500M3P用(樹脂 タイプ用) 用紙を本体内で保持するための ホルダーです。	150ページ
	PR-T500M3M-04 ペーパーテーブル	MultiCoder 500M3シリーズ共 通。 ファンフォールド紙をスムーズ に送るための専用オプションで す。電源ケーブルが紙送りの じゃまになる場合にもご利用く ださい。	151ページ
	PR-T500M3M-05 リワインダ	MultiCoder 500M3シリーズ共 通。 印刷済みの用紙または台紙を自 動的に巻き取ります。	152ページ
	PC-PRCA-01(1.5m)/ PC-CA205(4m) プリンタケーブル	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機) に対応したプリンタケーブル です。	—

*¹ 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル/タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*² 厚さ 160 μm 以上、ラベル糊部をカットする場合の寿命(目安)は 10 万カットとなります。

カッターモジュールおよびハクリモジュールの取り付け・取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

カッターモジュール

カッターモジュールを取り付けた本プリンターは印刷済みのラベルを自動的にカットし、連続用紙から切り離します。

- 金属タイプ用：PR-T500M3M-01
- 樹脂タイプ用：PR-T500M3P-01



警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。



注意

- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- カッターモジュールには鋭い刃が組み込まれています。取り付けや清掃の際、カッターに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。

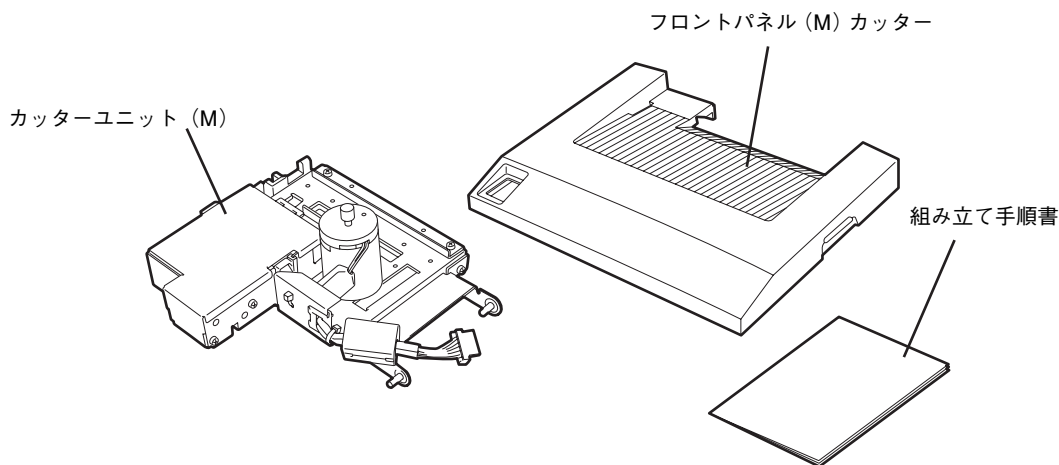


重要

プリンターの電源をOFFにしてから1分以上待って、カッターモジュールのケーブルの接続/取り外しを行ってください。1分以上待たずに着脱すると、プリンターが故障するおそれがあります。

付属品

カッターモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。イラストはMultiCoder 500M3M用です。MultiCoder 500M3P用は多少形状が異なりますが内容は同じです。



取り付け手順

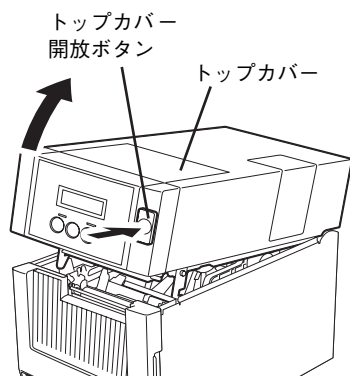
次の手順で取り付けます。

- ① プラスドライバーとマイナスドライバーを用意する。
- ② プリンターの電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜く。

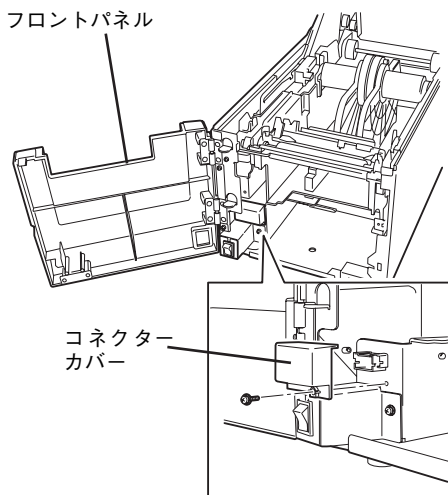
重要

電源をOFFにしてから1分以上待つて次の作業に進んでください。電源OFFの後、プリンターが終了処理をするために必要な待ち時間です。1分以上待たずに作業を進めるとプリンターが故障するおそれがあります。

- ③ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



- ④ <MultiCoder 500M3M/500M3Pのみ>
フロントパネルを開き、ネジ（1本）を外してコネクターカバーを取り外す。

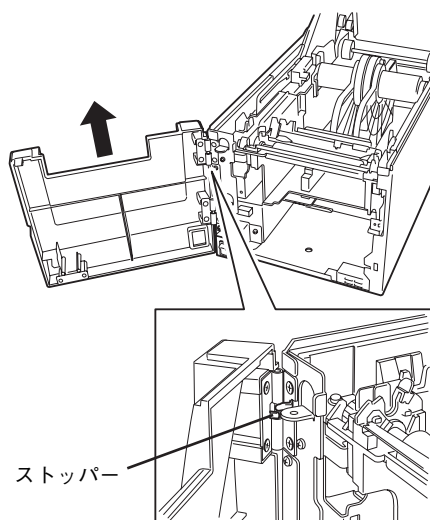


取り外したネジはこの後の手順で使用します (MultiCoder 500M3Pのみ)。

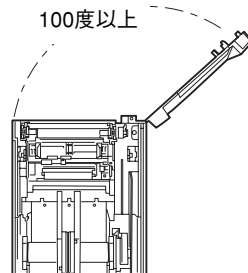
コネクターカバーとネジはなくさないよう保管してください。カッターモジュールを取り外した状態で使用する際に必要です。

MultiCoder 500M3MC/500M3MS/500M3PC/500M3PSにはコネクターカバーとネジはありません。

- ⑤ フロントパネルを100度以上開き、上に持ち上げてプリンターから取り外す。

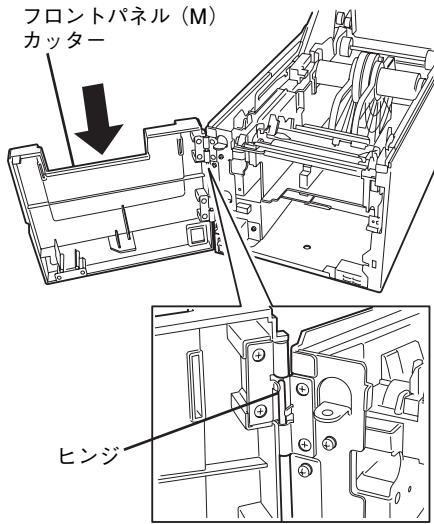


フロントパネルは100度以上開くことで取り外すことができます。開き方が足りないと、プリンターのストッパーによって取り外せません。



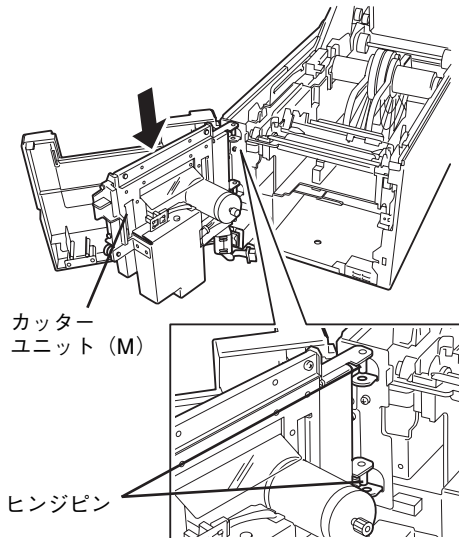
- ⑥ フロントパネル (M) カッターをプリンターに取り付ける。

フロントパネル (M) カッターも⑤と同様に100度以上開いた状態でプリンターのヒンジ穴に差し込んでください。



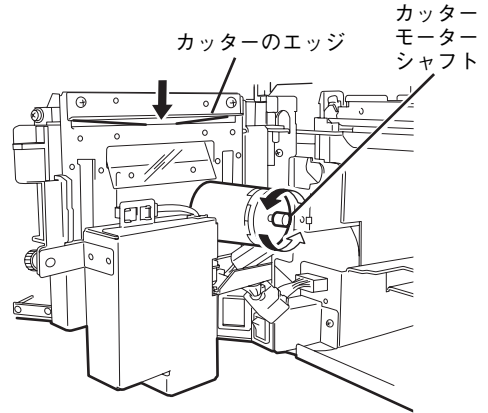
- ⑦ カッターユニット (M) のヒンジピン (2本) をプリンターのフレームにあるヒンジ穴にまっすぐに差し込む。

プリンターに対して約90度くらいの向きにしてから差し込んでください。

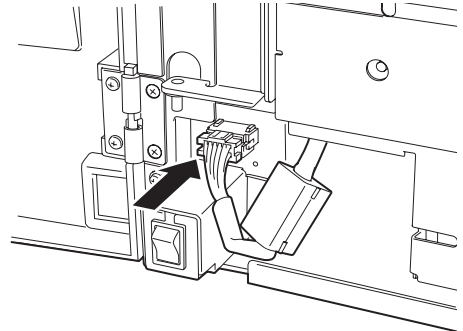


- ⑧ 用紙の出口にカッターのエッジがなくホームポジションになっていることを確認する。

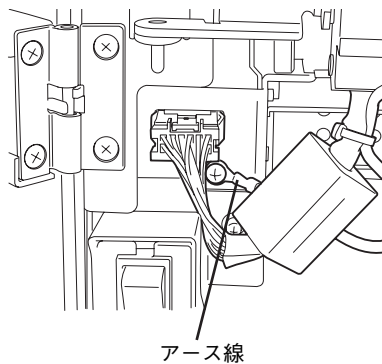
カッターのエッジが出ている場合は、カッターモーターシャフトを反時計回りに回してホームポジションの位置 (カッターのエッジが用紙の出口に出ていない状態) にしてください。



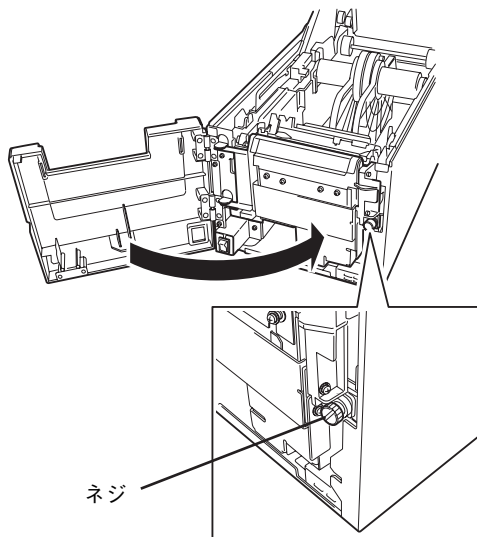
- ⑨ カッターユニット (M) のハーネスをプリンターのコネクタに接続する。



- ⑩ <MultiCoder 500M3Pのみ>
④で外したネジでカッターユニット (P) のハーネスに付いているアース線をプリンターに固定する。



- ⑪ カッターユニット (M) を閉じてネジでプリンターに固定する。



以上で取り付けは完了です。次の「プリンターの設定」に進んでください。

プリンターの設定

カッターモジュールを使用するときは以下の方法でプリンターの設定（「FORWARD WAIT（自動正転待機の設定）をONにする）を変更してください（MultiCoder 500M3MC/500M3PCは出荷時の設定で「ON」になっています）。

設定がOFFのまま（出荷時の設定）になっていると、用紙がプラテンへ巻き込まれることがあります。



自動正転待機の設定位置を微調整することができますが、カッターモジュールを装着しているときは「+0.0mm」に設定してください。

- ① 電源コードを接続して、プリンターの電源をONにする。

```
ONLINE MODE
PR-T500M3 V1.0A
```

- ② [PAUSE] を1回押す。



ポーズ状態になります。

```
ホース
PR-T500M3 V1.0A
```

- ③ ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続ける。



リセットのメニューが表示されます。

```
< 1 > R E S E T
```

- ④ [FEED] を1回押す。



パラメーター設定機能のメニューが表示されます。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
```

- ⑤ “FORWARD WAIT” が表示されるまで [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
F O R W A R D   W A I T   O F F
```

- ⑥ [FEED] または [RESTART] を押して設定を“ON”にする。

すでに“ON”になっていた場合はそのまま次の手順に進んでください。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
F O R W A R D   W A I T   O N
```

- ⑦ [PAUSE] を押す。

自動正転待機の設定位置を微調整するメニューが表示されます。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P O S I T I O N   + 0 . 0 m m
```

- ⑧ [FEED] または [RESTART] を押して数値を“+0.0mm”にする。

すでに“+0.0mm”になっていた場合はそのまま次の手順に進んでください。

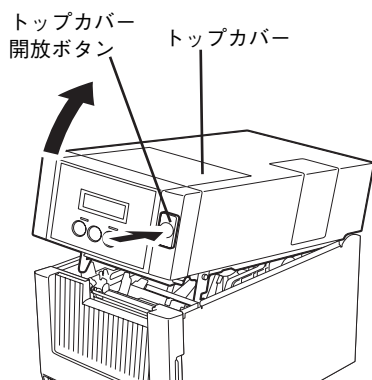
- ⑨ プリンターの電源をOFFにする。

以上で完了です。次の「用紙のセット」に進んでください。

用紙のセット

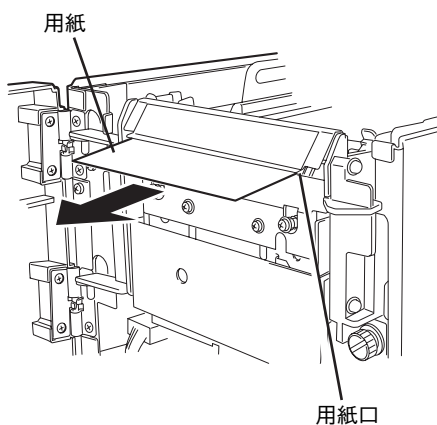
用紙をカッターモジュールに通します。用紙のセットについては「1章 7用紙をセットする」(28ページ)を参照してください。

- 1 トップカバーの開放ボタンを押して、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

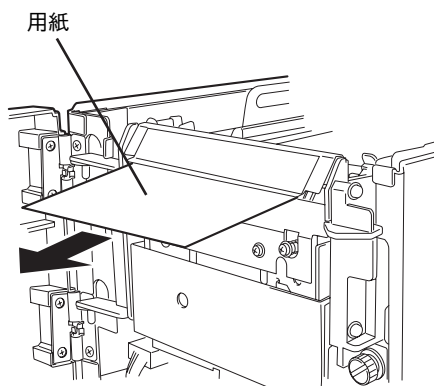


- 2 フロントパネル (M) カッターを開く。

- 3 用紙をカッターユニット (M) の用紙口に通す。

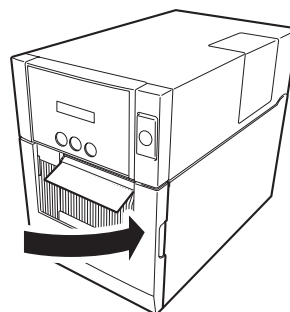


- 4 用紙を1枚ほど引き出す。



- 5 トップカバーを閉じ、フロントパネル (M) カッターを閉じる。

フロントパネル (M) カッターを閉じるときに用紙をパネルの用紙口に通してください。



以上で用紙のセットは完了です。

取り付け後の確認

テスト印刷をしてプリンターが正しく用紙をカットするかどうかを確認します。

- ① 電源コードを接続して、プリンターの電源をONにできる状態にする。

- ② [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。



自己診断メニューが表示します。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

- ③ テスト印刷メニューが表示されるまで [FEED] (または [RESTART]) を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T
```

- ④ [PAUSE] を押す。

テスト印刷モードの選択メニューが表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P R I N T   C O N D I T I O N
```

- ⑤ [PAUSE] を押す。

印刷枚数の設定画面が表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
I S S U E   C O U N T      1
```

以降、[FEED] または [RESTART] で設定値を変更し、[PAUSE] で次の項目を表示させて設定を進めてください。

- ⑥ オプションの装着状態を設定する画面まで進む。

次の表示まで設定を進めてください。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
T Y P E   [ S ] N O   C U T
```

- ⑦ [FEED] または [RESTART] を押してカッターモジュールが装着されている設定を選ぶ。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
T Y P E   [ H ] W I T H   C U T
```

- ⑧ [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
L A B E L   L E N .      7 6 m m
```

[FEED] または [RESTART] で設定値を変更してください。

- ⑨ [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P A P E R           F E E D
```

“PAPER NO FEED” と表示されている場合は、[FEED] または [RESTART] を押して “PAPER FEED” を表示させてください。

- ⑩ [PAUSE] を押す。

用紙を送り、用紙がカットされます。プリンターが正しくカットしない場合はケーブルの接続状態やカッターユニットの取り付け状態を確認してください。それでも正しくカットしない場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

以上で完了です。実際に使用する前に以下の準備を済ませておいてください。

- リボンの取り付け (リボンを使った印刷をする場合).....25ページ参照
- サーマルヘッド位置切り替えレバーの位置合わせ32ページ参照
- 用紙検出センサーの位置合わせ37ページ参照

取り外し手順

次の手順で取り外します。

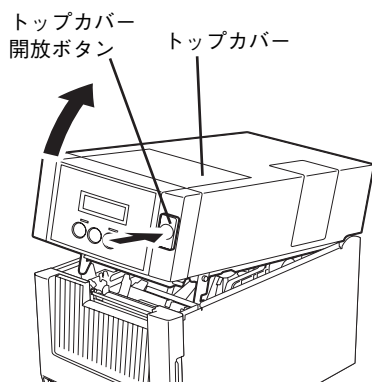
- 1 プラスドライバーとマイナスドライバーを用意する。

- 2 プリンターの電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜く。



電源をOFFにしてから1分以上待って次の作業に進んでください。電源OFFの後、プリンターが終了処理をするために必要な待ち時間です。1分以上待たずに作業を進めるとプリンターが故障するおそれがあります。

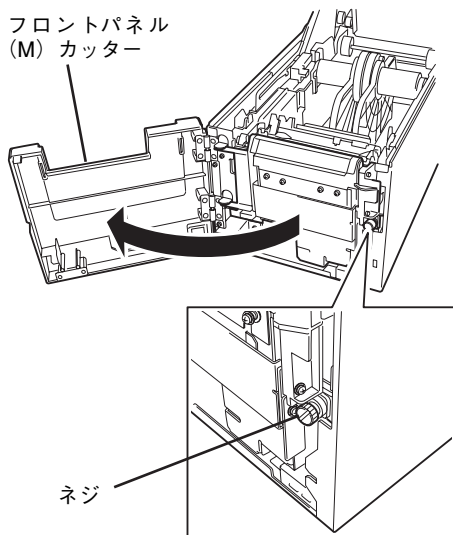
- 3 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



- 4 用紙がセットされている場合は用紙を取り除く。

- 5 フロントパネル (M) カッターを開く。

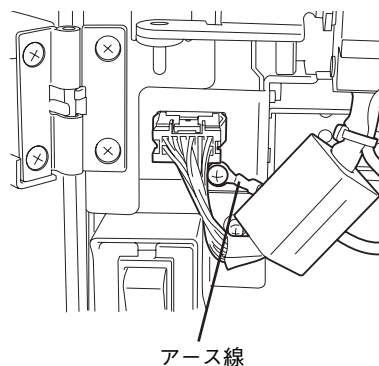
- 6 カッターユニット (M) のネジをゆるめる。



ネジはカッターユニット (M) からすべて取り外すのではなく、ゆるめて付けておきます。

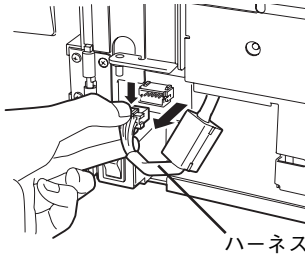
- 7 <MultiCoder 500M3Pのみ>
ネジ (1本) を外してアース線をプリンターから取り外す。

MultiCoder 500M3Mにはアース線がありません。



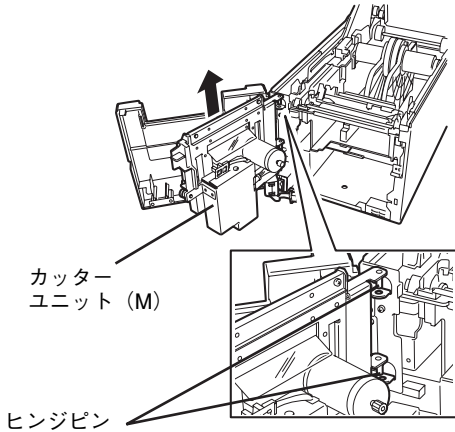
- ⑧ カッターユニット (M) のハーネスをプリンターから取り外す。

コネクタの中央にあるタブを押しながら引き抜いてください。



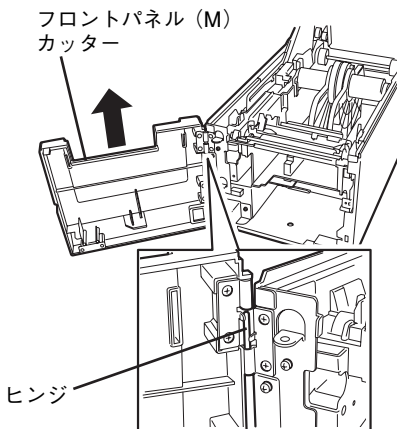
- ⑨ カッターユニット (M) を持ち上げて、カッターユニット (M) のヒンジピン (2本) をプリンターのフレームにあるヒンジ穴から抜いて取り外す。

プリンターに対して約90度くらいの向きにしてから持ち上げてください。

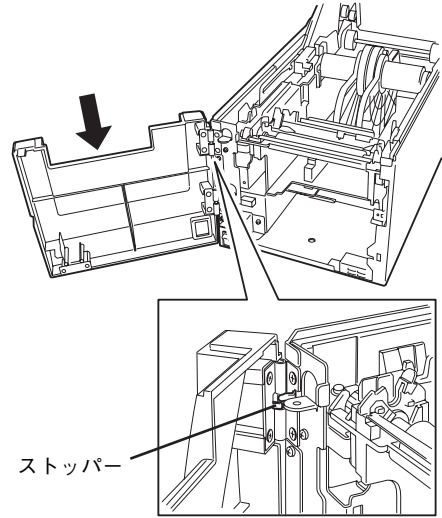


- ⑩ フロントパネル (M) カッターをプリンターから取り外す。

フロントパネル (M) カッターを100度以上開いた状態でプリンターのヒンジから抜いてください。

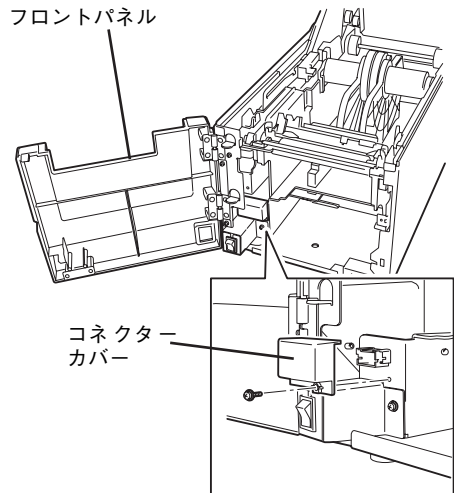


- ⑪ プリンター本体のフロントパネルを取り付ける。



フロントパネルは100度以上開いた状態でプリンターのヒンジに差し込んでください。

- ⑫ コネクターカバーをネジ (1本) で取り付けてフロントパネルを閉じる。



MultiCoder 500M3MC/500M3MS/500M3PC/500M3PSにはコネクターカバーとネジはありません。

以上で取り外しは完了です。

ハクリモジュール

ハクリモジュールを取り付けた本プリンターは印刷済みのラベルを自動的に台紙から剥離（はくり）し、台紙からはがしやすくします。

- MultiCoder 500M3M用：PR-T500M3M-02
- MultiCoder 500M3P用：PR-T500M3P-02



警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。



注意

- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ハクリモジュールに付属のカッターのエッジに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。

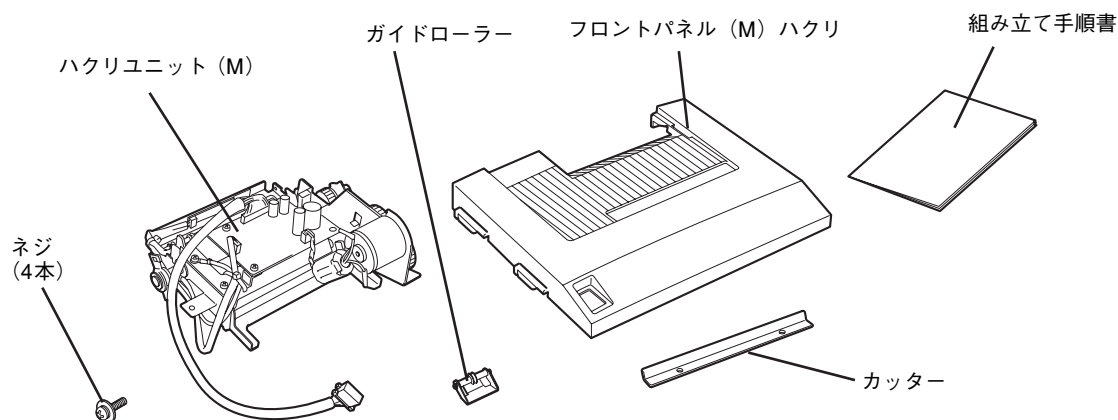


重要

プリンターの電源をOFFにしてから1分以上待って、ハクリモジュールのハーネスの接続／取り外しを行ってください。1分以上待たずに着脱すると、プリンターが故障するおそれがあります。

付属品

ハクリモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。
イラストはMultiCoder 500M3M用です。MultiCoder 500M3P用は多少形状が異なりますが内容は同じです。



取り付け手順

次の手順で取り付けます。

ハクリユニット (M) の取り付け

はじめにハクリユニット (M) をプリンターに取り付けます。その後、必要に応じて付属のカッターやガイドローラーを取り付けてください。

重要

ハクリモジュールに付属品のカッターはハクリユニット (M) を取り付けた状態で連続印刷を行う場合にラベルを切り取るために使用します。ハクリ印刷をする場合は取り付けないでください。

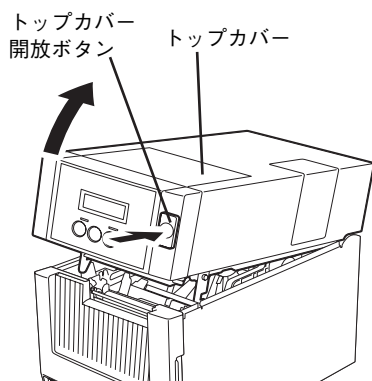
① プラスドライバーを用意する。

② プリンターの電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜く。

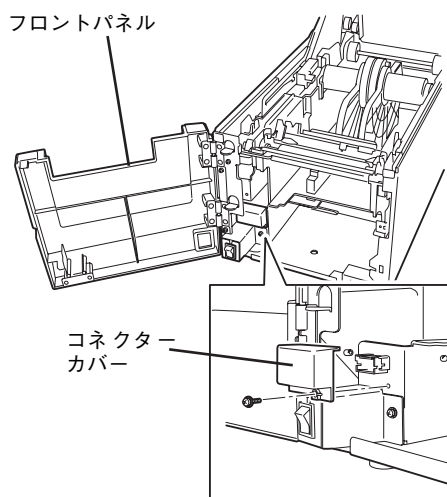
重要

電源をOFFにしてから1分以上待って次の作業に進んでください。電源OFFの後、プリンターが終了処理をするために必要な待ち時間です。1分以上待たずに作業を進めるとプリンターが故障するおそれがあります。

③ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



④ <MultiCoder 500M3M/500M3Pのみ>
フロントパネルを開き、ネジ (1本) を外して
コネクターカバーを取り外す。

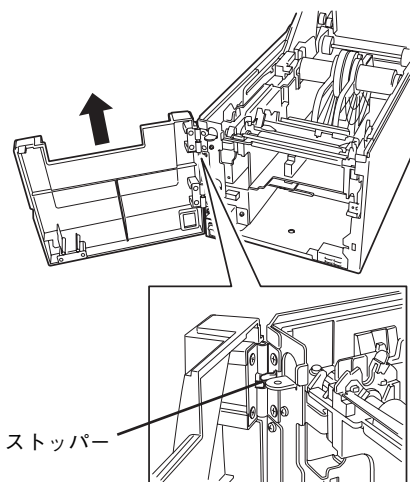


取り外したネジはこの後の手順で使用します (MultiCoder 500M3Pのみ)。

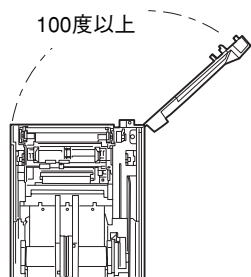
コネクターカバーとネジはなくさないよう保管してください。ハクリモジュールを取り外した状態で使用する際に必要です。

MultiCoder 500M3MC/500M3MS/500M3PC/
500M3PSにはコネクターカバーとネジはありません。

- ⑤ フロントパネルを100度以上開き、上に持ち上げてプリンターから取り外す。

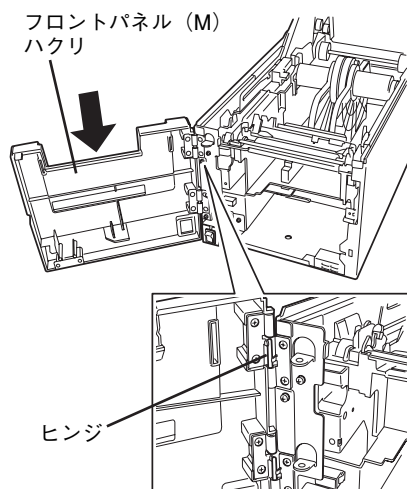


フロントパネルは100度以上開くことで取り外すことができます。開き方が足りないと、プリンターのストッパーによって取り外せません。

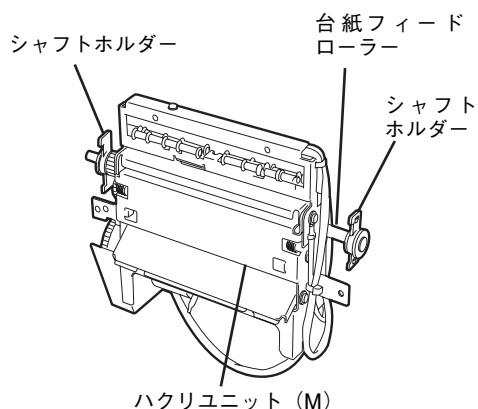


- ⑥ フロントパネル (M) ハクリをプリンターに取り付ける。

フロントパネル (M) ハクリも⑤と同様に100度以上開いた状態でプリンターのヒンジに差し込んでください。

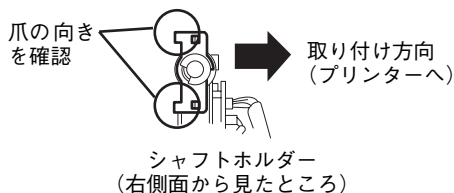


- ⑦ ハクリユニット (M) の台紙フィードローラーの左右にあるシャフトホルダーを下図の向きにして持つ。

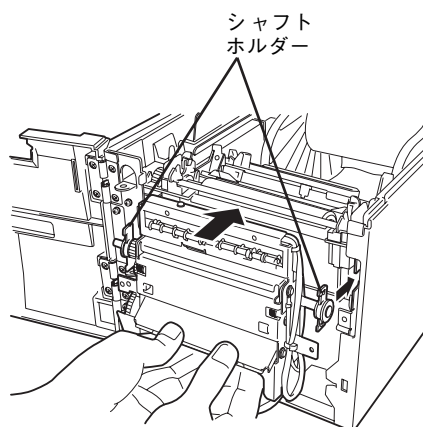


重要

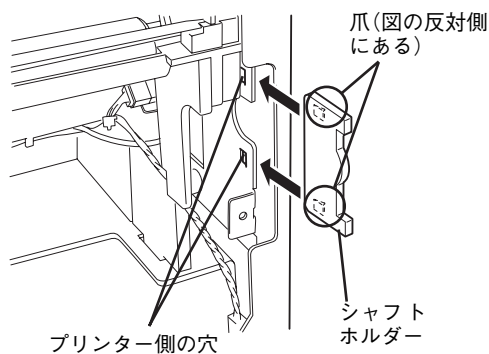
シャフトホルダーの向きが取り付けにおいて重要となります。逆の向きにすると取り付けられません。また破損するおそれがあります。



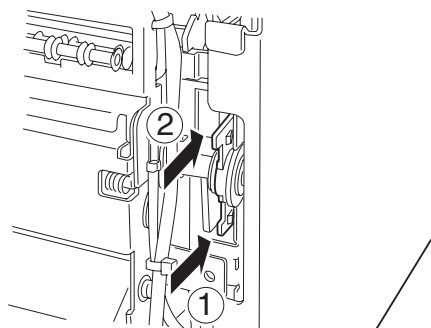
- ⑧ シャフトホルダーの爪をプリンターの切り欠き部の奥の穴にはめ込む。



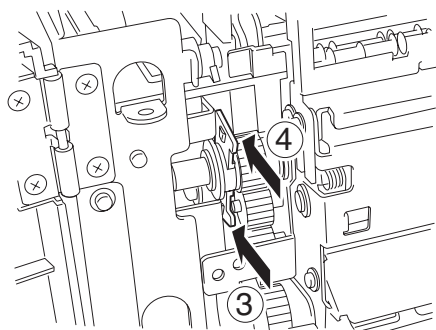
左右のシャフトホルダーにある爪（各2か所）をプリンター内のフレームにある穴に差し込みます（下図は右側のシャフトホルダーの差し込みを示しています）。



はめ込む順序として、①右側下、②右側上、③左側下、④左側上の順にはめ込みます。



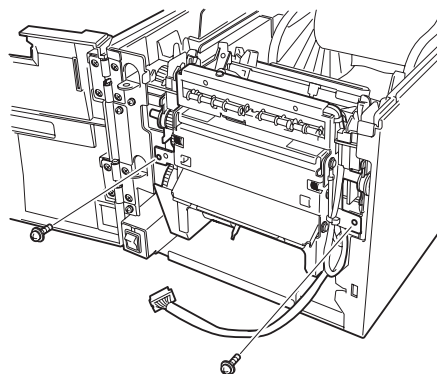
シャフトホルダー（右側）



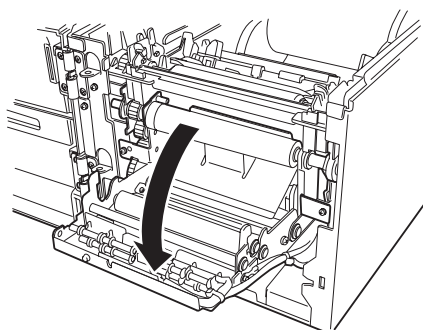
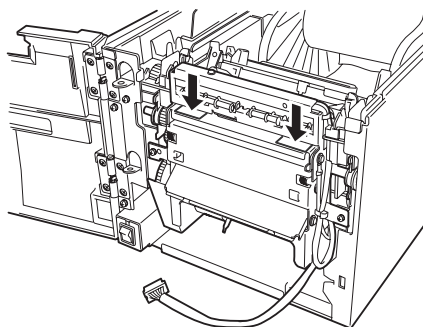
シャフトホルダー（左側）

シャフトホルダーのはめ込み部分がつつく、はめ込みづらい場合は、ドライバーの柄などで押し込むとはめ込みやすくなります。

- 9 付属品のネジ（2本）でハクリユニット（M）をプリンターに固定する。

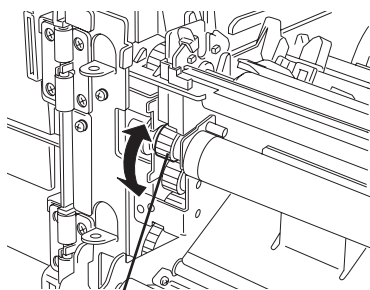


- 10 ハクリユニット（M）のオープンレバーの“PUSH”のラベル部（2か所）を押して手前に開く。



- 11 フィードローラーギアがスムーズに回転することを確認する。

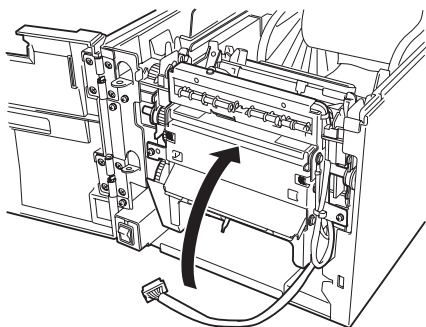
ギアが回転しない場合は、取り付け直してください。



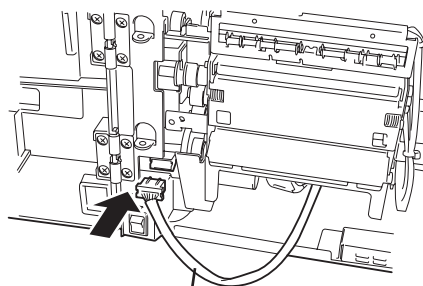
フィードローラーギア

- 12 ハクリユニット (M) を閉じる。

「カチッ」と音がしてロックされます。



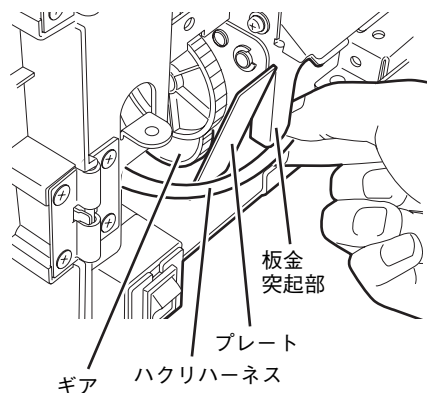
- 13 ハクリユニット (M) のハクリハーネスをプリンターのコネクターに接続する。



ハクリハーネス

✓チェック

- ハクリハーネスがハクリユニット (M) のギアに接触していないことおよびハクリユニット (M) のプレートより前に通っていることを確認してください。
- プレートと板金突起部の間にハクリハーネスを挟まないでください。ハクリハーネスを挟むとハクリユニット (M) が開かなくなります (挟んだ状態で無理やりに開くとハクリハーネスを破損するおそれがあります)。



以上で取り付けは完了です。用紙やプリンターの使用法に合わせて付属のカッターやガイドローラーを取り付けた後、次の「用紙のセット」に進んでください。

付属のカッターの取り付け

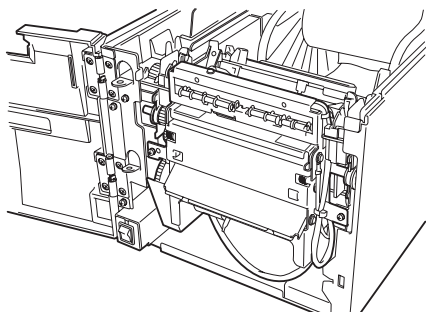
付属のカッターはハクリユニット (M) を取り付けられた状態で連続印刷をする場合の、ラベル切り取りに使用します。



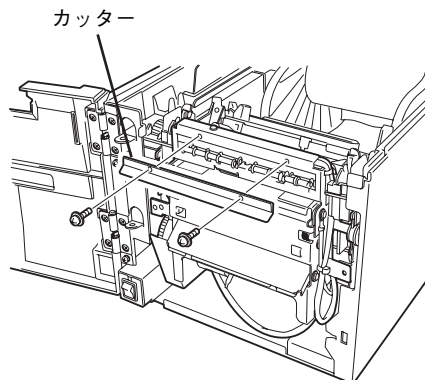
注意

ハクリモジュールに付属のカッターのエッジに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。

- ① ハクリユニット (M) を閉じた状態にする。



- ② ハクリユニット (M) の前面にカッターを当てて、添付のネジ (2本) で固定する。

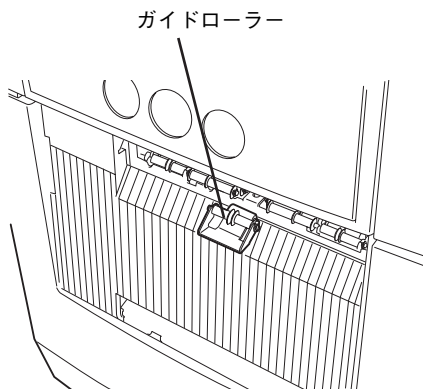


ガイドローラーの取り付け

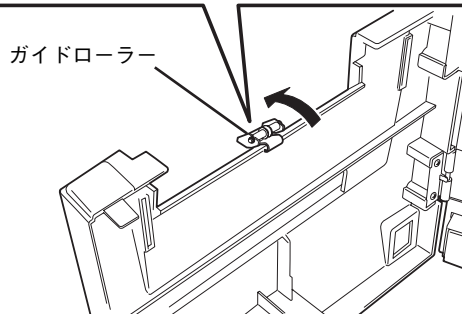
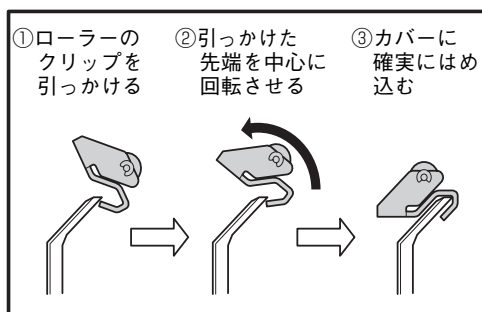
ガイドローラーは長さが50mm以上の用紙を使用する場合に取り付けます。

- ① 取り付け位置を確認する。

取り付け位置はフロントパネル (M) ハクリの用紙排出口の中央部分です。



- ② ガイドローラーのクリップをフロントパネル (M) ハクリに引っかけて取り付ける。

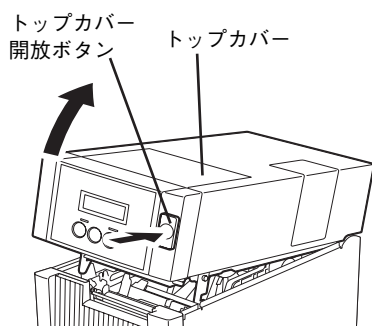


用紙のセット

用紙をハクリモジュールに通します。用紙のセットについては「1章 7 用紙をセットする」(28ページ)を参照してください。用紙の通し方にはハクリモジュールを使用する場合と、付属のカッターを使った連続印刷をする場合の2つの方法があります。

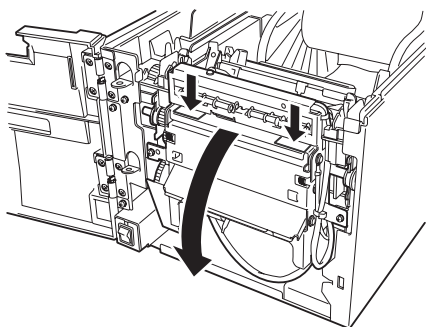
ハクリモジュールを使用する場合

- 1 トップカバーの開放ボタンを押して、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



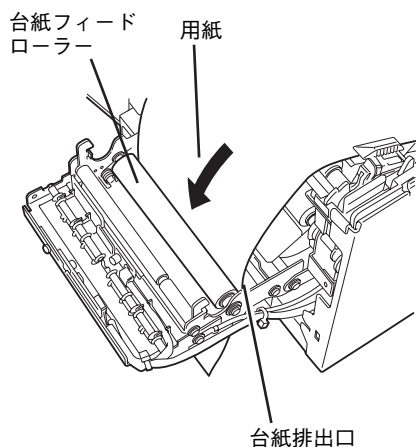
- 2 フロントパネル (M) ハクリを開いた状態にする。

- 3 ハクリユニット (M) のオープンレバー部にある「PUSH」のラベル部 (2か所) を押してハクリユニットを開く。

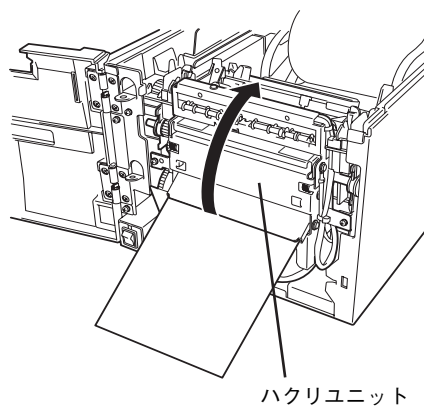


- 4 用紙先端から何枚かのラベルをはがし、台紙だけの部分を約300mm用意する。

- 5 用紙を台紙フィードローラーと台紙排出口の間に通す。

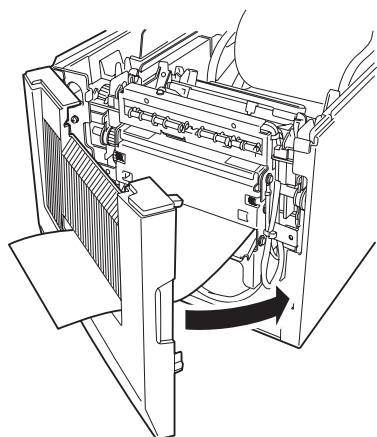


- 6 ハクリユニット (M) を閉じる。
「カチッ」と音がしてロックされます。

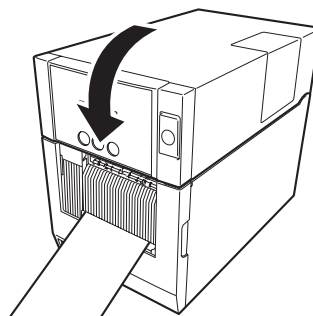


7 フロントパネル (M) ハクリを閉じる。

フロントパネル (M) ハクリを閉じるときに用紙をカバーの用紙口に通してください。



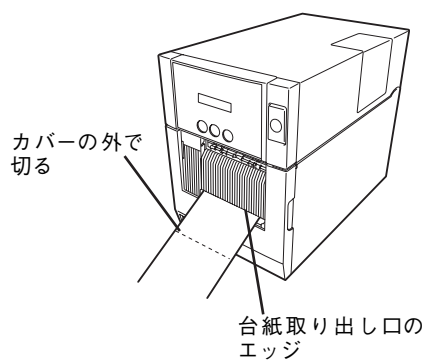
8 トップカバーを閉じる。



以上で用紙のセットは完了です。

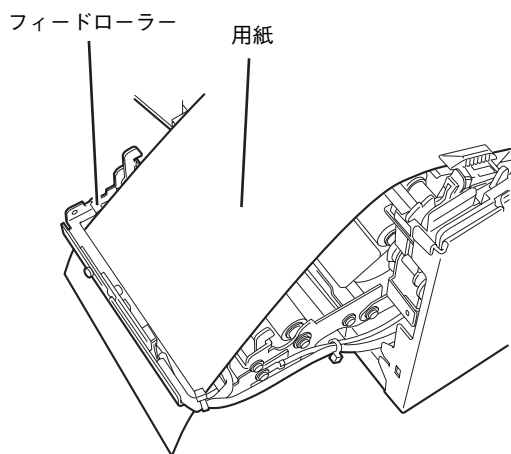
✓ チェック

台紙を台紙取り出し口のエッジで切った場合、台紙の種類によっては内部でちぎれて台紙がローラーに巻き付くおそれがあります。そのような場合は、台紙の取り出し口を使用せず、カバーの外で切るようにしてください。

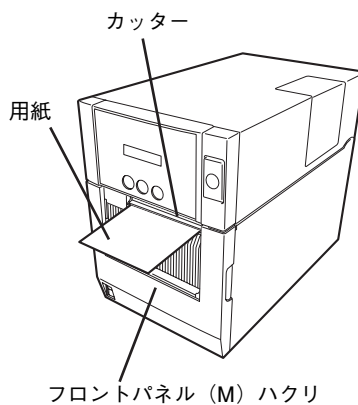


付属のカッターを使った連続印刷をする場合

ハクリモジュールを取り付けた状態のままでも連続印刷をすることができます。
用紙の通し方は前述の「ハクリモジュールを使用する場合」(140ページ)の手順⑤と⑦から下図のように異なります。



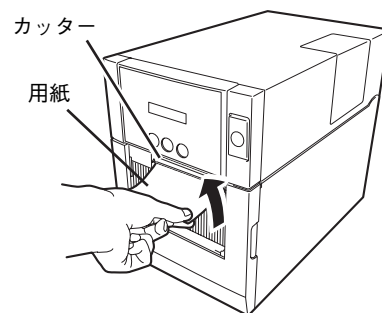
手順⑤の用紙の通す場所



手順⑦の用紙の通す場所

また、付属のカッターを取り付けておくことで図のようにラベルの切り取りもできるようになります。

用紙のセットについては「1章 7 用紙をセットする」(28ページ)を参照してください。用紙の通し方にはハクリモジュールを使用する場合と、付属のカッターを使った連続印刷をする場合の2つの方法があります。



取り付け後の確認

テスト印刷をしてプリンターが正しく用紙を剥離するかどうかを確認します。

- ① 電源コードを接続して、プリンターの電源をONにできる状態にする。

- ② [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。



自己診断メニューが表示されます。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
```

- ③ テスト印刷メニューが表示されるまで [FEED] (または [RESTART]) を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T
```

- ④ [PAUSE] を押す。

テスト印刷モードの選択メニューが表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P R I N T   C O N D I T I O N
```

- ⑤ [PAUSE] を押す。

印刷枚数の設定画面が表示されます。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
I S S U E   C O U N T      1
```

以降、[FEED] または [RESTART] で設定値を変更し、[PAUSE] で次の項目を表示させて設定を進めてください。

- ⑥ オプションの装着状態を設定する画面まで進む。

次の表示まで設定を進めてください。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
T Y P E   [ S ] N O   C U T
```

- ⑦ [FEED] または [RESTART] を押してハクリモジュールが装着されている設定を選ぶ。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
T Y P E   [ H ] P E E L   O F F
```

連続印刷をする場合は、“NO CUT” を選択してください。

- ⑧ [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
L A B E L   L E N .      7 6 m m
```

[FEED] または [RESTART] で設定値を変更してください。

- ⑨ [PAUSE] を押す。

```
< 4 > T E S T   P R I N T  
P A P E R           F E E D
```

“PAPER NO FEED” と表示されている場合は、[FEED] または [RESTART] を押して“PAPER FEED” を表示させてください。

- ⑩ [PAUSE] を押す。

用紙を送り、台紙からラベルが剥離されてプリンターから排出されます。連続印刷の場合は用紙を送るだけです。

プリンターが正しく剥離しない(または用紙を送らない)場合はケーブルの接続状態やハクリユニットの取り付け状態、用紙の通している状態などを確認してください。また、PETを使用している場合は「用紙が台紙からうまく剥離できない場合の設定」(144ページ)を参照して、設定を変更してみてください。

それでも正しく剥離しない場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

以上で完了です。実際に使用する前に以下の準備を済ませておいてください。

- リボンの取り付け (リボンを使った印刷をする場合)25ページ参照
- サーマルヘッド位置切り替えレバーの位置合わせ32ページ参照
- 用紙検出センサーの位置合わせ37ページ参照

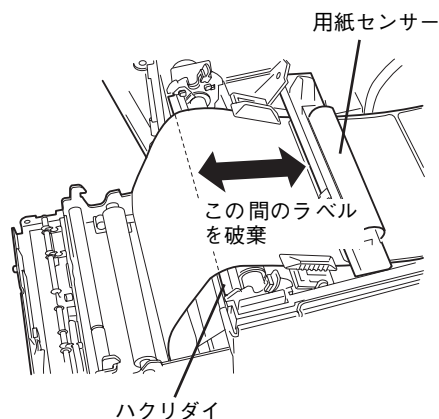
用紙が台紙からうまく剥離できない場合の設定

台紙への粘着力の高い用紙の場合は、ラベルと台紙を剥離できるようにここで示すプレハクリ設定をします。プレハクリの設定はメニューモードまたはシステムモードの初期値ではOFFになっているので、ここでONに設定変更します。



重要

- ここで説明のないメニューの項目を変更しないでください。誤動作や誤印刷の原因となります。
- 設定は実際に使用する環境（使用ラベル・リボン・印刷速度・印刷位置など）で行ってください。
- 短いラベルを使用している場合は、先頭の数枚の位置がずれます。ハクリダイと用紙センサーの間にあるラベルは破棄してください。



準備をする

- プリンターとコンピューターを接続してください。接続したコンピューターにはこのプリンターのドライバーがインストールされている必要があります。
- プリンターにPETをセットしてください。
- プリンターの電源をONにできる状態にします。

ハクリ処理設定を変更しトルクを設定し直す

プリンターに記憶されているハクリに対する処理の設定を変更し、ハクリユニット（M）のモーターのトルク設定をPET用に変更します。変更はシステムモードを利用します。

① 電源コードを接続して、プリンターの電源をONにできる状態にする。

② [FEED] と [PAUSE] を押しながら、電源をONにする。

FEED + **PAUSE** + 電源ON

自己診断メニューが表示されます。

< 1 > D I A G . V 1 . 0 A

- ③ [FEED] を1回押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
```

- ④ [PAUSE] を押す。

パラメータ設定モードの選択メニューが表示されます。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
F O N T   C O D E   P C - 8 5 0
```

- ⑤ 下段に“PRE PEEL OFF OFF”が表示されるまで [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P R E   P E E L   O F F   O F F
```

ハクリに対する処理の設定を有効にするかどうかを選択するメニューです（初期設定は「OFF（無効）」となっています）。

- ⑥ [FEED] または [RESTART] を押して“ON”に切り替える。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P R E   P E E L   O F F   O N
```

- ⑦ [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P . P . F E E D   + 0 . 0 m m
```



次にプレハクリ距離設定をするメニューが表示されますが(P.P FEED +0.0mm)、ここでは設定を変更しないでください。この後の調整で変更します。

- ⑧ 下段に“PEEL OFF TRQ R0”が表示されるまで [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P E E L   O F F   T R Q   R 0
```

ハクリモーターのトルクを設定するメニューです。

- ⑨ [FEED] または [RESTART] を押して“R3”に切り替える。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P E E L   O F F   T R Q   R 3
```

トルクの設定はR0・R1・R2・R3の4段階の設定ができます。数字が高くなるにつれてトルクが高くなります。

R0：通常用の紙（コート紙や一般感熱紙）

R1：お客様特殊の用紙（R0より粘着力が高い用紙）

R2：お客様特殊の用紙（R1より粘着力が高い用紙）

R3：PET系の用紙

- ⑩ [PAUSE] を押す。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
T O N E   T A B L E   T Y P E 1
```

- ⑪ プリンターの電源を OFF にした後、5 秒以上待ってからONにする。



電源をOFFにしてから5秒以上待って電源をONにしてください。電源OFFの後、すぐに電源をONにするとプリンターがロックするおそれがあります。

- ⑫ コンピューターからラベルを印刷してみる。

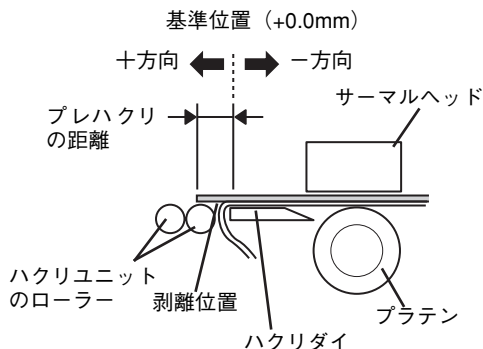
剥離の結果が良好であれば以上で設定は完了です。

印刷位置（フィード量）の微調整（111ページ参照）やカット・ハクリ位置の微調整（111ページ参照）を必要に応じて行って、再度コンピューターからのラベル印刷を実行してください。

良好ではない場合は次のプレハクリ距離の設定をして微調整をします。

プレハクリ距離の設定を変更する

ハクリユニットのモーターのトルク設定を高くしても剥離がうまくできない場合は、ここで説明する「プレハクリ距離」の設定をします。プレハクリ距離とは台紙から剥離しやすくするために、一度少しだけ剥離動作を行った後、ラベルの剥離を実行する機能で、はじめの剥離動作をどれくらいの距離まで行うかを設定するものです。この変更はシステムモードを利用します。



- 1 「ハクリ処理設定を変更しトルクを設定し直す」(144ページ)の①から⑦を参照して“P.P.FEED +0.0mm”を表示させる。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P . P . F E E D       + 0 . 0 m m
```

- 2 [FEED] または [RESTART] を押して数値を切り替える。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
P . P . F E E D       + 0 . 7 m m
```

プレハクリ距離は“+9.9mm”～“+0.0mm（出荷時の設定）”～“-2.5mm”の間で設定できます。

数字が大きくなればプレハクリの距離が長くなり、数字が小さくなればプレハクリの距離が短くなります。

- 3 [PAUSE] を1回押す。

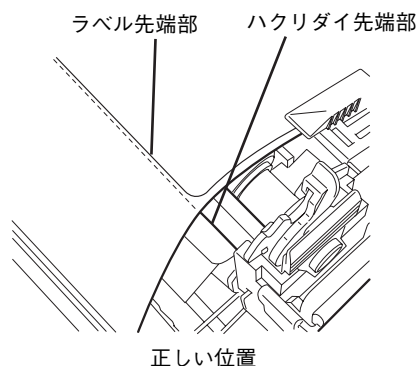
変更した値でテストをするか、もう一度設定し直すかを確認するメニューが表示されます。

```
< 2 > P A R A M E T E R   S E T
T E S T   o r   A D J U S T
```

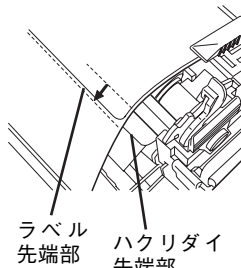
- 4 [FEED] を1回押す。

変更した値でテストを実行します。この時に[RESTART]を押すと値の変更メニューに戻ることができます。

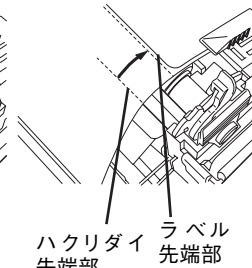
テストを実行した後、トップカバーを開けてラベルの先端部とハクリダイの先端部が同じになっていることを確認してください。位置が合わない場合は[RESTART]を押して①からやり直してください。



値をマイナス方向へ調整しなければならぬ場合



値をプラス方向へ調整しなければならぬ場合



正しくない位置

⑤ 位置が合っていたら [PAUSE] を2回押す。

プレハクリ距離設定を終了して次のメニューが表示されます。

< 2 > P A R A M E T E R S E T
B A C K S P E E D L O W

⑥ プリンターの電源を OFF にした後、5 秒以上待ってからONにする。

電源をOFFにしてから5秒以上待って電源をONにしてください。電源OFFの後、すぐに電源をONにするとプリンターがロックするおそれがあります。

⑦ コンピューターからラベルを印刷してみる。

剥離の結果が良好であれば以上で設定は完了です。

印刷位置（フィード量）の微調整（111ページ参照）やカット・ハクリ位置の微調整（111ページ参照）を必要に応じて行って、再度コンピューターからのラベル印刷を実行してください。

良好ではない場合はもう一度、プレハクリ距離の設定をして微調整をします。それでも解決しない場合はお買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

取り外し手順

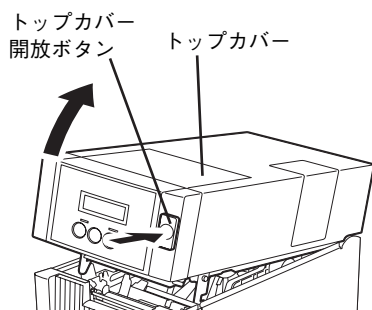
次の手順で取り外します。

- ① プラスドライバーとマイナスドライバーを用意する。
- ② プリンターの電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜く。

重要

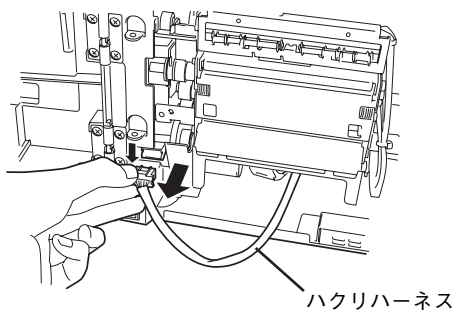
電源をOFFにしてから1分以上待って次の作業に進んでください。電源OFFの後、プリンターが終了処理をするために必要な待ち時間です。1分以上待たずに作業を進めるとプリンターが故障するおそれがあります。

- ③ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

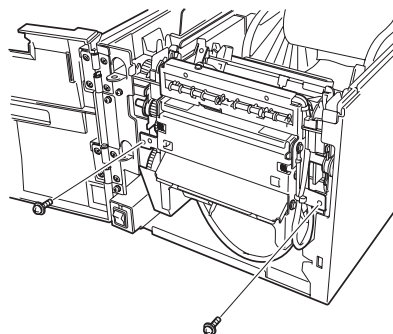


- ④ 用紙がセットされている場合は用紙を取り除く。
- ⑤ フロントパネル (M) ハクリを開き、付属のカッターやガイドローラーが取り付けられている場合はそれぞれを取り外す。
- ⑥ ハクリユニット (M) のハクリハーネスをプリンターのコネクタから取り外す。

コネクタの中央にあるタブを押しながら引き抜いてください。



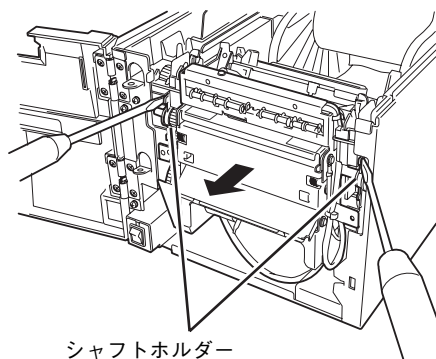
- ⑦ ハクリユニット (M) を固定しているネジ (2本) を外す。



- ⑧ ハクリユニット (M) を本体から取り外す。

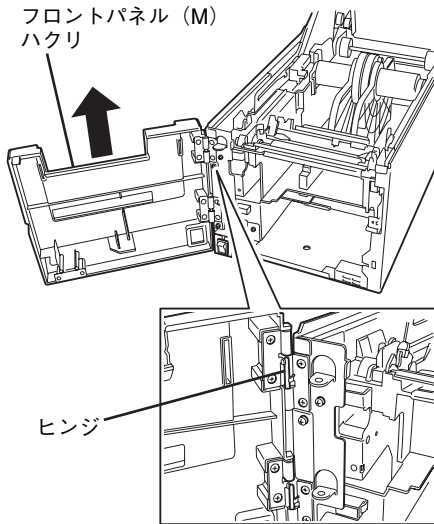
はじめに右側をマイナスドライバーを使って取り外します。切り欠き部の奥の穴よりシャフトホルダーの爪を浮かせて手前に引き出します。

続いて左側のシャフトホルダーを同様に爪を浮かせて取り出します。

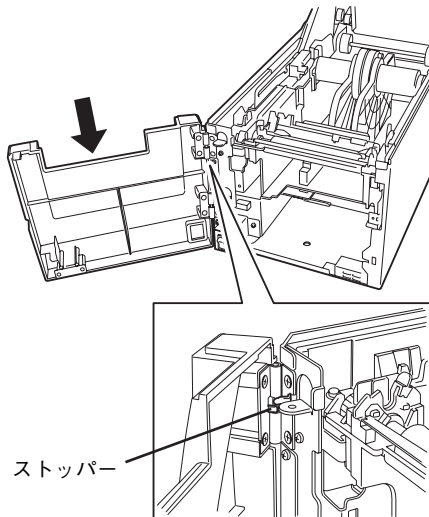


- ⑨ フロントパネル (M) ハクリを上を持ち上げてプリンターから取り外す。

フロントパネル (M) ハクリを100度以上開いた状態でプリンターのヒンジから取り外してください。

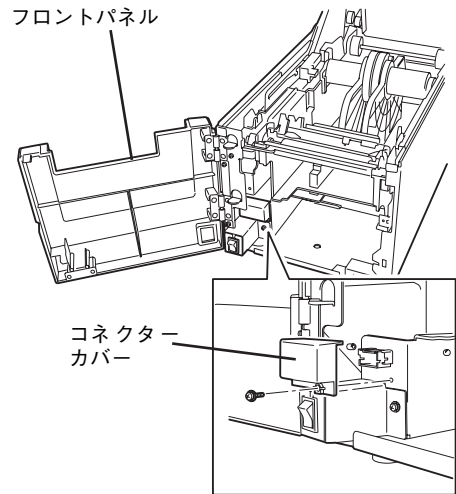


- ⑩ プリンター本体のフロントパネルを取り付ける。



フロントパネルは100度以上開いた状態でプリンターのヒンジに差し込んでください。

- ⑪ コネクターカバーをネジ (1本) で取り付けてフロントパネルを閉じる。



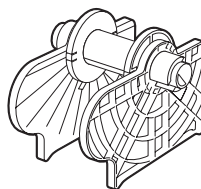
MultiCoder 500M3MC/500M3MS/500M3PC/500M3PSにはコネクターカバーとネジはありません。

以上で取り外しは完了です。

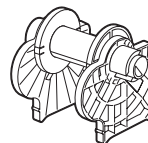
用紙ホルダー

用紙ホルダーはプリンター内にセットした用紙を固定するための部品で、購入時のプリンターに標準で装着されています。用紙ホルダーが破損した場合や種類別に用紙をセットしたままにしたい場合などに購入してください。「オプションの紹介」(123ページ)を参照してください。

- MultiCoder 500M3M用 : PR-T500M3M-03
- MultiCoder 500M3P用 : PR-T500M3P-03



PR-T500M3M-03



PR-T500M3P-03

取り付け手順については「1章 7 用紙をセットする」(28ページ)を参照してください。

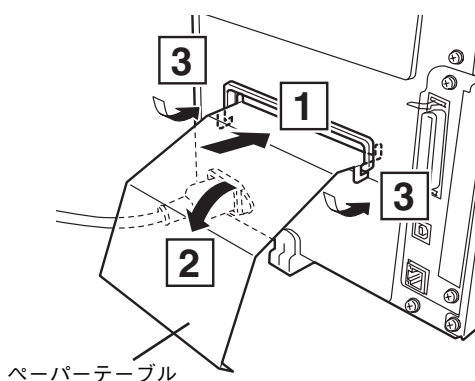
ペーパーテーブル

ファンフォールド紙を使用する際、電源ケーブルがじゃまなときはオプションのペーパーテーブルをご使用ください。

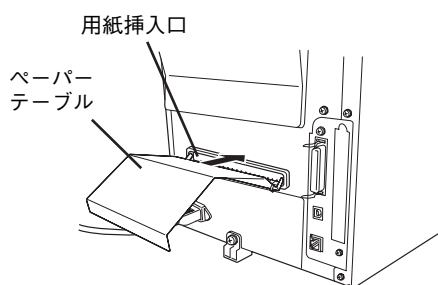
⚠ 注意

- ペーパーテーブルで手を切らないよう取り扱いには十分に注意してください。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

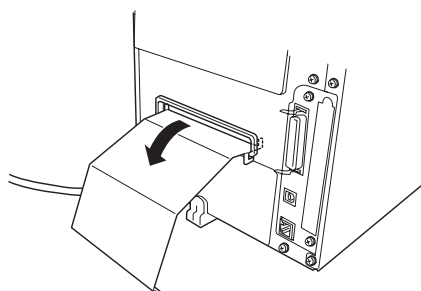
① プリンターの背面にペーパーテーブルを取り付ける。



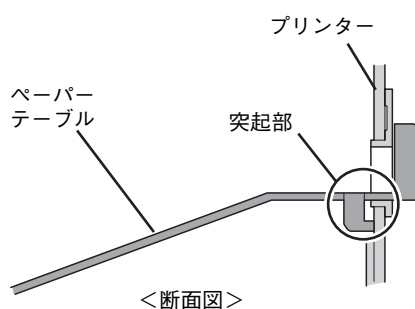
- ① ペーパーテーブルの先端突起部を用紙挿入口に斜めから差し込む。



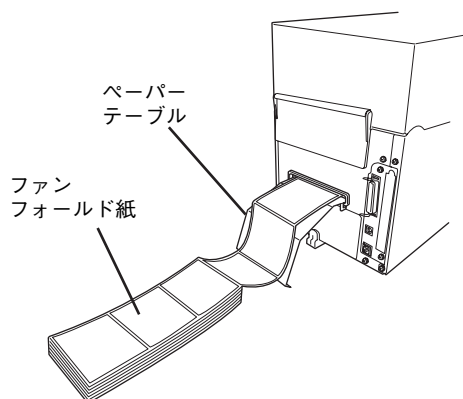
- ② 下側へ回転させるように向きを変える。



- ③ ペーパーテーブルの突起部（左右各1か所）がプリンターに突き当たるようにして安定させる。



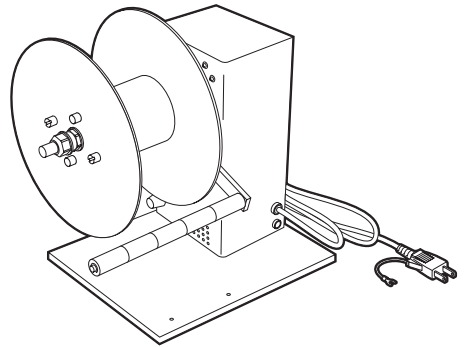
② ファンフォールド紙をペーパーテーブルの上に通す。



以上で取り付け完了です。

リワインダ

リワインダはプリンターで印刷した用紙（または台紙）を自動で巻き取る装置です。設置や取り扱いの説明についてはリワインダに添付のユーザーズマニュアルを参照してください。



PR-T500M3M-05
リワインダ

6章

日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃はプリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

清 掃

いつもきれいな印刷が得られるように、定期的（用紙またはリボン交換ごと）に本プリンターの清掃を行ってください。

特にサーマルヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。サーマルヘッドの清掃が不十分な場合にはサーマルヘッドの寿命が短くなるおそれがあります。



警告

水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないでください。内部に水が入ると、火災・感電のおそれがあります



注意

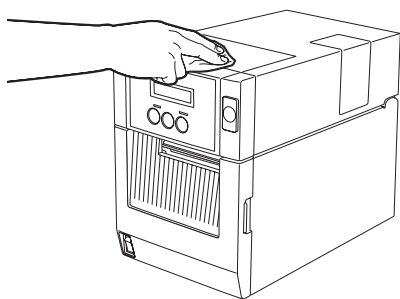
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類で拭かないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

カバーを清掃する

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。

② カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取る。

特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。

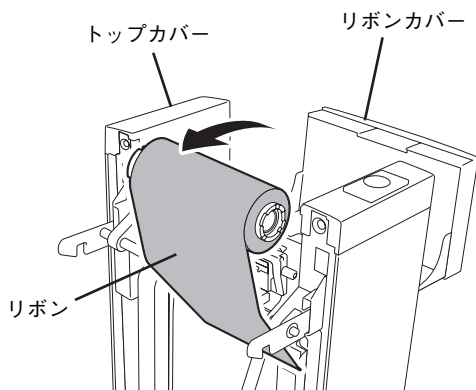


重要

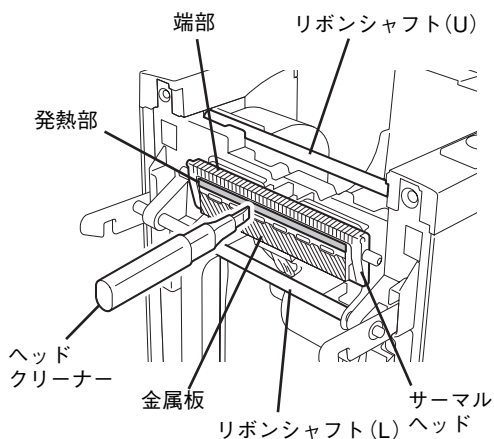
シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

サーマルヘッド／リボンシャフト (L)・(U) / プラテンを清掃する

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ② トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。
- ③ 用紙を取り除く。
- ④ リボンがセットされているときは、リボンを取り外す。



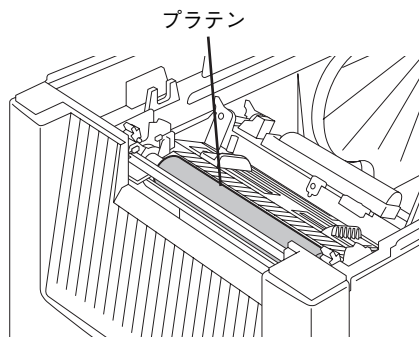
- ⑤ サーマルヘッドの発熱部と端部、金属板（網掛け部分）の汚れを付属のヘッドクリーナーで拭き取る。
- ⑥ リボンシャフト (L) とリボンシャフト (U) に付着しているリボンの汚れを付属のヘッドクリーナーでこすり、やわらかい布で拭き取る。



✓ チェック

ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください (13ページ参照)。

- ⑦ プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取る。

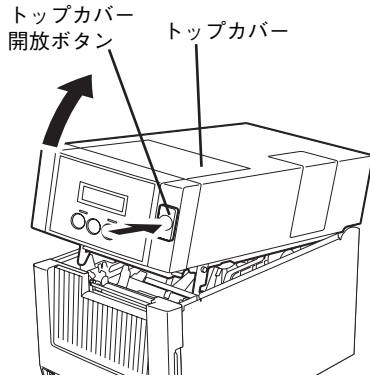


🔑 重要

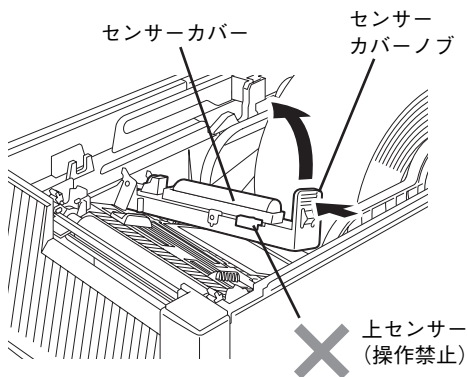
- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損することがあります。

用紙検出センサー／用紙ガイドを清掃する

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ② トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



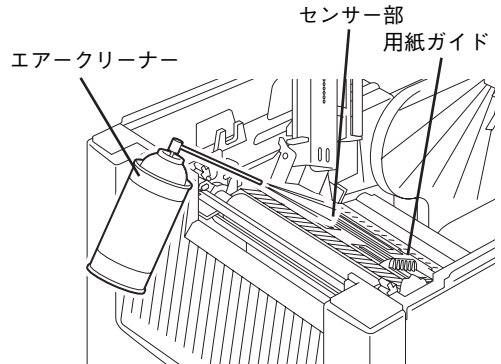
- ③ 用紙がセットされているときは、センサーカバーノブをつまみ、左に押しながらかき上げてセンサーカバーを左側に全開にし、用紙を清掃の邪魔にならない所に移す。



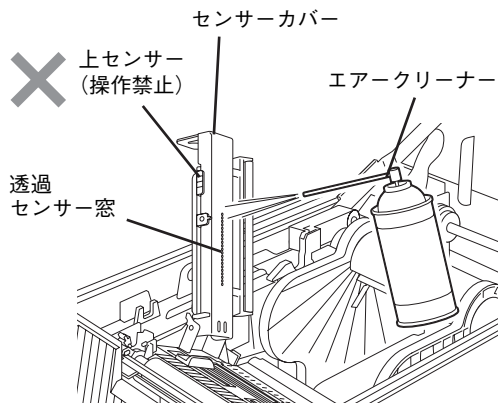
重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- ④ 下側の反射センサーおよび透過センサー上の紙粉やホコリを市販のOAエアークリーナーが清掃ハケで取り除く。
- ⑤ 用紙ガイドを動かして紙粉やホコリをやわらかい布で拭き取る。



- ⑥ センサーカバー裏側の透過センサー窓のホコリを市販のOAエアークリーナーが清掃ハケで取り除く。

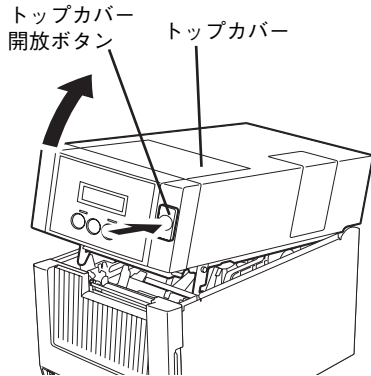


重要

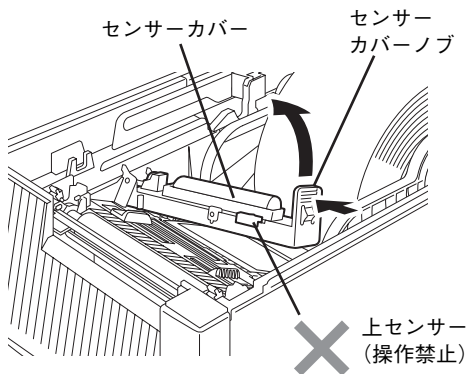
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。センサー不良や故障の原因となります。
- 上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

用紙収納部を清掃する

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ② トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



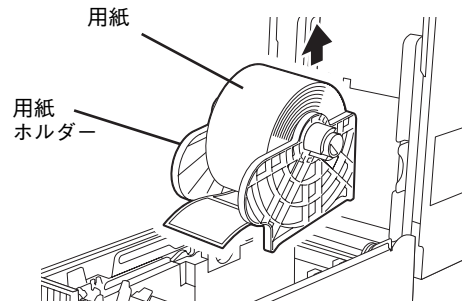
- ③ 用紙がセットされているときは、センサーカバーノブをつまみ、左に押しながらかき上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



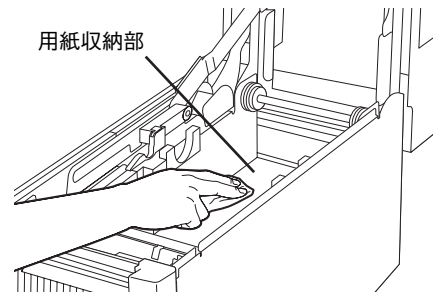
重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- ④ 用紙ホルダーごと用紙を取り出す。



- ⑤ 用紙収納部の紙粉やホコリは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取る。



カッターモジュールを清掃する

カッターモジュールのカッター部分を清掃します。

⚠ 注意

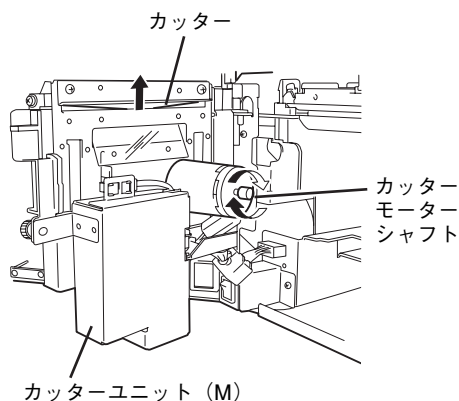
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- カッターモジュールには鋭い刃が組み込まれています。取り付けや清掃の際、カッターに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。

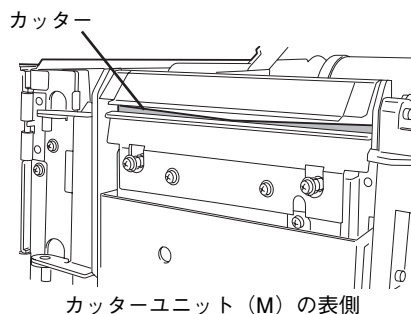
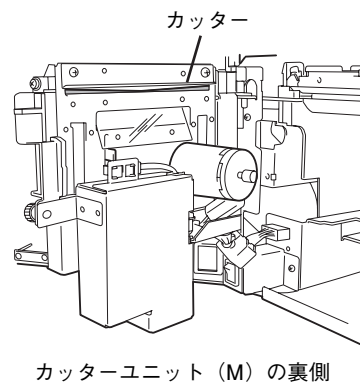
② トップカバー、フロントパネル (M) カッター、カッターユニット (M) の順に開く。

詳しい手順は5章の「用紙のセット」(130ページ)を参照してください。

③ カッターモーターシャフトを手で時計回りに回してカッターを出す。



④ カッターの刃の部分 (内側・外側とも) を無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭く。



⑤ カッターモーターシャフトを手で反時計回りに回してカッターをカッターユニット (M) 内に収め、カッターユニット (M) を閉じてからプリンターを元の状態に戻す。

ハクリモジュールを清掃する

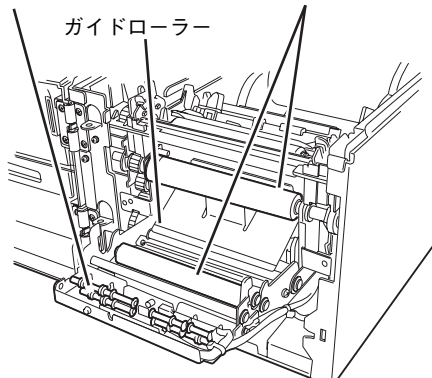
ハクリモジュールはローラー部分とセンサーを清掃します。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ハクリモジュールに付属のカッターのエッジに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

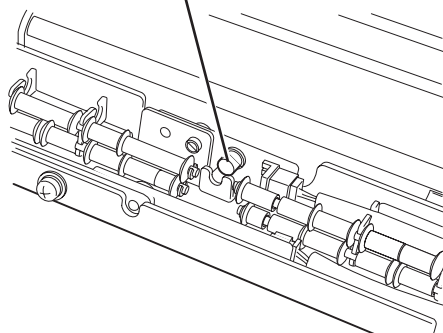
- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ② トップカバー、フロントパネル (M) ハクリ、ハクリユニット (M) の順に開く。
詳しい手順は5章の「用紙のセット」(140ページ)を参照してください。
- ③ 用紙を取り除く。
- ④ 台紙フィードローラー、およびガイドローラー、ハクリローラーを無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭く。

ハクリローラー 台紙フィードローラー



- ⑤ ハクリセンサーをチェックして紙粉やほこりが付着している場合は、市販のOAクリーナーで取り除く。

ハクリセンサー



- ⑥ ハクリユニット (M) を閉じてからプリンターを元の状態に戻す。

消耗品の交換

用紙やリボンなど使用する回数が多い用品や、部品の交換手順について説明します。

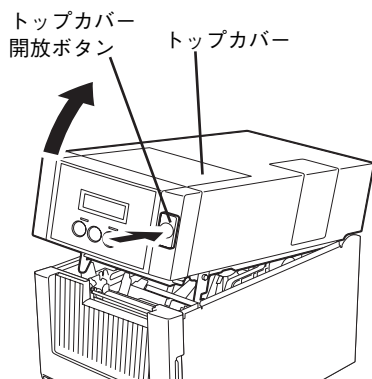
用紙を交換する

交換前の用紙と同じタイプで同じ幅の用紙に交換するものとして説明します。

重要

本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合があるため、消耗品はNEC指定品を使用することを推奨します。

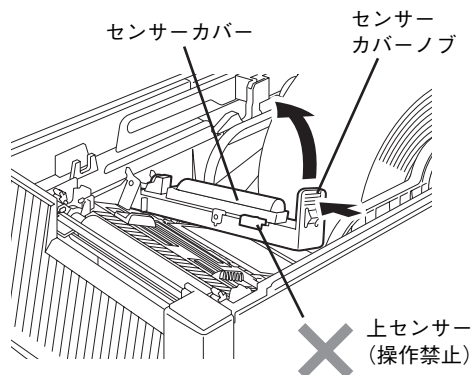
- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

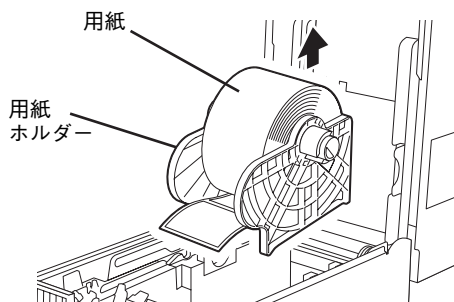
- ② 用紙が残っている場合は、センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



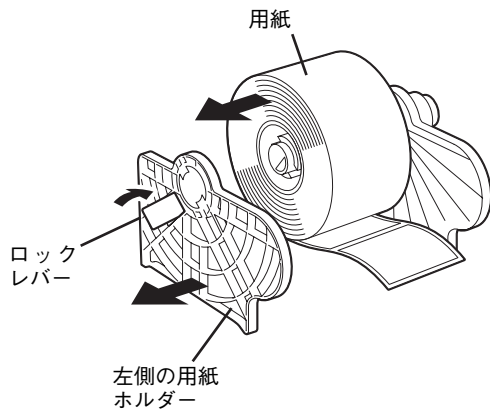
重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- ③ 用紙ホルダーごと用紙を取り出す。

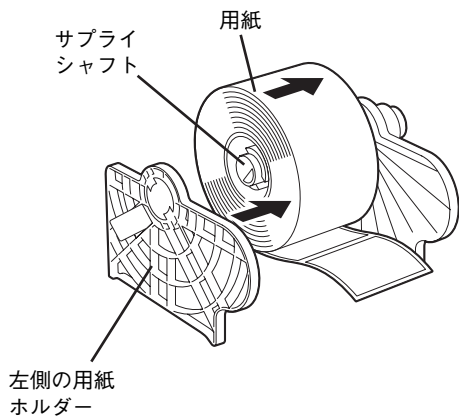


- ④ 左側の用紙ホルダーのロックレバーを解除し、用紙ホルダーと残っている用紙を取り外す。



- ⑤ 新しい用紙をサプライシャフトに通し、左側の用紙ホルダーをサプライシャフトにセットする。

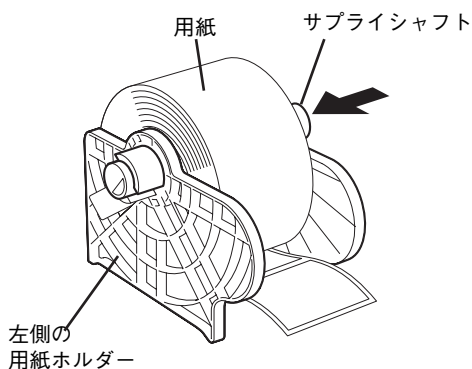
- ⑥ 左右の用紙ホルダーで用紙をしっかり挟み込み、ロックレバーを倒して用紙ホルダーを固定する。



重要

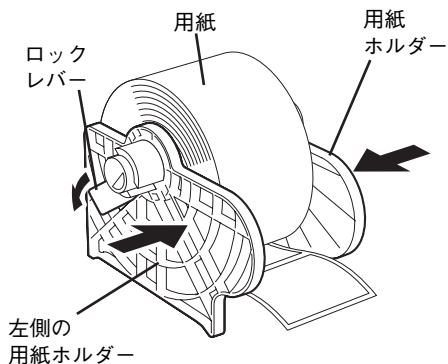
- 用紙の巻き方向に注意してセットしてください。逆にセットすると印刷されません。
- 用紙の先端は、ハサミでまっすぐに切りそろえてください。ラベルの場合は、ラベルとラベルの台紙部を切りそろえてください。

- ⑦ 左右の用紙ホルダーで用紙をしっかり挟んだ状態で、サプライシャフトを左側の用紙ホルダーの方向に止まるまで押す。



- ⑧ 左右の用紙ホルダーで用紙をしっかり挟んだ状態で、ロックレバーを倒して左側の用紙ホルダーを固定する。

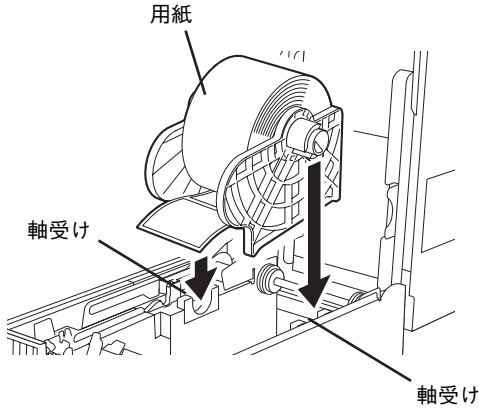
左右の用紙ホルダーで挟み込むと、用紙は自動的にサプライシャフトの中央にセットされます。



重要

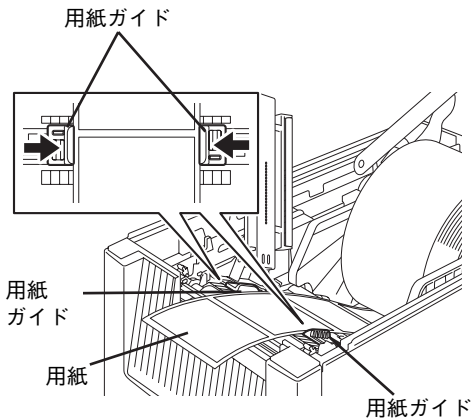
用紙ホルダーと紙管にすき間がなく、しっかりはまっていることを確認してください。しっかりはまっていないと、蛇行や印刷不良の原因となります。

- ⑨ 用紙をセットした用紙ホルダーを用紙収納部の軸受けに載せる。

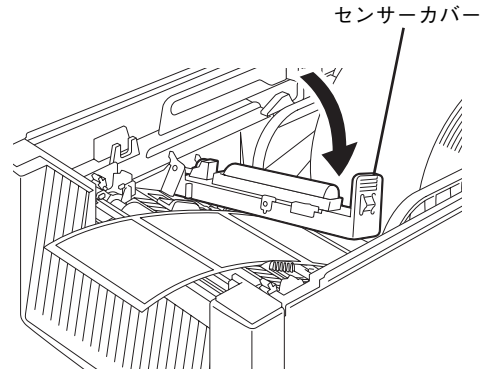


- 左右を間違えないよう注意してください。
- 幅の広い用紙をセットしたときは、用紙の上部を両手で持って軸受けに乗せてください。軸を持つと、指を挟む原因となります。

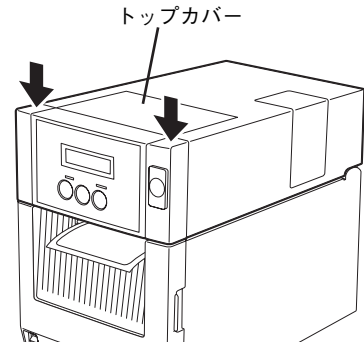
- ⑩ 用紙の先端が用紙排出口より少し出る位置まで用紙を引き出し、左右の用紙ガイドの間を通す。



- ⑪ センサーカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



- ⑫ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



- ⑬ [FEED]を押して10~20cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認する。



用紙の取り付け方の詳細は、1章の「7 用紙をセットする」(28ページ)をご覧ください。

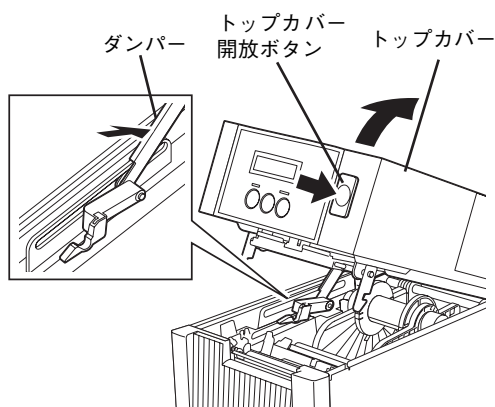
リボンを交換する(熱転写印刷時のみ)

リボンは用紙幅に対応した本プリンターで使用できるリボンと交換してください。

重要

本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合があるため、消耗品はNEC指定品を使用することを推奨します。

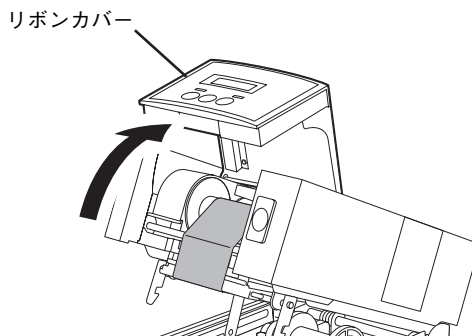
- 1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ約45°程開け、ダンパーの中央部を押してトップカバーをロックする。



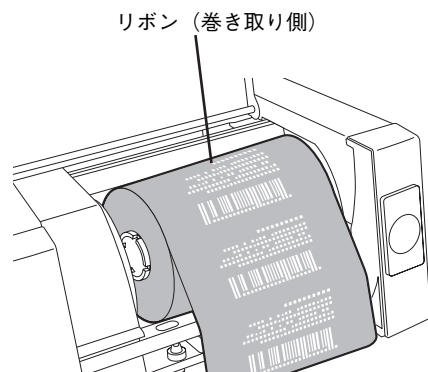
- 2 リボンカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

チェック

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。



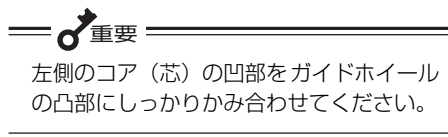
- 3 手前の巻き取り側リボンを右側に押しながら取り外す。
- 4 同様に後方の未使用側リボンも右側に押しながら取り外す。



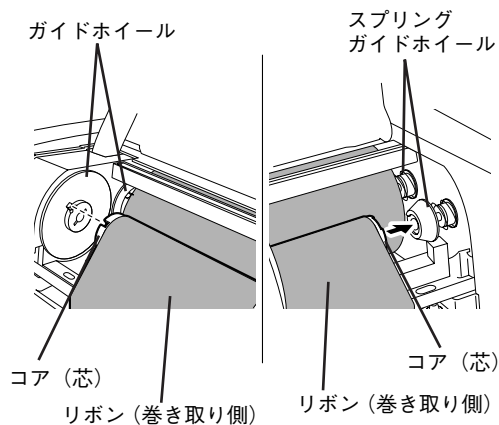
重要

リボンは巻きが乱れやすく広がりやすいため、取り付けるときは手でしっかり持ってください。

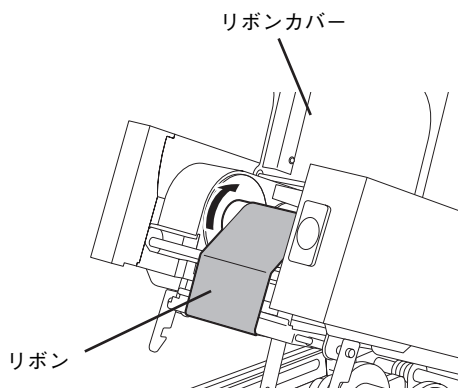
- 5 新しいリボンの未使用側を、後方（下部）のガイドホイールとスプリングガイドホイールの間に取り付ける。



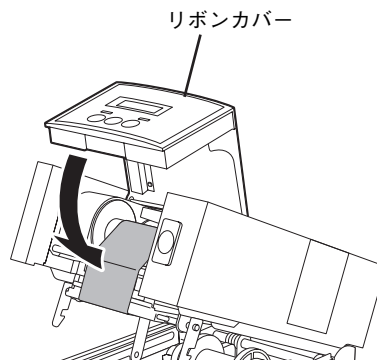
- 6 巻き取り側も同様に、手前（上部）のガイドホイールとスプリングガイドホイールの間に取り付ける。



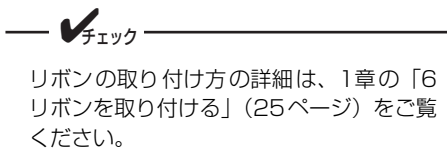
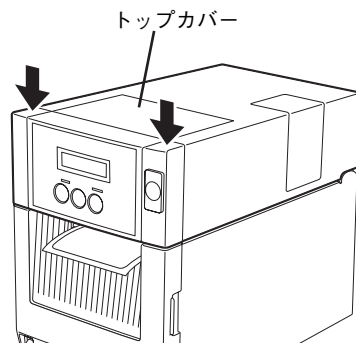
- 7 巻き取り側のリボンを矢印の方向へ回し、リボンのタルミやしワを取り除く。



- 8 リボンカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで確実に閉める。



- 9 トップカバーを少し持ち上げてダンパーの押し込みを解除してから静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



サーマルヘッドを交換する

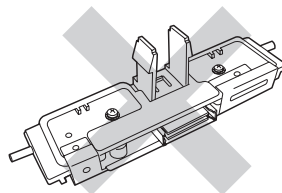
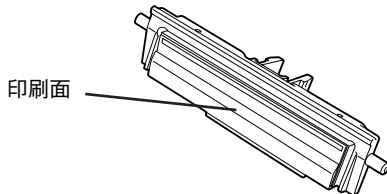
プリンター前面のディスプレイに“サーマルヘッド エラー”が表示された場合は、プリンターのサーマルヘッドに異常が起きたか、寿命になったことを示します（サーマルヘッドは消耗品です）。
お買い求めの販売店またはNEC サービス窓口ご連絡して新しいサーマルヘッドブロック（型番 PR-T500M3-TH01）を購入してください。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

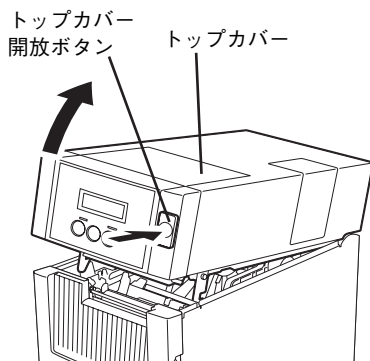
🔑 重要

- サーマルヘッドは静電気によって故障するおそれがあります。故障を未然に防止するため、サーマルヘッドに触れる前に身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて静電気を取り除いてから扱ってください。
- サーマルヘッドに硬いものを当てないでください。傷ついて印刷ができなくなったり破損したりします。
- 新旧のサーマルヘッドを机の上などに置くときは、印刷面を上に向けて置いてください。印刷面を下に向けておくと、印刷品質の低下の原因となったり、印刷できなくなったりすることがあります。



次の手順で交換します。

- 1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



🔑 重要

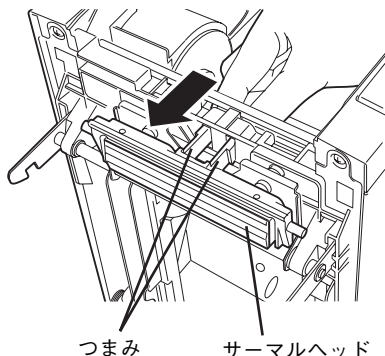
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

② リボンカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

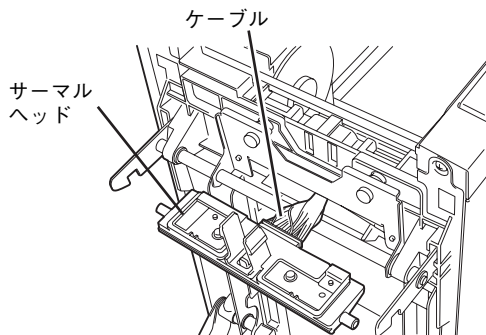
③ リボンがセットされている場合は「リボンを交換する(熱転写印刷時のみ)」(163ページ)を参照してリボンをいったん取り外す。

④ サーマルヘッドの左右のつまみを内側に押しながら手前に引き出す。

サーマルヘッドのロックが外れ、トップカバーから外れます。



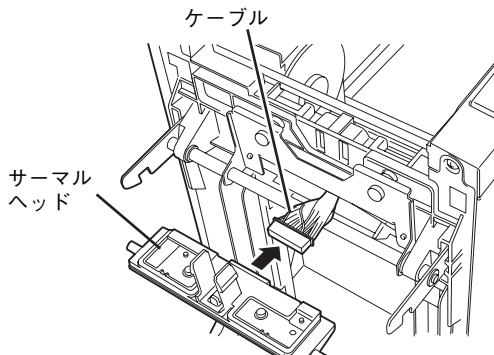
⑤ サーマルヘッドをしっかりと持って、もう一方の手でケーブルを持ちながら手前にコネクタを外しサーマルヘッドを取り外す。



重要

ケーブルを持たずにサーマルヘッドを引っぱりながら外そうとするとケーブルが断線してしまいます。コネクタ部分を持ってケーブルをサーマルヘッドから外してください。

⑥ 新しいサーマルヘッドにケーブルを接続する。



重要

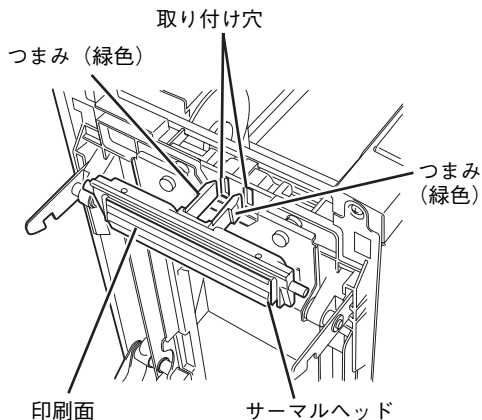
- サーマルヘッドにケーブルを確実に差し込んでください。中途半端に接続したままプリンターの電源をONにするとサーマルヘッドの破損の原因となるおそれがあります。
- コネクタを中途半端に差し込んだり、逆に差し込んだりしないでください。印刷が正しくできなくなります。

⑦ 取り外しの際に持った緑色のつまみを取り付け穴に差し込む。

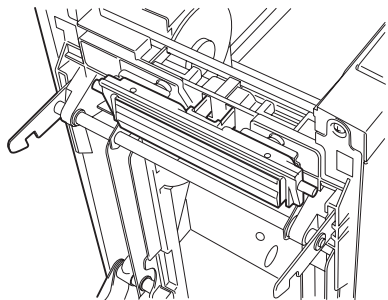
ケーブルがコネクタから抜けまいよう注意しながら差し込んでください。

重要

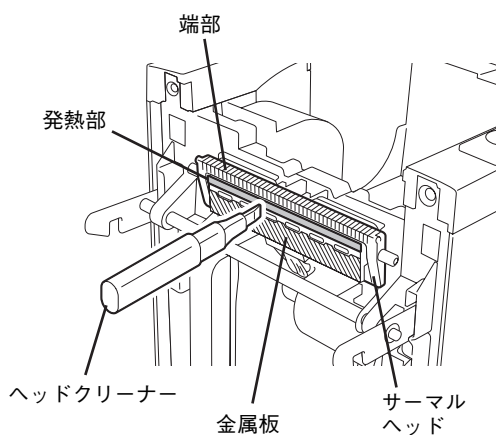
サーマルヘッドの両端をつまむようにして持ってください。印刷面には触れないよう注意してください。印刷不良の原因となります。



完全に差し込まれると「カチッ」と音がしてロックされます。



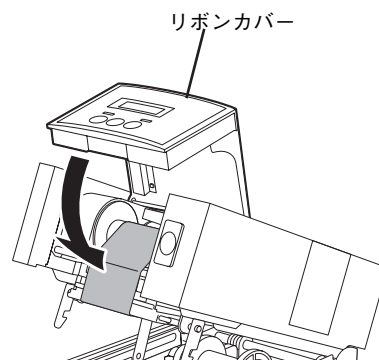
- ⑧ サーマルヘッドの発熱部と端部、金属板（網掛け部分）の汚れを付属のヘッドクリーナーで拭き取る。



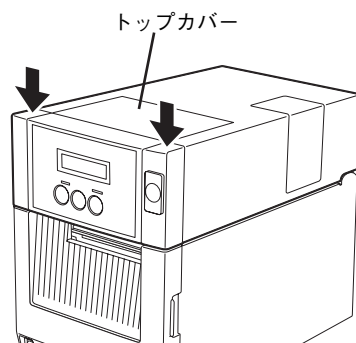
ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください（13ページ参照）。

- ⑨ 「リボンを交換する（熱転写印刷時のみ）」（163ページ）を参照してリボンを取り付ける。

- ⑩ リボンカバーを静かに下ろし、「カチッ」と音がするまで確実に閉める。



- ⑪ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



プラテンブロックを交換する

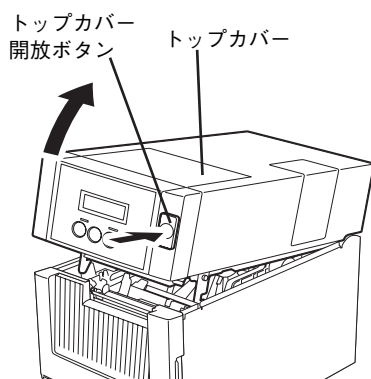
ひんぱんに用紙づまりが起きたり、印刷位置を微調整したにもかかわらず印刷するたびに印刷位置がずれたりする場合は、プラテンブロックが寿命になったことを示します（プラテンブロックは消耗品です）。

お買い求めの販売店またはNECサービス窓口に連絡して新しいプラテンブロック（型番 PR-T500M3-PB01）を購入してください。次の手順で交換します。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

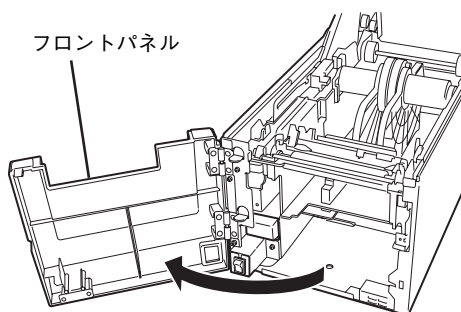


重要

- 印刷後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

- ② 用紙を取り除く。

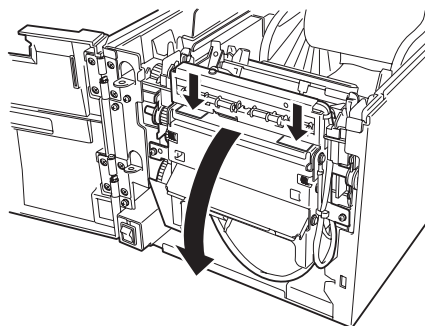
- ③ フロントパネルを開く。



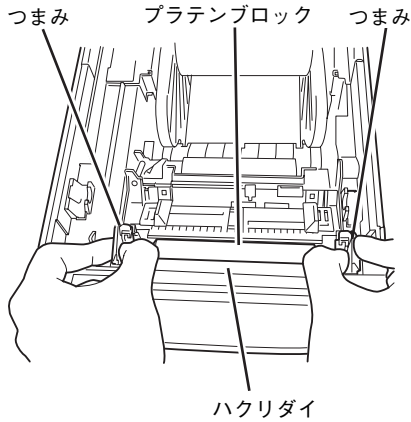
オプションのカッターモジュールが取り付けられている場合はカッターモジュールを取り外してください（「5章 オプション」（123ページ）を参照）。

- ④ オプションのハクリモジュールを取り付けている場合は、モジュールを開いた状態にする。

「5章 オプション」（123ページ）を参考にしてください。



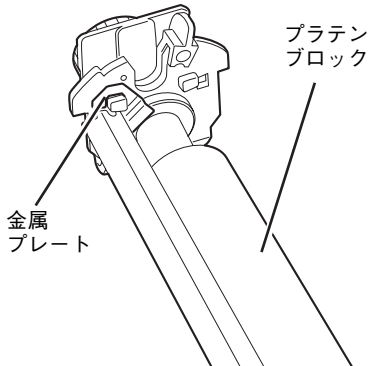
- ⑤ プラテンブロックの両側のつまみを内側に押しながまますぐに持ち上げてプリンターから取り外す。



- ⑥ 新しいプラテンブロックのハクリダイがプリンターの前面に向くようにして両端を持つ。

重要

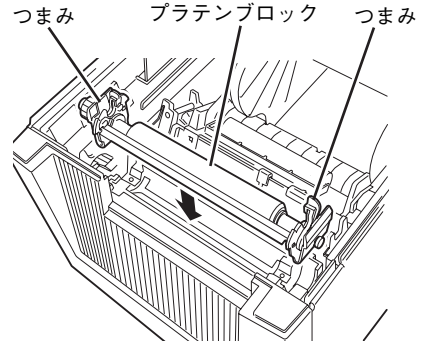
- プラテンブロックの両端を持って広げないでください。分解することがあります。万一プラテンブロック左側の金属プレートが外れた場合は下図に示すように取り付けてください。



- プラテンブロックのローラー部分には触れないよう注意してください。印刷位置不良の原因となります。

- ⑦ プラテンブロックをプリンターに差し込む。

プラテンブロックの両側のつまみを持って下に押ししてください。「カチッ」と音がしてロックされれば取り付け完了です。



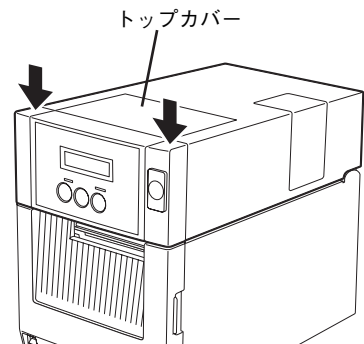
- ⑧ 用紙をセットする。

- ⑨ オプションのハクリモジュールを取り付けている場合はモジュールを閉じる。

カッターモジュールを装着していた場合は取り付け直してください。

- ⑩ フロントパネルを閉じる。

- ⑪ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を同時に両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉める。



7章

故障かな?と思ったときは

ここでは、プリンターにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作パネル上のアラームランプが点灯しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」(172ページ)の表をご覧ください。エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(174ページ)の表をご覧ください。

処置が終わりましたら、必要に応じ、1章の「12 テスト印刷をする」(46ページ)に従ってプリンターが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お近くの販売店あるいは保守サービス会社にご相談ください。

7

故障かな?と思ったときは

エラー表示が出ているときは

プリンターに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであればディスプレイの表示からその原因を知ることができます。本プリンターのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンターの故障が考えられます。お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

また、ディスプレイにエラー表示が出ていないのに印刷できない場合は、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(174ページ)を参照してください。

エラー表示一覧 (アイウエオ順) (1 / 2)

メッセージ表示* 1	原因	処置
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カッターエラー ****</div> (カッターモジュール装着時)	カッター内部で紙づまりが発生した。	つまっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して [RESTART] を押すと続きが印刷されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がみわりエラー ****</div>	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。
	印刷中に紙づまりが発生した。	つまっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して [RESTART] を押してください。
	用紙が正しく紙送りされていない。	用紙をセットし直し、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
	プリンタードライバーで指定している用紙と違うサイズの用紙をセットしている。	正しいサイズの用紙をセットし、[RESTART] を押してください。
	反射センサーが黒マークを検出していない。	反射センサーの位置を調整してください。(→38ページ参照)
透過センサーがギャップを検出していない。	透過センサーの位置を調整してください。(→39ページ参照) センサー位置正しいときは、スレッシュホールドを設定してください。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がみがアリマセン ****</div>	用紙が終了した。	新しい用紙をセットし、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サーマルヘッドエラー</div>	サーマルヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フラッシュメモリカキコミエラー</div>	フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度書き込みを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フラッシュフォーマットエラー</div>	フラッシュメモリでフォーマットエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度フォーマットを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フラッシュメモリオーバー</div>	フラッシュメモリの空き容量が足りなくて登録できない。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。

エラー表示一覧（アイウエオ順）（2 / 2）

メッセージ表示* ¹	原因	処 置
フロント セット エラー****	フロントパネルが閉まっていない状態で、用紙を印刷または紙送りしようとした。	フロントパネルを確実に閉め、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
ヘッド イジヨウ カネツ	サーマルヘッドの温度が使用範囲の上限に達した。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。
ヘッド オープン	トップカバーが確実に閉まっていない。	トップカバーを確実に閉めてください。
ヘッド セット エラー****	トップカバーが閉まっていない状態で、用紙を印刷または紙送りしようとした。	トップカバーを確実に閉め、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
リボン エラー ****	リボンモーター用のセンサーに故障が発生した。	電源をOFFにしてお近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。
	サーマルヘッドまたはリボンシャフトが汚れている	サーマルヘッドとリボンシャフトを清掃してください（→155ページ参照）。
	リボンが終了した。	新しいリボンをセットし（→163ページ参照）、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
	リボンが途中で切れた。	切れたリボンを張り合わせてセットし直し（→177ページ参照）、[RESTART] を押すと続きが印刷されます。
	リボンが取り付けられていない。	リボンを正しく取り付けてください。
その他のエラーメッセージ	ハードウェアまたはソフトウェアに不具合が発生している。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご連絡ください。

*¹ メッセージ中の“****”は残枚数 1～9999（1枚単位）を表します。



チェック

処置欄の説明文中の「電源をOFFに」とは、電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜くことです。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンターが思うように動作しなかったり印刷の状態が悪くなかったりしたときは、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンターの症状一覧（1 / 2）

現 象	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	停電かコンセントまで電気が来ていない。	他の電気器具で電気が来ているか確認してください。電気が来ていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。電源スイッチをOFFにした後は、約5秒ほど待ってからONにしてください。
用紙が正しく送られない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。
	トップカバーが確実に閉まっていない。	トップカバーを確実に閉めてください。
	インターフェースケーブルが抜けている。	インターフェースケーブルを確実に接続してください。
	用紙検出センサーが汚れている。	用紙検出センサーを清掃してください。(→156ページ参照)
用紙に印刷されない。	熱転写印刷方式を選択しているのに、リボンがセットされていない。	リボンをセットしてください。
	感熱印刷方式を選択しているのに、感熱用紙がセットされていない。	感熱用紙をセットしてください。
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンを正しくセットしてください。
	コンピュータから印刷データが送られていない。	印刷データを送信してください。
印刷がかすれる。	NEC指定の用紙を使用していない。	NEC指定の用紙に交換してください。
	NEC指定のリボンを使用していない。	NEC指定のリボンに交換してください。
	サーマルヘッドの押し圧が使用している用紙に合っていない。	用紙に合った押し圧に切り換えてください(→32ページ参照)。オンラインマニュアルを参照してプリンタードライバーで印刷濃度を調整してください。
	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください(→91ページ参照)。
印刷結果がつぶれている	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください(→91ページ参照)。
ドット抜けする。	サーマルヘッドが汚れている。	サーマルヘッドを清掃してください。(→155ページ参照)
きれいにカットされない。 (カッターモジュール装着時)	カッターの刃が汚れている。	カッターの刃を清掃してください。(→158ページ参照)
うまくラベルを剥離できない。 (ハクリモジュール装着時)	使用している用紙の種類・サイズに対する適切な設定をしていない。	ハクリ処理設定やトルクの設定を変更してください。(→144ページ参照) プレハクリ距離の設定を変更してください。(→146ページ参照)

プリンターの症状一覧（2 / 2）

現 象	原 因	処 置
印刷中に異音がする。	サーマルヘッドまたはリボンシャフトが汚れている。	サーマルヘッドとリボンシャフトを清掃してください（→155ページ参照）。

プリンタードライバーに関する問題一覧

現 象	原 因	処 置
プリンタードライバーの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
プリンタードライバーに使用したい用紙サイズが登録されていない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。
用紙サイズのユーザー定義サイズが設定できない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、3章の「ユーザー定義用紙サイズの登録」（99ページ）をご覧ください。
給紙方法の設定がうまくいかない。	給紙方法として [自動選択] を選択している場合、[用紙サイズ] または [給紙方法と用紙の割り当て] の設定が正しく行われていない可能性があります。	オンラインマニュアルの「給紙方法と用紙の割り当てについて」をご覧ください。

リモートパネルに関する問題一覧

現 象	原 因	処 置
リモートパネルが起動しない。	プリンターフォルダーに必要なプリンタードライバーが登録されていません。	プリンタードライバーをインストールしてください。
	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
リモートパネルでプリンターへの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
	プリンターがポーズ状態です（ディセレクト状態）	ONLINE状態でないとプリンターの設定ができません。[RESTART] スイッチを押してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中の場合はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。
	プリンターと接続されていません。	パラレルインターフェースケーブルまたはUSBケーブル、LANケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバーのポートを設定してください。

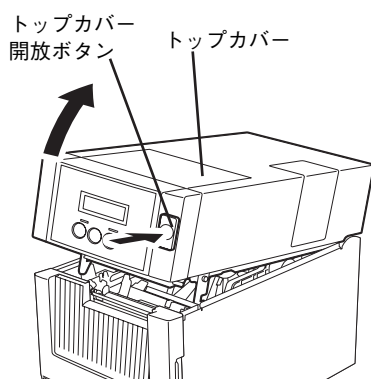
用紙が詰まったとき

本プリンターの内部で用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。

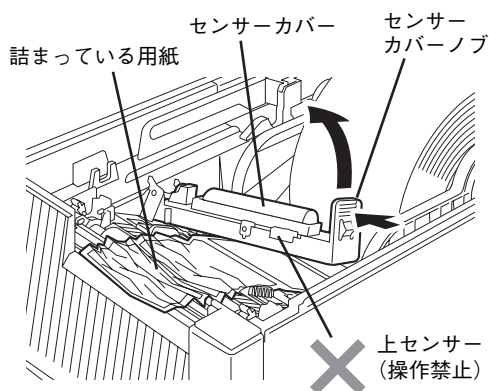
⚠ 注意

- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



- ② センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



🔑 重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを開める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

- ③ つまっている用紙を取り除く。

- ④ 用紙をセットし直す。

1章の「7 用紙をセットする」(28ページ)を参照してください。

🔑 重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因になります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損するおそれがあります。

- ⑤ 操作パネルの [RESTART] スイッチを押す。

用紙が詰まったところのデータから印刷を再開します。(ラベルエンド/リボンエンド処理の設定によって処理が異なります。詳細はオンラインマニュアルの「パラメータ設定機能」を参照してください。)

オプションのカッターモジュールまたはハクリモジュール内で用紙が詰まった場合は、5章の「オプション」(123ページ)の記載を参考に各モジュールを開いてカッター部分やローラー部分に用紙が詰まる原因がないかどうかを調べてください。

🔑 重要

カッターモジュールにはカッター(刃)が組み込まれています。またハクリモジュールにもカッターが取り付けられている場合があります。5章の各項目に記載されている「注意」の内容をよく読んでから作業してください。

リボンが途中で切れたとき

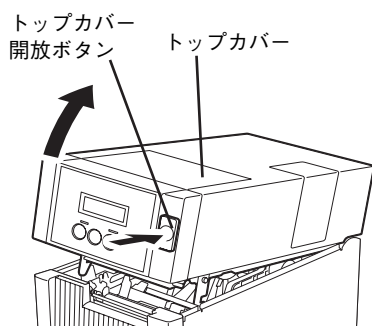
リボンが途中で切れたときは、次の手順で貼り合わせてください（これは応急処置の場合です）。

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（6章の「リボンを交換する（熱転写印刷時のみ）」（163ページ）を参照）。

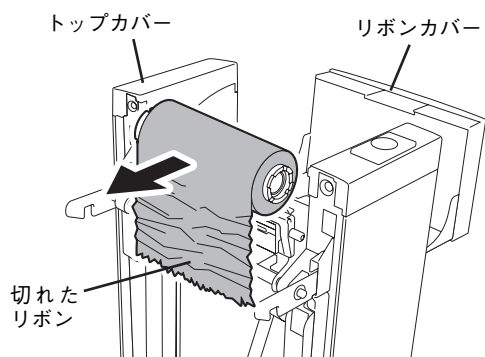
⚠ 注意

- トップカバーやリボンカバーは後方へ倒すよう全開にしてください。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけないでください。けがの原因となるおそれがあります。

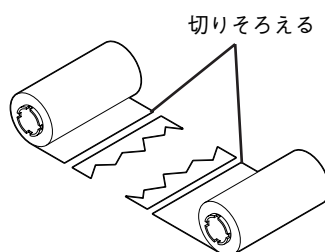
- ① トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。



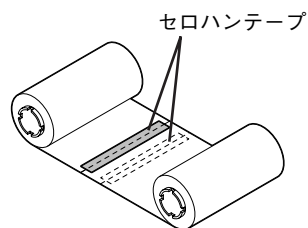
- ② リボンカバーを後方へ静かに倒すように全開にし、切れたリボンを取り外す。



- ③ 切れた部分をきれいに切りそろえる。



- ④ 左右がズレないようにリボンを重ね合わせ、合わせ目をセロハンテープでしっかり止める。



- ⑤ 使用済み側の方にリボンを2~3周ほど巻き取り、ガイドホイールとスプリングガイドホイール間にセットし直す。

1章の「6 リボンを取り付ける」（25ページ）を参照してください。

- ⑥ 操作パネルの [RESTART] スイッチを押す。

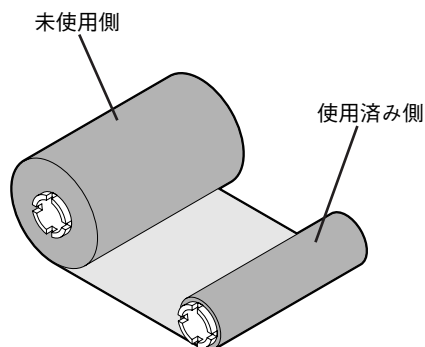
リボン切れが起きたデータところのデータから印刷を再開します。（ラベルエンド/リボンエンド処理の設定によって処理が異なります。詳細はオンラインマニュアルの「パラメータ設定機能」を参照してください。）

リボンの巻きが乱れたとき

リボンの保管が悪かったり、リボンの取り付け時にリボンを落として巻きが乱れたときは、次の手順で巻き戻してください（これは応急処置の場合です）。

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「6 リボンを取り付ける」(25ページ)を参照）。

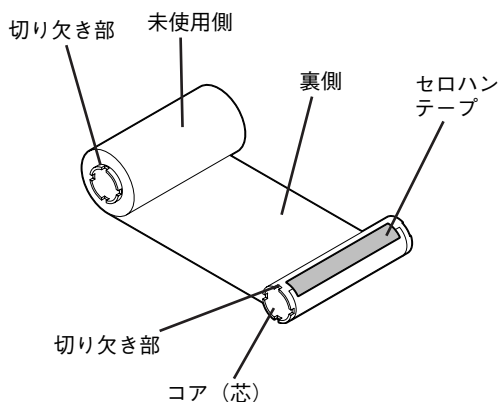
- ① 二人でリボンの両側を持ち、リボンを張った状態で左右がズレないように巻き戻す。



リボンを強く引っ張らないでください。
必要以上に強く引っ張ると、リボンが切れます。

- ② どうしても上手に巻き戻せないときは、使用済み側のリボンを切断する。

- ③ 使用済み側のコア（芯）に未使用側のリボンをセロハンテープでしっかり貼り付け、2～3周ほど巻き取る。



リボンはコア（芯）と水平になるよう貼り付けてください。斜めに貼り付けると、リボンにシワが発生する原因となります。

- ④ リボンをセットし直す。

1章の「6 リボンを取り付ける」(25ページ)を参照してください。

保証および修理の依頼について

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録についてはプリンターに添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

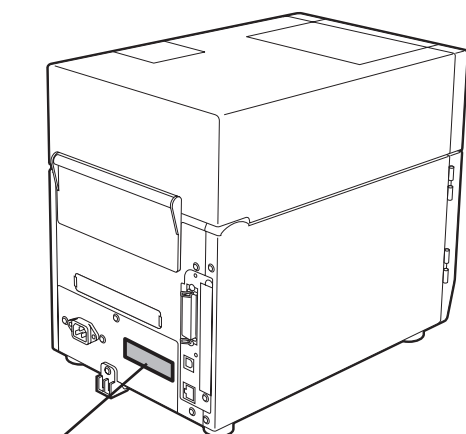
保証について

本製品には『保証書』が付いてます。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

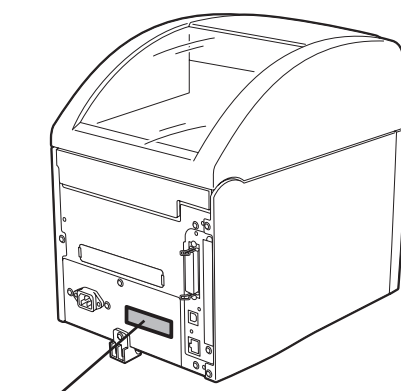
保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」(180ページ)をご覧くださいのうえ、プリンターをお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。



本体の背面に、製品の型番、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一、プリンターが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



MultiCoder 500M3M/500M3MC/500M3MS



MultiCoder 500M3P/500M3PC/500M3PS

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されていることを確認する。
- ② リボンや用紙の取り付けが確実に行われていることを確認する。
- ③ 「エラー表示が出ているときは」(172ページ)、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(174ページ)を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧のうえ、保守サービスをご利用ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。

✓チェック

- 問い合わせをする際、液晶ディスプレイの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の液晶ディスプレイの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンターをお持ち込みいただくときは「プリンターを運搬するときは」(182ページ)の手順に従ってプリンターを梱包してください。

保守サービスについて

プリンターの問題はプリンター自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンターに添付のNECサービス網一覧表をご覧ください、保守サービスをご利用ください。

プリンターの寿命について

本プリンターの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。なおサーマルヘッドとプラテンブロックは消耗部品（有償）です。

補修用部品について

本プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

マニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお買い求めください。ユーザーズマニュアル（コピー版）を再度購入することができます。

品名 MultiCoder 500M3シリーズ ユーザーズマニュアル

なお、マニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL : <http://pcm.mepros.com/>

電話 : 03-5471-5215

受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00 13:00~16:00

（土曜、日曜、祝祭日はご利用になれません）

FAX : 03-5471-3996

受付時間 24時間（いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。）

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWeb ページ

NEC 8 番街 (<http://nec8.com/>)

プリンターを運搬するときは

本プリンターを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

① プリンターの電源スイッチをOFFにする。

② 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

③ 用紙を取り出す。

④ リボンを取り外す。

「リボンを交換する(熱転写印刷時のみ)」(163ページ)を参照してください。

⑤ プリンターからケーブルを取り外す。

⑥ オプションを外す。

オプションを取り付けていれば、取り外してください。取り外し方は5章をご覧ください。

MultiCoder 500M3MC/500M3PC/500M3MS/500M3PSはカッターモジュールまたはハクリモジュールが標準で装備されているため取り外す必要はありません。

⑦ 梱包する。

「4 保護用部品を取り除く」(23ページ)を参照して印刷機構部分を柔らかい用紙などで保護してから梱包材を取り付けてプリンターおよび付属品を箱に入れます。

これでプリンターを運搬する準備ができました。

プリンターの廃棄とリボンの処理について

プリンターの廃棄について

プリンターおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

また、NECでも法人のお客様に販売したプリンターを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンターを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。詳しくは、<http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/>をご覧ください。



プリンターの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンターに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。
規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。

リボンの廃棄について

使用済みのリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

- 使用済みリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。使用済みリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として分別処分してください。
- リボンの使用済み側には印刷の跡が残ります。リボンを廃棄される際は、個人情報としての取り扱いにご注意ください。

付録

仕 様

項 目		MultiCoder					
		500M3M	500M3MC	500M3MS	500M3P	500M3PC	500M3PS
印刷方式		熱転写方式(リボン転写)、感熱方式(直接発色)					
印刷ヘッド	ドット密度	11.8ドット/mm (300dpi)					
	発熱体ピッチ	0.0847mm					
	ドット総数	1248ドット					
	有効印刷幅	105.7±0.1mm					
印刷速度		50.8mm (2インチ) /秒、101.6mm (4インチ) /秒、152.4mm (6インチ) /秒					
フィード方向		順方向または逆方向					
バックフィード速度(速度の切り替え可能)		76.2mm (3インチ) /秒、50.8mm (2インチ) /秒					
印刷方法	連続印刷	可能	可能	可能	可能	可能	可能
	カット印刷	オプション	可能	オプション	オプション	可能	オプション
	ハクリ印刷	オプション	オプション	可能	オプション	オプション	可能
給紙方式		装置内セット：ロール紙(内巻き、外巻き) 装置外セット：ファンフォールド紙					
排紙方式		装置前面排紙のみ ※連続印刷時に自動正転機能の切り替え可能					
表示方式		液晶ドットマトリックス 16桁×2行					
有効印刷幅		最大105.7mm					
用紙種類 (3章参照)	ラベル	感熱：一般感熱紙・耐保存感熱紙・ユボ感熱 熱転写：コート紙・ユボ・白PET・銀PET					
	タグ	感熱：一般感熱紙 熱転写：タグ紙					
リボン種類		ワックス、ワックスレジン、レジン					

項目	MultiCoder					
	500M3M	500M3MC	500M3MS	500M3P	500M3PC	500M3PS
インターフェース	パラレルインターフェース：IEEE1284準拠 USBインターフェース：USB1.1/2.0 Fullspeed準拠 LANインターフェース *1：IEEE 802.3準拠、100Base-TX/10Base-T					
ホスト接続	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機					
外形寸法	238(W)×402(D)×332(H)mm			238(W)×339(D)×332(H)mm		
質量 *2	15.0kg	16.5kg	16.0kg	13.0kg	14.5kg	14.0kg
電圧	AC100V±10%					
定格電流	1.9A					
周波数	50/60Hz±10%					
消費電力	動作時最大（フルオプション時 *3）：155W（1.9A） 待機時：12W（0.19A） スリープモード：なし					
製品寿命	5年					
温度範囲	使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃ *4					
湿度範囲	使用時：25～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：10～90%RH（ただし、結露しないこと） *4					
消耗部品（有償）	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km *5 プラテンブロック 寿命（目安）：25km *5、*6 カッターモジュール 寿命（目安）：30万カット *5、*7 ハクリモジュール 寿命（目安）：15km *5					
プリンタードライバー	Microsoft Windows Vista 日本語版 *8、*9 Microsoft Windows XP 日本語版 *8、*9 Microsoft Windows Server 2003 日本語版 *8、*9 Microsoft Windows 2000 日本語版 *8 Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版 *8、*10 Microsoft Windows 98 日本語版 *8、*10 Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版 *8、*10 Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 *10					
バンドルソフトウェア	リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro					

- *1 LANケーブルは、100Base-TX/10Base-T 準拠のケーブルをご使用ください。
なお、LAN インターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *2 本体のみの質量です（用紙およびリボンを除く）。
- *3 フルオプションはカッターモジュール搭載時です。
- *4 リボン、ラベル/タグの保管は装置の使用環境湿度内です。
- *5 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル/タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。
- *6 171～263μmの厚さのタグを使用する場合、プラテン寿命が通常より短くなる場合があります。
- *7 厚さ 160μm以上、ラベル糊部をカットする場合の寿命（目安）は 10万カットとなります。
- *8 USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェース接続には対応していません。
- *9 64 ビットバージョンには対応していません。
- *10 「<http://121ware.com>」からダウンロードしてください。ただし、一部動作可能なインターフェースに制限があります。

索引

アルファベット

BarStar Pro	77
DHCP	55
DHCP HOST NAME	55
DHCP ID	55
ERRORランプ	103
IPアドレス	53
LabelStar Lite	80
LANケーブル	49
LANポート	16, 20
LAN有効/無効設定	51
NEC PCマニュアルセンター	181
NECサービス網一覧	12
ONLINEランプ	103
PET	143
USBケーブル	49
USBポート	16, 20
X方向座標微調	114

ア

アース線	41
アンインストール	
プリンタードライバー	72
リモートパネル	76
安全上のご注意	2
安全にお使いいただくために	1
安全にかかわる表示	ii
一般感熱紙	14
印刷	
速度の設定	96
データのクリア	98
手順	97
～の種類と方法	95
方式の選択	96
印刷機構部	
金属タイプ	17
樹脂タイプ	21
印刷速度	96, 185
印刷濃度	91
印刷濃度微調	115
印刷範囲	
カット印刷	86
ハクリ印刷	88
連続印刷	84
印刷ヘッド	185
印刷方式	185
印刷方法	185

インストーラー	60
インストール	
プリンタードライバー	59
リモートパネル	75
インターフェース	186
上センサーマーカ	39
内巻き	28
運搬	182
エラー表示	172
お客様登録	179
オプション	13, 123
温度	186

カ

外観	
金属タイプ	15
樹脂タイプ	19
外形寸法	186
ガイドホイール	26
ガイドローラー	12, 134
各部の名前	15
カッターモジュール	
取り付け後の確認	131
取り外し手順	132
プリンターの設定	129
カッターモデル	v
カッターユニット (M)	18, 125
カッターユニット (P)	22
カッター (ハクリモジュール添付品)	
カッターハクリモジュールテンプレ	134
カット位置微調	111
カット印刷	95, 112, 142
ギャップ	37
給紙方式	185
銀PET	14
金属タイプ	v
黒マーク	38, 92
警告ラベル	1
ゲートウェイアドレス	53
ケーブルクランプ	12, 50
ケーブルクランプ用ネジ	12
交換	
サーマルヘッド	165
プラテンブロック	168
用紙	160
リボン	163
故障かな?と思ったときは	171
コート紙	14

サ

サーマルヘッド	18, 22
交換	165
サーマルヘッド位置切り替えステッカー	18, 22

サーマルヘッド位置切り替えレバー	18, 22, 32
サーマルヘッドブロック	13
最小ラベルピッチ	112
サブネットマスク	53
サブライシャフト	18, 22, 29
残量確認窓	16, 20
システムモード	
起動	117
終了方法	117
初期値一覧	120
メニューツリー	117
下センサーマーカー	38
湿度	186
質量	186
周波数	186
樹脂タイプ	v
寿命	181, 186
仕様	185
使用できる用紙	83
消費電力	186
情報サービス	181
消耗品	13
～の交換	160
消耗部品（有償）	186
初期値一覧	
システムモード	120
メニューモード	107
白PET	14
推奨設定	91
スイッチ	
電源	42
～の応用機能	102
～の基本機能	102
スプリングガイドホイール	26
スペーサー	29
スレッシュホールド	92
寸法	186
清掃	
カッターモジュール	158
カバー	154
サーマルヘッド	155
ハクリモジュール	159
ブラテン	155
用紙ガイド	156
用紙検出センサー	156
用紙収納部	157
リボンシャフト（L）・（U）	155
接続	
LANケーブル	49
USBケーブル	49
電源コード	40
プリンターケーブル	48
設置場所	10

設定	
印刷速度	96
カッターモジュール	129
スレッシュホールド	92
トルク	144
ネットワーク	51
ネットワークアドレス	52
メニューモード	109
センサーカバー	18, 22, 31
センサーの位置関係	37
操作パネル	16, 20, 101
装置銘板	179
ソケットポート番号	54
外巻き	28
ソフトウェアCD-ROM	12
ソフトウェアのご使用条件	12

タ

タイプ	v
耐保存感熱紙	14
タグ紙	14
タグ・ラベルの有効印刷部	89
正しく使用するために	11
ダンパー	18, 22, 26
ダンパーローラー	31
調整	
センサーの電圧値	44
透過センサーの位置	39
反射センサーの位置	38
定格電流	186
ディスプレイ	103
データのクリア	98
適合表	14
テスト印刷	46
カッターモジュール	131
ハクリモジュール	143
テスト用リボン／ラベル	12
電圧	186
電源コード	12
～を接続する	40
電源コード接続部	16, 20
電源スイッチ	16, 20, 42
電源のON/OFF	42
転倒防止ストッパー	12, 16, 20
転倒防止ストッパー用ネジ	12
転倒防止ストッパー	
～を取り付ける	24
透過センサー	37
手動スレッシュホールド微調	116
～の位置を調整する	39
特長	vii
トップカバー固定フック	18, 22
トップカバー	16, 20
トップカバー開放ボタン	16, 20

取り付け	
ガイドローラー (ハクリモジュール).....	139
カッター (ハクリモジュール).....	139
カッターモジュール.....	126
転倒防止ストッパー.....	24
ハクリモジュール.....	135
ハクリユニット (M).....	135
用紙.....	28
リボン.....	25
取り外し	
カッターモジュール.....	132
ハクリモジュール.....	148

ナ

日常の保守.....	153
ネジ.....	12
ネットワークアドレスの設定.....	52
ネットワークの設定.....	51

ハ

廃棄.....	183
排紙方式.....	185
ハクリ位置微調.....	111
ハクリ印刷.....	96
ハクリモジュール	
取り付け後の確認.....	143
取り付け手順.....	135
取り外し手順.....	148
プレハクリ距離.....	146
モーターのトルク設定.....	144
ハクリモデル.....	v
ハクリユニット (M).....	18, 134
ハクリユニット (P).....	22
箱の中身.....	12
初めてお使いになるとき.....	9
バックフィード速度.....	185
バックフィード量微調.....	114
パラレルポート.....	16, 20, 48
反射センサー.....	37
手動スレッシュホールド微調.....	116
～の位置を調整する.....	38
バンドルソフトウェア.....	186
表示方式.....	185
標準モデル.....	v
ファンフォールド紙.....	34
フィード方向.....	185
フィード量微調.....	111
付属品	
カッターモジュール.....	125
ハクリモジュール.....	134

ブラグ・アンド・プレイ.....	65
Windows 2000 日本語版.....	70
Windows Vista 日本語版.....	66
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版.....	68
ブラテン.....	18, 22
ブラテンブロック.....	13
交換.....	168
プリンターケーブル.....	48, 124
プリンターソフトウェアのインストール.....	57
プリンタードライバ.....	186
アンインストール.....	72
インストール.....	59
～の削除.....	72
問題一覧.....	175
プリンターの症状一覧.....	174
プリンターの設定.....	101
プレ印刷用紙.....	90, 92
プレハクリ距離.....	146
付録.....	185
フロントパネル.....	16, 20
フロントパネル (M) カッター.....	18, 125
フロントパネル (M) ハクリ.....	18, 134
フロントパネル (P) カッター.....	22
フロントパネル (P) ハクリ.....	22
ペーパーテーブル.....	151
ヘッドクリーナー.....	12, 13, 155
別売品.....	13
保護用部品.....	23
補修用部品.....	181
保守サービス.....	180
保証.....	179
保証書.....	12
ホスト接続.....	186

マ

マニュアルの構成.....	vi
マニュアルの再購入.....	181
メニューツリー	
システムモード.....	117
メニューモード.....	105
メニューモード	
起動.....	104
終了方法.....	104
初期値一覧.....	107
メニューツリー.....	105
モデル.....	v

ヤ

有効印刷幅.....	185
ユーザズマニュアル.....	12
ユーザー定義用紙サイズの登録.....	99
ユボ.....	14
ユボ感熱.....	14

用紙	13
交換	160
～のセット (カッターモジュール)	130
～のセット (ハクリモジュール)	140
～の取り扱いと印刷	83
保管上の注意	94
～をセットする	28
用紙一覧	14
用紙ガイド	18, 22, 31
用紙がしまったとき	176
用紙規格	84
用紙検出センサー	37
用紙種類	185
用紙長の自動補正	92
用紙排出口	16, 20
用紙ホルダー	18, 22, 29, 150
用紙ホルダーガイド	12, 33

ラ

ラベル／タグとリボンの適合表	14
ラベルピッチ	112
ランプ	
ERROR	103
ONLINE	103
リセット	98

リボン	13
～が途中で切れたとき	177
交換	163
～の廃棄	183
～の巻きが乱れたとき	178
保管上の注意	94
～を取り付ける	25
リボン一覧	14
リボン格納部	18, 22
リボンカバー	16, 20
リボン種類	185
リボン幅	25
リボンモーター駆動電圧微調	115
リボン／用紙経路ステッカー	18, 22
リモートパネル	
～のインストール	75
～の削除	76
問題一覧	175
リワインダ	152
レジリボン	14
連続印刷	95
ロックレバー	29

ワ

ワックスリボン	14
ワックスレジリボン	14

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

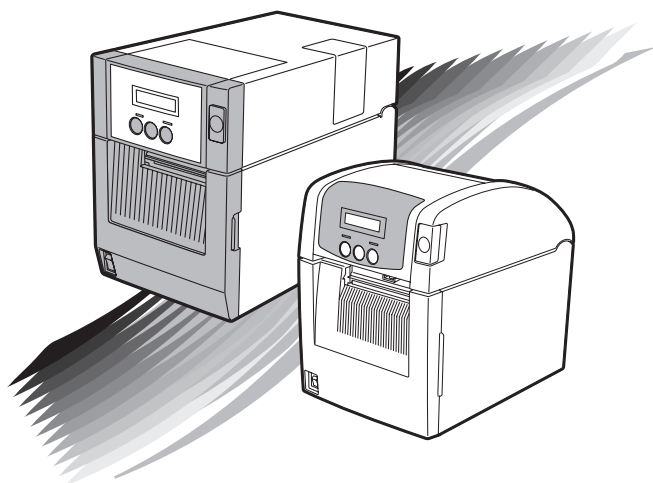
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。



このマニュアルは、再生紙、大豆油インキを使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、廃棄の際は回収・リサイクルに出しましょう。

NEC